

垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(9)

—県営農免農道整備事業垂水南地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

橋原貝塚Ⅱ



垂水市立図書館



110432622

2006年3月

鹿児島県垂水市教育委員会



柁原貝塚遠景



柁原貝塚近景 1



柁原貝塚近景 2



貝塚
(中央2階建の個人住宅が
平成7年度調査区域)



貝塚



貝塚(真上から)



貝塚



貝層断面



貝ブロック



土層堆積状況 (B-7区南側壁面)



竪穴住居址 (3号住居址)



獣骨を伴う集石



3号土壙墓



4号土壙墓



掘立柱建物跡



遺物出土状況 (B-17区)



作業風景



現地説明会の様子



玉類(石製装身具)、玉未製品、玉材



石製品

序 文

大隅半島の北西部に位置する垂水市は、眼前に鹿児島湾の美しい海岸線を望み、背後には手つかずの自然が残る高隈の山々が連なっています。このように美しい自然に育まれた本市においては、昔から多くの人々が生活を営み、文化を育て、多くの有形・無形の文化財が残されています。

本報告書は、平成9・10年度に、国・県の補助事業として終原貝塚で実施された、県営農免農道整備事業垂水南地区に伴う埋蔵文化財発掘調査を、記録としてまとめたものです。平成9・10年度の調査分につきましては、すでに「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4)終原貝塚」という形で刊行されておりますが、内容が多分に概報的なものであったため、学術的な報告書を作成すべく、今回再び国庫補助事業により刊行されることになりました。

貝塚とは、昔の人々が食べた貝殻を多量に破棄したゴミ捨て場のことですが、廃棄された貝殻からしみ出るカルシウム分のために、動物や魚の骨や種子等通常の遺跡では腐ってしまっていて残らないものも残してくれる遺跡であり、何千年も前の古代の資料を現在の我々に伝えてくれる「タイムカプセル」であります。また、終原貝塚からは「岩偶」とよばれる人の体を表していると思われるものをはじめとして、何に使ったかよくわからない不思議なものもたくさん出土しております。これらのものは、何か特別な祭祀等に使われたと考えられており、終原貝塚を残した人々が豊かな精神生活を営んでいたことを物語っています。

この報告書が、市民をはじめ広く活用され、埋蔵文化財に対する関心とご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、多大なご指導・ご協力をいただきました鹿児島県教育庁文化財課、鹿児島県立埋蔵文化財センター、鹿児島大学をはじめとする各研究機関、発掘調査及び整理作業協力者をはじめとする各関係各位に心から敬意を表します。

平成18年3月

垂水市教育委員会
教育長 川井田 稔

報告書抄録

| ふりがな | くぬぎばるかいつか | | | | | | | |
|-------------------|--|-------------------|--------|--------------------|------|---|-----------|----------------|
| 書名 | 終原貝塚Ⅱ | | | | | | | |
| 副書名 | 県営農免農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | 垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 9 | | | | | | | |
| 編集者名 | 羽生文彦 | | | | | | | |
| 編集機関 | 垂水市教育委員会 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒891-2125 鹿児島県垂水市旭町61-2 TEL 0994-32-0224 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 2006年3月31日 | | | | | | | |
| ふりがな | ふりがな | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 ㎡ | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| くぬぎばるかいつか 終原貝塚 | かごしまけん 鹿児島県 | 462144 | 11-114 | 31° | 130° | 19970602～ 19980327 | 2,300 | 県営農免農道 整備事業 |
| | たるみずし 垂水市 | | | 27' | 43' | 19980413～ 19980717 | | |
| | くぬぎばる 終原 | | | 11" | 39" | | | |
| | くぬぎばるしも 終原下 | | | | | | | |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | | 主な遺構 | | 主な遺物 | | 特記事項 |
| 終原貝塚 | 集落 墓地 貝塚 | 縄文時代後期後半 ～晩期初頭 | | 貝塚 竪穴住居址 土壙墓 | | 獣骨・魚骨・貝殻・炭石・種子 縄文時代後期土器・ 縄文時代晩期土器・ 土製品・石器・石製品・ 軽石製品・貝器・貝製品・ 骨角牙器・骨角牙製品 | | 縄文人骨 |
| | | 古墳時代 | | 掘立柱建物跡・ 溝状遺構 | | 成川式土器 | | |

例言

- 1 本報告書は、垂水市教育委員会が、平成9年度から平成10年度にかけて実施した、県営農免農道整備事業垂水南地区に伴う埋蔵文化財発掘調査についての調査報告書である。ただし、この分については、すでに「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4)終原貝塚」という形で報告書が刊行されているが、多分に概報的な内容であったため、学術的な報告書を作成すべく、今回国庫補助事業により、再度報告書作成事業を実施した。
- 2 本書は、平成16年度に刊行した「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8)終原貝塚」の内容を踏まえており、是非あわせてご覧になっていただきたく、「Ⅱ」と銘打った。
- 3 平成9年度から平成10年度にかけて実施した発掘調査及び報告書作成事業において、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係文化財主事井ノ上秀文氏、鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財研究員大久保浩二氏、文化庁文化財保護記念物課主任文化財調査官岡村道雄氏、鹿児島大学歯学部口腔解剖学講座教授小片丘彦氏、鹿児島大学法文学部教授上村俊雄氏、鹿児島県考古学会会長河口貞徳氏、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係文化財主事児玉健一郎氏、小林園子氏、國學院大学教授小林達雄氏、日本貝類学会会員坂下泰典氏、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係主任文化財主事兼指定文化財係長新東晃一氏、鹿児島大学歯学部口腔解剖学講座助手竹中正巳氏、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係文化財主事堂達秀人氏、鹿児島県立埋蔵文化財センター主任文化財主事兼調査課長戸崎勝洋氏、熊本市立博物館副館長富田紘一氏、垂水市文化財保護審議会会長中島信夫氏、鹿児島大学農学部教授西中川駿氏、鹿児島大学法文学部助教授本田道輝氏、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター主任研究官松井章氏、鹿児島大学歯学部口腔解剖学講座助手助手峰和治氏、福岡市教育委員会文化財課長山崎純男氏、名古屋大学教授渡辺誠氏に指導・助言をいただいた(五十音順に表記)。平成17年度の報告書作成事業に際して、土器について本田道輝氏に、石器について鹿児島県立埋蔵文化財センター主任文化財主事兼第三調査係長牛ノ濱修氏に貴重な指導・助言を賜ったほか、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係主任文化財主事兼埋蔵文化財係長青崎和憲氏、大分市教育委員会教育総務部文化財課参事兼歴史資料館館長木村幾多郎氏、熊本大学文学部教授木下尚子氏、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係長倉元良文氏、文化庁文化財記念物課文化財調査官瀬田宜田住男氏、鹿児島県教育庁文化財課埋蔵文化財係文化財研究員横手浩二郎氏より指導・助言を賜った(五十音順に表記)。また、上記一連の作業中、鹿児島県教育庁文化財課及び鹿児島県立埋蔵文化財センターから貴重な指導・助言を頂いた(文中に登場する役職名等は、全て当時のものである)。
- 4 本書に用いたレベル数は絶対海拔高度である。
- 5 本書の遺物番号は通し番号を用い、図版中の番号も一致する。
- 6 発掘調査ならびに整理作業における出土遺構・遺物の測量・実測・製図・写真撮影等は羽生・宮迫・鶴飼・大迫・梶原・寒川・川島が行い、編集は羽生が行った。ただし、第Ⅲ章第5節石器の項の実測図は、牛ノ濱氏及び寒川氏に賜った。
- 7 本書の執筆担当は以下のとおりである。
第Ⅰ章～第Ⅳ章 羽生文彦
- 8 本遺跡の出土遺物は垂水市教育委員会が保管・展示するものである。



付図 柁原貝塚の位置

本文目次

| | |
|-----------------------|-----|
| 序文 | |
| 報告書抄録 | |
| 付図 | |
| 例言 | |
| 目次 | |
| 第I章 調査の経緯 | 1 |
| 第1節 調査に至るまでの経緯 | 1 |
| 第2節 調査の組織 | 3 |
| 第3節 調査の経過 | 3 |
| 第II章 遺跡の位置と環境 | 4 |
| 第1節 地形概説 | 4 |
| 第2節 地質概説 | 4 |
| 第3節 歴史概説及び周辺の遺跡 | 4 |
| 第III章 調査の概要 | 8 |
| 第1節 発掘調査の概要 | 8 |
| 第2節 順序 | 8 |
| 第3節 縄文時代の遺構 | 12 |
| 1. 貝塚及び貝B | 12 |
| 2. 竪穴住居址 (3号住居址) | 20 |
| 3. 土塚墓 (3号土塚墓, 4号土塚墓) | 23 |
| 4. 溝状遺構 | 25 |
| 5. 土坑 | 25 |
| 6. ピット群 | 28 |
| 7. 獣骨を伴う集石 | 28 |
| 8. 埋葬された可能性のある犬骨 | 30 |
| 第4節 古墳時代の遺構 | 32 |
| 1. 掘立柱建物跡 | 32 |
| 2. 溝状遺構 | 32 |
| 3. ピット | 32 |
| 第5節 出土遺物 | |
| 1. 縄文土器 | 36 |
| 2. 縄文土製品 | 56 |
| 3. 弥生土器 | 57 |
| 4. 古墳時代の土器 | 58 |
| 5. 石器 | 124 |
| 6. 歴史時代の遺物 | 131 |
| 第IV章 まとめ | 153 |
| あとがき | |

挿 図 目 次

付 図 柗原貝塚の位置

第1図 垂水の地質概略図 5

第2図 周辺の遺跡 6

第3図 調査区域とグリッド設定図 9

第4図 土層堆積状況(平成9・10年度分, 北側壁面) 10

第5図 土層堆積状況(平成9・10年度分, 南側壁面) 11

第6図 縄文時代の遺構配置図 13

第7図 貝塚及び貝B分布状況 15

第8図 貝塚上面コンター 15

第9図 貝塚の堆積状況 16

第10図 6, 9, 10 区貝B分布状況 18

第11図 竪穴住居址及び人骨 20

第12図 竪穴住居址検出ピット 21

第13図 3号住居址内出土遺物 22

第14図 土壙墓 24

第15図 溝状遺構 26

第16図 土坑 27

第17図 ピット群 29

第18図 獣骨を伴う集石 30

第19図 古墳時代の遺構配置図 33

第20図 掘立柱建物跡及び皿層上面検出ピット 34

第21図 溝状遺構 35

第22図 柗原貝塚出土土器出土状況グラフ
(型式が特定できたもの, 点数) 62

第23図 柗原貝塚出土土器出土状況グラフ
(型式が特定できたもの, 重量) 62

第24図 柗原貝塚出土土器群別出土状況表(点数) 65

第25図 柗原貝塚出土土器群別出土状況表(重量) 65

第26図 柗原貝塚出土土器(1) 66

第27図 柗原貝塚出土土器(2) 67

第28図 柗原貝塚出土土器(3) 68

第29図 柗原貝塚出土土器(4) 69

第30図 柗原貝塚出土土器(5) 70

第31図 柗原貝塚出土土器(6) 71

第32図 柗原貝塚出土土器(7) 72

第33図 柗原貝塚出土土器(8) 73

第34図 柗原貝塚出土土器(9) 74

第35図 柗原貝塚出土土器(10) 75

第36図 柗原貝塚出土土器(11) 76

第37図 柗原貝塚出土土器(12) 77

第38図 柗原貝塚出土土器(13) 78

第39図 柗原貝塚出土土器(14) 79

第40図 柗原貝塚出土土器(15) 80

第41図 柗原貝塚出土土器(16) 81

第42図 柗原貝塚出土土器(17) 82

第43図 柗原貝塚出土土器(18) 83

第44図 柗原貝塚出土土器(19) 84

第45図 柗原貝塚出土土器(20) 85

第46図 柗原貝塚出土土器(21) 86

第47図 柗原貝塚出土土器(22) 87

第48図 柗原貝塚出土土器(23) 88

第49図 柗原貝塚出土土器(24) 89

第50図 柗原貝塚出土土器(25) 90

第51図 柗原貝塚出土土器(26) 91

第52図 柗原貝塚出土土器(27) 92

第53図 柗原貝塚出土土器(28) 93

第54図 柗原貝塚出土土器(29) 94

第55図 柗原貝塚出土土器(30) 95

第56図 柗原貝塚出土土器(31) 96

第57図 柗原貝塚出土土器(32) 97

第58図 柗原貝塚出土土器(33) 98

第59図 柗原貝塚出土土器(34) 99

第60図 柗原貝塚出土土器(35) 100

第61図 柗原貝塚出土土器(36) 101

第62図 柗原貝塚出土土器(37) 102

第63図 柗原貝塚出土土器(38) 103

第64図 柗原貝塚出土土器(39) 104

第65図 柗原貝塚出土土器(40) 105

第66図 柗原貝塚出土土器(41) 106

第67図 柗原貝塚出土土器(42) 107

第68図 柗原貝塚出土土器(43) 108

第69図 柗原貝塚出土土器(44) 109

第70図 柗原貝塚出土土器(45) 110

第71図 柗原貝塚出土土器(46) 111

第72図 柗原貝塚出土土器製品 112

第73図 柗原貝塚出土土器(47) 113

第74図 柗原貝塚出土石器点数及び
パーセンテージ一覧(グラフ) 135

第75図 柗原貝塚出土石器実測図(1) 136

第76図 柗原貝塚出土石器実測図(2) 137

第77図 柗原貝塚出土石器実測図(3) 138

第78図 柗原貝塚出土石器実測図(4) 139

第79図 予想される遺跡の範囲 154

第80図 予想される当時の海岸線 154

第81図 主要遺構配置図 156

第82図 各期の範囲 156

第83図 柗原貝塚出土炭化種子一覧(グラフ) 160

第84図 柗原貝塚出土炭化種子一覧(グラフ) 160

第85図 想定される柗原貝塚の歴史 165

表 目 次

付 表 報告書抄録

第1表 周辺遺跡地名表 7

第2表 貝層堆積状況観察表 16

第3表 貝塚本体部検出貝類一覧表 17

第4表 6, 9, 10 区貝B 一覧表 19

第5表 竪穴住居址内ピット一覧表 21

第6表 遺構内出土土器観察表 22

第7表 土坑一覧表(縄文時代) 27

第8表 ピット一覧表(縄文時代) 29

第9表 掘立柱建物跡及び皿層上面検出ピット
一覧表 34

第10表 柗原貝塚出土土器一覧表1
(型式が特定できたもの) 60

第11表 柗原貝塚出土土器一覧表2
(型式が特定できたもの, 群別) 61

第12表 柗原貝塚出土土器一覧表3
(型式が特定できなかったもの, 群別) 63

第13表 柗原貝塚出土土器一覧表4(群別) 64

第14表 柗原貝塚出土土器観察表(1) 114

第15表 柗原貝塚出土土器観察表(2) 115

第16表 柗原貝塚出土土器観察表(3) 116

第17表 柗原貝塚出土土器観察表(4) 117

第18表 柗原貝塚出土土器観察表(5) 118

第19表 柗原貝塚出土土器観察表(6) 119

第20表 柗原貝塚出土土器観察表(7) 120

第21表 柗原貝塚出土土器観察表(8) 121

第22表 柗原貝塚出土土器観察表(9) 122

第23表 柗原貝塚出土土器製品観察表(1) 123

第24表 柗原貝塚出土土器製品観察表(2) 123

第25表 柗原貝塚出土土器製品観察表(3) 123

第26表 円盤形土製加工品出土状況一覧表 123

第27表 柗原貝塚出土石器分類一覧表 132

第28表 柗原貝塚出土石器一覧 133

第29表 柗原貝塚石器計測表新旧対応 134

第30表 柗原貝塚出土石器点数及び
パーセンテージ一覧 135

第31表 実測図掲載石器計測表 136

第32表 柗原貝塚遺跡石器計測表(1) 140

第33表 柗原貝塚遺跡石器計測表(2) 141

第34表 柗原貝塚遺跡石器計測表(3) 142

第35表 柗原貝塚遺跡石器計測表(4) 143

第36表 柗原貝塚遺跡石器計測表(5) 144

第37表 柗原貝塚遺跡石器計測表(6) 145

第38表 柗原貝塚遺跡石器計測表(7) 146

第39表 柗原貝塚遺跡石器計測表(8) 147

第40表 柗原貝塚遺跡石器計測表(9) 148

第41表 柗原貝塚遺跡石器計測表(10) 149

第42表 柗原貝塚遺跡石器計測表(11) 150

第43表 柗原貝塚遺跡石器計測表(12) 151

第44表 柗原貝塚遺跡石器計測表(13) 152

第45表 柗原貝塚出土その他の製品一覧 152

第46表 滑石製品計測表 152

第47表 柗原貝塚出土炭化種子一覧表 160

第48表 柗原貝塚出土燧石一覧表 160

図 板 目 次

巻頭図板1

巻頭図板2

巻頭図板3

巻頭図板4

写真1 埋葬された可能性のある犬骨 31

写真2 埋葬された可能性のある犬骨 31

図板1 柗原貝塚出土遺物(1)縄文時代前期中葉~中期中葉の土器, 柗原貝塚出土遺物(2)縄文時代後期前葉の土器 167

図板2 柗原貝塚出土遺物(3)縄文時代後期中葉の土器, 柗原貝塚出土遺物(4)縄文時代後期中葉の土器 168

図板3 柗原貝塚出土遺物(5)縄文時代後期中葉の土器, 柗原貝塚出土遺物(6)縄文時代後期中葉の土器 169

図板4 柗原貝塚出土遺物(7)縄文時代後期中葉の土器, 柗原貝塚出土遺物(8)縄文時代後期後葉~後期末の土器 170

図板5 柗原貝塚出土遺物(9)縄文時代後期末の土器, 柗原貝塚出土遺物(10)縄文時代後期末の土器 171

図板6 柗原貝塚出土遺物(11)縄文時代晩期初頭の土器, 柗原貝塚出土遺物(12)縄文時代晩期前葉の土器 172

図板7 柗原貝塚出土遺物(13)縄文時代晩期の土器, 柗原貝塚出土遺物(14)その他の土器 173

図板8 柗原貝塚出土遺物(15)円盤形土製加工品, 柗原貝塚出土遺物(16)縄文時代最終末期~古墳時代の土器 174

図板9 柗原貝塚出土遺物(17) 175

第I章 調査の経緯

第1節 報告書作成に至るまでの経緯

垂水市柗原柗原下は、古くから「塚」と呼ばれており、畑の耕作中によく貝殻や土器片の出土がみられたという。また、歴史的にも、N・G・マンロー博士が大正3年に、大隅肝属地区のクノギハラ近くで貝塚を発見したとされている。現在でも、遺跡周辺の表土中には、土器片とともに貝殻片が多数散布している地域であり、周知の遺跡として認知されている。

このような歴史的背景をもつ柗原貝塚において、平成7年度に個人住宅の建設に伴う埋蔵文化財確認調査及び報告書作成事業が実施された(1)。垂水市教育委員会が主体となって行ったこの調査では、限られた調査面積と期間にも関わらず、縄文時代晩期の竪穴住居址と人骨を伴う土壙墓がそれぞれ2基ずつ検出され、縄文時代後期から古墳時代にかけての様々な遺物が6,000点以上出土するという大成果が得られた。貝塚こそ確認されなかったが、竪穴住居址・土壙墓といった定住生活の痕跡は、付近に縄文時代の貝塚が存在した可能性を示すもので、今後の研究が大いに期待される調査となった。

その後、平成9年度には、隣接する旧JR大隈線鉄道跡地において農免農道整備事業が計画され、それに伴う発掘調査が垂水市教育委員会により実施された(2)。平成9年6月2日から開始されたこの調査は、当初6ヶ月間で終了する予定であった。しかし、調査中に縄文時代の貝塚が残存していることが判明し、その貝塚が大規模で保存状態も良好であること、予想を上回る膨大な遺物が出土したこと等の理由により、数回の協議を経て、平成10年7月17日まで延長して発掘調査が実施されることになった。

また、貝塚の発掘調査には膨大な時間と経費が必要であること、貝塚が大規模で保存状態が良好であり、学術的に価値が高いこと等から、遺跡の中心である貝塚本体については、発掘調査をあえて実施せず、埋め戻して現状保存を図り、後世に託すという農免農道整備事業としては極めて異例の措置がとられることになった。

発掘調査の結果、縄文時代後期後半から晩期初頭にかけて形成された約380㎡にわたって広がる貝塚と、それに伴う様々な遺構(住居址1基・人骨を伴う土壙墓2基等)、膨大な遺物(獣骨(埋葬された可能性のある犬骨2体を含む)・魚骨・種子・燧石等の自然遺物と、多種多様な縄文土器・獣形や円形の土製品・石器・玉類等の石製品・岩偶を始めとする多様な軽石製品・貝器・貝製品・骨角器・骨角製品等の人工遺物。全遺物の合計はパンケースに換算して約1,000箱。)が出土した。また、古墳時代の掘立柱建物跡や成川式土器も出土した。

この2つの調査を通じて、柗原貝塚の価値・重要性が認識されたが、その後、平成11年1月には学識経験者及び発掘調査関係者による柗原貝塚保存活用検討委員会が開かれ、遺跡の保存及び活用について検討が行われた。その検討委員会において、埋蔵文化財の保護対策を講じるためには遺跡の範囲確認調査が不可欠であるとの指摘がなされた。

以上のような経過を踏まえて、垂水市教育委員会は、国庫補助事業(国宝重要文化財等保存整備費補助金)として、遺跡の範囲確認等を目的とする埋蔵文化財確認調査を、平成12年度から3ヵ

年実施することになった(3)。調査の結果、遺跡の範囲が確定されるとともに、縄文時代後期の住居址1基、人骨、獣骨、縄文土器、石器、岩俣等の軽石製品が出土した。

その後、平成15年1月には、再度保存活用検討委員会を開催し、遺跡の保存及び活用についての検討が行われた。検討委員会において、終原貝塚の形成過程及び集落の解明等に課題が残ることから、平成15年度に補足調査を実施してはどうかとの意見がだされた。このことや終原貝塚の資料性の高さを考慮して、報告書作成事業を開始する前に、鹿児島県教育庁文化財課・鹿児島県立埋蔵文化財センター・垂水市教育委員会社会教育課の3者で遺跡の整理期間について協議を行った。その結果、2ヵ年の期間で補足調査及び報告書作成事業を実施することになった。

その後、平成15年12月、平成16年11月にも保存活用検討委員会が開催されており、委員会での指導・助言を踏まえた上で、平成16年3月まで、報告書作成に努めた。

平成9・10年度の調査分については、報告書が刊行されているも、遺物量と整理期間の問題から、内容が多分に概報的なものであった。しかし、今後遺跡の保存活用を努めていく上で、終原貝塚の内包する情報、極めて資料性の高い出土遺物、平成9・10年度調査分が遺跡の中心部分であること等を考慮すると、すでに刊行した報告書のみでは不十分なものであると考えられる。そこで、平成17年度に、平成9・10年度調査分の報告書を、国庫補助事業により改めて作成することになった。

報告書作成事業は平成17年5月に開始し、平成18年3月まで実施した。

(1) 垂水市教育委員会は、平成5年12月に垂水市終原終原下地区の周知の遺跡である終原遺跡群内に個人住宅の建設を知り、鹿児島県教育庁文化財課の指導を受け、市内在住の地権者の代理人と、文化財保護と住宅建設の調整を図るため協議を行った。その結果、埋蔵文化財に対する深い理解をいただき、事業対象地域内において埋蔵文化財確認調査(以下確認調査)を実施することになった。

確認調査は垂水市教育委員会が主体者となり、鹿児島県立埋蔵文化財センター(以下、県埋文センター)の協力を得て実施した。発掘調査面積は約95㎡で、平成7年6月19日から7月21日にかけて実施された。以後平成8年3月まで報告書作成を実施した。

(2) 鹿児島県農政部農地整備課(以下、県農政部)は、垂水南地区において農免農道整備事業を計画し、鹿児島県教育庁文化財課(以下、県文化財課)に事業対象地区の埋蔵文化財の包蔵地照会を行った。これを受けて、鹿児島県立埋蔵文化財センターが平成3年に埋蔵文化財分布調査を行ったところ、事業対象区は遺物散布地として確認された。その結果をもとに、県文化財課・垂水市教育委員会・県農政部・垂水市耕地課の4者で協議したところ、埋蔵文化財保護と事業の調整を行うために、埋蔵文化財確認調査を平成7年に実施することになった。その結果、約2,300㎡が遺跡の包蔵地として確認された。この結果を受けて再度協議を行った結果、設計変更が不可能である約2,300㎡について全面発掘調査を平成9年度に実施することになった。

平成9年度の調査は、平成9年6月2日から平成10年3月27日にかけて実施した。平成10年度の調査は、平成10年4月13日から平成10年7月17日にかけて実施した。以後、平成11年3月まで整理作業を実施した。

(3) 平成12年度の調査は、6月29日から7月28日まで、約60㎡を対象に実施した。平成13年度の調査は、6月27日から7月26日まで、約63㎡を対象に実施した。平成14年度の調査は、

6月19日から7月15日まで、約79㎡を対象に実施した。以後、平成17年3月まで報告書作成事業が実施された。

第2節 調査の組織

平成9・10年度の調査の組織については、平成10年度刊行の報告書に詳しい。そのため、今回の報告書では割愛し、整理作業における組織のみ記載する。

平成17年度報告書作成事業

| | |
|-------|---------------|
| 作成主体者 | 垂水市教育委員会 |
| 作成責任者 | 教育長 川井田 稔 |
| 作成企画 | 社会教育課長 今井文弘 |
| 作成事務 | 社会教育課主幹 大坪政次 |
| | 文化係長 水口光則 |
| 作成担当者 | 文化係文化財主事 羽生文彦 |

平成17年度整理作業員

池田柳子・枝元茂子・大迫秀子・小出光子・寒川朋枝・寺迫美里・西尾衣久美・栢山 栄

第3節 調査の経過

平成9・10年度の調査の経過については、平成10年度刊行の報告書に詳しい。そのため、今回の報告書では割愛する。

平成17年度の報告書作成事業は、平成17年5月6日から平成18年3月まで実施した。

[参考文献]

今村敏照・鶴飼一伸.1996.「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(1)終原貝塚」垂水市教育委員会
鶴飼一伸・羽生文彦(編)1999.「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4)終原貝塚」垂水市教育委員会
羽生文彦・宮迫佑治(編)2005.「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8)終原貝塚」垂水市教育委員会



平成10年7月現地説明会にて

第II章 遺跡の位置と環境

第1節 地形概説

終原貝塚は、垂水市街地の南東約5kmの地点(北緯31°27'11"、東経130°43'39")に位置する。背後に上野台地を控え、眼前に鹿児島湾を望むという立地である。

垂水市の地形は、大きく3地域に分けることができる。東方の高隈山地を中心とする山地、その麓から鹿児島湾近くまで緩傾斜をなして広がるいわゆるシラス台地、そして台地間や海岸線にある沖積平野の3つである。シラス台地は、高隈山地と接する部分は海拔約200mであるが、西方ほど次第に低くなり、市街地付近では高さ10数mの断崖を連ね海岸に望んでいる。

遺跡の位置するところは、台地間に扇状地状にのびる沖積平野が海岸線に出会う手前であり、標高約10m前後の微高地である。

遺跡が存在する終原は、一年を通じて気候が温暖で、遺跡の周辺は垂水市でも有数の耕作地として利用されている。

第2節 地質概説

先述の第1節で分けた山地帯は、白亜系の四万十層群の高隈山帯(橋本, 1926)に相当し、砂岩頁岩互層の高隈山層(太田・河内, 1965)と牛根層(小川内・岩松, 1986)の一部が第3紀中新生後期(14Ma)の高隈山花崗岩(柴田, 1978)の貫入に伴い接触熱変成作用を受けホルンフェルス化している。

その山地から、浸食・運搬・堆積作用を受け扇状地状の垂水砂礫層を形成し、その上に旧期ローム層、大隅降下軽石層・妻屋火砕流堆積物・亀割坂角礫層・入戸火砕流堆積物・新期ローム層及びそれらの二次堆積物からなる、いわゆるシラス台地を構成している。

沖積層は砂や粘土、小石からなる。

第3節 歴史概説及び周辺の遺跡

第1節で述べたように、遺跡が立地する終原は、眼前に錦江湾を望み、一年を通じて温暖な地域である。このような終原においては、古くから農業・漁業が盛んであり、太古の時代においても人々のよき住みかとして活用されてきたことであろう。

実際、遺跡の周辺は、第2図及び第1表にみられるように縄文～中世の遺跡が多数存在していることが古くから知られていた。例えば、縄文時代から古墳時代にかけての多様な石器・土器類が出土する終原遺跡(五反畑)を始めとして、後ヶ迫、市ノ園後、横道、山神比良、山ノ園、楠比良等様々な遺跡が市之園から下にかけて存在し、周辺一帯は終原遺跡群として知られており、遺跡の周辺において原始時代から多くの人々が生活を営んでいたことが伺われる。このような終原遺跡群においては、大正3年のN.G. マンロー博士の調査を皮切りに、多くの研究がなされており、多数の研究書が刊行されている。終原貝塚が存在する終原下は、古くから「塚」と呼ばれ、畑の耕作中によく貝殻や土器片の出土がみられたという。現在でも、遺跡周辺の表土中には、土器片とともに貝殻片が多数散布している地域であり、周知の遺跡として認知されている。

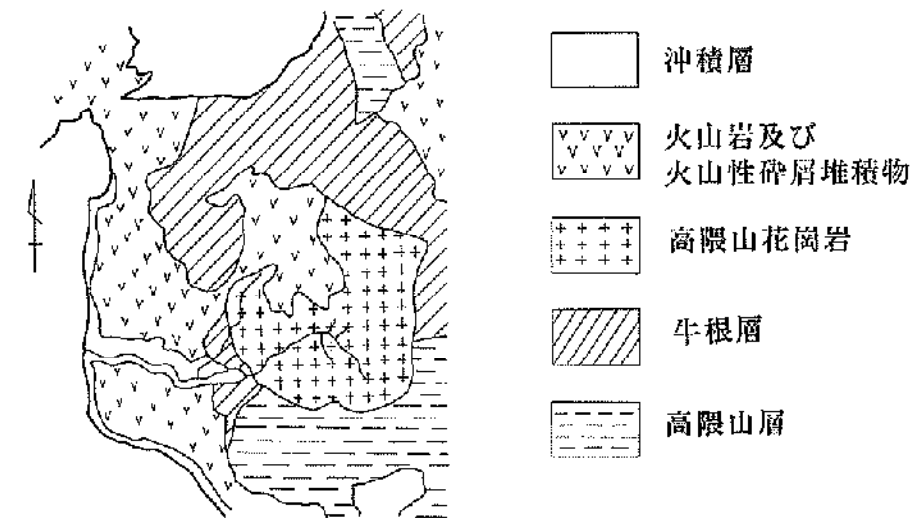
その後、中世に於いては、肝付氏や肥後氏、伊地知氏等多くの豪族の支配を受けていた。近代に於いては、垂水島津氏の知行地となり、終原村として庄屋を中心に治安、貢納に努めてきた。現在

も小城、城ヶ峯、陣屋下、塚跡、庄屋跡などの地名(俗称)が残っている。

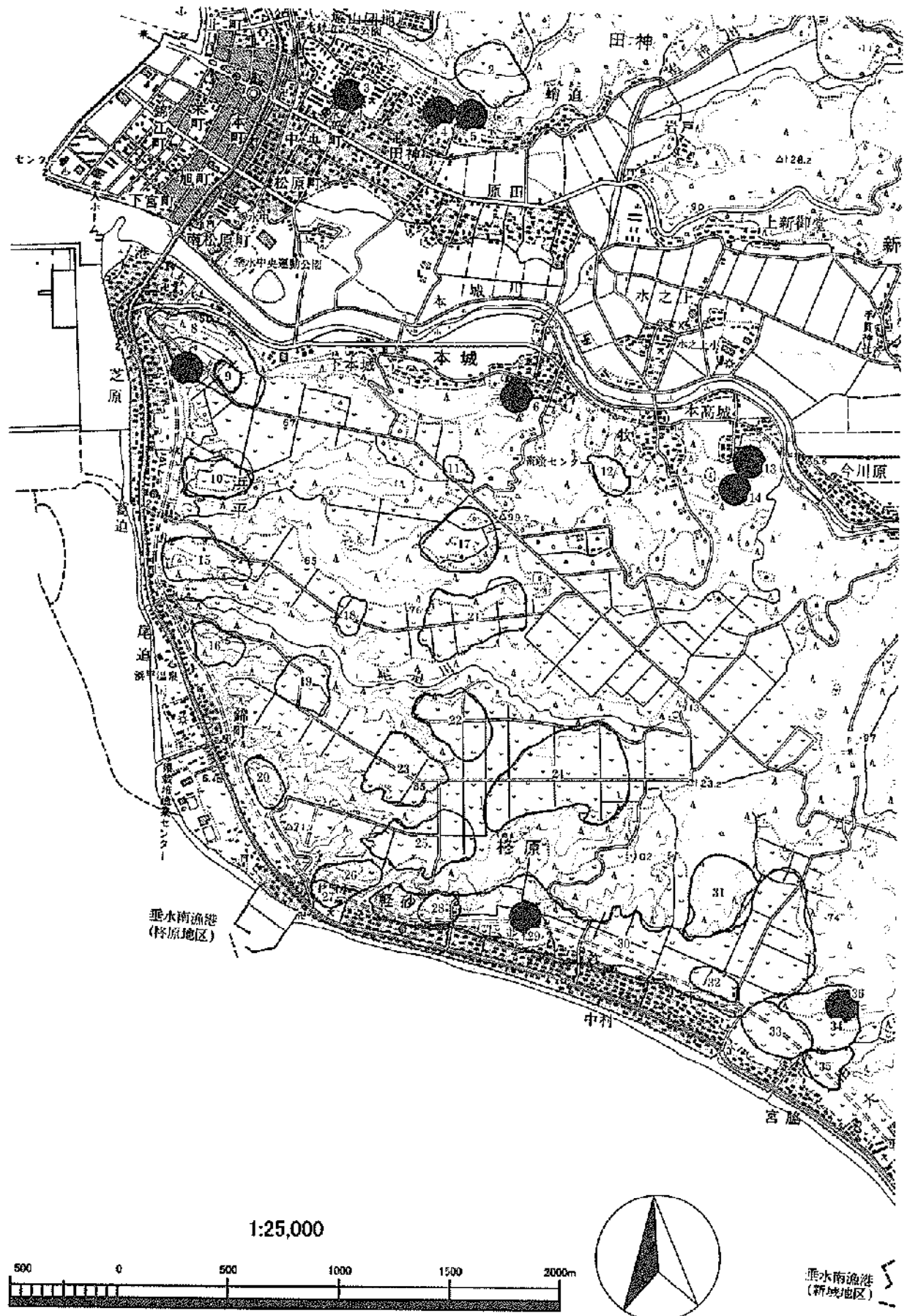
近現代においては、戦時中の海軍の施設工事や、旧JR大隈線の開通工事、終原小学校敷設プール、織物工場建設工事等において、土器・石器等が出土したことが伝えられている。

[参考文献]

- 太田良平 1954 「5万分の1地質図幅『垂水』および同説明書」 地質調査所
 橋本 勇 1962 「九州南部における時代未詳層群の総括」(『九大教養地学研報 9 13-69』)
 小川内良人ほか 1986 「大隅半島四万十帯の地質構造」(『鹿大理学部紀要(地学・生物学) 19』)
 柴田 賢 1978 「西日本外帯における第三紀花崗岩貫入の同時性」(『地調月報 29 551-554』)
 KOBAYASHI et al 「Thickness and Grain-size Distribution of the Osumi pumice Fall Deposit from the Aira Caldera」(『Bull. Volcanol. Soc. Japan. 28 2 129-139』 1983)
 荒巻 重雄 1983 「始良カルデラと入戸火砕流」(『月刊 地球 Vol. 5 2』)
 山崎五十磨 1929 「鹿児島県史跡、名勝、天然記念物調査報告書第二輯(史蹟の部)」 鹿児島県
 宮原景敏 1955 「垂水町弥生期文化」『大隅第二号』 大隅史談会
 1964 「鹿児島県遺跡地名表(鹿児島県文化財調査報告書第十一集別冊)」 鹿児島県教育委員会
 1974 垂水市教育委員会 「垂水市史 上巻」
 片沢長介 1977 マンローがケンブリッジ大学に寄贈した資料その他について」『考古学研究 第24巻 第3・4号』
 立神吹郎・中村耕治 1977 「垂水市終原遺跡群(後ヶ迫地区)」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(9) 大隅地区埋蔵文化財分布調査概報』鹿児島県教育委員会
 立神吹郎・中村耕治 1983 「垂水市終原遺跡群(後ヶ迫地区)」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(29) 昭和五十八年度大隅地区埋蔵文化財分布調査概報』鹿児島県教育委員会
 1994 垂水市教育委員会 「垂水市史料集(十一) 終原編」
 今村敏照・鶴飼一伸 1996 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(1) 終原貝塚」垂水市教育委員会
 鶴飼一伸・羽生文彦 1999 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 終原貝塚」垂水市教育委員会
 羽生文彦・宮迫佑治 2005 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 終原貝塚」垂水市教育委員会



第1図 垂水の地質概略図



第2図 周辺の遺跡

第1表 周辺遺跡地名表

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 種類 | 現状 | 時代 | 地形 | 遺物等 | 備考 |
|----|----------------|-----------|-----|---------|------------------------|----|--|---|
| 1 | 林之城跡 | 田神後馬場 | 城跡跡 | | 中世 | 台地 | | 山城・平城 |
| 2 | 井ノ木 | 市木末木 | 散布地 | | 中世 | 台地 | 土師器 | |
| 3 | 林城跡 | 田神後馬場 | 城跡跡 | 垂水小学校敷地 | 近世(寛政16年) | 台地 | | |
| 4 | 垂水島津家墓地 | 田神後馬場心翁寺跡 | 寺社跡 | | 近世 | 低地 | 領主夫妻の墓塔は宝篋印塔・層塔・供養塔・石燈籠・石燈籠等種類が多い | 「垂水市史」, 島津家菩提寺 |
| 5 | 田神の頭敷遺中務少輔頼賢の墓 | 田神後馬場心翁寺跡 | 寺社跡 | 墓池 | 近世 | 低地 | | 「垂水市史」 |
| 6 | 本城跡 | 本城城跡下 | 城跡跡 | | 弥生 | 低地 | 弥生土器 | 「垂水市史」 |
| 7 | 水迫 | 浜平水迫 | 散布地 | | 弥生 | 低地 | 弥生土器 | 「垂水市史」 |
| 8 | シオンモイ | 浜平シオンモイ | 城跡跡 | | 弥生・中世 | 台地 | 弥生土器 | 「垂水市史」, H8確認調査 |
| 9 | 水道頭 | 浜平 | 散布地 | | 古墳 | 低地 | | H6農政分布調査 |
| 10 | 浜平 | 浜平 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | |
| 11 | 寺ノ平 | 上本城 | 散布地 | | 古墳, 平安 | 低地 | | H3農政分布調査, H8確認調査 |
| 12 | 本城跡 | 本城上本城 | 城跡跡 | 山林 | 中世(室町・安土桃山) | 台地 | | 「垂水市史」, 別称「下の城」 |
| 13 | 高城跡 | 高城小学校 | 城跡跡 | | 中世(鎌倉・南北朝・室町・安土桃山) | 台地 | | 「垂水市史」 |
| 14 | 高城跡 | 高城町本高城城跡 | 城跡跡 | | 弥生 | 台地 | 弥生土器 | 「垂水市史」 |
| 15 | 尾道城跡 | 浜平尾道 | 城跡跡 | 畑地 | 中世(室町・安土桃山) | 台地 | | 「垂水市史」 |
| 16 | 尾道城跡 | 浜平尾道 | 城跡跡 | 畑地 | 中世(室町・安土桃山) | 台地 | | 「垂水市史」 |
| 17 | 寺崎 | 上本城 | 散布地 | | 古墳 | 低地 | | H3農政分布調査, H9確認調査 |
| 18 | 道頭 | 浜平 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H3農政分布調査, H9確認調査 |
| 19 | 高尾 | 浜平 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H7農政分布調査 |
| 20 | 西ヶ道 | 新生 | 散布地 | | 古墳 | 低地 | 成川式 | H6農政分布調査, H7確認調査, H8本調査(遺物包含層は確認されなかった) |
| 21 | 平谷 | 浜平 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H3農政分布調査, H9確認調査 |
| 22 | 小堤内 | 終原 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H7農政分布調査 |
| 23 | 一本松後 | 終原 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H7農政分布調査 |
| 24 | 餅ヶ崎 | 終原 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H7農政分布調査 |
| 25 | 大迫 | 終原 | 散布地 | | 古墳 | 台地 | 成川式 | H7農政分布調査 |
| 26 | 後原 | 後原西宮五反地一戸 | 散布地 | 畑地 | 縄文, 弥生 | 低地 | 縄文土器・阿高式・岩崎式・指筒式・市来式・石斧・石錘・土師器・羽土器・弥生土器・須恵器 | 「垂水市史」 |
| 27 | 後ヶ道A | 長原小学校 | 散布地 | 長原小学校 | 古墳, 奈良, 平安 | 低地 | 成川式・土師器・須恵器・青磁・白磁 | H8分布調査(誤), H7確認調査, H9本調査 |
| 28 | 終砂 | 終原砂 | 散布地 | | 弥生 | 低地 | 弥生土器 | 「垂水市史」 |
| 29 | 相良リンコウの塚と石塔残欠 | 終原砂 | その他 | | 近世 | 低地 | 相良郡相良リンコウ, (リンコウ他人) 別名, 相良五郎の墓 | 「垂水市史」 |
| 30 | 後原道跡部 | 終原 | 貝塚 | | 縄文, 古墳 | 低地 | 貝塚 | |
| 31 | 古城跡 | 終原市の園 | 城跡跡 | 山林 | 中世 | 台地 | | |
| 32 | 後原貝塚 | 後原城跡下 | 貝塚 | | 縄文, 古墳 | 低地 | 貝塚・人骨・鹿骨・魚骨・貝子・炭石・管石製品(岩罫)・指筒式・市来式・御簀式・三方罫式・拵罫式・土加罫罫式・入形式等・石器・貝器・骨角器・成川式 | 後原道跡部内, H7確認調査, H9-10本調査, H2-14確認調査 |
| 33 | 宮ノ前 | 新坂宮前 | 散布地 | | 縄(前・晩), 弥生, 古墳, 奈良, 平安 | 低地 | 縄文土器, 弥生土器, 成川式, 陶磁器 | H11, 12本調査 |
| 34 | 前畑 | 新坂宮前 | 散布地 | | 縄(晩), 古墳, 奈良, 平安 | 低地 | 罫罫式・成川式・土師器・須恵器 | H8確認調査 |
| 35 | 取田 | 新坂取田 | 散布地 | | 縄(前・晩), 弥生, 古墳 | 低地 | 罫罫式, 深浦式, 山ノ口式, 成川式 | H5, 7確認調査, H1本調査 |
| 36 | 白石城跡 | 新坂宮前 | 城跡跡 | 山林 | 中世(室町・安土桃山) | 台地 | | 「垂水市史」 |

第三章 調査の概要

第1節 発掘調査の概要

平成9・10年度の調査で出土した遺物のうち、石製品、軽石製品、貝器、貝製品、骨角牙器、骨角牙製品については、平成10年度及び16年度に刊行された報告書に詳細を報告した(1, 2)。そのため、今回の報告書では、主に遺構及び土器、土製品、石器を中心に報告することにする。

第1章で述べたように、椋原貝塚においては、平成7年度に個人住宅建設に伴う確認調査(3)が、平成9・10年度には農免農道整備事業に伴う発掘調査が、平成12～14年度には範囲確認等を目的とした確認調査が実施されている(第3図)。

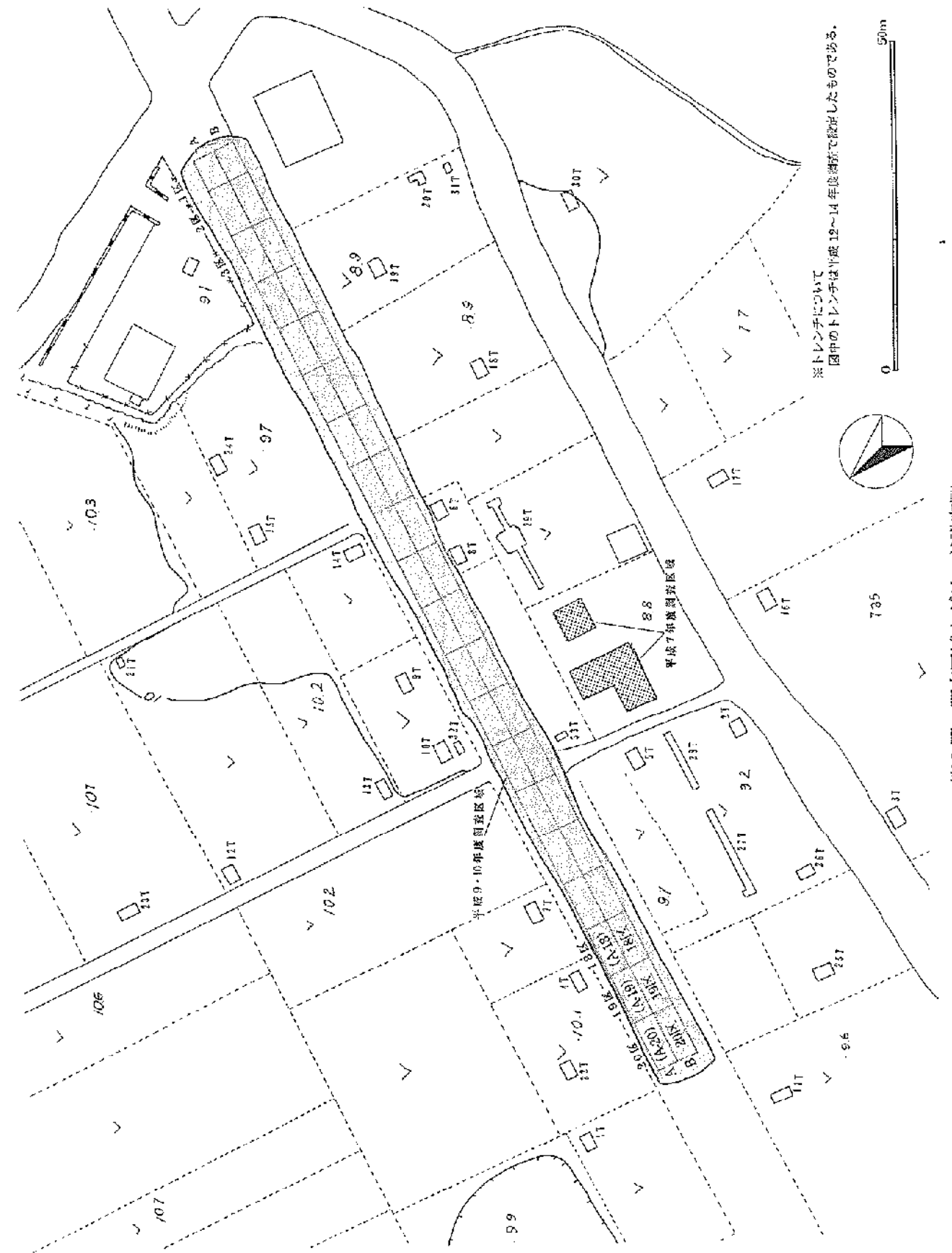
平成9・10年度の調査では、調査象区の中央を東西方向に走る線を一本設定し、その線より北側をA区、南側をB区とし、事業対象区の東方から8mおきにA区・B区共に20区ずつの調査区を任意に設定し(1調査区の面積は8m×4m=約32㎡)、発掘調査を行った。ただし、遺跡の中心たる貝塚部(11～16区)については、必要最小限の確認調査を一部で実施したのみで、現状保存して埋め戻した。調査は、貝塚の東方の1～10区から始めて、次に貝塚の西方の17～20区を行い、最後に貝塚部の確認調査を実施した。

遺跡の端部にあたる1～3区及び20区からは、遺物の出土は殆ど見られなかった。1～3区については、遺跡の端部という要因の他に、遺跡の東部に存在が想定される小さな河川に隣接していたという地理的要因も、遺物量が少ない原因と考えられる。また、貝塚本体部(11～16区)についても、調査を一部でしか実施していないため、遺物量は少ない。しかし、他の区域からは膨大な量の遺物が出土し、まさに「足の踏み場もない」状況であった。そのため、それらを除く4～10区、17～19区から出土した遺物については、主要なもののみ平板・レベルを使用して記録し、他のものはグリッドごと一括して取り上げる方法を採用した。

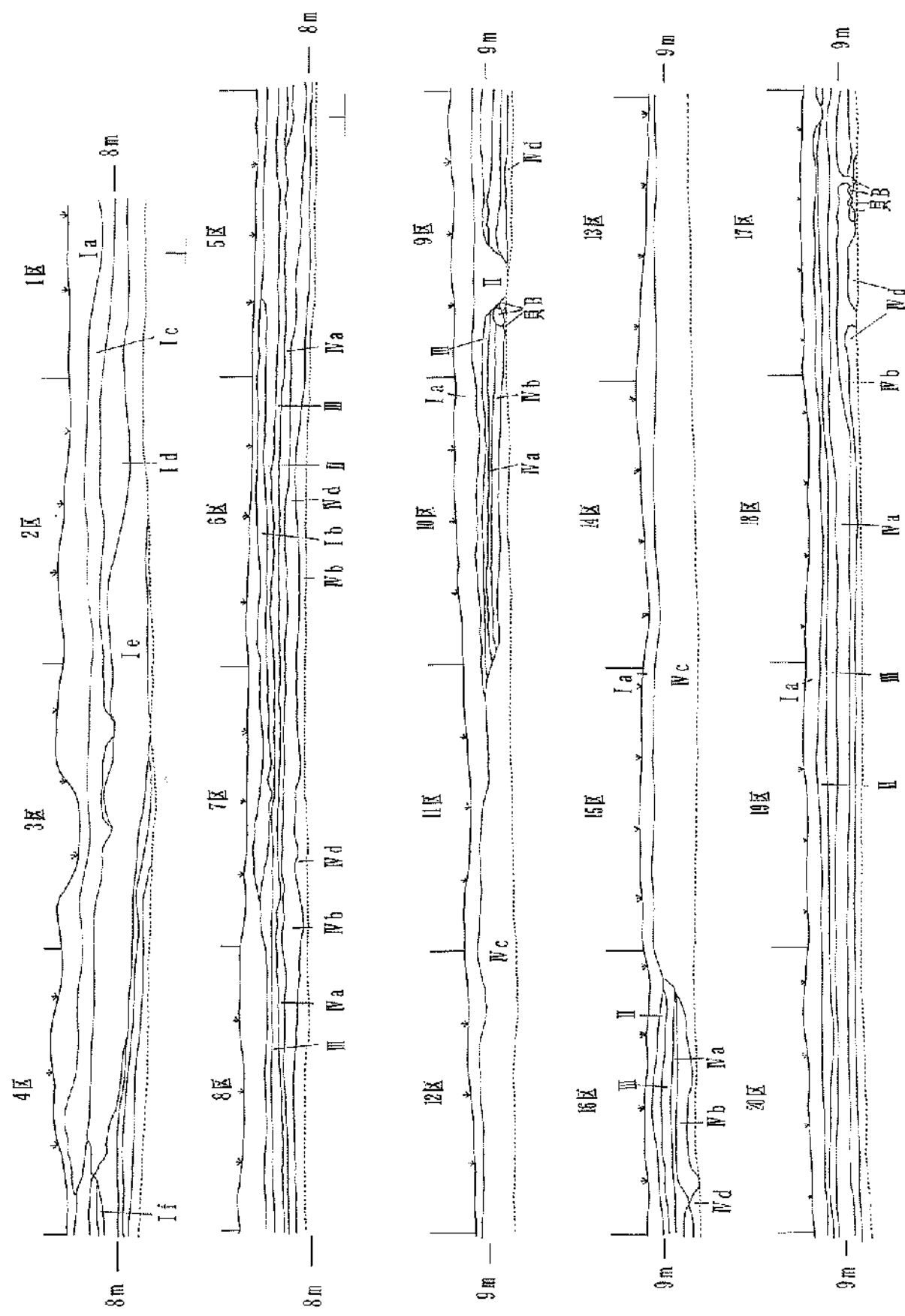
第2節 層序

椋原貝塚の地層は、場所によって様々な堆積状況を呈しており、一貫した様相は呈していない。しかし、それらの地層を時間的に並べて模式的に表すと、以下のようになる。

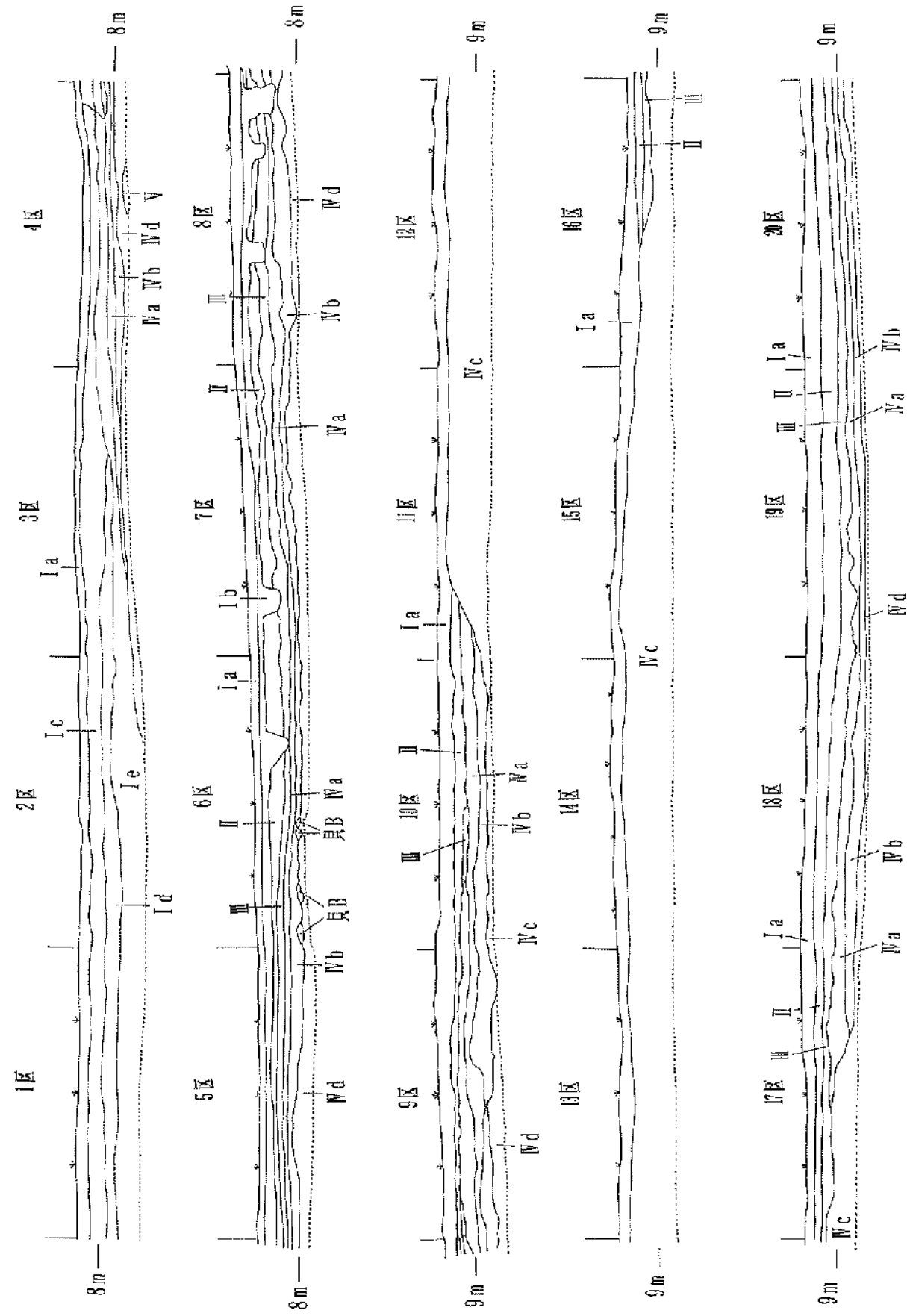
| | | |
|-------|-------|-------------------------|
| I a層 | 表土 | 土器片・貝殻片の散布。 |
| I b層 | 表土 | 現耕作土。 |
| I c～ | | 灰褐色粗砂層を基準とし、砂利・小石等を含む層。 |
| I f層 | | 堆積は一部に限られる。 |
| II層 | 黒色土 | 古墳時代の遺物包含層。 |
| III層 | 黄褐色土 | シラスの2次堆積層と思われる。 |
| IV a層 | 黒色土 | 縄文時代晩期の遺物包含層。 |
| IV b層 | 暗褐色土 | 縄文時代後期後半～晩期初頭の遺物包含層。 |
| IV c層 | 貝層 | 縄文時代後期中頃～後半の遺物包含層。 |
| IV d層 | 褐色土 | 縄文時代後期中頃の遺物包含層。 |
| V層 | 暗灰褐色土 | |



第3図 調査区域とグリッド設定図



第4图 土層堆積状況 (平成9・10年度分, 北側壁面)



第5图 土層堆積状況 (平成9・10年度分, 南側壁面)

第3節 縄文時代の遺構

縄文時代の所産と考えられる遺構としては、遺跡の中央部に残存する大規模な貝塚1基、少量の廃棄からなるブロック状の貝のまとまり（以下貝Bと呼称）76基、竪穴住居址1基、人骨を伴う土壙墓2基、溝状遺構4基、土坑（最大径が60cm以上で、底が平坦に近いものを土坑とする）5基、ピット17基、獣骨を伴う集石1基などが検出された。終原貝塚からは、縄文時代前期中葉から縄文時代最終末期にわたる遺物が出土しており、前述した遺構も様々な時期差のものがある。それぞれの時期については、各々説明したい。また、B-10区からは、埋葬された可能性のある犬骨が2体分出土している。

1. 貝塚及び貝B

遺跡の中央部には、貝塚が残存していた（第6～8図）。貝塚は大規模でかつ保存状態も良好であったため、平成9・10年度の調査では、一部確認調査を行ったのみで（第7図）、現状保存して埋め戻すという処置が採られた。具体的には、貝塚の層位を確認する目的で設定したトレンチと、11区の一部である。貝塚の層位を確認するトレンチは、南北方向へ2m×8mのトレンチを2本（12区及び13区に設定、横断トレンチと呼称）、東西方向へ1m×40mのトレンチを1本（12～17区に跨って設定、縦断トレンチと呼称）設定した。11区の一部については、当初縦断トレンチを貝塚中央部に設定する予定で、11区より調査を開始したところ、貝層下部より人骨の一部（4号土壙墓）が検出されたため、トレンチを拡張した（第7図破線で示した範囲、面積約7.8㎡）。

過去の調査の結果より、以下のことが想定されている（1, 2）。

①面積

調査で確認した貝塚の残存面積は約380㎡であったが、推定面積は約930㎡に及ぶと考えられる。また、貝塚の最厚部の厚さは約1.1mであったが、これは、旧JR大隅線により削平されているもので、貝塚が形成された当時は約4～5mの高さはあったものと考えられる。

②貝塚の傾斜及び形態

貝塚は南方から北方へ約20°傾斜しており（第9図）、この傾斜は貝塚全体を通じて見られる。尤も、この傾斜は貝層の上下を通じて一貫したのではなく、貝層下層部ではほぼ平坦な堆積状況を呈し、貝塚の初現については、平坦な地形に積み上げるように形成されたと考えられる。貝塚形成以前、遺跡周辺の地形はほぼ平坦と考えられるが、このこととあわせて、終原貝塚は平坦な地形上に積み上げるように形成されたと想定される。

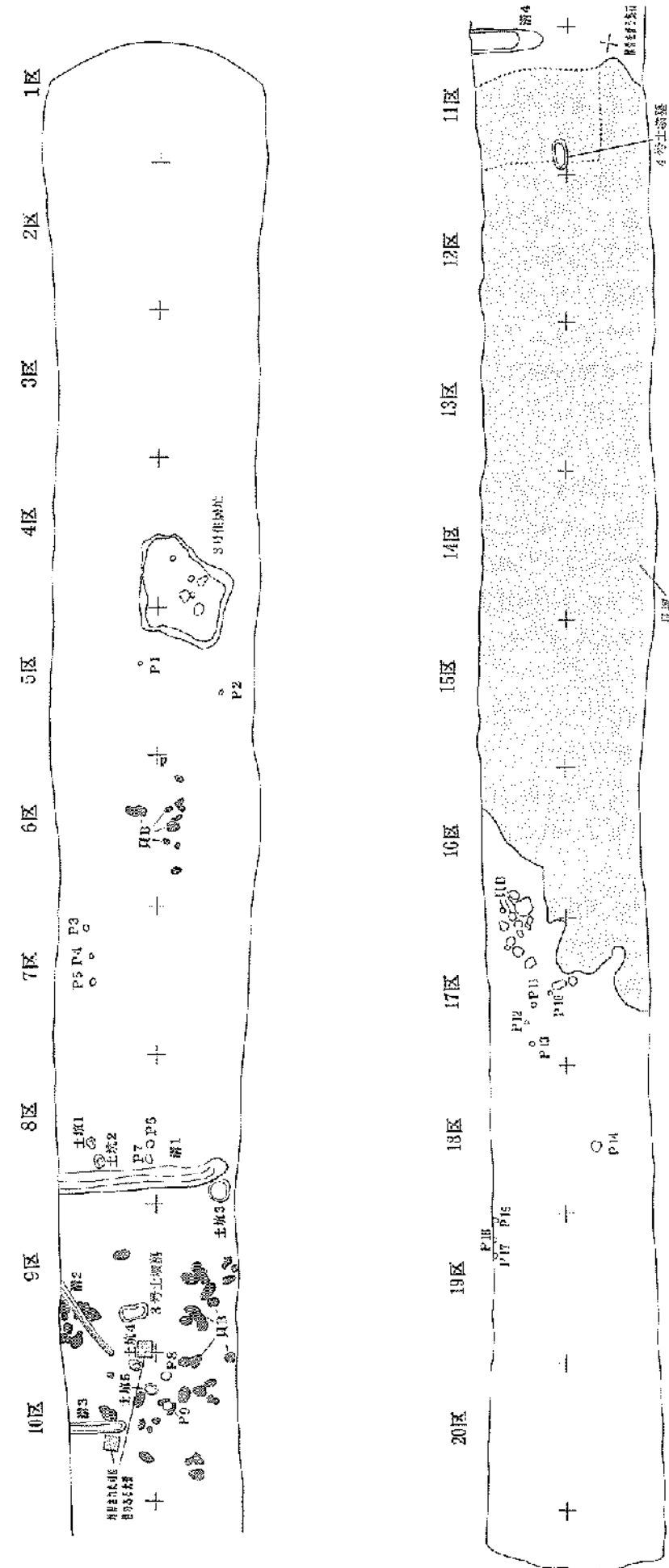
東西方向では、端部に傾斜がみられるものの、ほぼ平坦に堆積している（第9図）

③貝塚の時期

貝塚中からは、市来式系統の土器及び磨消縄文系の土器が確認されている。これらは胴部片が多く、詳細が不明なものが多いが、出土状況や他遺跡との比較から、市来式（及びそれに伴う鐘崎式）、草野式・丸尾式（及びそれに伴う北久根山式、納曾式、辛川式）が貝塚に伴う土器と考えられる。

④貝塚を構成する貝種

終原貝塚からは約94種に及ぶ貝類遺体が確認されているが、主要なものはモクハチアオイガイ、マガキガイ、バイガイ、アマオブネガイ等7種である。調査で取り上げた貝類を水洗し、乾燥重量を計測したものが第3表及び第4表であるが、それによると、貝塚本体部で検出したもののうち、



第6図 縄文時代の遺構配置図

前述した7種の占める割合は96%に達する(貝Bでは約94%)。つまり、終原人たちが採取した貝類は極めて選択性が高かったと言えよう。このうち、食用貝としてはマガキガイが多く、貝塚本体検出分中約23%を占める。また、モクハチアオイガイとアコヤガイについては、食用以外の目的で搬入した可能性もある。最も多く出土したモクハチアオイガイ(貝塚本体検出分中約56%)については、破損したものが多く見られることから、死貝を搬入した可能性が示唆されており、また、アコヤガイについては終原貝塚が何らかの加工場の側面を有していた可能性も考えられる。また、出土した海産微小貝類遺体の分析から、製塩活動及び海藻利用については否定される。

なお、調査で取り上げた貝類の中にはアコヤガイも多数含まれていたが、脆く破片になっていたため、水洗の段階で大半を流失してしまい、殆ど計測できなかったことをお断りしておく。

⑤ 貝塚周辺での生活サイクル

貝層中にアコヤガイ層-魚骨層-モクハチアオイ層のサイクルが見られることから、貝塚周辺における集団の1年間の活動サイクルが想定されている。終原人は初夏ごろ貝塚周辺での活動を開始し、数日続く大潮期にアコヤガイの大量採取を行う(その他の活動は低調)。その後、外洋性表層魚類の捕獲を行い(その他の活動は低調)、それ以降マガキガイを中心とした貝類の採集が行われる(製品の製作等その他の活動も活発化する)。そして、冬前には貝塚周辺を離れたと考えられる(通年の定住集落の否定)。

⑥ 周辺の環境

当時の終原貝塚周辺の地形については、暖流の強い影響下にあった鹿児島湾を眼前に望む(当時の海岸線は標高約5m付近)、起伏の少ない平坦な台地上に立地し(標高約8m)、東方には小さな河川が流れ、大木を含む若干の植生の存在があったと想定される。また、眼前の鹿児島湾の海岸は、岩礁・転石等が散在する砂浜で、当時の海岸は遠浅で水温もいくらかの差異があったと想定される。

⑦ 貝塚の機能

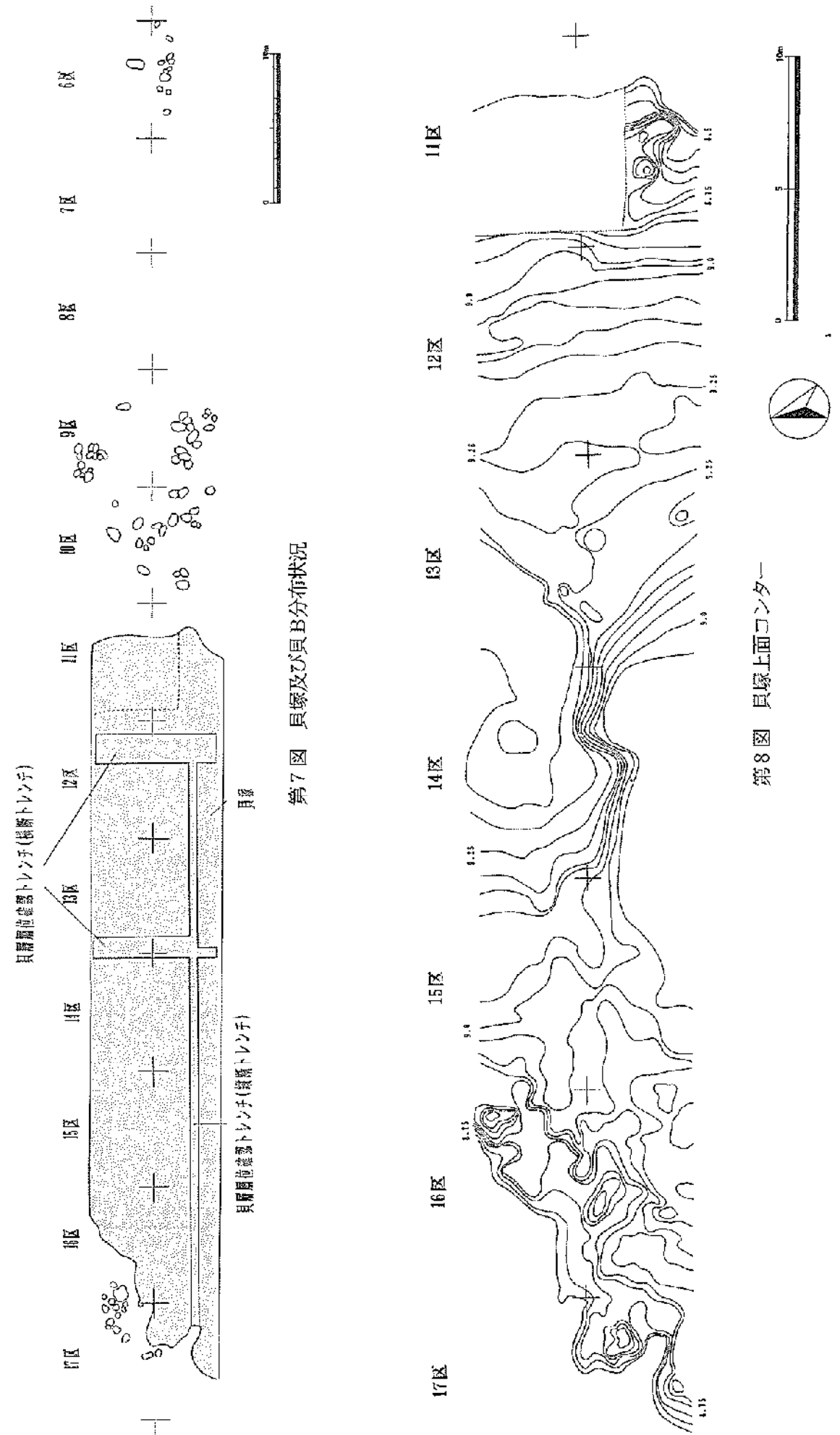
貝層中からは、貝類遺体・動物遺体・魚類遺体・種子等の食料廃棄物が大量に出土し、また、土器・石器等道具類の出土も大量に見られる。このことから、終原貝塚の第一義的機能として、食料廃棄及び道具類の廃棄があげられる。

また、貝塚の最下部より出土した埋葬人骨や埋葬された可能性のある犬骨の存在(「もの送りの場」の可能性)、岩偶をはじめとする大量の軽石製品や土製品・石製品等いわゆる「いわゆる第二の道具」の出土から、終原貝塚が多分に祭祀的機能も併せ持つ貝塚であったことが想定される。

⑧ 貝B

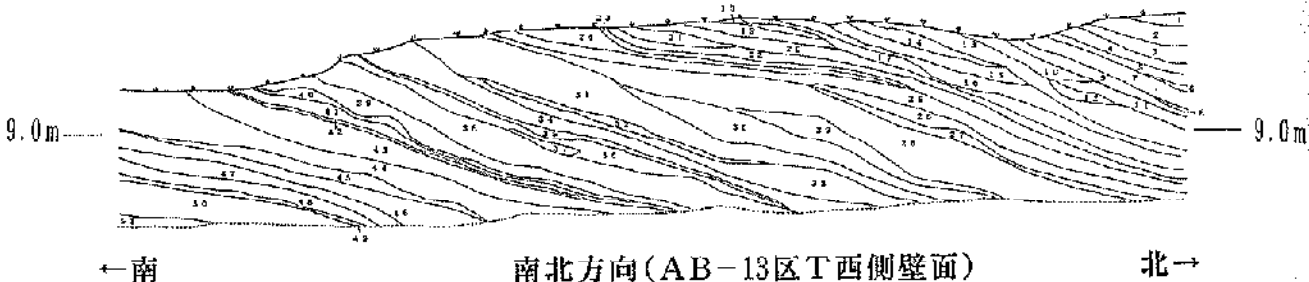
貝塚の周囲には、貝Bが76基残存していた(第7、10図:6区に12基、9・10区に49基、16・17区に15基残存)。これは、少量の廃棄からなるもので、その規模は様々なものがある。6、9、10区のものについては、ブロックごとに取り上げた。それぞれの分布は第9図に、水洗後の重量一覧は第4表に記した。16・17区については、埋め戻して現状保存を図ったため、未計測である。

貝Bを構成する貝種は、貝塚本体と同様主要7種で約94%を占める。しかし、構成割合に変化が見られる。貝塚本体部と比して、食用種では最優占種であるマガキガイが約39%と最多の割合で(貝塚本体部は約23%)、貝塚本体部で最多の割合を占めたモクハチアオイガイよりも高い割合で出土している。中にはマガキガイが90%以上占めるものもあり、貝塚本体のように多義的なものというよりは、単純に食料廃棄の結果形成された可能性が高いと考えられる。



第7図 貝塚及び貝B分布状況

第8図 貝塚上面コンター

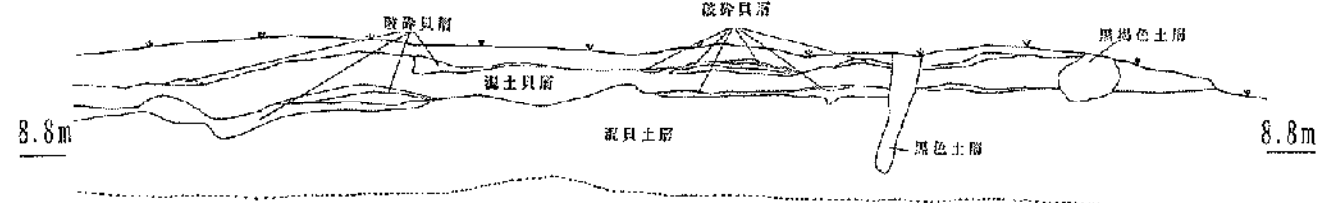


南北方向 (AB-13区T西側壁面) 北→

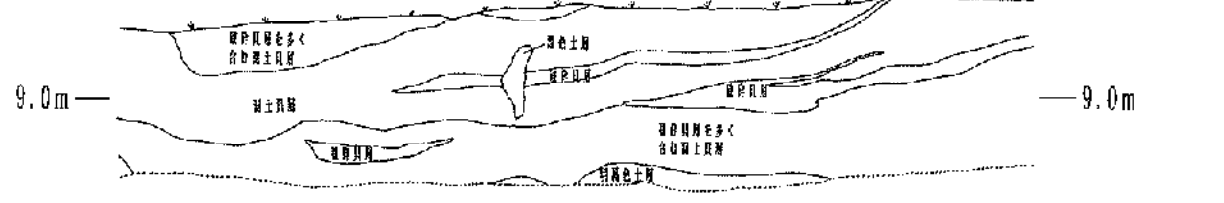
第2表 貝層堆積状況観察表

| 層No. | 層相 | 土色 | 層No. | 層相 | 土色 | 層No. | 層相 | 土色 | 層No. | 層相 | 土色 |
|------|------|-----|------|------|--------|------|------|-----|------|------|--------|
| 1 | 混土貝層 | 褐 | 12 | 混土貝層 | 黒褐色 | 23 | 混土貝層 | 褐 | 34 | 混土貝層 | 褐 |
| 2 | 混土貝層 | 黒褐色 | 13 | 混土貝層 | 黒褐色 | 24 | 混土貝層 | 褐 | 35 | 被砕貝層 | 灰褐色 |
| 3 | 混土貝層 | 暗褐色 | 14 | 混土貝層 | に多い黄褐色 | 25 | 混土貝層 | 黒褐色 | 36 | 混土貝層 | 黒褐色 |
| 4 | 混土貝層 | 黒褐色 | 15 | 混土貝層 | 黒褐色 | 26 | 混土貝層 | 暗褐色 | 37 | 混土貝層 | 暗褐色 |
| 5 | 混土貝層 | 黒褐色 | 16 | 混土貝層 | 褐 | 27 | 被砕貝層 | 灰褐色 | 38 | 混土貝層 | 暗褐色 |
| 6 | 被砕貝層 | 灰褐色 | 17 | 混土貝層 | 暗褐色 | 28 | 混土貝層 | 褐 | 39 | 混土貝層 | に多い黒褐色 |
| 7 | 混土貝層 | 黒褐色 | 18 | 混土貝層 | 褐 | 29 | 混土貝層 | 暗褐色 | 40 | 被砕貝層 | に多い黒褐色 |
| 8 | 被砕貝層 | 灰褐色 | 19 | 混土貝層 | 灰褐色 | 30 | 混土貝層 | 暗褐色 | 41 | 混土貝層 | 褐 |
| 9 | 混土貝層 | 暗褐色 | 20 | 混土貝層 | 褐 | 31 | 混土貝層 | 褐 | 42 | 被砕貝層 | 灰褐色 |
| 10 | 混土貝層 | 暗褐色 | 21 | 混土貝層 | 暗褐色 | 32 | 混土貝層 | 黒褐色 | 43 | 混土貝層 | 暗褐色 |
| 11 | 混土貝層 | 暗褐色 | 22 | 混土貝層 | 黒褐色 | 33 | 混土貝層 | 暗褐色 | 44 | 混土貝層 | 褐 |

※数字は上図の番号に対応。
※基本的に各層はごく薄い被砕貝層により分断されている。被砕貝層としてここに上げてある層は其中でも層が厚く明確なものである。



東西方向 (B-12・13区北側壁面) 東→



東西方向 (B-16区北側壁面) 東→

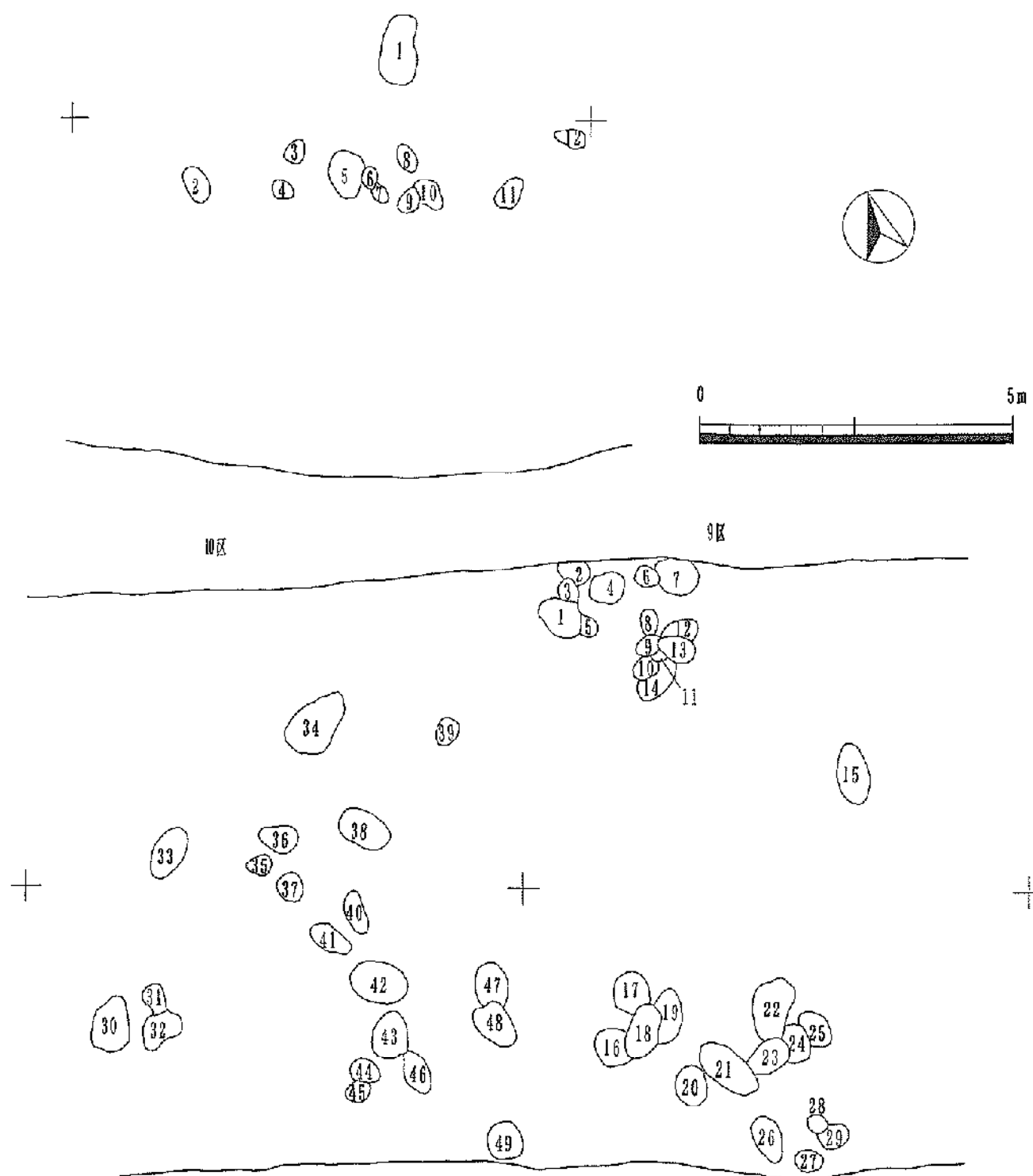
第9図 貝塚の堆積状況

第3表 貝塚本体内出土品一覧表

※数字は、各項目に含まれる重量の割合。
※13区横断トレンチの層位は、第9図の層位番号に対応する。また、2区横断トレンチについても、同化していないが9枚に分解して取り上げたため、一覧表では分けて記述する。

| 区 | 名称 | ミシハチアオイガイ | | マガキガイ | | バイガイ | | イソシジミ | | イボニシ | | ヌガイ | | アマオプネガイ | | その他 | | 計 |
|----|--------|-----------|----|--------|----|-------|----|--------|----|-------|---|-------|----|---------|----|-------|----|--------|
| | | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | |
| 12 | 横断T1層 | 35,065 | 68 | 10,445 | 20 | 2,170 | 4 | 473 | 1 | 242 | 0 | 504 | 1 | 1,108 | 2 | 1,566 | 3 | 51,573 |
| 12 | 横断T2層 | 14,830 | 65 | 4,911 | 22 | 1,378 | 6 | 133 | 1 | 172 | 1 | 73 | 0 | 458 | 2 | 763 | 3 | 22,518 |
| 12 | 横断T3層 | 32,825 | 63 | 13,640 | 26 | 2,529 | 5 | 407 | 1 | 210 | 0 | 215 | 0 | 1,549 | 3 | 1,685 | 2 | 52,526 |
| 12 | 横断T4層 | 26,010 | 69 | 9,706 | 19 | 2,422 | 5 | 731 | 1 | 232 | 0 | 507 | 1 | 1,223 | 2 | 1,402 | 3 | 52,233 |
| 12 | 横断T5層 | 44,371 | 66 | 14,360 | 21 | 3,269 | 5 | 505 | 1 | 511 | 1 | 775 | 1 | 2,647 | 3 | 1,577 | 2 | 67,503 |
| 12 | 横断T6層 | 7,670 | 67 | 2,225 | 19 | 429 | 4 | 210 | 2 | 115 | 1 | 85 | 1 | 318 | 3 | 414 | 4 | 11,506 |
| 12 | 横断T7層 | 30,635 | 60 | 13,585 | 26 | 2,887 | 6 | 562 | 2 | 325 | 1 | 322 | 1 | 1,296 | 3 | 1,347 | 3 | 51,368 |
| 12 | 横断T8層 | 56,228 | 62 | 21,255 | 23 | 4,462 | 5 | 1,555 | 2 | 738 | 1 | 912 | 1 | 3,370 | 4 | 2,820 | 3 | 91,360 |
| 12 | 横断T9層 | 8,278 | 59 | 3,315 | 24 | 801 | 6 | 131 | 1 | 80 | 1 | 207 | 1 | 536 | 4 | 719 | 5 | 14,067 |
| 12 | 横断T10層 | 26,326 | 57 | 12,510 | 27 | 2,601 | 6 | 1,317 | 3 | 306 | 1 | 420 | 1 | 1,148 | 2 | 1,351 | 3 | 45,979 |
| 12 | 横断T11層 | 41,523 | 60 | 18,084 | 26 | 3,567 | 5 | 695 | 1 | 343 | 1 | 603 | 1 | 1,940 | 3 | 1,570 | 2 | 68,315 |
| 12 | 横断T12層 | 7,388 | 50 | 5,218 | 35 | 803 | 5 | 235 | 2 | 131 | 1 | 322 | 2 | 360 | 2 | 416 | 3 | 14,793 |
| 12 | 横断T13層 | 22,460 | 54 | 10,567 | 26 | 2,775 | 7 | 553 | 1 | 363 | 1 | 558 | 1 | 2,651 | 6 | 1,346 | 3 | 41,279 |
| 12 | 横断T14層 | 5,680 | 57 | 2,510 | 25 | 881 | 9 | 88 | 1 | 178 | 2 | 73 | 1 | 326 | 3 | 175 | 2 | 9,911 |
| 12 | 横断T15層 | 16,368 | 54 | 6,699 | 22 | 1,455 | 5 | 646 | 2 | 180 | 1 | 329 | 1 | 3,584 | 13 | 831 | 3 | 30,412 |
| 12 | 横断T16層 | 5,295 | 51 | 3,160 | 30 | 422 | 4 | 302 | 3 | 79 | 1 | 284 | 3 | 519 | 5 | 328 | 3 | 10,389 |
| 12 | 横断T17層 | 29,932 | 60 | 10,522 | 21 | 3,213 | 6 | 1,231 | 2 | 592 | 1 | 656 | 1 | 1,236 | 2 | 2,400 | 5 | 49,782 |
| 12 | 横断T18層 | 1,650 | 71 | 410 | 18 | 77 | 3 | 13 | 1 | 23 | 1 | 2 | 0 | 82 | 3 | 75 | 2 | 2,312 |
| 12 | 横断T19層 | 2,190 | 66 | 770 | 23 | 130 | 4 | 26 | 1 | 17 | 1 | 19 | 1 | 82 | 2 | 8 | 2 | 3,315 |
| 12 | 横断T一括 | 23,331 | 53 | 12,967 | 29 | 2,767 | 6 | 646 | 2 | 371 | 1 | 621 | 1 | 1,231 | 3 | 1,991 | 4 | 44,264 |
| 12 | 横断T一括 | 24,590 | 61 | 8,120 | 20 | 1,923 | 5 | 838 | 2 | 592 | 1 | 1,245 | 3 | 1,310 | 3 | 1,509 | 4 | 60,187 |
| 12 | 横断T一括 | 39,025 | 63 | 11,629 | 22 | 1,851 | 4 | 1,037 | 2 | 478 | 1 | 2,004 | 4 | 1,681 | 3 | 1,157 | 2 | 52,832 |
| 12 | 横断T一括 | 23,285 | 58 | 6,935 | 17 | 978 | 2 | 1,638 | 5 | 1,108 | 3 | 2,080 | 5 | 1,980 | 5 | 1,871 | 5 | 40,973 |
| 12 | 横断T一括 | 23,836 | 53 | 9,950 | 22 | 1,136 | 3 | 1,941 | 4 | 2,382 | 5 | 1,807 | 3 | 2,156 | 5 | 2,446 | 5 | 45,374 |
| 12 | 横断T一括 | 34,631 | 54 | 14,270 | 22 | 1,843 | 3 | 2,679 | 4 | 2,626 | 4 | 2,185 | 3 | 2,736 | 4 | 3,247 | 5 | 64,137 |
| 12 | 横断T一括 | 19,675 | 64 | 6,402 | 21 | 1,020 | 3 | 839 | 3 | 271 | 1 | 615 | 2 | 896 | 3 | 1,126 | 4 | 30,814 |
| 12 | 横断T一括 | 12,421 | 57 | 4,826 | 22 | 943 | 4 | 1,015 | 5 | 537 | 2 | 799 | 4 | 554 | 3 | 857 | 4 | 21,952 |
| 12 | 横断T一括 | 10,845 | 29 | 14,871 | 39 | 2,436 | 6 | 2,217 | 6 | 1,051 | 3 | 1,922 | 5 | 1,923 | 5 | 2,749 | 7 | 38,914 |
| 12 | 横断T一括 | 20,000 | 47 | 8,245 | 19 | 1,835 | 4 | 768 | 2 | 322 | 1 | 1,327 | 3 | 920 | 2 | 9,386 | 22 | 42,803 |
| 12 | 横断T一括 | 3,952 | 62 | 1,224 | 19 | 222 | 4 | 172 | 3 | 57 | 1 | 113 | 2 | 228 | 4 | 374 | 6 | 6,342 |
| 12 | 横断T一括 | 13,140 | 64 | 4,364 | 21 | 1,120 | 5 | 526 | 3 | 167 | 1 | 260 | 1 | 460 | 2 | 594 | 3 | 20,631 |
| 12 | 横断T一括 | 7,171 | 62 | 2,252 | 20 | 470 | 4 | 166 | 1 | 124 | 1 | 334 | 3 | 592 | 5 | 490 | 3 | 11,509 |
| 12 | 横断T一括 | 5,750 | 62 | 2,103 | 23 | 330 | 4 | 180 | 2 | 55 | 1 | 187 | 2 | 358 | 4 | 276 | 3 | 9,236 |
| 12 | 横断T一括 | 7,800 | 66 | 2,383 | 20 | 677 | 6 | 166 | 1 | 125 | 1 | 146 | 1 | 235 | 2 | 391 | 2 | 11,908 |
| 12 | 横断T一括 | 5,042 | 70 | 873 | 12 | 310 | 4 | 163 | 2 | 86 | 1 | 264 | 4 | 294 | 3 | 251 | 3 | 7,195 |
| 12 | 横断T一括 | 3,841 | 44 | 2,988 | 34 | 765 | 9 | 347 | 4 | 258 | 3 | 158 | 2 | 202 | 2 | 210 | 2 | 8,809 |
| 12 | 横断T一括 | 5,350 | 65 | 1,598 | 19 | 193 | 2 | 205 | 2 | 73 | 1 | 296 | 4 | 222 | 3 | 289 | 3 | 8,206 |
| 12 | 横断T一括 | 1,165 | 53 | 312 | 16 | 436 | 20 | 46 | 2 | 10 | 0 | 36 | 2 | 65 | 3 | 77 | 4 | 2,178 |
| 12 | 横断T一括 | 2,562 | 66 | 745 | 19 | 207 | 5 | 57 | 1 | 46 | 1 | 82 | 2 | 66 | 2 | 129 | 3 | 3,894 |
| 12 | 横断T一括 | 10,582 | 65 | 2,651 | 16 | 854 | 5 | 340 | 2 | 175 | 1 | 619 | 4 | 460 | 3 | 507 | 3 | 16,199 |
| 12 | 横断T一括 | 11,290 | 62 | 2,860 | 16 | 375 | 2 | 512 | 3 | 274 | 2 | 1,130 | 6 | 986 | 5 | 741 | 4 | 18,168 |
| 12 | 横断T一括 | 12,650 | 59 | 3,016 | 14 | 438 | 2 | 1,943 | 0 | 481 | 2 | 1,244 | 6 | 826 | 4 | 916 | 4 | 21,514 |
| 12 | 横断T一括 | 40,563 | 56 | 12,788 | 18 | 1,666 | 2 | 3,049 | 4 | 1,264 | 2 | 6,188 | 9 | 4,273 | 6 | 2,876 | 4 | 72,644 |
| 12 | 横断T一括 | 18,603 | 48 | 5,231 | 14 | 2,481 | 6 | 1,595 | 4 | 2,700 | 7 | 2,512 | 7 | 3,477 | 9 | 2,005 | 5 | 36,601 |
| 12 | 横断T一括 | 17,684 | 48 | 7,505 | 21 | 1,497 | 4 | 1,590 | 4 | 711 | 2 | 3,705 | 10 | 1,404 | 4 | 2,465 | 7 | 36,561 |
| 12 | 横断T一括 | 20,612 | 53 | 10,590 | 28 | 1,415 | 4 | 1,556 | 4 | 526 | 1 | 934 | 2 | 1,130 | 3 | 1,524 | 4 | 38,687 |
| 12 | 横断T一括 | 16,680 | 56 | 5,108 | 20 | 1,314 | 4 | 1,070 | 4 | 519 | 2 | 1,060 | 4 | 1,809 | 5 | 1,292 | 4 | 29,852 |
| 12 | 横断T一括 | 11,915 | 51 | 5,467 | 23 | 1,093 | 5 | 1,356 | 6 | 887 | 2 | 1,104 | 5 | 849 | 4 | 1,245 | 5 | 23,360 |
| 12 | 横断T一括 | 19,944 | 59 | 7,271 | 22 | 1,889 | 6 | 1,036 | 3 | 193 | 1 | 663 | 2 | 1,179 | 4 | 1,498 | 4 | 33,673 |
| 12 | 横断T一括 | 8,115 | 61 | 3,657 | 27 | 410 | 3 | 113 | 1 | 69 | 1 | 113 | 1 | 261 | 2 | 635 | 5 | 13,373 |
| 12 | 横断T一括 | 12,379 | 63 | 4,179 | 21 | 859 | 4 | 272 | 1 | 181 | 1 | 242 | 1 | 577 | 3 | 923 | 5 | 19,612 |
| 12 | 横断T一括 | 20,565 | 60 | 8,540 | 25 | 1,590 | 4 | 468 | 1 | 192 | 1 | 421 | 1 | 1,302 | 4 | 1,415 | 4 | 34,463 |
| 12 | 横断T一括 | 35,945 | 60 | 14,380 | 24 | 2,425 | 4 | 1,452 | 2 | 455 | 1 | 881 | 1 | 1,534 | 3 | 2,708 | 5 | 59,780 |
| 12 | 横断T一括 | 2,615 | 64 | 1,255 | 27 | 194 | 3 | 171 | 4 | 36 | 1 | 89 | 2 | 236 | 5 | 255 | 5 | 4,691 |
| 12 | 横断T一括 | 21,042 | 48 | 10,704 | 24 | 7,236 | 16 | 1,296 | 3 | 315 | 1 | 599 | 1 | 1,181 | 3 | 1,941 | 4 | 44,014 |
| 12 | 横断T一括 | 21,710 | 46 | 12,115 | 27 | 2,420 | 5 | 4,023 | 9 | 483 | 1 | 715 | 2 | 1,086 | 2 | 1,937 | 4 | 44,489 |
| 12 | 横断T一括 | 12,245 | 33 | 8,850 | 18 | 1,323 | 4 | 12,891 | 34 | 692 | 2 | 369 | 1 | 661 | 2 | 2,457 | 7 | 37,398 |
| 12 | 横断T一括 | 11,342 | 44 | 5,481 | 21 | 2,908 | 11 | 2,946 | 11 | 194 | 1 | 370 | 1 | 384 | 1 | 2,260 | 9 | 25,885 |
| 12 | 横断T一括 | 19,642 | 61 | 6,936 | 21 | 1,986 | 6 | 427 | 1 | 246 | 1 | 942 | 3 | 796 | 2 | 1,402 | 4 | 32,277 |
| 12 | 横断T一括 | 11,030 | 78 | 1,843 | 13 | 261 | 2 | 172 | 1 | 51 | 0 | 140 | 1 | 202 | 1 | 486 | 3 | 14,235 |
| 12 | 横断T一括 | 8,407 | 80 | 1,246 | 12 | 108 | 1 | 68 | 1 | 316 | 3 | 57 | 1 | 58 | 1 | 185 | 2 | 10,445 |
| 12 | 横断T一括 | 736 | 77 | 130 | 14 | 0 | 0 | 10 | 1 | 1 | 0 | 10 | 1 | 40 | 4 | 21 | 2 | 912 |
| 12 | 横断T一括 | 3,573 | 68 | 1,180 | 23 | 192 | 4 | 98 | 2 | 17 | 0 | 35 | 1 | 104 | 2 | 49 | 1 | 5,243 |
| 12 | 横断T一括 | 5,620 | 62 | 2,229 | 27 | 288 | 3 | 211 | 2 | 31 | 0 | 61 | 1 | 162 | 2 | 225 | 2 | 9,027 |
| 12 | 横断T一括 | 1,169 | 35 | 1,348 | 41 | 450 | 14 | 27 | 1 | 30 | 1 | 19 | 1 | 29 | 1 | 251 | 8 | 3,234 |
| 12 | 横断T一括 | 173, | | | | | | | | | | | | | | | | |

6区



第10図 6, 9, 10区貝B分布状況

第4表 6, 9, 10区貝B一覧表

※%は、1ブロックに含まれる重量の割合。
※貝Bの名称(番号)は、第10図分布図の番号に対応する。

| 区 | 名称 | モクハチア オイガイ | | マガキガイ | | バイガイ | | イソシジミ | | イボニシ | | スガイ | | アマオブネ ガイ | | その他 | | 計 |
|-------|------|---------------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------------|------|-------|------|--------|
| | | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | 重量(g) | % | |
| A6 | 貝B1 | 526 | 42.3 | 395 | 31.8 | 171 | 13.8 | 10 | 0.8 | 3 | 0.2 | 13 | 1.0 | 70 | 5.6 | 55 | 4.4 | 1,243 |
| B6 | 貝B2 | 335 | 38.0 | 165 | 18.7 | 335 | 38.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 | 45 | 5.1 | 882 |
| B6 | 貝B3 | 270 | 60.1 | 120 | 26.7 | 55 | 12.2 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 1 | 0.2 | 1 | 0.2 | 449 |
| B6 | 貝B4 | 90 | 22.3 | 300 | 74.4 | 10 | 2.5 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 1 | 0.2 | 403 |
| B6 | 貝B5 | 600 | 61.3 | 92 | 9.4 | 115 | 11.7 | 0 | 0.0 | 7 | 0.7 | 1 | 0.1 | 14 | 1.4 | 150 | 15.3 | 979 |
| B6 | 貝B6 | 165 | 71.7 | 39 | 17.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 9 | 3.9 | 17 | 7.4 | 0 | 0.0 | 230 |
| B6 | 貝B7 | 185 | 60.9 | 60 | 19.7 | 55 | 18.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 1.3 | 0 | 0.0 | 304 |
| B6 | 貝B8 | 35 | 11.4 | 210 | 68.4 | 60 | 19.5 | 1 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 307 |
| B6 | 貝B9 | 260 | 67.9 | 22 | 5.7 | 23 | 6.0 | 20 | 5.2 | 2 | 0.5 | 8 | 2.1 | 15 | 3.9 | 33 | 8.6 | 383 |
| B6 | 貝B10 | 400 | 57.8 | 200 | 28.9 | 35 | 5.1 | 6 | 0.9 | 1 | 0.1 | 3 | 0.4 | 12 | 1.7 | 35 | 5.1 | 692 |
| B6 | 貝B11 | 400 | 47.6 | 250 | 29.8 | 75 | 8.9 | 10 | 1.2 | 5 | 0.6 | 0 | 0.0 | 10 | 1.2 | 90 | 10.7 | 840 |
| B6 | 貝B12 | 320 | 61.4 | 140 | 26.9 | 30 | 5.8 | 2 | 0.4 | 3 | 0.6 | 0 | 0.0 | 5 | 1.0 | 21 | 4.0 | 521 |
| A・B9 | 貝B1 | 235 | 28.0 | 410 | 48.8 | 20 | 2.4 | 10 | 1.2 | 10 | 1.2 | 15 | 1.8 | 120 | 14.3 | 20 | 2.4 | 840 |
| A・B9 | 貝B2 | 130 | 26.2 | 325 | 65.5 | 30 | 6.0 | 1 | 0.2 | 10 | 2.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 496 |
| A・B9 | 貝B3 | 210 | 44.7 | 140 | 29.8 | 10 | 2.1 | 10 | 2.1 | 10 | 2.1 | 30 | 6.4 | 50 | 10.6 | 10 | 2.1 | 470 |
| A・B9 | 貝B4 | 60 | 9.8 | 370 | 60.6 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 10 | 1.6 | 75 | 12.3 | 60 | 9.8 | 35 | 5.7 | 611 |
| A・B9 | 貝B5 | 20 | 5.0 | 280 | 70.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 50 | 12.5 | 30 | 7.5 | 20 | 5.0 | 400 |
| A・B9 | 貝B6 | 143 | 35.9 | 91 | 22.9 | 3 | 0.8 | 92 | 23.1 | 2 | 0.5 | 2 | 0.5 | 18 | 4.5 | 47 | 11.8 | 398 |
| A・B9 | 貝B7 | 0 | 0.0 | 650 | 81.1 | 20 | 2.5 | 1 | 0.1 | 10 | 1.2 | 50 | 6.2 | 50 | 6.2 | 20 | 2.5 | 801 |
| A・B9 | 貝B8 | 15 | 4.7 | 300 | 94.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.3 | 0 | 0.0 | 1 | 0.3 | 1 | 0.3 | 1 | 0.3 | 319 |
| A・B9 | 貝B9 | 200 | 63.3 | 50 | 15.8 | 45 | 14.2 | 1 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 10 | 3.2 | 10 | 3.2 | 316 |
| A・B9 | 貝B10 | 140 | 46.4 | 130 | 43.0 | 20 | 6.6 | 1 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 10 | 3.3 | 1 | 0.3 | 302 |
| A・B9 | 貝B11 | 20 | 14.3 | 90 | 64.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 15 | 10.7 | 10 | 7.1 | 5 | 3.6 | 0 | 0.0 | 140 |
| A・B9 | 貝B12 | 300 | 57.0 | 150 | 28.5 | 25 | 4.8 | 7 | 1.3 | 7 | 1.3 | 12 | 2.3 | 21 | 4.0 | 4 | 0.8 | 526 |
| A・B9 | 貝B13 | 97 | 18.8 | 300 | 58.1 | 16 | 3.1 | 6 | 1.2 | 2 | 0.4 | 44 | 8.5 | 51 | 9.9 | 0 | 0.0 | 516 |
| A・B9 | 貝B14 | 55 | 7.3 | 550 | 72.7 | 16 | 2.1 | 1 | 0.1 | 2 | 0.3 | 36 | 4.8 | 57 | 7.5 | 40 | 5.3 | 757 |
| A・B9 | 貝B15 | 200 | 22.1 | 460 | 50.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 0.4 | 66 | 7.3 | 163 | 18.1 | 10 | 1.1 | 903 |
| A・B9 | 貝B16 | 220 | 30.6 | 450 | 62.5 | 12 | 1.7 | 7 | 1.0 | 5 | 0.7 | 6 | 0.8 | 10 | 1.4 | 10 | 1.4 | 720 |
| A・B9 | 貝B17 | 20 | 2.8 | 660 | 92.8 | 20 | 2.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 | 10 | 1.4 | 711 |
| A・B9 | 貝B18 | 290 | 30.2 | 425 | 44.3 | 110 | 11.5 | 30 | 3.1 | 10 | 1.0 | 0 | 0.0 | 65 | 6.8 | 30 | 3.1 | 960 |
| A・B9 | 貝B19 | 360 | 54.7 | 115 | 17.5 | 57 | 8.7 | 17 | 2.6 | 15 | 2.3 | 23 | 3.5 | 44 | 6.7 | 27 | 4.1 | 658 |
| A・B9 | 貝B20 | 135 | 20.8 | 330 | 50.8 | 30 | 4.6 | 10 | 1.5 | 10 | 1.5 | 45 | 6.9 | 50 | 7.7 | 40 | 6.2 | 650 |
| A・B9 | 貝B21 | 81 | 6.8 | 850 | 71.4 | 0 | 0.0 | 8 | 0.7 | 7 | 0.6 | 112 | 9.4 | 36 | 3.0 | 97 | 8.1 | 1,191 |
| A・B9 | 貝B22 | 350 | 33.7 | 113 | 10.9 | 0 | 0.0 | 70 | 6.7 | 15 | 1.4 | 45 | 4.3 | 47 | 4.5 | 400 | 38.5 | 1,040 |
| A・B9 | 貝B23 | 80 | 12.4 | 470 | 73.1 | 0 | 0.0 | 28 | 4.4 | 5 | 0.8 | 20 | 3.1 | 40 | 6.2 | 0 | 0.0 | 643 |
| A・B9 | 貝B24 | 250 | 40.8 | 210 | 34.3 | 0 | 0.0 | 17 | 2.8 | 6 | 1.0 | 31 | 5.1 | 79 | 12.9 | 20 | 3.3 | 613 |
| A・B9 | 貝B25 | 60 | 8.1 | 565 | 76.1 | 10 | 1.3 | 1 | 0.1 | 1 | 0.1 | 45 | 6.1 | 20 | 2.7 | 40 | 5.4 | 742 |
| A・B9 | 貝B26 | 30 | 4.0 | 590 | 78.1 | 50 | 6.6 | 5 | 0.7 | 5 | 0.7 | 20 | 2.6 | 55 | 7.3 | 0 | 0.0 | 755 |
| A・B9 | 貝B27 | 78 | 32.1 | 98 | 40.3 | 19 | 7.8 | 0 | 0.0 | 8 | 3.3 | 5 | 2.1 | 21 | 8.6 | 14 | 5.8 | 243 |
| A・B9 | 貝B28 | 70 | 53.8 | 35 | 26.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 5 | 3.8 | 0 | 0.0 | 20 | 15.4 | 0 | 0.0 | 130 |
| A・B9 | 貝B29 | 165 | 55.0 | 100 | 33.3 | 10 | 3.3 | 10 | 3.3 | 2 | 0.7 | 3 | 1.0 | 10 | 3.3 | 0 | 0.0 | 300 |
| A・B10 | 貝B30 | 90 | 7.4 | 450 | 36.9 | 600 | 49.2 | 20 | 1.6 | 0 | 0.0 | 12 | 1.0 | 15 | 1.2 | 32 | 2.6 | 1,219 |
| A・B10 | 貝B31 | 51 | 16.9 | 122 | 40.4 | 0 | 0.0 | 3 | 1.0 | 0 | 0.0 | 50 | 16.6 | 53 | 17.5 | 23 | 7.6 | 302 |
| A・B10 | 貝B32 | 460 | 72.0 | 122 | 19.1 | 41 | 6.4 | 3 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 7 | 1.1 | 6 | 0.9 | 639 |
| A・B10 | 貝B33 | 370 | 39.5 | 375 | 40.1 | 90 | 9.6 | 20 | 2.1 | 1 | 0.1 | 20 | 2.1 | 30 | 3.2 | 30 | 3.2 | 936 |
| A・B10 | 貝B34 | 70 | 4.1 | 70 | 4.1 | 20 | 1.2 | 40 | 2.3 | 40 | 2.3 | 690 | 40.4 | 460 | 26.9 | 320 | 18.7 | 1,710 |
| A・B9 | 貝B35 | 100 | 34.4 | 111 | 38.1 | 30 | 10.3 | 3 | 1.0 | 4 | 1.4 | 20 | 6.9 | 17 | 5.8 | 6 | 2.1 | 291 |
| A・B10 | 貝B36 | 85 | 17.2 | 220 | 44.4 | 80 | 16.2 | 10 | 2.0 | 10 | 2.0 | 40 | 8.1 | 30 | 6.1 | 20 | 4.0 | 495 |
| A・B10 | 貝B37 | 0 | 0.0 | 56 | 27.6 | 128 | 63.1 | 1 | 0.5 | 2 | 1.0 | 2 | 1.0 | 2 | 1.0 | 12 | 5.9 | 203 |
| A・B10 | 貝B38 | 150 | 18.0 | 590 | 70.7 | 35 | 4.2 | 10 | 1.2 | 0 | 0.0 | 10 | 1.2 | 40 | 4.8 | 0 | 0.0 | 835 |
| A・B10 | 貝B39 | 220 | 59.3 | 80 | 21.6 | 10 | 2.7 | 13 | 4.0 | 0 | 0.0 | 10 | 2.7 | 35 | 9.4 | 1 | 0.3 | 371 |
| A・B10 | 貝B40 | 115 | 19.5 | 125 | 21.2 | 35 | 5.9 | 1 | 0.2 | 10 | 1.7 | 25 | 4.2 | 180 | 30.5 | 100 | 16.9 | 591 |
| A・B10 | 貝B41 | 330 | 51.5 | 110 | 18.2 | 0 | 0.0 | 10 | 1.7 | 0 | 0.0 | 15 | 2.5 | 110 | 18.2 | 30 | 5.0 | 605 |
| A・B10 | 貝B42 | 580 | 46.2 | 320 | 25.5 | 60 | 4.8 | 80 | 6.4 | 15 | 1.2 | 50 | 4.0 | 35 | 2.8 | 115 | 9.2 | 1,255 |
| A・B10 | 貝B43 | 70 | 4.3 | 85 | 5.3 | 20 | 1.2 | 35 | 2.2 | 20 | 1.2 | 700 | 43.3 | 340 | 21.1 | 345 | 21.4 | 1,615 |
| A・B10 | 貝B44 | 130 | 67.7 | 50 | 26.0 | 10 | 5.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 | 1 | 0.5 | 192 |
| A・B10 | 貝B45 | 20 | 10.0 | 90 | 45.0 | 90 | 45.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 200 |
| A・B10 | 貝B46 | 360 | 55.6 | 137 | 21.2 | 20 | 3.1 | 17 | 2.6 | 13 | 2.0 | 11 | 1.7 | 30 | 4.6 | 59 | 9.1 | 647 |
| A・B10 | 貝B47 | 480 | 58.5 | 130 | 15.8 | 70 | 8.5 | 30 | 3.7 | 1 | 0.1 | 20 | 2.4 | 60 | 7.3 | 30 | 3.7 | 821 |
| A・B10 | 貝B48 | 500 | 61.7 | 235 | 29.0 | 25 | 3.1 | 1 | 0.1 | 10 | 1.2 | 10 | 1.2 | 10 | 1.2 | 20 | 2.5 | 811 |
| A・B10 | 貝B49 | 300 | 39.2 | 200 | 26.1 | 30 | 3.9 | 25 | 3.3 | 10 | 1.3 | 20 | 2.6 | 120 | 15.7 | 60 | 7.8 | 765 |
| 計 | | 12,081 | 31.1 | 14,978 | 38.5 | 2,881 | 7.4 | 709 | 1.8 | 335 | 0.9 | 2,487 | 6.4 | 2,868 | 7.4 | 2,548 | 6.6 | 38,887 |

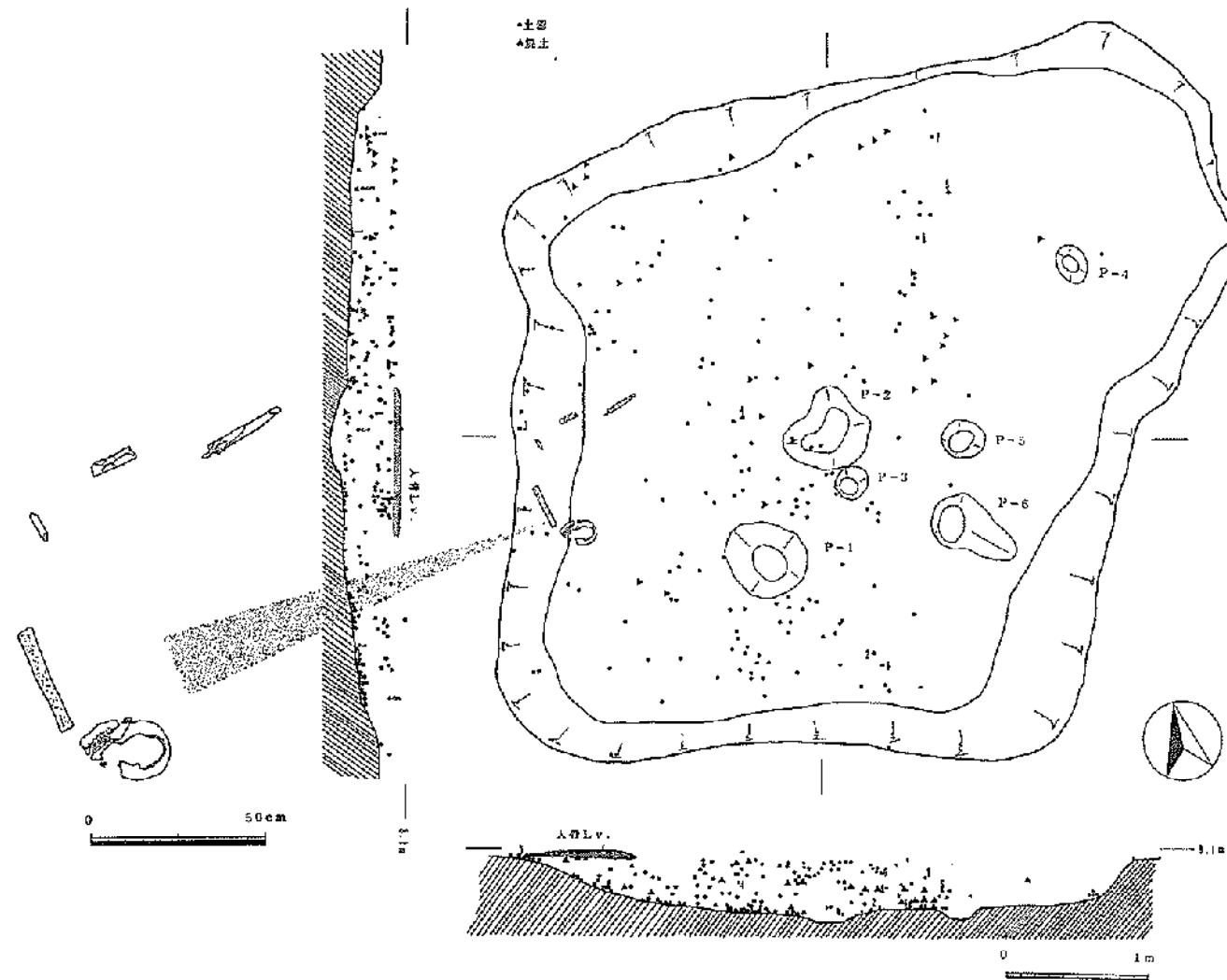
貝Bの分布範囲は極めて広く、約2,600㎡に及ぶと想定される。しかし、分布域内から満遍なく出土するのではなく、集中して出土する区域が見られる(第6,7図)。後述遺物の項で説明するが、柗原貝塚は調査地区によって出土土器に偏りがみられることから、おおまかな時期を想定することができる。それによると貝Bの集中する時期は、指宿式期(6区)、黒色磨研期(9・10区)、上加世田式・入佐式期(16・17区)の3期に伴う時期と予想される。

これら各期における環境的要因(気候の寒冷化、海岸線の後退、干潟の縮小等)、及びそれに伴う社会的要因(生業形態の変化、社会・文化の変遷等)が複雑に結びつき、それが反映された結果、貝類の採取量(依存度)の低下という現象を引き起こし、それがブロック状の貝の廃棄といった形になったものと思われる。

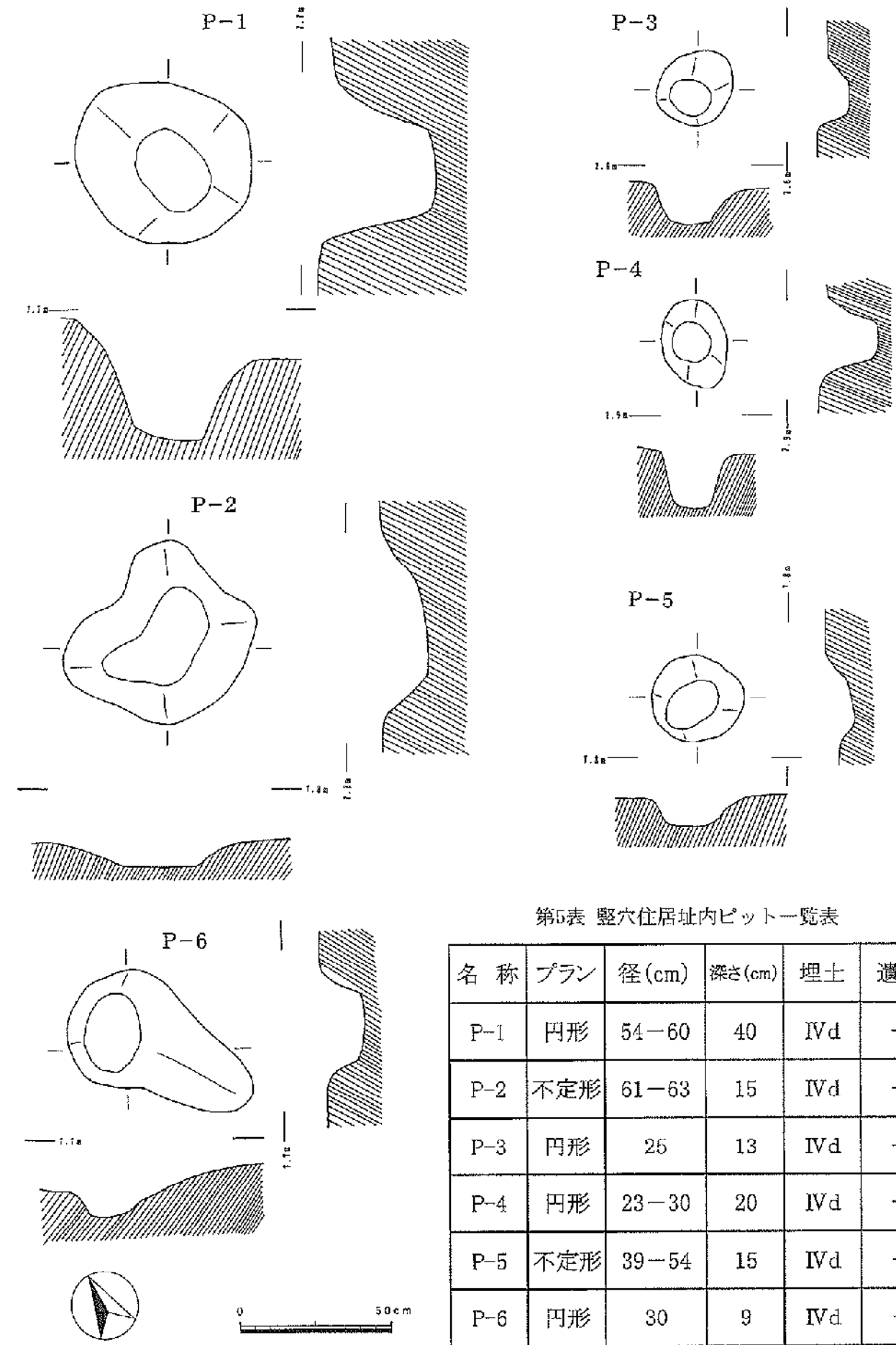
ところで、柗原貝塚においては上加世田式期・入佐式期まで貝Bが形成される。このことは、柗原人がかなり長期に渡って貝との関わりをもっていたことを示唆し、注目される。その要因としては、地理的要因(眼前に鹿児島湾を臨む)や、環境的要因(遺跡周辺が温暖な気候であり、鹿児島湾が暖流の強い影響下にあったと考えられる)などが考えられる。

2. 竪穴住居址(3号住居址)

住居址については、平成7年度の調査で2基、平成9・10年度の調査で1基、平成12~15年度



第11図 竪穴住居址及び人骨



第5表 竪穴住居址内ピット一覧表

| 名称 | プラン | 径(cm) | 深さ(cm) | 埋土 | 遺物 |
|-----|-----|-------|--------|-----|----|
| P-1 | 円形 | 54-60 | 40 | IVd | — |
| P-2 | 不定形 | 61-63 | 15 | IVd | — |
| P-3 | 円形 | 25 | 13 | IVd | — |
| P-4 | 円形 | 23-30 | 20 | IVd | — |
| P-5 | 不定形 | 39-54 | 15 | IVd | — |
| P-6 | 円形 | 30 | 9 | IVd | — |

第12図 竪穴住居址検出ピット

の調査で1基検出されている。混乱を回避するために、検出された順番に通し番号で呼称するものとする。このため、平成9・10年度の調査で検出されたものは、3号住居址と呼称する。

4区より竪穴住居址が1基検出された(第11図)。西側の一部は5区に跨る。平面プランは約4.8m×約5.4mのいびつな方形(略円形)を呈する。遺構はV層に掘り込まれており、埋土としてIVd層が充填される。検出面から床面までの深さは約40cmである。

床面からは6基のピットが検出された(第12図)。いずれのピットからも遺物は検出されていないが、埋土としてIVd層が充填されており、ピットの形成も竪穴住居址と同時期と想定される。P-1は他のピットより若干大きく深さも約40cmと深い。P-2、P-6は若干大きくいびつなプランを呈するが、深さは約いづれも10cm前後と浅い。P-3、P-4、P-5はいずれも直径30cm前後の円形のプランを呈する。深さはP-4が約20cmであるのに対し、他の2つは約10cm前後である。

明確な炉跡は検出されなかったが、焼土が検出された(約28カ所から検出、第11図)。分布範囲は幅広く分布しているが、北側壁面と中央部に若干集中して出土する傾向がある。レベル的には、床面付近から検出面上面まで幅広く検出された。

床面付近から出土した遺物1~3が指宿式であること、埋土としてIVd層が充填されていることから、遺構の形成時期は指宿式期と想定される。

竪穴住居址出土遺物(第11図、第13図1~7)

西側壁面の上面より、人骨が1体検出された。ただし、保存状態は極めて悪く、半ば以上砂化していた。頭蓋骨と少量の体肢骨破片が検出されたのみで、詳細は不明である。年齢は壮年前半であ

るが、性別不詳、詳細不明で抜歯はない。検出されたレベルは、ほぼ竪穴住居址検出面と同じであり、遺構が形成されたころのものとは考え難く、遺構を2次的に利用したものと考えられる。

遺物としては、縄文土器が159点検出された。大半が小片の胴部片であり、詳細は不明であるが、うち7点のみ図化した。以下説明中、土器分類等に関しては、次項遺物の項での分類に準ずる。

1~3は第II-2a類に分類した。1・2は、若干内湾する口縁部片で、器外面に平行沈線による文様を施す。1は方形をモチーフとした文様を、2は直線と曲線からなる文様をそれぞれ施す。いずれも器内面は丁寧なナデが施されている。3はやや外反する器形を有する口縁部片である。器外面にやや太めの凹線状の沈線を施す。4は第III-1-1aに分類した。器外面に、爪形の刺突を斜位に連続して巡らす。器外面に貝殻条痕が観察できる。5は第VII-2類に分類した。若干上げ底気味の平底である。6はIV-4aに分類した。屈曲する胴部片である。器外面屈曲部下位に文様帯を有する。文様帯は横位の沈線文を4条施し、最上位の沈線文内に連続する刺突文を施し、下位の沈線間に磨消縄文を施す。屈曲部内面には明確な稜を残す。磨耗しているものの、器内外面にヘラミガキが観察できる。7は第IV-5-1類に分類した。口縁部に若干広めの文様帯を有する。2条の平行沈線間に、貝殻腹縁を擬似縄文状に施す。太めの爪形状刺突がポイントとして施される。器内面は磨耗しているが、粗いヘラミガキが観察できる。器壁が厚く、全体的に粗い仕上がりである。

3. 土壙墓(3号土壙墓、1号土壙墓、第14図)

土壙墓についても、住居址と同様過去における一連の調査で検出された順番に、通し番号で呼称するものとする。平成9・10年度の調査では2基検出された。3号土壙墓、4号土壙墓と呼称する。

3号土壙墓

A-9で検出された。主軸はほぼN0°Wで、検出面での平面プランは、撥状の長楕円形を呈する。検出面において長径約150cm、短径約72cmで、底は長径約120cm、短径約46cmでほぼ平坦に作られている。断面は丸みを帯びた逆台形となる。遺構はIVd層に掘り込まれており、埋土としてIVb層が充填される。検出面から床面までの深さは約11cmであるが、上部分はかなり削平されていると思われる。

遺構内からは、保存状態が良好でほぼ完全な状態の人骨が1体検出された。右の体側を下にした側臥で、肘、股、膝の大関節を半ば屈曲した埋葬体制をとっていた。頭部は南を向く。年齢は壮年前半、性別は女性で、上顎左右犬歯が風習的に抜歯されている。推定身長は149.5cmである。副葬品は検出されなかった。埋土中からは特に遺物は検出されなかったが、埋土としてIVb層が充填されていることから、遺構の形成時期は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

4号土壙墓

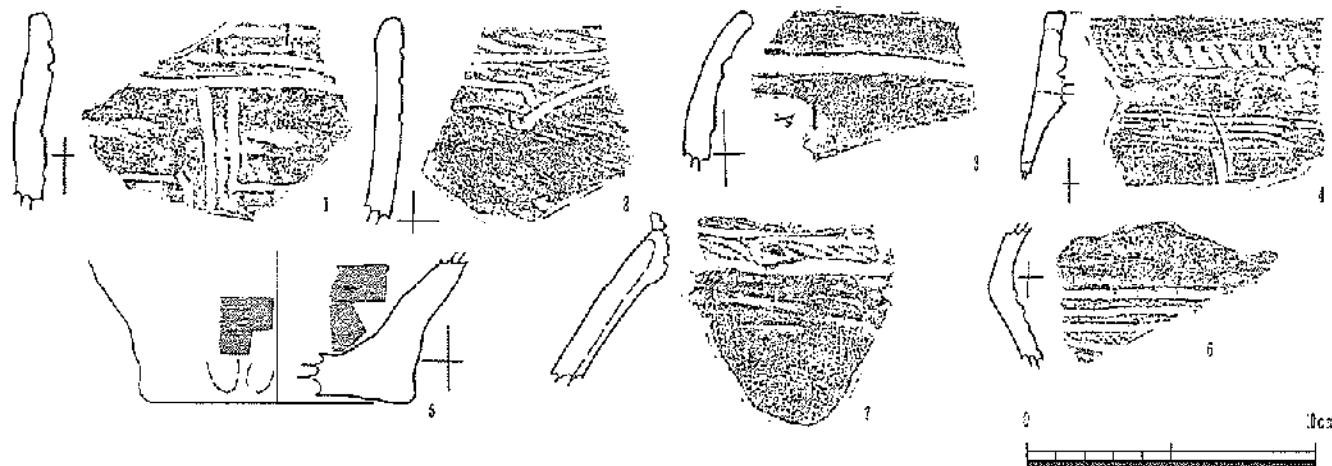
A-11区、貝塚の下位より検出された。主軸はN70°Wで、検出面において長径約147cm、短径約80cmの長楕円形を呈し、底は長径約120cm、短径約56cmでほぼ平坦に作られている。断面は丸みを帯びた逆台形となる。遺構はIVd層に掘り込まれており、埋土としてIVc層が充填される。検出面から床面までの深さは約12cmであるが、上部分はかなり削平されていると思われる。

遺構内からは、保存状態が良好でほぼ完全な状態の人骨が1体検出された。上半身は仰臥で、左右とも上膝を強屈し、立膝位からそのまま左方へ倒れたような姿勢であった。頭部は西北西を向く。年齢は壮年初期(約20歳)、性別は男性で、抜歯はされていない。推定身長は161.0cmである。下

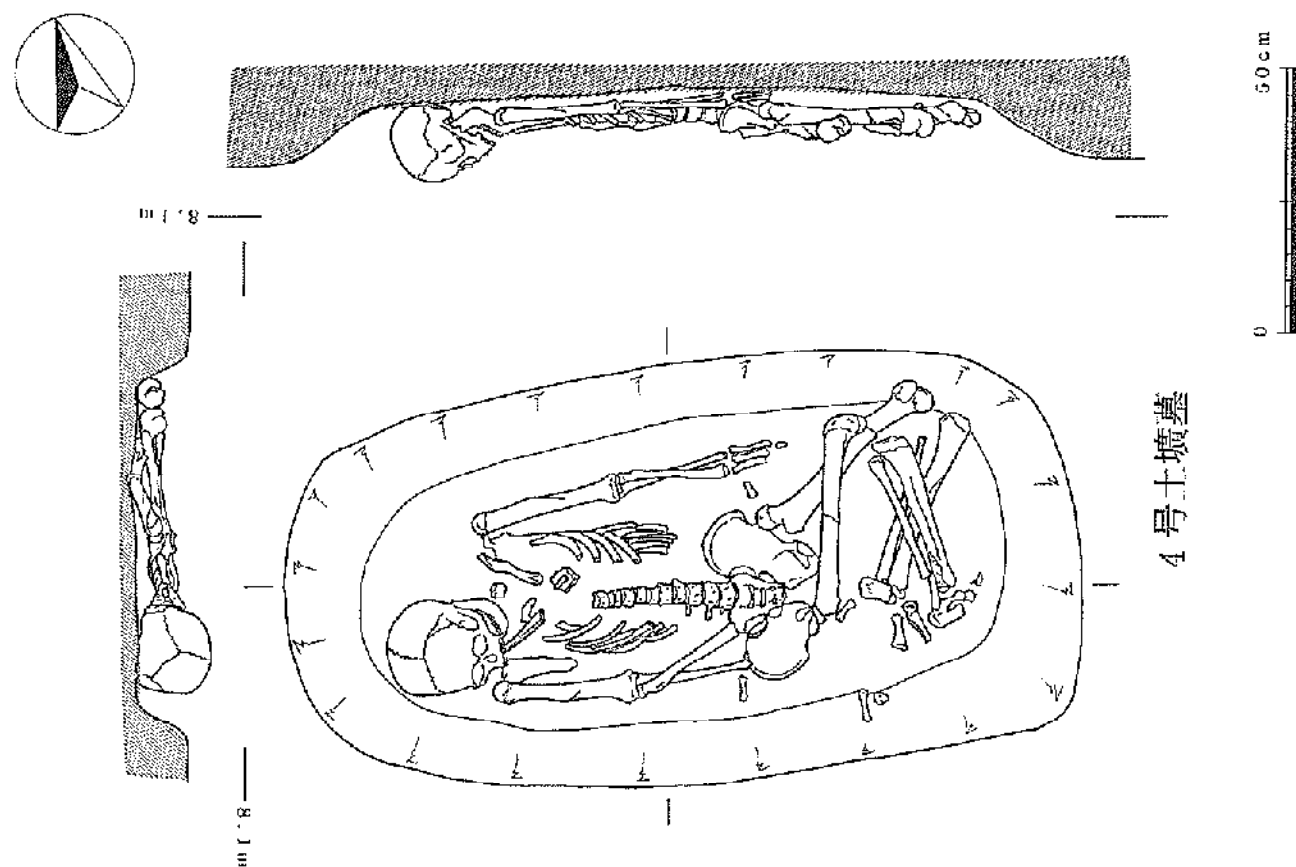
第6表 遺構内出土土器観察表

※出土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石炭、C=長石、K=角閃石、R=小石、U=磁石を指す。

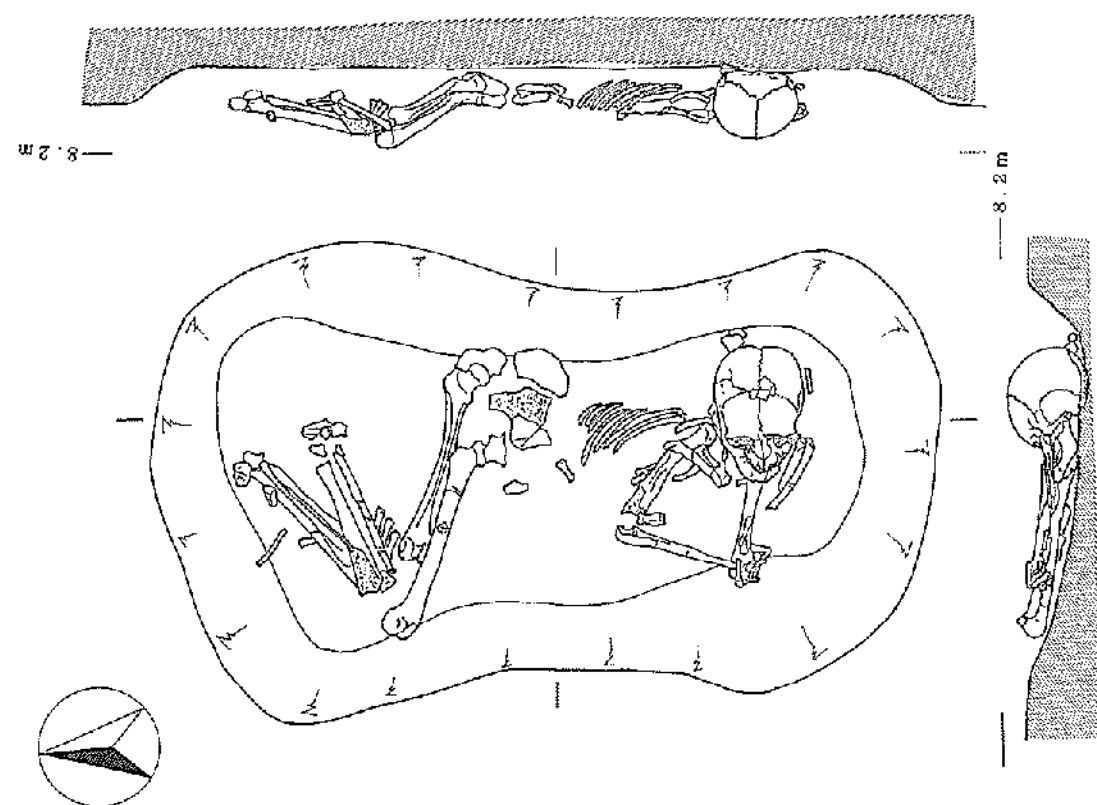
| 検出 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 出土 | 色値 | | 断面観察 | | 焼成 | L径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----------|----------|---------|-----|----|-----|-------|--------------|--------------|-------------------|--------------|----|------------|------------|------------|----|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | | |
| 11 | 1 | B-1 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/3に赤い地 | 7.5YR6/4に赤い地 | 沈線文・ナデ | 貝殻条痕、ナデ、磨消縄文 | 良 | | | | |
| 11 | 2 | B-4 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に赤い地 | 7.5YR6/4に赤い地 | 沈線文・貝殻条痕、ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 11 | 3 | B-5 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に赤い地 | 7.5YR6/4に赤い地 | 沈線文・ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 11 | 4 | B-5 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に赤い地 | 7.5YR6/4に赤い地 | 沈線文・貝殻条痕、ナデ | 貝殻条痕、ナデ | 良 | | | | |
| 11 | 5 | A-4 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/4に赤い地 | 10YR6/4に赤い地 | 磨消縄文、ナデ | ナデ | 良 | 9 | | | |
| 11 | 6 | B-4 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/3に赤い地 | 5YR6/3に赤い地 | 沈線文、磨消縄文、貝殻条痕、ナデ | ヘラミガキ | 良 | | | | |
| 11 | 7 | A-4 | IVd | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に赤い地 | 7.5YR6/4に赤い地 | 沈線文、貝殻条痕、ナデ、ヘラミガキ | ナデ、ヘラミガキ | 良 | | | | |



第13図 3号住居址内出土遺物



第14図 土墳墓



3号土墳墓

顎骨に3カ所の治癒骨折が見られる。副葬品は検出されなかった。埋土中からは特に遺物は検出されなかったが、埋土としてIVc層が充填されていることから、遺構の形成時期は縄文時代後期中頃と想定される。3号住居址及び3号土墳墓・4号土墳墓から検出された人骨についての詳細は、平成10年度刊行の報告書第9章を参照されたい。

4. 溝状遺構

8区、9区、10区、11区より1それぞれ各1基ずつ、計4基検出された(第6図)。それぞれ溝状遺構1～溝状遺構4と呼称する。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土から縄文時代後期末(黒色磨研期)のものと思われる。4基中3基が南北方向(北から南)へ走っており、方向に規則性を見出すことができる。

溝状遺構1(第15図)

A-8区からB-8区に跨って検出された。検出面において長さ約9.2m、幅約1～1.1m、深さ約18～46cmを測る。遺構はIVd層に掘り込まれている。ほぼ南北方向に走り、A-8区では北壁中に続く。A-8区、B-8区両区における比高差は約26cmで、北から南へ傾斜している。断面は崩れた台形を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIVb層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

溝状遺構2(第15図)

A-9区から検出された。検出面において長さ約4.4m、幅約30～40cm、深さ約8～10cmを測る。遺構はIVd層に掘り込まれている。南西-北東方向に走り、北壁中に続く。比高差は約26cmで、北東から南西へ緩やかに傾斜している。断面は崩れた台形を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIVb層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

溝状遺構3(第15図)

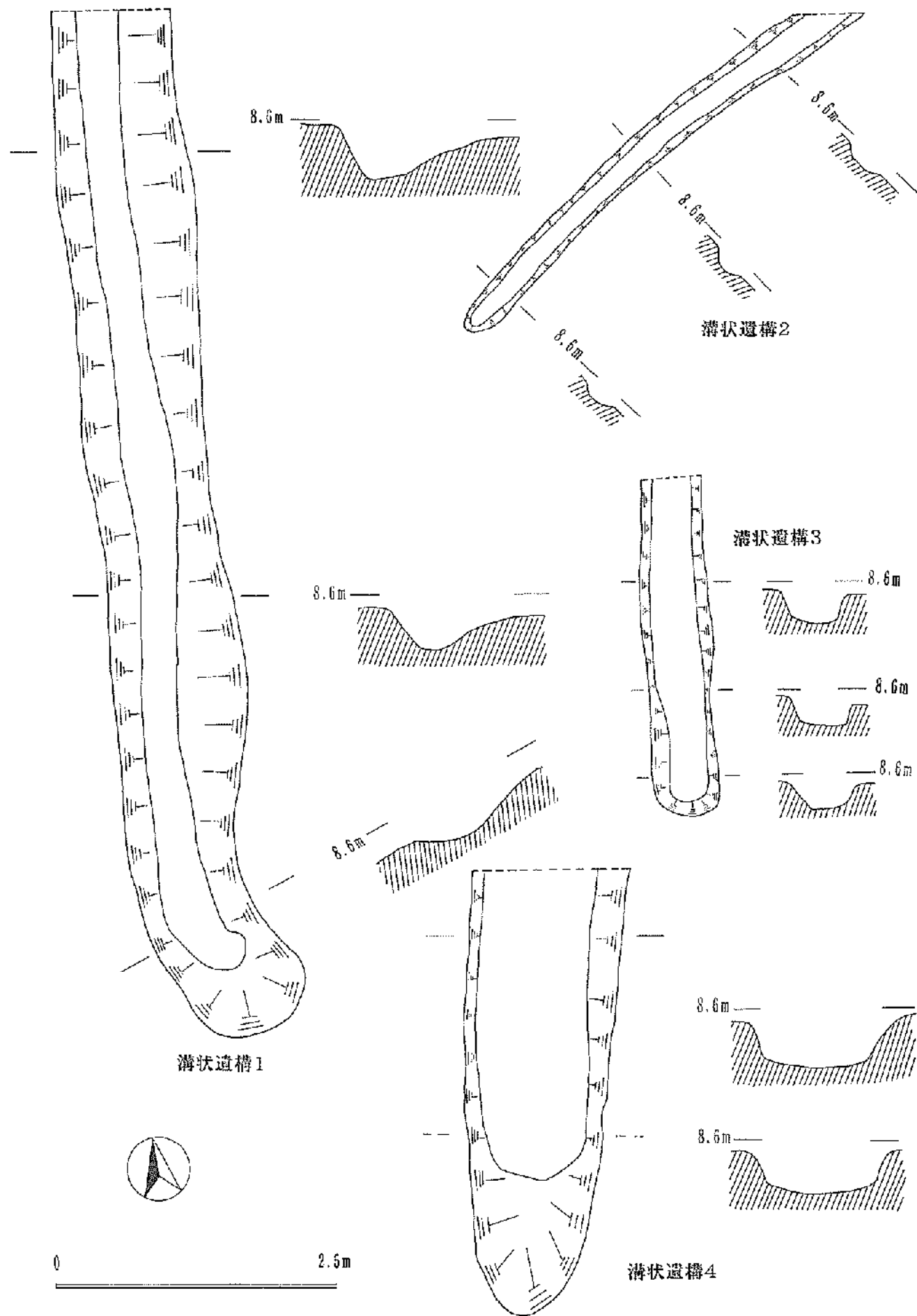
A-10区から検出された。検出面において長さ約3m、幅約50～55cm、深さ約20～28cmを測る。遺構はIVd層に掘り込まれている。ほぼ南北方向に走り、北壁中に続く。比高差は約8cmで、北から南へ緩やかに傾斜している。断面は崩れた台形を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIVb層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

溝状遺構4(第15図)

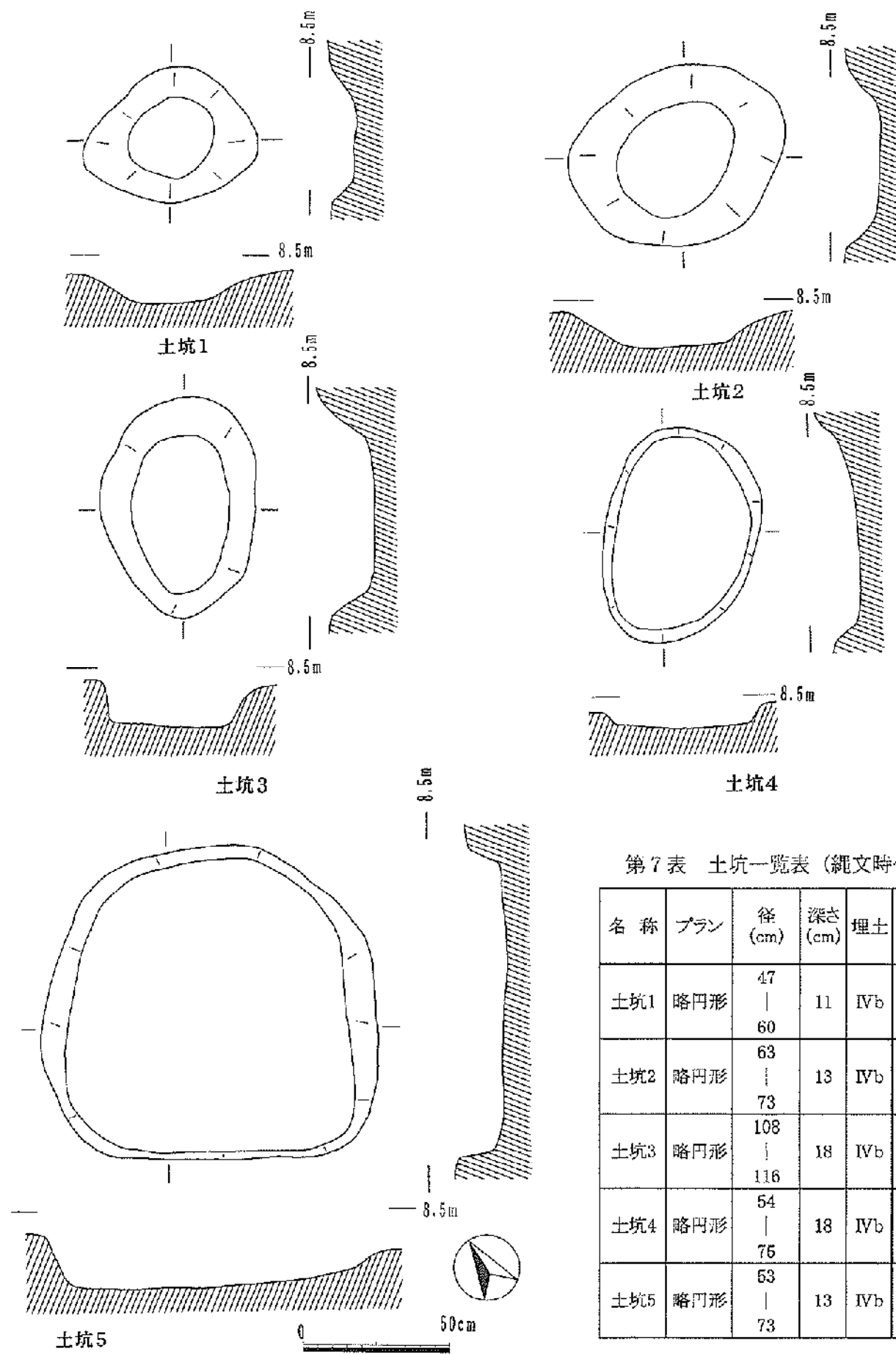
A-11区から検出された。検出面において長さ約4m、幅約1～1.4m、深さ約30～40cmを測る。遺構はIVd層に掘り込まれている。ほぼ南北方向に走り、北壁中に続く。比高差は約10cmで、北から南へ緩やかに傾斜している。断面は崩れた台形を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIVb層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

5. 土坑

最大径が60cm以上で、底が平坦に近いものを土坑とした。8区より3基(土坑1～土坑3)、10区より2基(土坑4、土坑5)検出された(第6図)。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土から縄文時代後期末(黒色磨研期)のものと思われる。



第15図 溝状遺構



第16図 土坑

第7表 土坑一覧表 (縄文時代)

| 名称 | プラン | 径 (cm) | 深さ (cm) | 埋土 | 遺物 |
|-----|-----|-----------------|---------|-----|----|
| 土坑1 | 略円形 | 47 60 | 11 | IVb | — |
| 土坑2 | 略円形 | 63 73 | 13 | IVb | — |
| 土坑3 | 略円形 | 108 116 | 18 | IVb | — |
| 土坑4 | 略円形 | 54 76 | 18 | IVb | — |
| 土坑5 | 略円形 | 53 73 | 13 | IVb | — |

土坑1 (第16図)

A-8区から検出された。平面プランは長径60約cm、短径約47cmの略円形を呈し、深さは約11cmである。遺構はIV d層に掘り込まれている。断面は崩れた台形を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIV b層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

土坑2 (第16図)

A-8区から検出された。平面プランは長径73約cm、短径約63cmの略円形を呈し、深さは約13cmである。遺構はIV d層に掘り込まれている。断面は崩れた台形を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIV b層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

土坑3 (第16図)

B-8区から検出された。平面プランは長径約116cm、短径約108cmの略円形を呈し、深さは約18cmである。断面は崩れた台形を呈する。遺構はIV d層に掘り込まれている。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIV b層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

土坑4 (第16図)

A-10区から検出された。平面プランは長径約75cm、短径約54cmの略円形を呈し、深さは約18cmである。断面は崩れた台形を呈する。遺構はIV d層に掘り込まれている。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIV b層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

土坑5 (第16図)

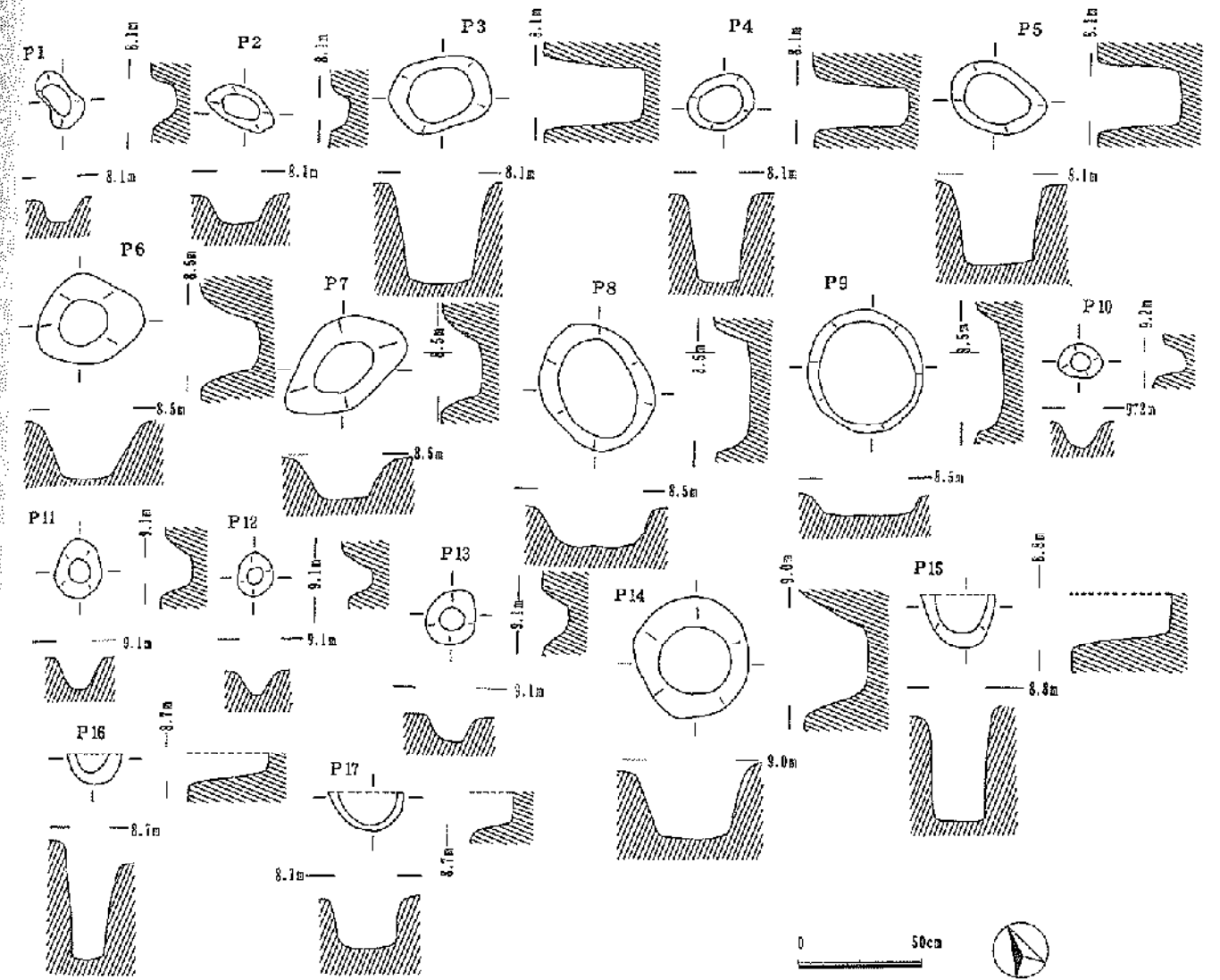
A-10区から検出された。平面プランは長径約73cm、短径約53cmの略円形を呈し、深さは約13cmである。断面は崩れた台形を呈する。遺構はIV d層に掘り込まれている。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてIV b層が充填されることから、遺構の成立は縄文時代後期末(黒色磨研期)と想定される。

6. ピット群 (第17図)

5区より2基(P1, P2), 7区より3基(P3~P5), 8区より2基(P6, P7), 10区より2基(P8, P9), 17区より4基(P10~P13), 18区より1基(P14), 19区より3基(P15~P17)の計17基検出された(第6図)。平面プランは円形のものが多く、直径は約15cm~49cm、深さは約10cm~50cmにわたる。ただし、P15~P17は北壁中に続いており、正確なプランは不明である。断面形はいわゆる柱穴状のものが多い。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土から、その形成時期を想定した。P1・P2を縄文時代後期中頃(指宿式期), P3~P9を縄文時代後期末(黒色磨研期), P10~P17を縄文時代晩期初頭(上加世田式期・入佐式期)とそれぞれ想定した。それぞれの平均値は、P1・P2が径20.3cm/深さ10.5cm, P3~P9が径・深さともに25.9cm, P10~P17が径23.6cm/深さ23.7cmとなった。詳細は一覧表(第8表)のとおり。

7. 獣骨を伴う集石 (第18図)

B-11より獣骨を伴う集石が1基検出された。ただし、調理用に用いられたいわゆる集石ではな



第17図 ピット群

第8表 ピット一覧表 (縄文時代)

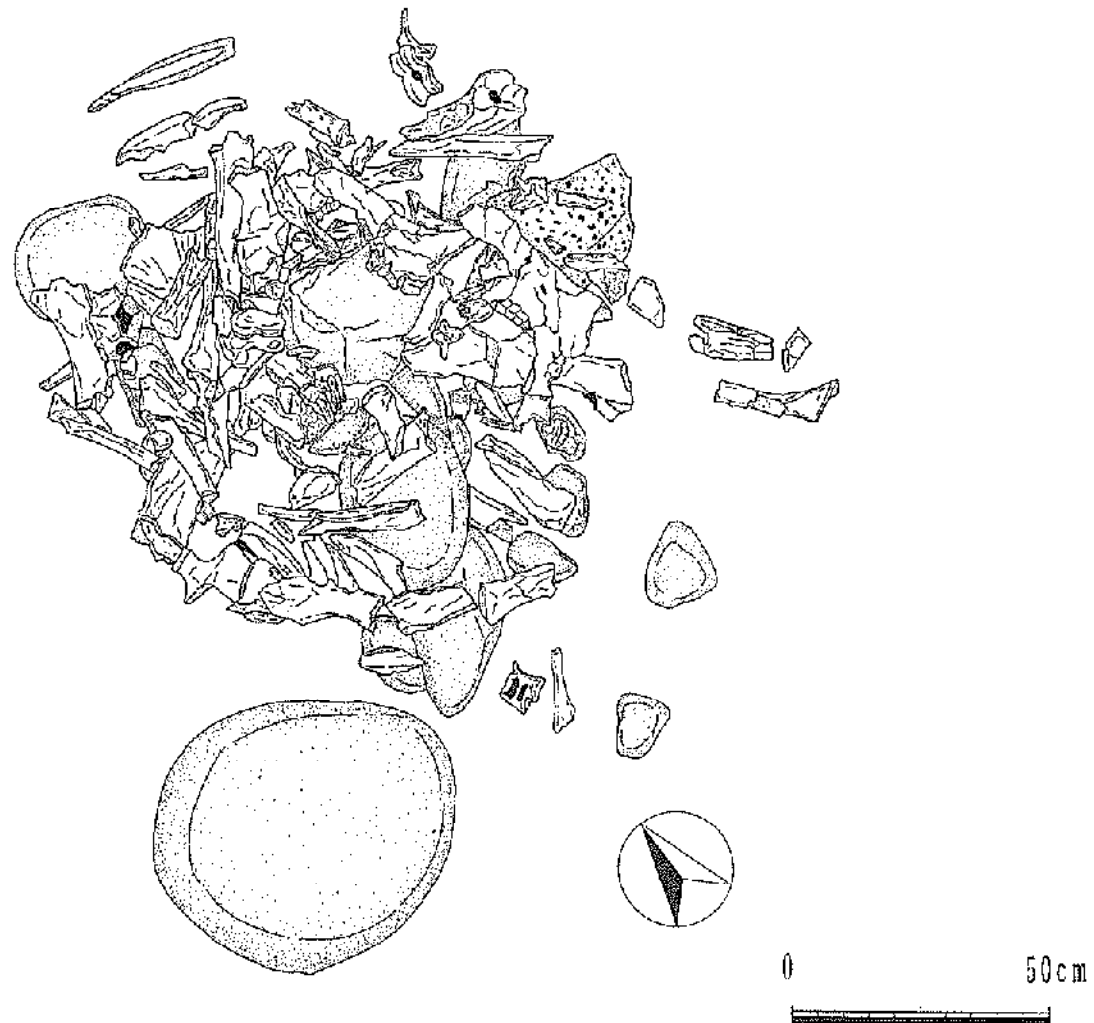
| 名称 | プラン | 径 (cm) | 深さ (cm) | 埋土 | 遺物 | 名称 | プラン | 径 (cm) | 深さ (cm) | 埋土 | 遺物 |
|----|-----|---------|---------|------|----|-----|-----|---------|---------|------|----|
| P1 | 楕円形 | 16 - 20 | 10 | IV d | - | P10 | 円形 | 14 - 18 | 12 | IV a | - |
| P2 | 楕円形 | 18 - 27 | 11 | IV d | - | P11 | 楕円形 | 19 - 24 | 12 | IV a | - |
| P3 | 楕円形 | 30 - 40 | 40 | IV b | - | P12 | 円形 | 14 - 16 | 11 | IV a | - |
| P4 | 円形 | 22 - 26 | 38 | IV b | - | P13 | 円形 | 20 - 22 | 11 | IV a | - |
| P5 | 楕円形 | 28 - 38 | 34 | IV b | - | P14 | 円形 | 44 - 50 | 27 | IV a | - |
| P6 | 円形 | 36 - 44 | 24 | IV b | - | P15 | 半円形 | 21 - 28 | 45 | IV a | - |
| P7 | 楕円形 | 38 - 40 | 17 | IV b | - | P16 | 楕円形 | 12 - 20 | 50 | IV a | - |
| P8 | 円形 | 47 - 51 | 16 | IV b | - | P17 | 楕円形 | 16 - 28 | 21 | IV a | - |
| P9 | 円形 | 45 - 50 | 12 | IV b | - | | | | | | |

く、同様の遺物を意識的に集積した集積遺構の一つと考えられる。用途は不明であるが、平成12年度調査において9トレンチから猪の下顎が少なくとも29体以上集中して検出されており、これや後述する埋葬された可能性のある犬骨等と同様、祭祀活動に関連したものと考えられる。

約1.6m×約2mの範囲内から（深さは約10cmの範囲内）、骨片約123点、礫約15点が集中して出土した。礫は、20cm大のものから60cm大のものまで様々な大きさのものがある。掘り込み等は確認されなかった。相伴遺物は検出されなかったが、IVb層中からの出土であることから、縄文時代後期末（黒色磨研期）のものと想定される。

8. 埋葬された可能性のある犬骨（写真1, 2）

A-10区から2カ所、犬骨が集中して検出された地点があった。約80cm四方の範囲内から犬骨が集中して出土したものであるが（写真1, 2）、ほぼ全身の骨格を備えており、埋葬された可能性がある。推定体高約40cmの小型犬である。ただし、骨の方向が一定ではなく、死後そのまま埋葬されたものではなく、再葬である可能性が高いと思われる。前述した猪の下顎の集中、獣骨を伴う集石等と同様、祭祀活動に関連したものと考えられる。いずれも掘り込み等は確認されなかった。相伴遺物は検出されなかったが、IVb層中からの出土であることから、縄文時代後期末（黒色磨研期）のものと想定される。



第18図 獣骨を伴う集石

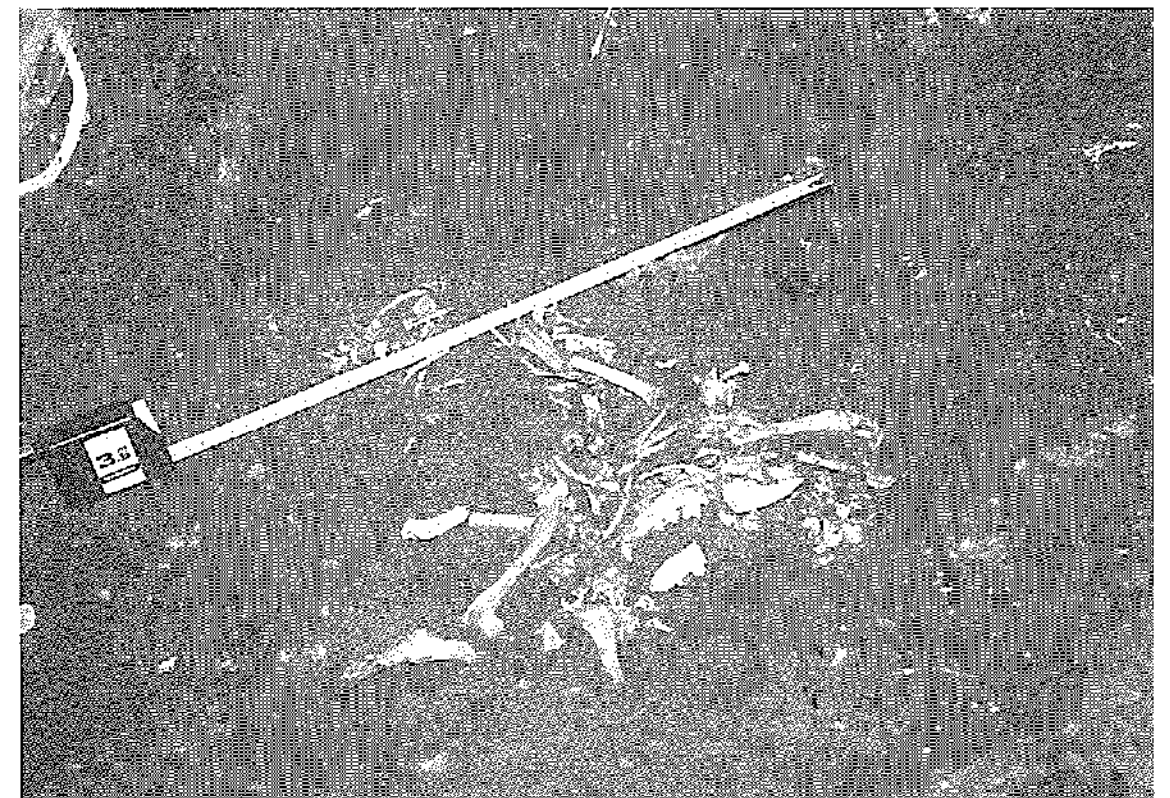
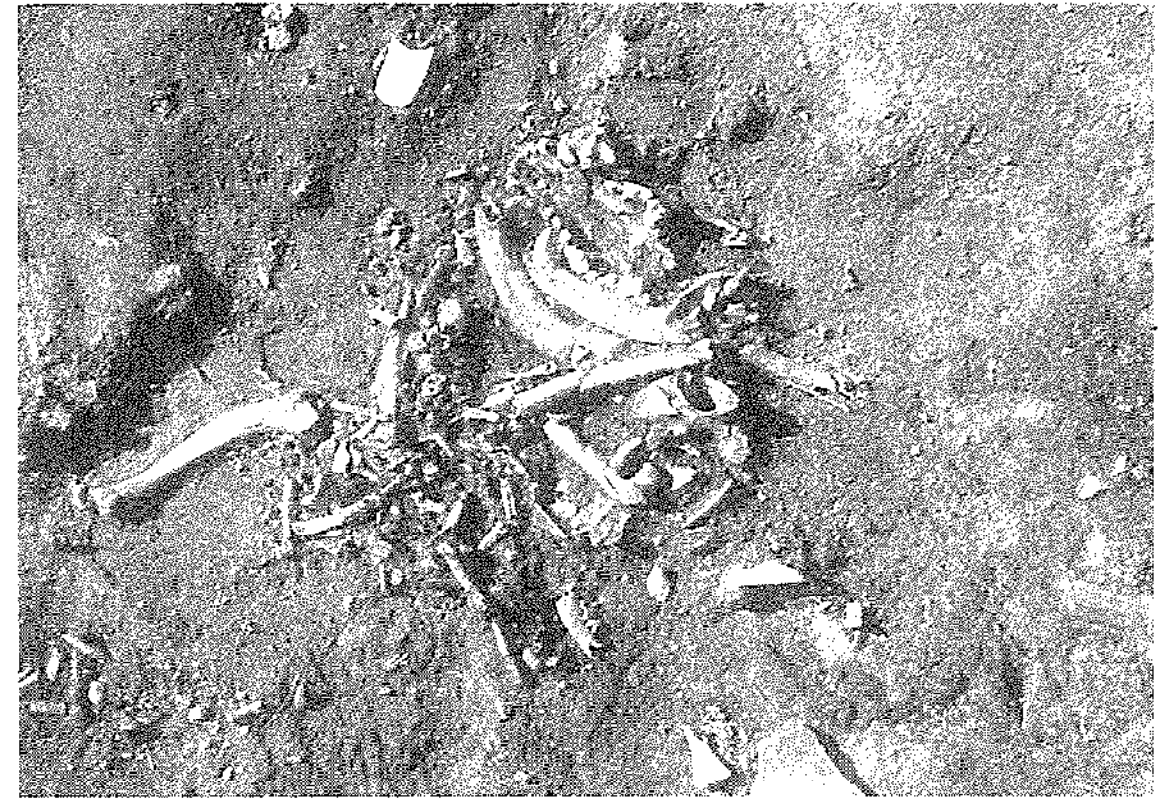


写真1, 2 埋葬された可能性のある犬骨

第4節 古墳時代の遺構

古墳時代の所産と考えられる遺構としては、掘立柱建物跡1基、溝状遺構2基、ピット1基が検出された。

1. 掘立柱建物跡 (第19図, 20図)

A-18区から検出された。約4.8m×約3mの範囲内に六角形状に配列される円形のピット8基からなる。建物主軸はほぼN90°Wである。P1~P2間, P2~P3間, P4~P5間, P5~P6間の間隔は約1.8m(1間)であり、規則的な配列をなす。これに対し、P2~P7間及びP5~P7間の間隔は約1.5mで、P7~P8間の間隔は約2.9mである。ピットの平均直径は約27cm、深さの平均は約26.5cmである(第9表)。P1~P3及びP7はほぼ同じ大きさを呈し(この4つのピットの平均直径は約21cm、深さの平均は約25.5cmである)、これに対し、P4~P6及びP8はほぼ同じ大きさ(平均直径は約33cm、深さの平均は約27.5cm)を呈する。断面形は、大半がいわゆる柱穴状を呈するが、P8のみ半円形を呈する。遺構はⅢ層に掘り込まれており、埋土としてⅡ層が充填される。ピット内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてⅡ層が充填されることから、遺構の成立は古墳時代と想定される。

2. 溝状遺構 (第19図, 21図)

19区から20区に跨ってわたって1基、19区より1基、計2基検出された。溝状遺構1、溝状遺構2と呼称する。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土からいずれも古墳時代のものと思われる。深さが異なり、用途も別のものと考えられる。

溝状遺構1 (第21図)

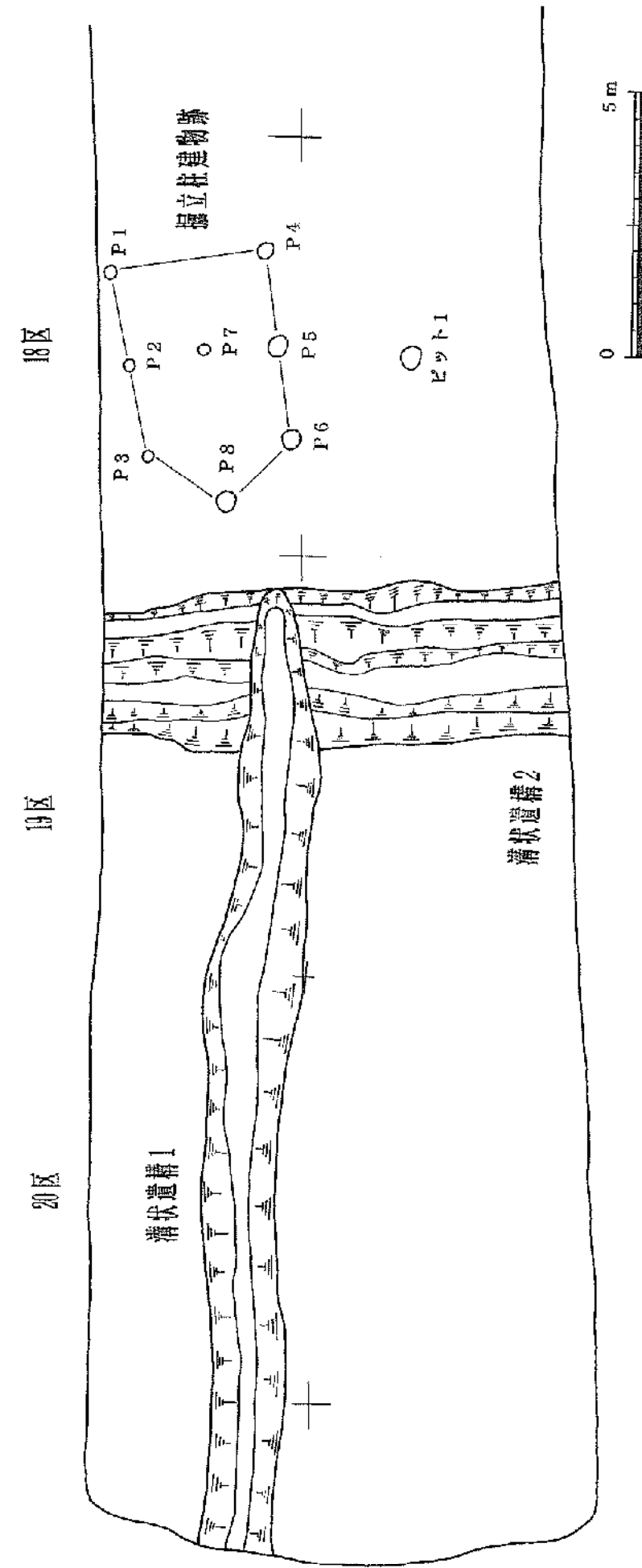
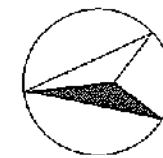
19区から20区に跨り検出された。検出面において長さ約18m、幅約1.5m、深さ約15cmを測る。Ⅲ層に掘り込まれている。ほぼ東西方向に走り、20区では西壁中に続く。20区・19区両区における比高差は殆どなく、特に傾斜は見られない。深さは浅く、断面は凹レンズ状を呈する。東端部は溝状遺構2に掛かる。溝状遺構1、溝状遺構2ともに埋土として充填されるのはⅡ層であるが、若干硬度・色調等に差異がみられるため、差別化した。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてⅡ層が充填されることから、遺構の成立は古墳時代と想定される。遺構の東方に掘立柱建物跡が位置すること、深さが浅く傾斜が見られないことから、古道の可能性も想定できよう。

溝状遺構2 (第21図)

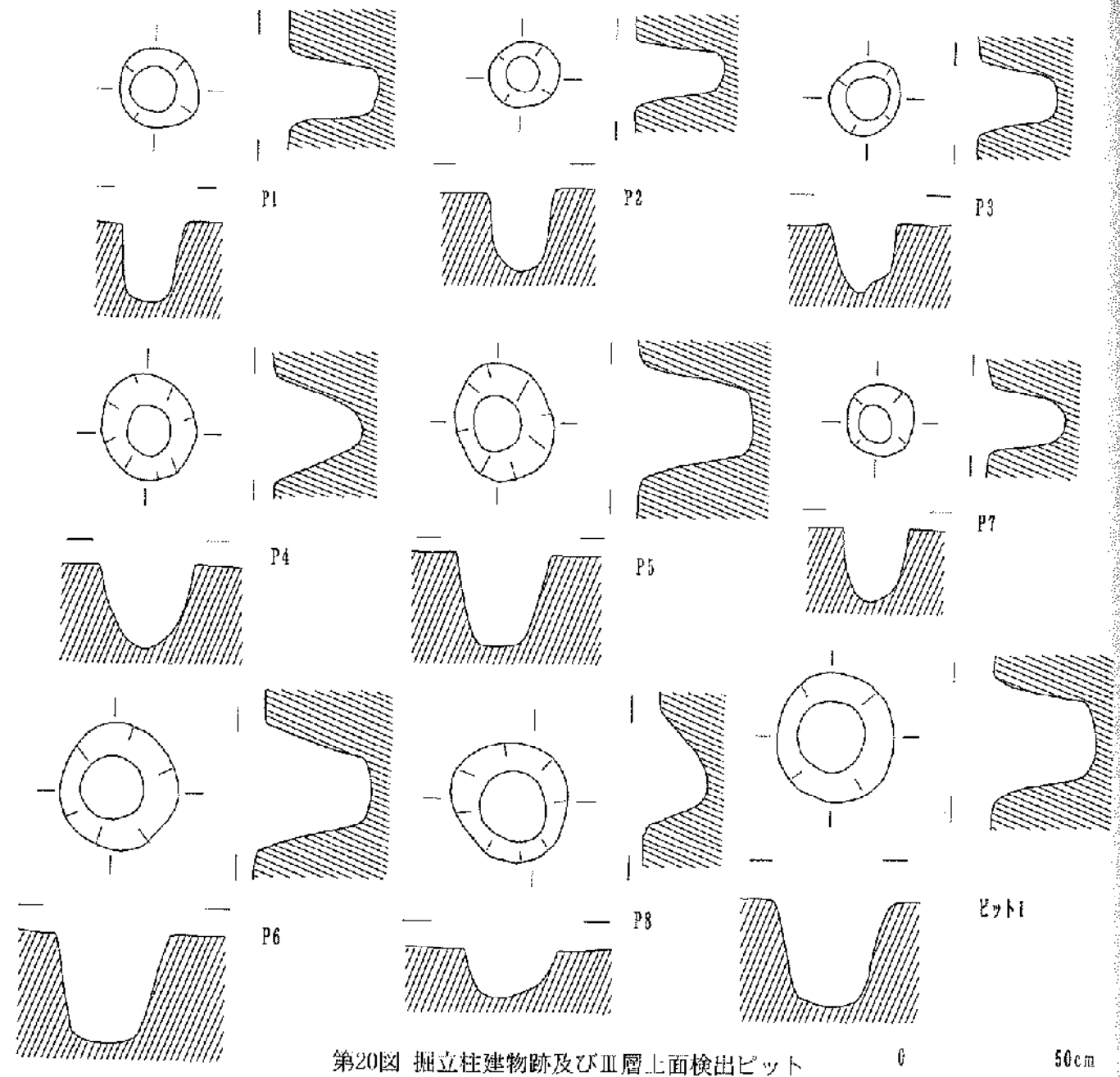
19区から検出された。検出面において長さ約9m、幅約3m、深さ約30~50cmを測る。ほぼ南北方向に走り、北壁、南壁中に続く。南北における比高差は殆ど無く、特に傾斜は見られない。断面は台形の一部が半円形に陥没した形状を呈する。遺構内からは特に遺物は検出されていないが、埋土としてⅡ層が充填されることから、遺構の成立は古墳時代と想定される。溝状遺構としたが、断面の形状や出土遺物が見られないことから、自然流路の可能性も残る。

3. ピット (第19図, 20図)

B-18区より基検出された。平面プランは円形で、検出面において直径約35cm~39cm、深さは検出面より約35cmである(第9表)。断面形はいわゆる柱穴状を呈する。遺構内から土器片が数片したものの、いずれも小片であり、詳細は不明である。埋土としてⅡ層が充填されることから、成川式土器片と考えられるが、詳細は不明である。遺構の成立も古墳時代と想定される。



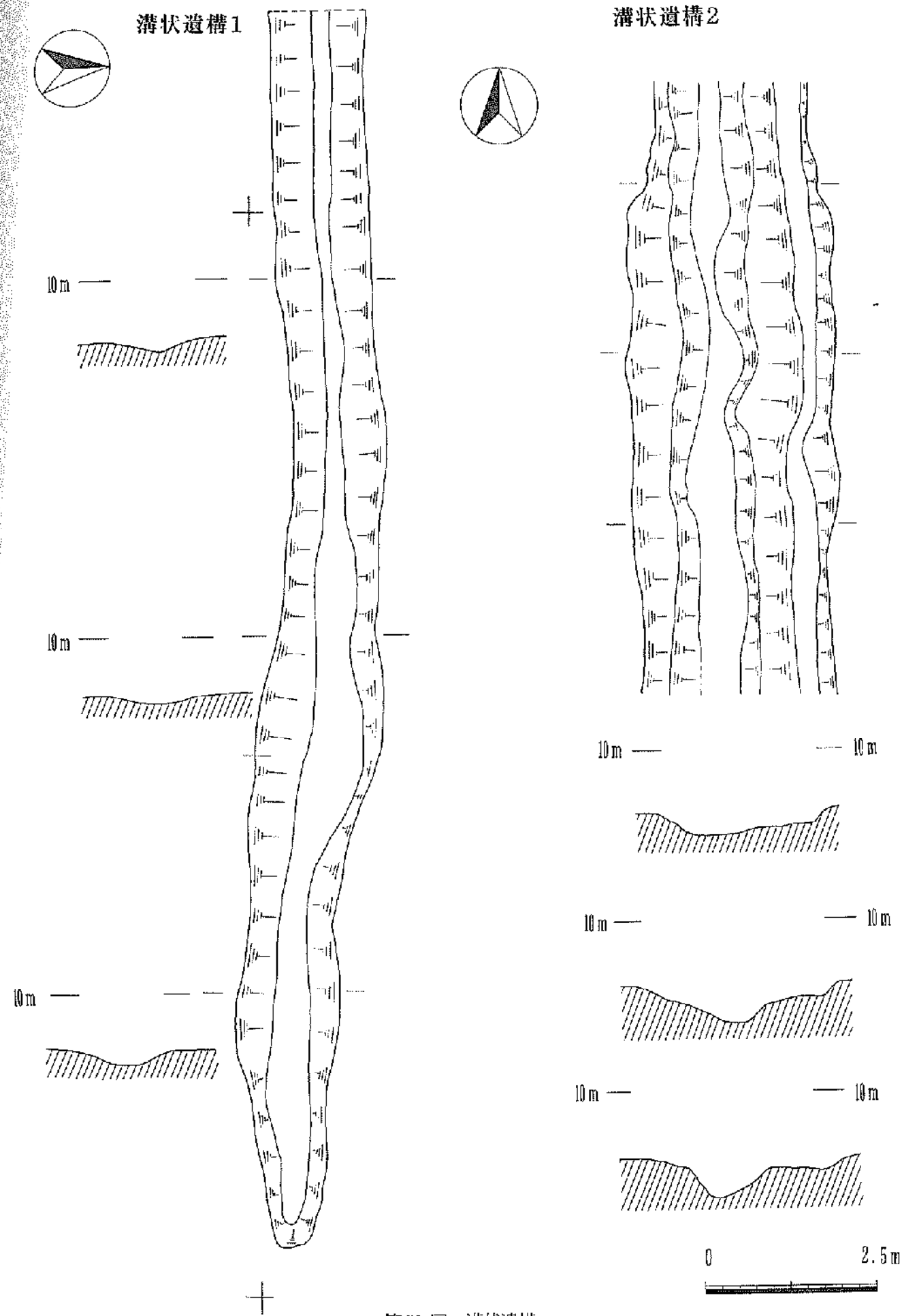
第19図 古墳時代の遺構配図



第20図 掘立柱建物跡及びⅢ層上面検出ピット 0 50cm

第9表 掘立柱建物跡及びⅢ層上面検出ピット一覧表

| 名称 | プラン | 径(cm) | 深さ(cm) | 埋土 | 遺物 | 名称 | プラン | 径(cm) | 深さ(cm) | 埋土 | 遺物 |
|----|-----|-------|--------|----|----|------|-----|-------|--------|----|----|
| P1 | 円形 | 21 | 24 | Ⅱ | — | P6 | 円形 | 30-33 | 28 | Ⅱ | — |
| P2 | 円形 | 21 | 26 | Ⅱ | — | P7 | 円形 | 22 | 24 | Ⅱ | — |
| P3 | 円形 | 21 | 28 | Ⅱ | — | P8 | 円形 | 28-35 | 16 | Ⅱ | — |
| P4 | 円形 | 35-38 | 32 | Ⅱ | — | ビット1 | 円形 | 35-40 | 32 | Ⅱ | ○ |
| P5 | 円形 | 29-36 | 34 | Ⅱ | — | | | | | | |



第21図 溝状遺構 0 2.5m

第5節 出土遺物

本遺跡からは、縄文時代前期から歴史時代にかけての非常に長期に亘る遺物が出土している。大半はIV層からの出土であるが、細分可能なIV層中からは層位に関わらず混在して出土したため、層位によって時期差を捉えることが困難であった。そのため、出土した層位に関わらず、形態や器種による分類に従って記述する。

1. 縄文土器

本報告書は平成9年度から平成10年度にかけて実施した調査の報告書であるが、第I章で述べたように、本遺跡は平成7年度と平成12～14年度にも発掘調査が実施されている。これらは全て同一遺跡からの出土であるので、平成16年度刊行の発掘調査報告書では、平成9・10年度調査も含めて一括して分類を試みている(2)。本報告書では、基本的にはその分類を踏まえ、更に統合・細分等考慮した上で、新たに分類を試みた。

ところで、土器型式については、各研究者により概念に微妙な差異があり、呼称については不適切なものも含まれるかもしれないが、一般的に認識されている(いわゆる)という接頭語をもって使用される)広義の呼称であることをご了承いただきたい。

平成16年度刊行の報告書において、柘原貝塚出土の土器は多様式かつ長時期にわたるものが出土していることがわかるが、そのうちでも、指宿式期、市来式期、黒色磨研期、晩期初頭の4つの時期に属する土器群が特に顕著に出土していることに注目し、これら4つの分類に属する土器群を、柘原貝塚出土土器の中で鍵となる型式であると認識した(1)。そこで、まずこれら4つの時期に着目し、大分類として便宜上以下の8グループ(第I群～第VIII群)を設定した。

第I群・・・縄文時代前期中葉から中期までの土器が該当する。時間的に幅の広い、若干中途半端な区分であるが、指宿式以前の土器という認識で分類した。6区をピークとし、遺跡東端に集中して出土する傾向がある。いずれも小片で、出土量も少なく、全体の出土量に対する割合は僅か数%に過ぎない。

第II群・・・縄文時代後期前半の土器が該当する。阿高式系の土器(南福寺式、出水式)、貝殻文系である指宿式土器が該当するが、主体をなすのは指宿式である。指宿式及び指宿式期に近い時期の土器という観点から分類した。遺跡の東方(7～11区)より集中して出土する傾向があるが、その分布は広範囲に及ぶ。貝Bとの共伴が認められる。

第III群・・・縄文時代後期後半の土器のうち、市来式系(市来式、草野式、丸尾式)の土器が該当する。7区をピークとし、遺跡の東方に集中して出土する傾向があるが、その分布域は広く、遺跡全域から満遍なく出土する。貝層中からの出土が認められ、貝塚の時期決定の判断材料とした。大量の出土で、本遺跡の鍵となる土器型式の一つである。

第IV群・・・縄文時代後期後半の土器で、いわゆる磨消縄文系と呼ばれている土器群が該当する。大きくは第III群と同時期のものと考えられているもの、それらに後続すると考えられている西平式が該当する。また、納管式もこの分類とした。本県では加治木町干迫遺跡から大量に出土している(4)が、他遺跡における出土例はあまり多くない土器群である。本遺跡においても、干迫遺跡には及ばないものの大量に出土した。西平式を除いて、貝層中からの出土が認められる。出土量は少ないが、第III群と同様分布域は広範

に及ぶ。10・11区を出土のピークとする。

第V群・・・縄文時代後期後半から晩期初頭にかけての、いわゆる黒色磨研土器が該当する。大きくは三万田式、御領式がそれである。本県では、出土例があまり多くは見られない土器群であるが、本遺跡からは大量に出土しており、本遺跡の鍵となる土器型式の一つである。型式は特定できないが、三万田式・御領式期のものと思われる無文土器が大量に出土しており、第V群に属すると思われる土器群は、全土器の出土量の凡そ約42%を占める。遺跡の中心付近に集中して出土する傾向があるが、その分布は広範囲に及ぶ。貝Bとの共伴が認められる。

第VI群・・・縄文時代晩期の土器が該当する。主体をなすものは晩期前葉の上加世田式、入佐式である。遺跡の西方に集中して出土する傾向がある。第VI群に属すると思われる土器群は、全土器の出土量の凡そ約23%を占める。貝Bとの共伴が認められる。

第VII群・・・縄文土器の底部を一括してこの分類とした。

第VIII群・・・その他のものを一括してこの分類とした。

次に、それぞれの群に含まれる土器をさらに分類した。各群の説明はそれぞれの項目ごとに後述することとし、まずその群を構成する型式名を述べる。

| | | | |
|------------|-------|----|-------|
| 第I群・・・1類 | 轟式系土器 | 5類 | 並木式 |
| 2類 | 曾畑式 | 6類 | 阿高式 |
| 3類 | 深浦式系 | 7類 | 大平式 |
| 4類 | 春日式 | | |
| 第II群・・・1類 | 南福寺式 | 3類 | 指宿式 |
| 2類 | 出水式 | 4類 | その他 |
| 第III群・・・1類 | 市来式 | 4類 | 無文土器 |
| 2類 | 草野式 | 5類 | その他 |
| 3類 | 丸尾式 | | |
| 第IV群・・・1類 | 鐘崎式 | 4類 | 西平式 |
| 2類 | 北久根山式 | 5類 | 納管式 |
| 3類 | 辛川式 | 6類 | その他 |
| 第V群・・・1類 | 三万田式 | 4類 | 注口土器 |
| 2類 | 御領式 | 5類 | 高杯形土器 |
| 3類 | 無文土器 | | |
| 第VI群・・・1類 | 上加世田式 | 3類 | 黒川式 |
| 2類 | 入佐式 | 4類 | その他 |

以上8グループ39類に分類した。場合によっては、さらに細分し、a、b、c・・・とグループ分けしているものもある。例えば、第III群市来式をさらに細分した場合、Ⅲ-2a類、Ⅲ-2b類・・・となる。それぞれの分類については、後述する。

小片も含めて、全15,676点(重量580,571g)の土器の型式を特定した(第10表)。これを設定した属別に分類すると、第11表及び第22図、第23図のようになる。この表及び図より、柘原

貝塚出土の土器は、設定したそれぞれの属ごとに、集中して出土する場所があることがわかる。つまり、出土場所により凡その時期が特定できると言える。

型式を特定したもののうち残存部位が比較的良好で特徴的なもの9,917点(重量416,899g)と、底部その他のもので残存部位が比較的良好で特徴的なもの8,521点(重量425,185g)の合計18,438点(重量842,084g)について、以下記述を行う。紙面スペース・整理期間等の関係上主要なもののみ記述及び図化を試み、他のものについては、それぞれの分類の項中で、点数及び重量を記すに留める。

その他の小片及び胴部片等の詳細不明で、型式設定に決め手のないものについては、設定したどの群に属するかという分類に留め、点数と重量を記す。(第12表)。ただし、Ⅱ・Ⅲ群に属するもので、無文のものについては、調整等からどのグループに属するかを判断するのは困難であったため、Ⅱ・Ⅲ群として一括して取り扱った。

第11表と第12表を統合し、全ての土器172,916点(重量4,839,368g)について出土状況を表したものが第13表及び第24図、第25図である。

次に、それぞれについて解説する。図は、紙面の都合上レイアウト優先で掲載した。そのため、掲載順序が順不同であることをご了承いただき、第15～26表の観察表挿入番号を参照されたい。

(1) 第Ⅰ-1類土器(第26図1)

縄文系土器に属すると考えられる。志布志町野久尾遺跡の発掘調査報告書では、酒匂義明氏がアカホヤ層との関係より、前期中葉以後の土器と位置付けている(5)。本遺跡出土のものも、形態的には野久尾遺跡出土のものと同様に類似しており、野久尾遺跡と同時期と想定した。

ごく微量の出土で、図化したもの他には詳細不明な小片が数点出土したのみである。図化したものは平成14年度確認調査で出土したもので、平成16年度に刊行した報告書掲載分の再録である。1は口縁部にミミズばれ状の貼付細隆起帯文を4条有する、いわゆる藤B式土器である。口唇部に楕円形状の押点を、連続して施す。器内面に貝殻条痕が見られる。

(2) 第Ⅰ-2類土器(第26図2～5)

縄文時代前期後半に位置付けられる、曾畑式土器に属すると考えられるものである。ごく少数の出土で、全部で6点(重量50g)出土した。中村氏は、文様帯の構成により曾畑式を3期に区分している(6)が、本遺跡出土のものは(中村氏の)Ⅱ式に該当するものが多い。

2は直線的に立ち上がる器形を有する。器外面口縁部付近に横位の短沈線文が数条施され、その下位に横位及び縦位の短沈線文が施される。器内面口縁端部に凹点が密に施され、その下位に横位の沈線が5条施される。器内外面ともに丁寧なナデ調整が施される。3・4は若干湾曲して立ち上がる器形を有する。3は口唇部に密な凹点を施す。器外面には縦位及び斜位の短沈線が施され、器内面口縁部付近には貝殻連点文が施される。4は器外面口縁端部に4条の横位の沈線文が施され、その下位に斜位の沈線文が施される。器内面口縁端部に数条の短沈線が施される。いずれも器内外面にナデ調整が施されるが、2は1・3と比して若干雑である。5は若干内湾ぎみに立ち上がり、端部が短く「くの字状」に外反する器形を有する。器外面に縦位及び横位の沈線文が、器内面口縁端部に横位の沈線文がそれぞれ施される。器内外面にナデ調整が施されるが、若干雑な仕上げである。胎土が2～4とは異なり、灰黄褐色を呈する。

(3) 第Ⅰ-3類土器(第26図6～9)

縄文時代中期の深浦式系土器に属するものと考えられる。4区をピークとし、遺跡東方を中心に37点(重量1,120g)出土した。小片であり、形状による分類は困難であったため、文様要素に着目し、刻目突帯文の有無で2類に細分した。隣接する垂水市重田遺跡からは多量の深浦式が出土しており(8)、両者の関連が予想される。

a類(第Ⅰ-3a類)(第26図6～8)

刻目突帯文を有するものである。他の文様要素として沈線文、連点文が施される。A4区をピークとして、全部で39点(重量1,535g)出土した。1～3類中約25%を占める。

6は僅かに外反するが、直線的に外へ開く器形を有する。器外面に5条の横位の刻目突帯文を有し、その下位に斜位の貝殻連点文を施す。器内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整を施す。7・8は胴部片である。7は器外面に横位の刻目突帯文を施し、その下位に鋸歯状の平行沈線文を、さらにその下位に横位の3条の刻目突帯文を施し、さらにその下位に貝殻連点文を施す。器外面はナデ調整を、器内面は貝殻腹縁による条痕調整を施す。8は器外面に横位の刻目突帯文を数条施し、その下位に貝殻連点文を施す。器外面はナデ調整及び貝殻腹縁による条痕調整を、器内面は貝殻腹縁による条痕調整を施す。

b類(第Ⅰ-3b類)(第26図9)

刻目突帯文を有さないものである。主に貝殻連点文により施される。A4区をピークとして、122点(重量4,410g)出土した。1～3類中約75%を占める。

9は胴部片である。器外面に縦位の貝殻連点文を施し、その横に貝殻連点文を弧状に施す。器内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整を施す。

(4) 第Ⅰ-4類土器(第26図10～13)

縄文時代中期の春日式に属するものと考えられる。口縁部がやや内湾する器形を有する。A5区をピークとして、遺跡東方を中心に46点(重量920g)出土した。

10～14はいずれも口縁部片で、内湾する器形を有する。10、11は器外面にはりつけ文を有する。10は器外面にはりつけ文を施し、器面調整として内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整を施す。11は細いはりつけ文の他に、口縁端部に横位の沈線文を2条施し、はりつけ文で区画された範囲内に縦位の短沈線文を施す。器外面にナデ調整を、器内面に貝殻腹縁による条痕調整を施す。12・13ははりつけ文を有さず、陰刻文のみ施される。12は口唇部にも密な刻目を連点状に施す。いずれも器外面にナデ調整を、器内面に貝殻腹縁による条痕調整を施す。

(5) 第Ⅰ-5類土器(第26図14～16)

縄文時代中期の並木式に属するものと考えられる。胎土中に滑石が見られる。ごく微量の出土で、図化した3点の他に3点(計6点、重量110g)出土したのみである。

14は口縁部片で、15・16は胴部片である。14・15は器外面に凹線文と連点文が、16は器外面に短沈線がそれぞれ施される。いずれも器内外面ともに丁寧なナデ調整が施されている。

(6) 第Ⅰ-6類土器(第26図17～19)

縄文時代中期の阿高式に属すると考えられる。主文様要素として、やや太めの凹線文が施される。出土数は少なく、A5区をピークとして、遺跡東方を中心に25点(重量775g)出土した。

17 は口縁部が直立し、18・19 はわずかに外反する器形を有する。いずれも器外面にやや太めの凹線を施す。17・18 は口唇部に篋状工具または指頭による凸凹をめぐらす。19 は指頭による緩やかな凸凹と、貝殻刺突文を施す。器面調整は、いずれも器外面にナデを施し、器内面に17・18 は指押さえとナデ調整を、19 は貝殻腹縁による条痕調整をそれぞれ施す。17 は18・19 と胎土が異なり、橙色を呈する。

(7) 第Ⅰ-7 類土器 (第26 図20・21)

縄文時代中期の大平式と呼ばれるものに属する。器面に櫛歯状工具による齒状文が施される。ごく微量の出土で、3点(重量30g)出土したのみである。

20・21 はいずれも僅かに内湾する口縁部である。いずれも器外面に齒状文が施され、器面調整として器外面にナデ調整が、器内面に貝殻腹縁による条痕調整とナデ調整が施される。

(8) 第Ⅱ-1 類土器 (第26 図22)

縄文時代後期初頭の南福寺式土に属するものと考えられる。太目のヘラ描き手法により施文される。ごく微量の出土で、明確に判別できたのは図化した1点のみである。

22 は大きく外傾して開き、端部でくの字状に屈曲して立ち上がる口縁部である。やや肥厚した口縁部に太めの凹線を施す。器内外面ともに丁寧なヘラミガキ調整が見られる。

(9) 第Ⅱ-2 類土器 (第26 図23)

縄文時代後期前半の出水式に属するものと考えられる。やや肥厚した口縁部に、直線による幾何学的な文様を施す。ごく微量の出土で、図化したものの他に、詳細不明な小片が3点出土したのみである。図化したものは平成16年度に刊行した報告書掲載分の再録である(14年度調査出土遺物)。

23 は僅かに外反する口縁部である。やや肥厚した口縁部に、縦位の短沈線と方形の沈線文を施す。器内外面ともにナデ調整が施される。

(10) 第Ⅱ-3 類土器 (第26 図24～第31 図64)

縄文時代後期前半の指宿式に属すると考えられる。文様形態により3つに細分した。いずれのものも並行沈線文を基本とし、b、c類はa類のバリエーションとして捉えられよう。擬似縄文状のものも見られる。A6区をピークとして、遺跡東方を中心に出土するが、その分布は広く遺跡全域から出土する。総数2,241点(重量69,719g)出土した。

いずれも並行沈線により施文され、文様のモチーフは直線に曲線、円等が混ざるものが主体である。器面調整は、貝殻腹縁による条痕調整またはケズリ調整の後ナデ調整がなされているものが多い。外面と比して内面の調整が粗雑なものが多い。

a類 (第Ⅱ-3 a類) (第26 図24～第30 図55)

器外面の文様が、沈線文のみによって構成されるものである。ただし、内面に施文の見られもの、口唇部に刻目を施すもの等が存在する。A6区をピークとして、2,122点(重量65,135g)出土した。第Ⅱ-3類の大半はこのタイプで、第Ⅱ-3類中93.4%を占める。

24・25 は指宿式の中でも古い段階のものと思われる。他のものより沈線が太く、凹線状を呈する。24 は僅かに内湾して立ち上がる口縁部で、山形口縁を呈する。25 は内湾する口縁部で、口縁端部に工具による押引手法で連点文を密に施し、その下位に並行沈線文による文様帯を有する。

26～38 は、山形口縁を呈するものである。そのうち26～29 は、胴部より一旦内湾して立ち上

り、さらにくの字状に屈曲して開く口縁部へと続く器形を有するものである。そのため、肩部が張る器形を呈する。いずれも口唇部山形口縁の頂部に短沈線が施され、26・27 は施文が内面にも及ぶ。

30～33 は、直立気味に立ち上がり、先端で外反して開く器形を有する。30・31 は山形口縁の頂部内面にも施文が及ぶ。32 は口唇部山形口縁の頂部に短沈線が施される。

34～38 は、ほぼ真っ直ぐに立ち上がるが、先端が僅かに外反する器形を有するものである。34・35 は山形口縁の頂部内面にも施文が及ぶ。36 は口唇部山形口縁の頂部に短沈線が、37 は口唇部山形口縁の頂部に貝殻刺突が、それぞれ施される。

39～54 は、若干波状気味ではあるが、ほぼ平縁な口縁部を有するものである。そのうち39～43 は、胴部より一旦内湾して立ち上がり、さらにくの字状に屈曲して開く器形を有するものである。39 は口唇部から内面に掛けて、縦位の短沈線が巡る。また、39 は僅かに口縁部の一部が山形口縁状に持ち上がるが、その部分の内面には、前述した短沈線に続くように貝殻刺突が施される。

45～49 は、直立気味に立ち上がり、先端で外反して開く器形を有する。44 は口唇部に横位の沈線が1条巡り、それに一部縦位の短沈線が4条ポイントとして施される。45 は口唇部に横位の沈線が1条巡る。口縁部付近に補修孔と思われる孔を1つ穿つ。

49～54 は、ほぼ真っ直ぐに立ち上がるが、先端が僅かに外反する器形を有するものである。51 は内面の一部に施文する。口縁部付近が僅かに肥厚しており、内面肥厚部との境に明確な稜を施す。

55 は、僅かに内湾して立ち上がる器形を有するものである。

b類 (第Ⅱ-3 b類) (第30 図56～第31 図63)

沈線文間に連点状の刺突文が見られるものである。沈線間で区画された範囲内に擬似縄文状に連点文が施されるものや、沈線文上に刺突文が施されるものもある。B6区をピークとして、88点(重量3,459g)出土した。第Ⅱ-3類中5%を占める。

56～58 は、平縁口縁の一部に突起を取り付け、山形口縁状の外観を呈するものである。そのうち56・57 は、口縁部がほぼ真っ直ぐに立ち上がる器形を有する。56 は、器外面に連点文を施すのではなく、口縁頂部の突起口唇部に施される。他の口唇部には、縦位の短沈線が巡る。器外面の文様は並行沈線を基本とし、波状文がポイントとして施される。57 は口縁頂部に粘土帯を丸く貼り付け装飾するもので、内面にも施文が及ぶ。

58 は、口縁部が内湾する器形を有するものである。口縁部の一部に突起を付け、さらに突起外面には粘土帯を貼り付け装飾する。口縁頂部の口唇部及び内面は連点文により施文される。また、器内面の一部にも沈線文が施される。

59～63 は、ほぼ平縁な口縁部を有するものである。そのうち59・60 は、内湾して立ち上がる口縁部が、先端でさらにくの字状に屈曲して開く器形を有するものである。59 は、口縁部付近に横位の沈線・縦位の短沈線・刺突文により施文される文様帯を有し、この文様帯は口唇部及び器内面にも及ぶ。60 は、連点文が竹管状の工具により施文される。口唇部には横位の沈線が巡る。

61 は、口縁部がほぼ真っ直ぐに立ち上がる器形を有する。

62・63 は、口縁部が僅かに内湾する器形を有するものである。62 は、口縁端部が僅かに肥厚し、肥厚部分に横位の沈線と縦位の短沈線による施文がなされ、出水式状の文様帯を有する。さらに、この文様帯の下位に細く丸い工具による連点文を巡らす。

c類 (第Ⅱ-3c類) (第31図64)

沈線文の他に、貝殻腹縁による横位または斜位の刺突文が見られるものである。A6区をピークとして、31点(重量1,125g)点出土した。点数は少なく第Ⅱ-3類中1.6%を占めるに過ぎない。

64は、口縁部がほぼ真直ぐに立ち上がり、先端が僅かに外反する器形を有する。平縁口縁である。口縁端部に貝殻刺突を横位に連続して巡るが、この文様パターンは器内面にも及ぶ。

(11) 第Ⅱ-4類土器

第Ⅱ群に属すると思われるもので、詳細不明のものを一括してこの分類とした。

(12) 第Ⅲ-1類土器 (第31図65~第45図208)

縄文時代後期中頃の市来式に属すると考えられる。遺跡東方を中心に出土する(ピークはB6区)が、その分布は広く遺跡全域から満遍なく出土する。総数2,235点(重量110,820g)出土した。

口縁部を断面三角形に肥厚させて複合口縁状にし、そこに文様を施す土器群であるが、施文部位や文様モチーフ等バリエーションに富む。器面調整は、貝殻条痕調整の後ナデ調整がなされるものが多いが、ナデが粗雑で貝殻条痕がそのまま残るものもある。胎土に雲母片を含むものが多い。

市来式については、前迫亮一氏が下迫遺跡報告書で口縁部文様帯の文様要素から詳細なグルーピングをしており(4)、本報告書は、それを参考に分類することにした。まず、施文部位と器種に着目し、3類に大別した。さらに1類は文様構成により細分した。

1類 (第Ⅲ-1-1類) (第31図65~第39図156)

口縁部断面三角部の上位のみに文様をもつ土器群。第Ⅲ-1類中約67%を占める。総数2,035点(重量110,820g)出土した。第1類はさらに、以下のように分類される。

a類 (第Ⅲ-1-1a類) (第31図65~第33図72)

口縁部文様帯が単一刺突文で施された土器。同一文様を単純に口縁部に連続して巡らすもの。施文具はヘラ状工具を用いたもの(65~69)や貝殻腹縁部を用いたもの(70~75)が多い。平縁口縁が多い。第Ⅲ-1-1o類に次いで数が多く、Ⅲ-1-1類中約20%を占める。B6区をピークとして、388点(重量14,795g)出土した。

b類 (第Ⅲ-1-1b類) (第32図76~78)

口縁部文様帯に貝殻腹縁による刺突文を横位あるいは斜位に連続して施文するものである。ごく少数出土した(Ⅲ-1-1類中約1.4%)。B6区をピークとして、26点(重量1,020g)出土した。

c類 (第Ⅲ-1-1c類) (第33図79~第32図83)

口縁部文様帯に、1条から数条の沈線文を施すものである。79のように、途切れる沈線がポイント状に施されるものもある。点数はあまり多くなく、Ⅲ-1-1類中約4%を占めるに過ぎない。A13区をピークとして、117点(重量2,912g)出土した。

80は山形口縁の頂部にボタン状の突起を有し、内面にはS字状の沈線文が施される。補修孔と思われる孔を1つ穿つ。

d類 (第Ⅲ-1-1d類) (第33図84, 第32図85)

横走る沈線文を基本とする文様に、縦位の短沈線文や刺突文をポイントとして施したものである。点数はあまり多くなく、Ⅲ-1-1類中約2.1%を占めるに過ぎない。B5区をピークとして、35点(重量1,578g)出土した。

84は、口縁部文様帯下位に貝殻腹縁による条痕調整が見られるが、連続する貝殻条痕を一部消すことで文様状の効果を上げている。

e類 (第Ⅲ-1-1e類) (第32図86, 87)

口縁部下に貝殻腹縁部による刺突文や沈線文で構成した鋸歯状文様が見られるものである。ごく微量の出土で(Ⅲ-1-1類中約1%)。B5区をピークとして18点(重量705g)出土した。

87のように、鋸歯状というより弧状を呈するものもある。

f類 (第Ⅲ-1-1f類) (第33図88~92)

口唇部のみ刻目文を施すもの。ごく微量の出土で、Ⅲ-1-1類中約0.3%を占めるに過ぎない。B5区をピークとして11点(重量195g)出土した。

88・89は、平縁口縁の一部に突起状の装飾部を有する。89は装飾突起の内面及び上面に未貫入孔を施す。92は刻目ではなく口唇部に貝殻刺突を巡らすものである。

g類 (第Ⅲ-1-1g類) (第33図93, 94)

口唇部に刻目をもち、さらに口縁部下に貝殻腹縁部(93)やヘラ状工具(94)により連続刺突文を巡らすものである。ごく微量の出土で、僅かに3点(重量40g)出土した(Ⅲ-1-1類中約0.1%)。

94は、器内面の一部にも刺突文が施される。

h類 (第Ⅲ-1-1h類) (第33図95)

口唇部に刻目をもち、さらに口縁部下に沈線文さらに下位に連続刺突文を施すもの。ごく微量の出土で、僅かに4点(重量215g)出土した(Ⅲ-1-1類中約0.3%)のみである。

i類 (第Ⅲ-2-1i類) (第33図96)

口縁部下に連続刺突文を、さらにその下位に沈線文を施すもの。ごく微量の出土で、僅かに2点(重量30g)出土した(Ⅲ-1-1類中約0.1%)のみである。

j類 (第Ⅲ-1-1j類) (第34図97, 98)

口縁部下に密な連続刺突文を、さらにその下位に貝殻腹縁部による斜位の連続刺突文を施すもの。ごく微量の出土で(Ⅲ-1-1類中約0.8%)。B6区をピークとして15点(重量620g)出土した。

k類 (第Ⅲ-1-1k類) (第34図99, 100)

口縁部下に沈線文を、さらにその下位に連続刺突文を施すもの。ごく微量の出土で(Ⅲ-1-1類中約0.9%)。A5区をピークとして17点(重量695g)出土した。

l類 (第Ⅲ-1-1l類) (第34図101, 102)

口縁部下に貝殻腹縁部による斜位の連続刺突文を施し、さらにその下位に凹点状の密な連続刺突文と鈎針文を施したものである。点数はあまり多くない(Ⅲ-1-1類中約3.4%)。B6区をピークとして44点(重量2,515g)出土した。

m類 (第Ⅲ-1-1m類) (第34図103, 104)

口縁部下断面三角形の頂部に刻目をもちものである。ごく少数の出土で、Ⅲ-1-1類中約1.1%を占めるに過ぎない。A13区をピークとして23点(重量810g)出土した。

n類 (第Ⅲ-1-1n類) (第34図105, 106)

口縁部文様帯の上下2列に連続刺突文を巡らすものである。ごく微量の出土で(Ⅲ-1-1類中約0.9%)。B16区をピークとして12点(重量625g)出土した。

o類(第Ⅲ-1-1o類)(第35図107~第36図132)

口縁部文様帯の上下2列に巡らした連続刺突文の間に1条から数条の沈線文(または凹線状文)を施したものである。山形口縁の頂部に把手を有するもの(107~109, 109は欠損)、平縁口縁の一部に装飾状突起を有するもの(110)、山形口縁の頂部にポイントとして刺突文や短凹線を施すもの(111~121, このタイプには山形口縁頂部内面に施文されるものもある)、沈線間にさらに刺突文を加えたもの(124)等バリエーションに富み、第Ⅲ-2-1類中最も複雑な文様構成をもつ。山形口縁が多く、文様帯の幅もやや広い。Ⅲ-1-1類中最も数が多く、1類中約40%を占める。B6区をピークとして、477点(重量29,895g)出土した。

p類(第Ⅲ-1-1p類)(第38図133~140)

口縁部文様帯の上下2列に巡らした連続刺突文の間に主として貝殻腹縁による刺突文を施したものである。1類中約5.3%を占める。A7区をピークとして、71点(重量3,930g)出土した。

q類(第Ⅲ-1-1q類)(第39図141~146)

口縁部文様帯を沈線文と連続する凹点や刺突文で飾るものである。山形口縁の頂部にポイントとして短沈線や刺突文が施されるもの(141~143)、沈線文と貝殻刺突により施文されるもの(144~146)等、バリエーションに富む。1類中約6.2%を占める。B7区をピークとして、99点(重量4,585g)出土した。

r類(第Ⅲ-1-1r類)(第39図147~156)

その他のものを一括してこの分類とした。詳細不明な小片もこの分類に含めた。口縁部内面が施文されるもの(147, 148)もある。

2類(第Ⅲ-1-2類)(第40図157~第45図194)

胴部まで文様が施文されるものである。文様構成を口縁部文様帯と胴部文様の組み合わせと捉え、口縁部文様帯の文様要素に着目すると、口縁部文様帯が第Ⅲ-1-1a類の属性をもつもの(157~161)、第Ⅲ-1-1b類の属性をもつもの(162)、第Ⅲ-1-1c類の属性をもつもの(163, 164)、第Ⅲ-1-1d類の属性をもつもの(165)、第Ⅲ-1-1e類の属性をもつもの(166, 167)、第Ⅲ-1-1f類の属性をもつもの(168)、第Ⅲ-1-k類の属性をもつもの(169)、第Ⅲ-1-1o類の属性をもつもの(170~188)、第Ⅲ-1-1r類の属性をもつもの(189~194)などがある。いずれも文様パターンは複雑かつバリエーションに富み、多様な様相を呈する。山形口縁の頂部内面にも施文されるものもある。土器の施文部位に着目すると、口縁部文様帯に比重が置かれ胴部文様が従属的なもの、胴部に比重が置かれ口縁部文様帯が従属的なもの等がある。第Ⅲ-1類のうちで約30%を占める。B5区をピークとして、468点(重量32,365g)出土した。

3類(第Ⅲ-1-3類)(第46図195~第45図208)

台付皿形のものを一括して取り扱った。沈線文と刺突文、粘土帯貼付等により多様に施文される。刺突文も竹管状工具、貝殻腹縁等様々な道具により施される。赤色顔料を塗付したもの(195, 199, 203)もある。脚台にはすかし状に貫入孔を有するものもある(200, 204, 205, 208)。

第Ⅲ-1類中約3%を占める。B5区をピークとして、93点(重量4,380g)出土した。

(13) 第Ⅲ-2類土器(第47図209~第49図227)

従来草野式と呼ばれているものである。市来式と比して、口縁部厚部が薄く、施文部位もやや広

がる。口縁部が外反するが、この口縁部の形態や文様・施文部位等の差異から、第Ⅲ-4類とは差別化した。

器面調整は第Ⅲ-1類と同様、貝殻腹縁による条痕調整の後ナデ調整がなされるものが多いが、ナデが粗雑で貝殻条痕がそのまま残るものもある。胎土に雲母片を含むものが多い。

遺跡東方を中心に遺跡全域から出土する。B15区をピークとして、183点(重量9,790g)出土した。更に口縁形態により細分した。

a類(第Ⅲ-2a類)(第47図209, 第46図210)

山形口縁を有するものである。出土点数あまり多くなく、第Ⅲ-2類中約13.5%を占めるに過ぎない。B15区をピークとして、22点(重量1,325g)出土した。

209は、口縁部やや下位に斜位の貝殻刺突文を2列に巡らす。210は、貝殻刺突文と沈線文との組み合わせにより施文される。

b類(第Ⅲ-2b類)(第47図211~第46図225)

平縁口縁を有するものである。第Ⅲ-2類のうち大半のものがこの形態で、第Ⅲ-2b中約86.5%を占める。B5区をピークとして、159点(重量8,465g)出土した。

大きく分けて口唇部に刻目を有するもの(211~214)とそうでないもの(215~225)がある。また、刻目を持たないものについては、文様が斜位の貝殻刺突にのみよる単純なもの(215~220)と沈線文と貝殻刺突文の組み合わせによる複雑なもの(221~225)とに分けられる。219のように、平縁口縁の一部に装飾突起を持つものもある。

c類(第Ⅲ-2c類)(第49図226, 227)

第Ⅲ-2類のうち、その他のものをこの分類とした。

226は平縁口縁の一部に装飾突起を有するものである。この装飾突起は横位の短沈線と指頭大の未貫入により施文される。口唇部には刻目が巡り、その上から横位の沈線文が1条施される。器外面には山線と直線のモチーフが沈線文により施される。他のものと比して器壁が薄く(約5mm)、胎土も他と異なり灰黄褐色を呈する。227は口縁部が内湾して立ち上がり、端部でくの字状に強く屈曲し、外へ開く器形を有するもので、屈曲する口縁端部内面が施文されるものである。口縁部内面は、最外周にヘラ状工具による刺突文を連続して巡らせ、その内周にやや太めの凹線文を2条巡らす。凹線の一部には指頭によると思われる刺突文をポイントとして施す。口縁部外面には斜位の貝殻刺突文を2列巡らす。

(14) 第Ⅲ-3類土器(第50図228~第51図238)

丸尾式に属すると思われるものである。口縁部の「く」字化、文様の簡略化といった特徴があげられる。文様は口縁屈曲部の上下に斜位の貝殻文や短沈線文を巡らすものを基本とし、多くは貝殻腹縁による連続刺突文を施す。

器面調整は第Ⅲ-1類と同様、貝殻腹縁による条痕調整の後ナデ調整がなされるものが多いが、特に器外面のナデ調整が丁寧で、綺麗に仕上げられたものが多い。これに対し、内面の調整はやや粗雑である。胎土に雲母片を含むものが多い。

第Ⅲ-2類と同様、遺跡東方を中心に遺跡全域から出土する。B7区をピークとして、404点(重量20,275g)出土した。更に口縁形態により細分した。

a類(第Ⅲ-3a類)(第50図228~第49図237)

山形口縁を有するものである。第Ⅲ-2類のうち大半のものがこの形態で、第Ⅲ-2b類中約84%を占める。B7区をピークとして、339点(重量17,080g)出土した。

文様構成は、口縁屈曲部の上下に斜位の貝殻文を連続して巡らすもの(228~231)、口縁屈曲部の上下の他に、口縁部直下に斜位の貝殻刺突文を連続して巡らすもの(232~234)、口縁部直下に短沈線や刺突文を組み合わせて施文するもの(235~237)などがある。

b類(第Ⅲ-3b類)(第51図238)

平縁口縁を有するものである。出土点数はあまり多くなく、第Ⅲ-3類中約16%を占めるに過ぎない。B7区をピークとして、65点(重量3,195g)出土した。

238は、口縁屈曲部のやや上位に、斜位の貝殻文を2列連続して巡らす。

(15) 第Ⅲ-4類土器(第49図239~第51図242)

第Ⅲ群の土器と同時期のものと思われる無文土器を、この分類とした。

器形はバリエーションに富み、Ⅲ-1類と同器形のもの(239)、Ⅲ-2類と同器形のもの(240、241)、Ⅲ-3類と同器形のもの(242)等がある。器面調整は、第Ⅲ群の他の土器と同様貝殻腹縁による糸痕調整の後ナデ調整がなされるものが多い。B5区をピークとして、48点(重量3,745g)出土した。

(16) 第Ⅲ-5類土器(第51図243、244)

第Ⅲ群に属する土器のうち、詳細不明で型式分類できなかったものを一括してこの分類とした。

243は、くの字状に屈曲する口縁部を有し、一見典型的な丸尾式状の外観を呈するが、口縁部に向かって大きく窄まり、無頸壺状の器形を有するものである。244は鉢形土器の脚台で、上げ底のものである。脚台外面に、斜位または横位の貝殻刺突文を連続して施す。

(17) 第Ⅳ-1類土器(第52図245~249)

鐘崎式に属すると思われるものである。概ね口径が器高を上回り、胴部が丸く張り出す鉢形を呈すると思われる。ほぼフラットな口唇部、口縁部、胴部に施文部位を有する。口唇部には横位の沈線を基本とし、短沈線や刻目をポイントとして施すものが多い。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されたものが多い。磨消縄文の有無で細分した。

出土数はあまり多くなく、15点(重量360g)出土したのみである(ピークはA5区)。

a類(第Ⅳ-1a類)(第52図245~247)

磨消縄文を有するものである。磨消縄文は口縁部直下及び胴部に施され、胴部文様は磨消縄文の他に沈線文やS字状文により構成される。245、246のように把手を有するものもある。第Ⅳ-1類の大半はこの分類に属し、第Ⅳ-1類中約86%を占める。A5区をピークとして、12点(重量310g)出土した。

b類(第Ⅳ-1b類)(第52図248、249)

磨消縄文をもたないものである。施文部位、口唇部文様等は第Ⅳ-1a類と同様である。出土数は少なく、3点(重量50g)出土したのみである(第Ⅳ-1類中約14%)。

248は、胴部文様帯に渦巻状文を沈線により施すが、沈線内に刺突文を連続して施すことで、擬似縄文状の効果を上げている。

(18) 第Ⅳ-2類土器(第52図250~第53図257)

北久根山式に属すると思われるものである。文様は沈線文と磨消縄文により構成される幾何学的なモチーフをもったものが多い。器面調整は内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されたものが多い。器形により細分した。

遺跡東方を中心に広範囲に渡って出土するが、出土点数は多くない(総数69点、重量2,440g)。

1類(第Ⅳ-2-1類)(第52図250~255)

鉢形のものである。胴部に、沈線により区画された幾何学的な区域内に磨消縄文を施すことで構成される文様帯を有する。同様の文様帯を口縁部直下に有するものが多い。B5区をピークとして、67点(重量2,440g)出土した。

255は若干器高が高い深鉢状の器形を有するが、概ね口径が器高を上回る鉢形を呈する。

2類(第Ⅳ-2-2類)(第53図256)

壺形のものである。点数は少なく、明確に壺形と判断したものは図化した1点のみである。

256は、張り出した胴部から口縁部へかけて窄まり、短い頸部は直立する壺形のものである。胴部に、沈線により円形に区画された区間内に磨消縄文を施す。胴部の一部には渦巻状の粘土帯が貼り付けてある。頸部と胴部最大径に1条の沈線を横位に施す。胴部最大径の沈線に沿うように、沈線下に磨消縄文を施す。B11区より出土した。

3類(第Ⅳ-2-3類)(第53図257)

台付皿のものである。点数は少なく、明確に台付皿と判断したものは図化した1点のみである。

257は、脚台である。横位の沈線文が数条施され、沈線により区画された区間と、沈線間の一部に磨消縄文が施される。A8区より出土した。

(19) 第Ⅳ-3類土器(第53図258、259)

辛川式に属すると思われるものである。口縁部はやや内湾し、胴部が緩やかなカーブないしほぼ直線的な立ち上がりを見せる。口縁部と胴部に沈線文、磨消縄文、刺突文等により施文される文様帯を有する。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されたものが多い。

第Ⅳ-2類と同様、遺跡東方を中心に広範囲で出土するが、点数は少ない(総数29点、重量1,390g)。磨消縄文の有無で細分した。

a類(第Ⅳ-3a類)(第53図258)

胴部文様帯に磨消縄文が見られるものである。第Ⅳ-3類のうち大半のものがこの分類に属し、第Ⅳ-3類中約70%を占める。B9区をピークとして、21点(重量930g)出土した。

b類(第Ⅳ-3b類)(第53図259)

胴部文様帯に磨消縄文が見られず、施文が沈線文のみによるものである。出土点数は少なく、8点(重量460g)出土したのみである(第Ⅳ-3類中約30%を占める)。

(20) 第Ⅳ-4類土器(第53図260~第54図271)

西平式に属すると思われるものである。第Ⅳ-3類と器形・文様構成が似るが、口縁部・胴部ともに屈曲がシャープであり、口縁部文様帯の幅が狭い。屈曲部内面に明確な稜を残すものが多い。器面調整は、第Ⅳ-3類と同様、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されたものが多い。遺跡中央部を中心に広範囲で出土するが、貝塚部では検出されない。B11区をピークとして、

1,204点(重量43,445g)出土した。縄文の有無と残存部位により4種に細分した。

a類(第IV-4a類)(第53図260~266)

胴部文様帯に磨消縄文が見られるものである。第IV-4類中約15%を占める(胴部文様帯が残存するものの中では約63%)。B10区をピークとして、183点(重量6,425g)出土した。

260は他と比してやや大きなもので、全体的にやや粗雑な印象を受ける。これに対し、264はやや小振りな鉢形で、全体的にやや丁寧印象を受ける。265,266は胴部片である。

b類(第IV-4b類)(第54図267,268)

胴部文様帯の施文が沈線文のみによるものである。第IV-4類中約9%を占める(胴部文様帯が残存するものの中では約37%)。B10区をピークとして、98点(重量3,780g)出土した。

267はやや小振りな鉢で、山形ではなく平縁な口縁部を有する。全体的にやや粗雑なものである。

c類(第IV-4c類)(第54図269)

口縁部周辺のみが残存しており、詳細が不明なものを一括してこの分類とした。

d類(第IV-4d類)(第54図270,271)

無文のものである。残存部位が少なく、図面上では平縁口縁としたが、山形口縁になる可能性もある。基本的に口縁部が屈曲して立ち上がるものをこの分類としたが、口縁部の立ち上がり弱いもの、口縁部は立ち上がらないが、稜線により立ち上がりが意識されていると思われるものなどもこの分類に含めた。器面調整は丁寧なものが多い。B11区をピークとして、424点(重量14,260g)出土した。

(21) 第IV-5類土器(第54図272~第55図293)

納曾式に属すると思われるものである。口縁部が内湾し、口縁部ないし胴部に文様帯を有する。文様は、沈線文のみのもの、沈線で区画し貝殻刺突文や連点文を施すことで擬似縄文状を呈するもの、短沈線あるいは貝殻刺突文を組み合わせることで羽状文状の文様を施すもの等バリエーションに富む。口縁部文様帯の下位に、横位の短沈線状の刺突文を巡らすものも多い。

器面調整は、内外面ともに丁寧にナデ調整を施しているものも多く、やや粗い仕上げではあるもののヘラ状工具による研磨が見られるものもある。器形により2種に細分した。

第IV-2類・第IV-3類と同様、遺跡東方を中心に広範囲で出土する。B8区をピークとして、284点(重量13,950g)出土した。

1類(第IV-5-1類)(第54図272~第55図290)

深鉢形のものである。第IV-5類のうち大半はこの器形で、第IV-5類中約99%を占める。B8区をピークとして、281点(重量13,950g)出土した。

文様帯が口縁部のみのもの(272~284)、文様帯が口縁部と胴部上半にあるもの(285,286)、文様帯が頸部に施され、頸部文様に短沈線あるいは貝殻刺突文を組み合わせることで羽状文状の文様を施すもの(287~290)などがある。272,287は山形口縁の頂部に装飾突起を有する。

2類(第IV-5-2類)(第55図291~293)

台付皿形土器のものである。ごく微量の出土で、僅かに図化した3点が出土したのみである。

291~293は、いずれも台付皿の脚台である。291,292は沈線文と刺突文により施文される。293は、器外面に赤色顔料を塗付し、沈線文間に細かい擬似縄文を施し、磨消縄文状の外観を呈する。

(22) 第IV-6類土器

第VI群に属する土器のうち、詳細不明で型式分類できなかったもの(小片も含む)を一括してこの分類とした。

(23) 第V-1類土器(第56図294~第57図309)

縄文時代後期後葉の三万田式に属すると思われるものである。

口縁部ないし胴部に文様帯を有し、文様帯には数条の凹線を巡らす。羽状文の有無で細分したのだが、羽状文が施されないもの(第V-1b類)については、後述する御領式(第V-2類)との差異が明確でなく、判断に困ったものも多い。本報告書においては、便宜上文様帯の凹線がやや太く、凹線を数条施すものを第V-1類とし、凹線がやや細く、凹線の数が2条以下のものを第V-2類の範疇で捉えることとした。

器形は深鉢・浅鉢を基本とする。高杯・注口土器等が見られるが、高杯・注口土器等に関してはV-2類土器(御領式)とのどちらに分類すべきかが判然としなかったため、第V群に属する土器群のうち、注口土器はV-4類、高杯形はV-5類として一括して取り扱った(後述)。

土器分類に際しては宮内克巳氏(8)らの研究を参考とし、羽状文の有無により2種に分類した。

器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されているものが多い。遺跡中央に集中する傾向があるが、分布域は広く遺跡全域から出土する。A10区をピークとして、496点(重量17,525g)出土した。

a類(第V-1a類)(第56図294,第55図295)

羽状文が見られるものである。宮内克巳が三万田式IIとしたものの範疇で捉えた。いずれも浅鉢である。点数は少なく(24点,重量805g)、第V-1類中5%を占めるに過ぎない。

b類(第V-1b類)(第57図296~309)

羽状文が見られないもの。宮内克巳が三万田式IIIとしたものの範疇で捉えた。第V-1類中約95%を占める。A10区をピークとし、471点(重量16,720g)出土した。

口径が大きく器高が高い深鉢形(296~301)、口径はやや大きい、器高が高くない深鉢よりも小振りな鉢形(302~305)、口径が器高を大きく上回り、小振りな浅鉢形(306~309)がある。

296は凹線がX字状に終息し、指頭によると思われる刺突文を施す。301は、口縁部文様帯に5条、胴部文様帯に2条凹線を施す深鉢であるが、胴部文様帯下部で急激に窄まり、胴部文様帯下部が潰れたような外観を呈する。302は、口縁部文様帯に4条、胴部文様帯に2条凹線を施すものであるが、各凹線文の一部に、楕円形押点をそれぞれ施す。

(24) 第V-2類土器(第58図310~第59図336)

三万田式に後続する御領式と思われるものである。器形より深鉢形(1類)、浅鉢形(2類)と分類し、さらに形態より以下に細分した。分類に際しては、清田純一氏(9)の研究を参考とした。

器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されているものが多いが、深鉢形のもの、外面と比して内面が粗雑なものが多い。第V-1類と同様遺跡中央に集中する傾向があるが、分布域は広く遺跡全域から出土する。B9区をピークとして、389点(重量15,925g)出土した。

1a類(第V-2-1a類)(第58図310~第57図318)

口縁部帯を設け、2~3条の幅の広い凹線を設けるものである。更に、腹部に界線を設ける。界

線部が凹線状になるものもある。第V-2類中約74.2%を占め、第V-2-1類中では約94%を占める。B9区をピークとして、259点(重量11,815g)出土した。

310, 311は山形口縁を有するもので、いずれも山形口縁の頂部に楕円形押点を施す。312は口縁部文様帯の一部に楕円形押点を施す。318は他と比して若干小振り、鉢形を呈するものである。

1b類(第V-2-1b類)(第58図319)

口縁部を有するが、文様を施さないものである。点数は少なく(6点、重量330g)、第V-2類中2.1%(第V-2-1類中約2.6%)を占めるに過ぎない。

1c類(第V-2-1c類)

粗製のものでその他のものを一括してこの分類とした。(浅鉢形含む)。

2a類(第V-2-2a類)(第57図320~第58図327)

無文の椀形である。第V-2類中約9.4%を占め、第V-2-2類中では約44.6%を占める。B11区をピークとして、51点(重量1,495g)出土した。

口縁部端が若干屈曲して立ち上がるもの(320, 321)、口縁部が大きく外傾して、直線的に外へ開くもの(322, 323)と、緩く内湾して立ち上がるもの(324~327)がある。底部は上底が多い。

321は、口縁部立ち上がり部分内面に稜線を有する。323は、四方に頂部を持つ山形口縁である。

2b類(第V-2-2b類)(第59図328~331)

くの字に屈曲する口縁部を有する椀形である。口縁部に数条の凹線を施す。点数は多くなく(51点、重量1,495g)、第V-2類中5.1%(第V-2-2類中約24.3%)を占めるのみである。

331は、他のものとして若干器高が高く、鉢形を呈する。底部は上底である。

2c類(第V-2-2c類)(第59図332~335)

鉢形の体部に強く外反し、端部が立ち上がった口縁部を有するものである。口縁部文様帯及び胴部界線上位に数条の凹線を施す。第V-2-2d類と比して器高が低く、浅い。点数は多くなく(36点、重量815g)、第V-2類中5.3%(第V-2-2類中約25.0%)を占めるのみである。

332は、山形口縁を有するもので、山形口縁の頂部に円形押点を施す。また、この押点の下位、界線径部位には、楕円形の突起物を有する。333は、口縁部文様帯の凹線上に、楕円形押点を施す。335は胴・底部片である。胴部界線部位に、楕円形押点及び菱形の押点を施す。

2d類(第V-2-2d類)(第59図336)

頸部が短く、内傾もしくは外反する口縁部を有するものである。点数は少なく(5点、重量209g)、第V-2類中1.3%(第V-2-2類中約6.1%)を占めるに過ぎない。

336は、胴部から内湾して立ち上がるが、端部でゆるく外反して立ち上がる口縁部を有するもので、口縁部端はくの字状に屈曲して立ち上がる。口縁部屈曲部の一部に、楕円形押点を施す。

(25) 第V-3類土器(第60図337~第62図366)

第V群に属する土器で、口縁部を有しないものをこの分類とした。胴部が張り出すものは、張り出部に界線を有するものもある。この胴部界線に凹線を数条施すものもあるが、基本的に無文のものである。張り出した胴部から一旦内湾して窄まり、さらに口縁部へ向けてくの字状に強く屈曲して立ち上がる。屈曲部には明瞭な稜線を有するものが多い。この口縁部の立ち上がりの形状に差異が見られるため、3つの種類に分類した。

非常に多量に出土し、第V中類約86%を占める。第V-1・2類と同様遺跡中央に集中する傾向があるが、分布域は広く遺跡全域から出土する。B10区をピークとして、5,358点(重量216,900g)出土した。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具による研磨が見られるも、第V-1類及び第V-2類と比して粗雑である。

a類(第V-3.a類)(第60図337~第61図349)

口縁部が外傾もしくは直立して立ち上がるもので、口縁部断面が比較的真っ直ぐなものである。第V-3類中42%を占める。B11区をピークとして、2,251点(重量89,310g)出土した。

大型の深鉢形が大半を占めるが、347, 349のように精製で小型のものもある。サイズの規則性が見られるようで、口径が40cm前後のもの(337~340)、30cm前後のもの(341~343)、25cm前後のもの(344, 345, 348)、10cm前後のもの(347, 349)などがある。概ね小型になる程丁寧に成形される。348, 349は口縁部が直立して立ち上がるものである。

b類(第V-3.b類)(第61図350~第64図364)

口縁部が外反するものである。第V-3類中約51.5%を占める。A9区をピークとして、2,759点(重量115,205g)出土した。

大型の深鉢形が大半を占めるが、359, 363のように精製で小型のものもある。第V-3.a類と同様サイズの規則性が見られるようで、口径が45cm前後のもの(350, 351)、40cm前後のもの(352)、30cm前後のもの(353~355)、25cm前後のもの(356~358)、10cm前後のもの(359)などがある。概ね小型になる程丁寧に成形される。353は胴部界線に2条の凹線が巡る。360~363は、口縁部の高さが胴部の高さを上回ると思われるものである。364は、胴部最大径が口縁部最大径を上回るものである。他のものと比して若干粗雑な仕上げである。

c類(第V-3.c類)(第65図365, 第62図366)

口縁部端が若干内湾気味に立ち上がるものである。第V-3類中約6.5%を占める。A4区をピークとして、348点(重量12,385g)出土した。

口縁部片が多く、詳細は不明である。365のように山形口縁を呈するものもある。

(26) 第V-4類土器(第63図367~369)

第V群に属する土器で、注口土器をこの分類とした。点数はごく微量で、8点(重量185g)出土したのみである。遺跡中央部に集中して出土する傾向がある。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されるものが多い。

367はやや太目の凹線状の沈線と、竹管状工具による刺突文、貝殻腹縁による刺突文により施文される。369は沈線が施される。

(27) 第V-5類土器(第64図370~378)

第V群に属する土器で、高杯形のをこの分類とした。点数は少なく、28点(重量920g)出土したのみである。遺跡中央部に集中して出土する傾向がある。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨されるものが多い。

図化したものは、いずれも脚台部で、僅かに上底になる。370~373は、中空の脚台で、方形または円形のすかし状の穿孔を穿つ。374は充実した脚台で、円形の穿孔を穿つ。375は中空の脚台で、376・377は充実した脚台である。

(28) 第V-6 類土器

第V群に属する土器のうち、詳細不明で型式分類できなかったものを一括してこの分類とした。詳細不明な小片も含めた。

(29) 第VI-1 類土器 (第64 図 379~389)

縄文時代晩期初頭の上加世田式に属すると思われるものである。器形より細分した。遺跡西部に集中して出土する傾向がある。A17 区をピークとして、700 点 (重量 30,715 g) 出土した。

1 類 (第VI-1-1 類) (第64 図 379~第65 図 382)

深鉢形のものである。胴部で強く張り出し、一旦くの字状に屈曲して内傾し、口縁部へ続く。屈曲部には明瞭な稜線を有する。屈曲した胴部は、ゆるく外反して口縁部に至る。口縁部端ではさらにくの字状に屈曲し、直立する。この直立部分に、数条の凹線が巡る文様帯を有する。凹線は細く、沈線状である。381 のように凹線ではなく、僅かに窪み殆ど形骸化しているものもある。口径は 30 cm を越えるものが多い。

器面調整は、内外面ともにヘラ状工具で研磨しているものが多いが、第V群の土器群と比すと、やや粗雑な仕上がりである。また、研磨ではなくナデ調整で仕上げているものもある。第VI-1 類中約 60% を占める。A17 区をピークとして、421 点 (重量 22,195 g) 出土した。

379, 380 は口縁帯の一部に工具による押点を施す。押点は小さいもので、豆粒状のものである。

2 類 (第VI-1-2 類) (第66 図 383~第64 図 386)

鉢形のものである。383 は口径が大きいものであるが、他のものは概ね深鉢と比して口径、器高が小さい。口縁帯の文様が、凹線ではなく沈線化する。

器面調整は、内外面ともにヘラ状工具で研磨しているものが多い。深鉢と比して全体的に丁寧な仕上げのものが多い。第VI-1 類中約 35% を占める。A18 区をピークとして、245 点 (重量 7,215 g) 出土した。

383, 384 は口縁端部が直立せず、若干斜めに外傾して開くものである。口縁帯の一部が凹み、その両脇に突起が見られる。

3 類 (第VI-1-3 類) (第66 図 387~第64 図 389)

精製浅鉢である。口径が器高を大きく上回る。胴部で強く張り出し、一旦くの字状に屈曲して内傾するが、強く外反して口縁部へ続く。口縁部端ではさらにくの字状に屈曲し、直立する。屈曲部には明瞭な稜線を有する。直立する口縁帯には、概ね 1 条の沈線が施される文様帯を有するが、389 のように沈線が形骸化し、途中で途切れるものもある。

器面調整は、内外面ともにヘラ状工具で丁寧に研磨しているものが多い。第VI-1 類約 5% を占める。B18 区をピークとして、34 点 (重量 1,305 g) 出土した。

(30) 第VI-2 類土器 (第67 図 390~第66 図 412)

上加世田式に後続する入佐式と思われるものである。器形には粗製の深鉢 (1 類)、鉢形 (2 類)、浅鉢 (3 類)、精製の浅鉢 (4 類) がある。概ねどの器形のものも、口縁部は屈曲して外開きに立ち上がり、屈曲部には明確な稜線を有するものが多い。細分に際しては、堂込秀人氏 (10) の研究を参考とした。第VI-1 類と同様、遺跡西部に集中して出土する傾向がある。A4 区をピークとして、1,514 点 (重量 69,575 g) 出土した。

1 a 類 (第VI-2-1 a 類) (第67 図 390~第69 図 397)

若干内湾しながら外開きに立ち上がる口縁部の外面に沈線を施すものである。口縁部と頸部との境は明瞭である。胴部の中位で屈曲して底部へと移行する。第VI-2 類中約 39.4% を占め、第VI-2-1 類の中では約 51% を占める。A18 区をピークとして、597 点 (重量 28,050 g) 出土した。

器面調整は、内外面ともにヘラミガキやナデ調整されるものが多いが、全体的に仕上げはやや粗雑で、391 のように貝殻腹線による条痕調整が残るものもある。口縁帯の沈線は、第VI-1-1 類と比してさらに形骸化し、細く浅くなる。中には 392, 393, 395, 396 のように沈線が途切れ、半ば条痕化するものもある。サイズの規則性が見られるようで、口径が 40 cm 前後のもの (390~392), 30 cm 前後のもの (393~397) などがある。

1 b 類 (第VI-2-1 b 類) (第68 図 398~第67 図 400)

口縁部文様が条痕化し、口縁部文様帯が形成されないものである。外反する口縁部をなし、肩が張るが、胴部の屈曲が若干緩い。第VI-2 類中約 37.8% を占め、第VI-2-1 類の中では約 48.9% を占める。A18 区をピークとして、572 点 (重量 29,430 g) 出土した。

調整は第VI-2-1 a 類と同様ヘラミガキやナデ調整がなされるものが多いが、粗雑である。

2 a 類 (第VI-2-2 a 類) (第69 図 401~第67 図 403)

口径が 25 cm 以下で器高も低いものを、深鉢形と区別して鉢形として分類した。第VI-2-2 a 類は、第VI-2-1 a 類と同様口縁帯に沈線を施すものである。第VI-2-1 類と比して胴部の張り出しが弱い。点数は少なく (28 点, 重量 990 g), 第VI-2 類中 1.8% を占めるに過ぎない。尤も、第VI-2-2 類中に占める比率は高く、約 85% を占める。

器面調整は、第VI-2-1 a 類と同様であるが、403 のようにヘラ状工具により丁寧に研磨されており、半精製とも呼ぶべきものもある。

2 b 類 (第VI-2-2 b 類) (第66 図 404, 第68 図 405)

第VI-2-1 b 類と同様、口縁部文様が条痕化し、口縁部文様帯が形成されないものである。第VI-2-2 a 類と同様、第VI-2-1 類と比して胴部の張り出しが弱い。点数は少なく、僅か 3 点のみの出土であった (第V-2 類中 0.2%, 第V-2-1 類中約 9%)。

調整は第VI-2-1 b 類と同様ヘラミガキやナデ調整がなされるものが多い。

2 c 類 (第VI-2-2 c 類) (第68 図 406, 407)

頸部からくの字状に外反し、わずかに肥厚する口縁部を有するものである。口縁部は条痕すら施されず、無文である。第VI-2-2 a 類・2 b 類と同様、第VI-2-1 類と比して胴部の張り出しが弱い。点数は少なく、僅か 2 点のみの出土であった (第V-2 類中 0.1%, 第V-2-1 類中約 6%)。

調整は第VI-2-1 b 類と同様ヘラミガキやナデ調整がなされるものが多い。

3 類 (第VI-2-3 類) (第66 図 408)

粗製の浅鉢形土器をこの分類とした。口縁部がボール状に立ち上がるものである。点数は少なく僅か 2 点のみの出土であった (第V-2 類中 0.1%)。

408 は、表面が磨耗しているが、器外面にヘラミガキ調整が、内面にナデ調整が観察できる。

4 a 類 (第VI-2-4 a 類) (第70 図 409, 410)

胴部で屈曲して立ち上がり、頸部から口縁部へかけて大きく弧状に外反し、さらに口唇部が立ち

上がるものである。胴部と口縁部に明確な稜線をもつ。第VI-2類中約8.1%を占め、第VI-2-4類の中では約40%を占める。B18区をピークとして、123点(重量3,370g)出土した。

調整は、器内外面ともにヘラ状工具で丁寧に研磨されるものが多い。

4b類(第VI-2-4b類)(第68図411)

第VI-2-4a類と同様、胴部で屈曲しながら立ち上がるが、口縁端部が屈曲せず、立ち上がらないものである。第VI-2類中約6.3%を占め、第VI-2-4類の中では約31%を占める。A18区をピークとして、96点(重量3,145g)出土した。

調整は、器内外面ともにヘラ状工具で丁寧に研磨されるものが多い。

4c類(第VI-2-4c類)(第66図412)

胴部が内湾しながら立ち上がり、口縁部で短く外開きとなるもので、短い口縁端部は内湾する。第VI-2類中約6%を占め、第VI-2-4類の中では約30%を占める。A18区をピークとして、91点(重量4,530g)出土した。

調整は、器内外面ともにヘラ状工具で丁寧に研磨されるものが多い。

(31) 第VI-3類土器(第70図413~415)

入佐式に後続する黒川式と思われるものである。粗製深鉢(1類)、粗製の浅鉢(2類)、精製の浅鉢(3類)がある。第VI-1・2類と同様、遺跡西部に集中して出土する傾向がある。B19区をピークとして、113点(重量3,390g)出土した。

1類(第VI-3-1類)

粗製深鉢。2点(重量70g)確認した。胴部片または詳細不明なもので、実測図及び観察表は割愛した。

2類(第VI-3-2類)

粗製浅鉢。1点(重量20g)確認した。胴部片または詳細不明なもので、図化していない。

3類(第VI-3-3類)(第70図413~415)

精製浅鉢である。胴部で屈曲して立ち上がり、頸部から口縁部へかけて大きく弧状に外反し、さらに口唇部が立ち上がるもの(413, 414)、短い口縁部が胴部から内傾し、くの字状を呈するもので、胴系が口径を上回るもの(415)等幾つかのパリエーションがある。

第VI-2類中約97%を占める。B19区をピークとして、110点(重量3,300g)出土した。調整は、器内外面ともにヘラ状工具で丁寧に研磨されるものが多い。

(32) 第IV-4類土器(第70図416)

第VI群に属する土器のうち、詳細不明で型式分類できなかったものを一括してこの分類とした。

416は、円筒状の胴部からほぼ直立して立ち上がり、短く外反する口縁部へと続く器形を有する。口縁部と胴部との境には明瞭な稜線を有する。短い口縁部は外反し、端部で僅かに屈曲し、斜上方へ立ち上がる。胴部下端は窄まり、丸底の底部へ続くと思われる。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具による研磨が見られるが、やや粗雑な仕上げである。形態的には、鹿屋市上被川遺跡群水ノ谷遺跡(11)出土のものと同様している。

(33) 第VII-1類土器(第69図417~第70図429)

縄文土器の底部を一括して第VII類として取り扱った。第VII-1類とは、円形の平底または僅かに

上げ底になるもので、底面に組織痕がみられる。第II群(若しくは第III群)に属する土器の底部と思われる。第VII類中約9%を占める。B6区をピークとして、196点(重量15,760g)出土した。

器面調整は、器内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整後ナデ消しているものが多い。また、指頭による押圧痕が見られるものも多い。

426は葉脈痕が見られるものであるが、あるいは葉脈痕を意識した沈線である可能性もある。サイズの規格性が見られ、底径は9~10cm前後のものが多い。

(34) 第VII-2類土器(第71図430~433)

第VII-1類と同様の形状を有するが、底面に組織痕が見られないものをこの分類とした。第III群(若しくは第II群)に属する土器の底部と思われる。第VII類中約18%を占める。B6区をピークとして、399点(重量31,045g)出土した。

器面調整は、第VII-1類と同様、器内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整後ナデ消しているものが多い。また、指頭による押圧痕が見られるものも多い。433のように小型のものが見られる。

(35) 第VII-3類土器(第71図434~438)

底部がすぼまり、円形で上底という形状を呈するものをこの分類とした。第IV群~第VI群のいずれかに属する土器の底部と思われる(第IV・V群のものが多いと思われる)。第VII類中約30%を占める。B10区をピークとして、746点(重量52,745g)出土した。

器面調整は、器内外面ともにヘラ状工具による研磨が見られるものが多い。

底部が窄まる器形のため、底径は第VII-1類、2類と比して小さなものが多い。437, 438は内湾して立ち上がるやや小型の鉢形土器の底部である。

(36) 第VII-4類土器(第71図439)

第VII-3類と同様の形状を呈するが、底は上底でなく平底のものをこの分類とした。第IV群~第VI群のいずれかに属する土器の底部と思われる。第VII類中約21%を占める。B11区をピークとして、374点(重量36,235g)出土した。

器面調整は、器内外面ともにナデ調整が見られるものが多く、稀にヘラミガキ調整が見られるものもある。全体的な仕上がりは、やや粗雑な仕上がりのものである。

(37) 第VII-5類土器(第71図440, 441)

円形で平底もしくは僅かに上底になるものである。底部が肥厚し、脚台状の外観を呈する。第IV群~第VI群のいずれかに属する土器の底部と思われる(第VI群のものが多いと思われる)。第VII類中約21%を占める。A18区をピークとして、351点(重量37,540g)出土した。

器面調整は、第VII-4類土器と同様、器内外面ともにナデ調整が見られるものが多く、稀にヘラミガキ調整が見られるものもある。全体的な仕上がりは、やや粗雑な仕上がりのものである。

(38) 第VII-6類土器(第71図442, 443)

底部でその他のものを一括してこの分類として取り扱った。

442は円形で若干上底の底部である。器外面四方に、並行沈線により曲線・直線からなる文様を施す。また、この文様間に、欠損しているが把手状の突起が4基取り付けられている。第II群または第III群に属する土器の底部と思われる。器面直線は、内外面ともにナデ調整が見られる。443は、中空の脚台である。器高が低く、器壁が厚い。

(39) 第Ⅷ群土器 (第71 図 444～452)

その他のものを一括して第Ⅷ群土器として取り扱った。

444～452 は、いずれも縄文時代後期の土器と考えられるが、第Ⅰ～第Ⅶ群に属するいずれかの型式の範疇でとらえられなかったものである。

444, 445 は指宿式に類似する特徴を有し、同時期のものと思われる。

444 はほぼ真っ直ぐに立ち上がり、先端で僅かに外反する口縁部を有する。工具によりごく浅い並行沈線様の文様を施し、その内部に斜位の短沈線を連続して巡らす。口唇部には連点文を巡らす。器面調整は、内外面ともにナデ調整を施す。

445 は内湾する口縁部で、口縁部を若干肥厚させて文様を施す。文様は445 と同様、ごく浅い並行沈線様の文様を施し、その内部に貝殻連点文を施す。さらに、これ以外にも貝殻連点文を一定の区画内に施し、文様帯を成す。器面調整は、外面にナデ調整を、内面に貝殻腹縁による条痕調整の後ナデ調整を施す。

446・447 は沈線により、逆S字を繰り返すことで波状を呈する文様モチーフを施文するものである。いずれもほぼ真っ直ぐに立ち上がる器形を有する。器面調整は、内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整の後ナデ調整を施す。

448 はミニチュアの土器で、完形のものである。円形で平底の底部から、円筒状に口縁部まで立ち上がる。口縁部は山形に成形され、四方に頂部を有すると思われる。山形口縁の頂部には粘土紐による装飾突起が施され、元は四方に見られたものと思われる。器高6.5cm、底径5cmを測る。

449 は、壺形土器である。胴部がくの字状に屈曲し、強く張り出す器形を有する。胴部最大径は28.4cmを測り、胴部最大径より上位に3条の沈線文が巡る。この沈線文間及び沈線文の上位に、横位の貝殻刺突文を連続して巡らす。器内外面ともにヘラ状工具により丁寧に研磨され、磨消縄文土器状の外観を呈する。市来式期のものと思われる。

450 は、やや内湾ぎみに立ち上がる口縁部片である。わずかに山形状を呈し、頂部に粘土帯を渦巻状に貼り付けている。この貼付粘土帯には、刺突文を連続して施す。器面調整は、器外面は貝殻腹縁による条痕調整の後ナデ調整を施し、丁寧に仕上げているが、内面は貝殻腹縁による条痕調整がそのまま残る。

451, 452 は、外反して立ち上がる口縁部片である。口縁部を肥厚させ、沈線文を施し文様帯とする。文様は、菱形をモチーフとしたものである。口唇部および口縁端部内面に、1条のやや太めの凹線状の沈線文を巡らす。器面調整は、内外面ともにナデ調整を施す。

2. 縄文土製品

(1) 獣形土製品 (第72 図①)

獣形の土製品である。A9 区より1点のみ出土した。

①は、長軸の長さ約7.6cm、短軸の長さ約3cm、高さ約3.2cmを測る。重量は70.05gを量る。図で下面とした面に、元々付属していた突起物が欠損したと考えられる4つの痕跡が見られる。また、上面とした面には、同様の突起物の欠損痕が1つ見られる。下面の4つの欠損痕が足を、上面の1つの欠損痕が尾をそれぞれ表原したものであると思われる。また、図で前方とした先端部に、目・鼻・口を表現していると思われる刺突が認められる。逆面は平坦に仕上げられており、中央付近に肛門を表

現していると思われる刺突が認められる。指頭押圧による調整で、やや粗雑な仕上げである。何らかの祭祀遺物と考えられる。出土区及び出土層より、黒色磨研期のものと考えられる。

(2) 獣形把手付土器 (第72 図②)

獣形把手付土器と表現したが、把手ではなく、獣形を象ったと考えられる装飾突起を有する土器である。A7 区より1点のみ出土した。

②は、市来式土器である。山形口縁の一部に、獣形を象ったと考えられる装飾突起を有する。装飾突起には、目・鼻・口を表現していると思われる孔が認められる。

土器は、口唇部にのみ施文するタイプ(第Ⅲ-1-1f類としたタイプ)で、口唇部に爪形の刺突文が細かく連続して施される。この刺突文は獣形把手にも及び、一部は内面にも及ぶ。獣形把手は、上面に1条の沈線文も施される。器面調整は、内外面ともに貝殻腹縁による条痕調整の後ナデ調整が施されている。獣形土製品と同様、何らかの祭祀遺物と考えられる。出土区及び出土層より、黒色磨研期のものと考えられる。

(3) 円盤形土製品 (第72 図③)

円盤形に成形された土製品である。A16 区より1点のみ出土した。

③は、直径約6cm、厚さ約1.5cmの円盤形の土板である。重量は82.85gを量る。片面には渦巻状の文様が沈線により施文され、反面には三重同心円と、中央に十字の文様が沈線により施文される。器面調整は、両面ともに丁寧にナデ調整が施されている。用途は不明であるが、何らかの祭祀遺物と考えられる。出土区及び出土層より、黒色磨研期のものと考えられる。

(4) 円盤形土製加工品 (第72 図④～第72 図⑤)

土器の破片を利用して、円形に加工したものである。円盤形土製品が、元々円盤形を目的として成形されたのに対し、こちらは土器片を円盤形に加工品したものであるため、差別化した。通称メニコと呼ばれるもので、用途は不明である。

遺跡の東方に集中して出土する傾向がある。6区をピークとして、58点出土した。うち22点のみ図化した。単純に破損した結果円形に近い形になったもの等があり、円盤形土製加工品に該当するのかが判断するのが困難であったものが多く、あるいは今後点数が増える可能性もある。

周縁部は、丁寧に磨って面取りを行ったものや、打ち欠いたままのもの等がある。表面及び裏面は基本的には手を加えていない。終原貝塚出土のものは、指宿式を利用したものも多く、他に無文のものが見られた。土器の使用部位に着目すると、胴部片を利用したもののが大半であるが、底部片を利用したもの(⑤)も見られる。直径は約4～5cm前後のものが多い。

3. 弥生土器

縄文時代最終末期～弥生時代初頭の刻目突帯文土器及び弥生土器を取り扱う。微量の出土、詳細不明な小片が多い。

刻目突帯文土器 (第73 図453, 454)

縄文時代最終末期～弥生時代初頭に位置付けられる刻目突帯文土器を一括して取り扱った。

器面調整は、内外面ともにナデ調整を施すものが多い。出土量はごく微量で、僅か5点(重量105g)出土したのみである。

453 は内傾する口縁部で、2条の刻目突帯が巡る、いわゆる二条帯である。突帯は、口縁端部よ

り若干下がった位置に1条、それより約3cm下位に1条それぞれ施される。上位の突帯のほうがやや大きい。いずれの突帯も、断面は台形状になる。刻目は細かい原体の工具による刺突法で斜位に連続して施される。また、口縁端部内面にも刻目突帯が巡る。形状は断面三角形で、刻目は細かい原体の工具による刺突法で縦位に連続して施される。いずれの突帯も、刻目施文後横位にナデ調整されている。454は外傾する口縁部で、口縁端部より僅かに下がった位置に、刻目突帯が1条巡る。突帯は断面三角形で、やや太い原体による左方向の押し引き法により施される。刻目施文に伴い押し潰された突帯の粘上が上下にはみ出している。補修孔と考えられる孔を1つ穿つ。

弥生土器（第73図455～458）

弥生土器を一括して取り扱った。弥生土器については、河口貞徳氏(12)や中園聡氏(13)により研究がなされているが、本遺跡出土のものは、中園氏が入来Ⅱ式(弥生中期中葉に位置づけられる)としたものが主体をなす。口縁部はやや下がるか、逆L字状を呈し、口唇部に凹みをもつものもある。口縁部の断面は、三角形または台形状を呈する。多条の断面三角突帯を施すものもある。遺跡西方に集中して出土する傾向があるが、出土量は多くなく、小片が多い。B17区をピークとして、24点(重量1,800g)出土した。

器面調整は、内外面ともに丁寧にナデ調整を施すものが多い。器形により細分した。

1類(弥生土器1類)(第73図446～457)

甕形のものを一括して取り扱った。弥生土器中約74%を占める。B17区をピークとして、18点(重量1,325g)出土した。

455, 456は口縁部片である。いずれもやや下がる口縁部で、口唇部に窪みを持つ。口縁部断面形は台形を呈する。456は、口縁部よりやや下がった位置に、3条の沈線を施す。455は、口唇部窪みの上下に、細かい原体の刺突法による刻目を、縦位に密に施す。457は充実した脚台部である。

2類(弥生土器2類)(第73図458)

壺形のものである。出土量はごく微量で、僅か6点(重量475g)出土したのみである。第Ⅷ-2類中約26%を占める。

458は口縁部である。やや下がる口縁部で、口唇部に窪みを持つ。口縁部断面形は台形を呈する。残像部位が少なく、判断に迷ったが、口径よりこの分類とした。

4. 古墳時代の土器

成川式土器(第73図459～第72図468)

古墳時代の成川式を一括して取り扱った。古墳時代については、貝塚期とは直接的には関係のないものの、遺構も出土しており、本遺跡について考察する上において鍵となる時代と言えよう。

成川式については、中村直子氏により研究がなされ、細分化が試みられている(14)が、本遺跡出土の成川式土は、中村氏が辻堂原式、笹貫式としたものが多い。形態による細分も可能であろうが、詳細不明な小片が大半であるため、器形による分類に留めた。遺跡の西方に集中して出土する傾向がある。A19区をピークとして、157点(重量9,395g)出土した。

1類(成川式1類土)(第73図459, 460)

甕形のものを一括して取り扱った。器面調整は、内外面ともにハケメ状原体の工具による調整(いわゆるハケメ)の後ナデ消しているものが多い。成川式中約68%を占める。B18区をピークとし

て、106点(重量5,845)出土した。

459, 460は、いずれも内湾する口縁部を有するものである。いずれも胴部最大径付近に1条の突帯を有する。459の突帯は、細かい工具による斜位の刻目を連続して巡らす。刻目には繊維圧痕が観察できる。突帯の断面形は台形である。460の突帯は、無刻目の断面三角形突帯である。

2類(成川式2類)(第73図461, 462)

壺形のものを一括して取り扱った。いわゆる幅広突帯を有する大型のものもこの分類とした。器面調整は、内外面ともにハケメ調整の後ナデ消しているものが多いが、内面は外面と比してやや粗雑な仕上げである。幅広突帯は、図化したもののように竹管文とハの字文により施文されているもののほか、無文のもの、ハの字文のみのもの、やや太い沈線により格子状の外観を呈するもの等、様々なバリエーションがある。点数は多くなく、A19区をピークとして、19点(重量1,770g)出土した。成川式中約12%を占める。

461は、くの字状に折れて外反する頸部片である。頸部と胴部の境に、断面三角形の突帯を1条有する。突帯には細かい工具による斜位の刻目を連続して巡らす。462は壺形の胴部片で、いわゆる幅広突帯を有する。ハの字文と竹管文の組み合わせにより施文される。

3類(成川式3類)(第73図463, 第72図464)

鉢形のものを一括して取り扱った。器面調整は、内外面ともにハケメ調整の後ナデ消しているものが多い。点数は多くなく、A19区をピークとして、16点(重量1,055g)出土した。成川式中約10%を占める。

463は、小型の鉢で、口縁部から底部付近まで残存しているものである。口縁部は外反して立ち上がる。胴部最大径付近に断面三角形の突帯を1条有する。突帯には、断面三角形の2辺上にそれぞれ細かい工具による縦位の刻目を連続して巡らす。底部は内湾しながら窄まる。464は、底部片である。平底で、器外面は丁寧にヘラ状工具により研磨されている。

4類(成川式4類)(第73図465, 466)

高杯形のものを一括して取り扱った。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により研磨されているものが多い。図化したもののように丹塗りのものもある。点数は多くなく、A17区をピークとして、14点(重量725g)出土した。成川式中約9%を占める。

465は高杯の杯部片である。内湾して立ち上がり、屈曲して直立する器形を有する。屈曲部外面には、断面三角形の小さな突帯を1条有する。突帯には、細かい工具による斜位の刻目を連続して巡らす。466は中空の脚台である。いずれも丹塗りがされている。

5類(成川式5類)(第73図467)

甕形のものである。器面調整は、内外面ともにヘラ状工具により研磨されているものが多い。467のように丹塗りのものもある。出土量はごく微量で、僅か1点出土したのみである。

467は直線的に外傾して広がる口縁部片である。丹塗りのものである。

6類(成川式6類)(第73図468)

ミニチュアの土器である。器面調整は、内外面ともに指頭により調整された、いわゆる手捏が多い。出土量はごく微量で、僅か1点出土したのみである。

468は完形のもので、口縁部は直線的に外に広がり、底部は上げ底である。いわゆる手捏である。

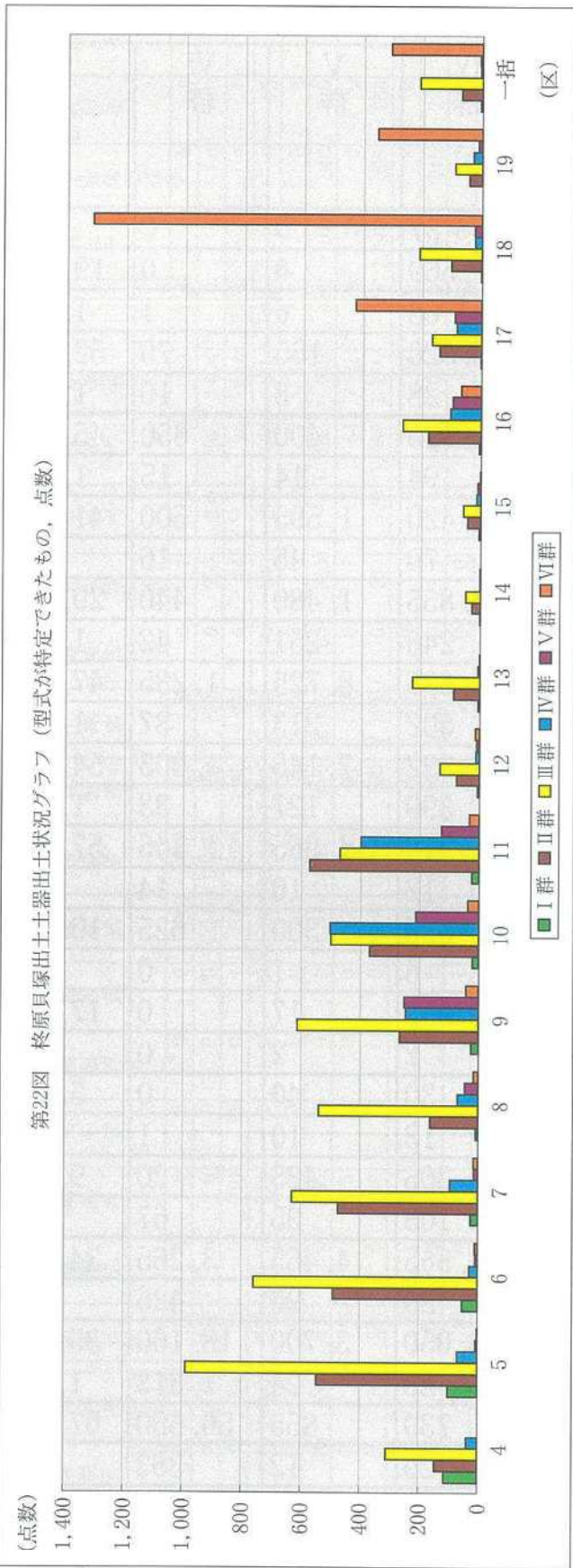
第10表 柘原貝塚出土土器一覽表I (型式が特定できたもの)

| 型式名 | 型式名 | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|---------|--------|--------|-----|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | 鬲式 | 甗式 | 深罐式 | 釜式 | 甗式 | 甗式 | 阿高式 | 水平式 | 南極式 | 出水式 | 指環式 | 市来式 | 草野式 | 丸尾式 | | 鉢式 | 北久根山式 | 辛川式 | 西平式 | 納管式 | 三万田式 | 御飯式 | 上加皿田式 | 入笠式 | 黒川式 | |
| 4 | 0 | 0 | 1 | 93 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 296 | 2 | 8 | 0 | 7 | 4 | 13 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 604 |
| | 0 | 0 | 0 | 3,645 | 515 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,245 | 30 | 270 | 0 | 250 | 230 | 595 | 494 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19,532 |
| 5 | 1 | 1 | 1 | 63 | 24 | 0 | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 929 | 33 | 25 | 6 | 24 | 4 | 20 | 14 | 4 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1,706 | |
| | 15 | 0 | 1,955 | 762 | 762 | 0 | 270 | 0 | 0 | 20 | 13,992 | 30,040 | 1,485 | 1,770 | 180 | 600 | 215 | 665 | 660 | 145 | 20 | 0 | 75 | 0 | 52,569 | |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 27 | 19 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 695 | 25 | 36 | 2 | 5 | 0 | 7 | 14 | 7 | 1 | 6 | 4 | 0 | 1,345 | |
| | 0 | 0 | 0 | 836 | 655 | 0 | 240 | 0 | 0 | 0 | 14,560 | 24,322 | 840 | 2,000 | 60 | 320 | 0 | 395 | 340 | 300 | 100 | 340 | 310 | 0 | 45,648 | |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 3 | 16 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 10,371 | 17,240 | 15 | 170 | 0 | 7 | 2 | 54 | 31 | 4 | 10 | 6 | 9 | 0 | 1,250 | |
| | 20 | 0 | 0 | 70 | 280 | 0 | 110 | 0 | 0 | 0 | 0 | 465 | 11 | 63 | 0 | 1 | 0 | 22 | 47 | 16 | 29 | 8 | 8 | 0 | 41,716 | |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 465 | 11 | 63 | 0 | 1 | 0 | 22 | 47 | 16 | 29 | 8 | 8 | 0 | 840 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 155 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 4,910 | 14,690 | 360 | 3,225 | 0 | 0 | 0 | 515 | 3,040 | 510 | 970 | 210 | 230 | 0 | 29,145 | |
| 9 | 2 | 0 | 4 | 18 | 18 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 255 | 538 | 21 | 53 | 0 | 0 | 3 | 170 | 68 | 122 | 129 | 17 | 23 | 2 | 1,442 | |
| | 110 | 0 | 230 | 415 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 30 | 7,896 | 15,655 | 1,225 | 2,805 | 0 | 0 | 410 | 6,200 | 3,025 | 3,785 | 4,940 | 460 | 765 | 60 | 47,841 | |
| 10 | 0 | 0 | 0 | 6 | 12 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 368 | 479 | 5 | 15 | 1 | 7 | 3 | 422 | 67 | 173 | 40 | 12 | 15 | 10 | 1,641 | |
| | 0 | 0 | 0 | 120 | 240 | 0 | 85 | 0 | 0 | 0 | 12,055 | 14,422 | 153 | 900 | 50 | 350 | 240 | 15,215 | 2,467 | 5,035 | 1,110 | 280 | 500 | 225 | 54,449 | |
| 11 | 1 | 1 | 9 | 11 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 572 | 497 | 18 | 14 | 0 | 4 | 2 | 351 | 42 | 88 | 39 | 12 | 18 | 3 | 1,624 | |
| | 20 | 0 | 220 | 245 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18,248 | 17,600 | 890 | 845 | 0 | 190 | 60 | 12,270 | 1,700 | 2,575 | 1,480 | 445 | 955 | 145 | 57,933 | |
| 12 | 2 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 77 | 132 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 7 | 5 | 5 | 12 | 2 | 0 | 252 | |
| | 110 | 0 | 50 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,570 | 5,575 | 30 | 0 | 0 | 45 | 0 | 215 | 325 | 90 | 210 | 540 | 85 | 0 | 10,875 | |
| 13 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 88 | 212 | 15 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 328 | |
| | 0 | 0 | 0 | 40 | 85 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,047 | 12,879 | 1,375 | 80 | 40 | 0 | 0 | 0 | 210 | 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 17,773 | |
| 14 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28 | 39 | 5 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 82 | |
| | 0 | 0 | 0 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 730 | 3,930 | 270 | 180 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 15 | 25 | 0 | 0 | 0 | 5,275 | |
| 15 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 44 | 40 | 9 | 9 | 0 | 1 | 0 | 9 | 3 | 10 | 0 | 0 | 0 | 1 | 131 | |
| | 0 | 0 | 0 | 40 | 10 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 1,740 | 5,205 | 1,070 | 710 | 0 | 0 | 0 | 205 | 100 | 425 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,595 | |
| 16 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 178 | 235 | 10 | 20 | 0 | 7 | 1 | 59 | 26 | 47 | 48 | 47 | 20 | 0 | 714 | |
| | 0 | 0 | 0 | 105 | 20 | 0 | 35 | 0 | 0 | 0 | 6,100 | 14,391 | 540 | 1,013 | 0 | 240 | 0 | 2,820 | 1,505 | 2,660 | 1,805 | 2,390 | 875 | 0 | 34,499 | |
| 17 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 141 | 142 | 12 | 13 | 2 | 5 | 2 | 31 | 40 | 28 | 62 | 231 | 187 | 7 | 908 | |
| | 0 | 0 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,924 | 5,640 | 555 | 490 | 30 | 215 | 80 | 1,155 | 1,570 | 1,010 | 2,690 | 9,980 | 8,020 | 160 | 35,569 | |
| 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 103 | 206 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 18 | 3 | 9 | 15 | 291 | 965 | 57 | 1,675 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,725 | 5,874 | 163 | 110 | 40 | 75 | 0 | 475 | 140 | 230 | 625 | 13,445 | 41,615 | 1,590 | 67,114 | |
| 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 43 | 90 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 15 | 13 | 6 | 6 | 58 | 262 | 33 | 528 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 980 | 3,108 | 0 | 0 | 0 | 0 | 85 | 545 | 325 | 280 | 450 | 2,390 | 15,380 | 1,190 | 25,233 | |
| 一括 | 1 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 69 | 199 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 7 | 75 | 217 | 16 | 606 | |
| | 0 | 0 | 0 | 100 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,460 | 5,413 | 950 | 200 | 0 | 0 | 0 | 117 | 0 | 150 | 3,800 | 12,250 | 350 | 25,805 | | |
| 計 | 8 | 6 | 6 | 218 | 133 | 6 | 25 | 3 | 1 | 3 | 3,788 | 5,584 | 194 | 437 | 15 | 71 | 29 | 1,208 | 396 | 520 | 395 | 775 | 1,731 | 129 | 15,676 | |
| | 275 | 50 | 7,477 | 3,417 | 110 | 775 | 30 | 0 | 0 | 50 | 110,283 | 205,261 | 10,925 | 21,518 | 400 | 2,535 | 1,390 | 43,550 | 17,168 | 18,155 | 16,092 | 34,515 | 81,825 | 3,740 | 580,571 | |

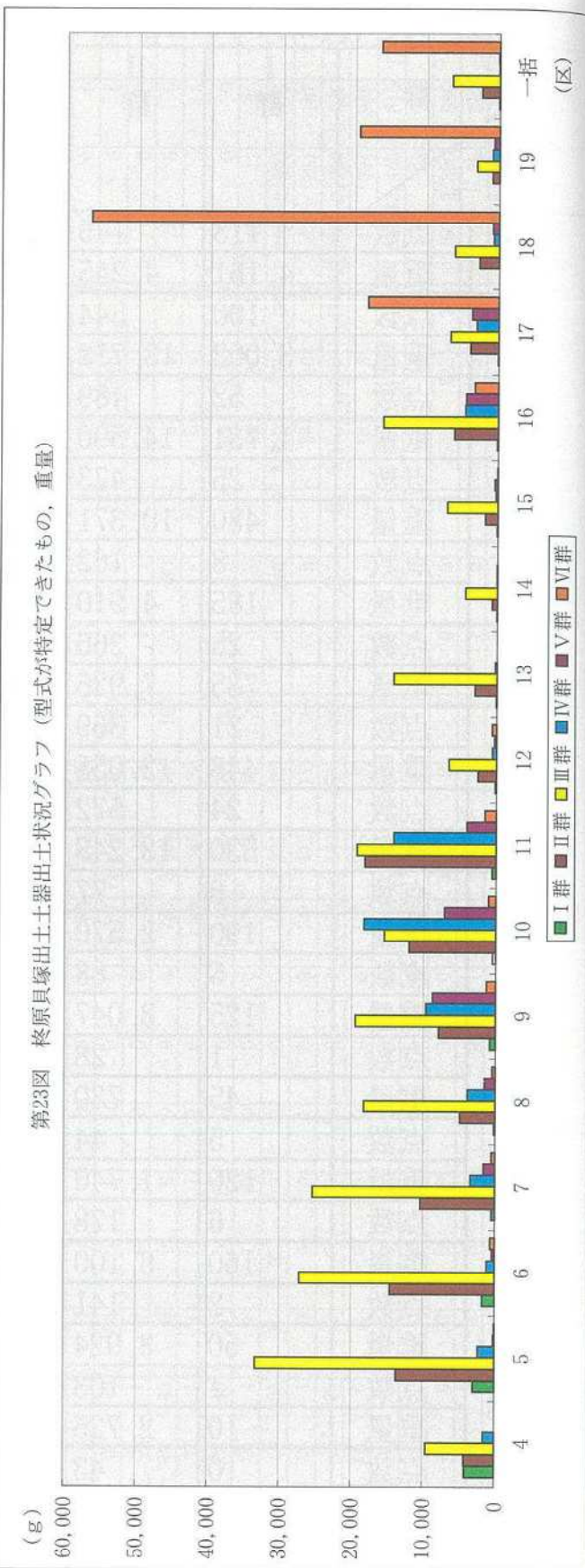
第11表 柘原貝塚出土土器一覽表2 (型式が特定できたもの, 群別)

| 区 | 群 | I群 | II群 | III群 | IV群 | V群 | VI群 | 計 | | | |
|----|----|--------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|----|----|----|
| | | | | | | | | | 点数 | 重量 | 点数 |
| 4 | 点数 | 113 | 145 | 309 | 37 | 0 | 0 | 604 | | | |
| | 重量 | 4,161 | 4,245 | 9,557 | 1,569 | 0 | 0 | 19,532 | | | |
| 5 | 点数 | 100 | 544 | 987 | 68 | 6 | 1 | 1,706 | | | |
| | 重量 | 3,002 | 13,712 | 33,295 | 2,320 | 165 | 75 | 52,569 | | | |
| 6 | 点数 | 52 | 489 | 758 | 28 | 8 | 10 | 1,345 | | | |
| | 重量 | 1,731 | 14,590 | 27,162 | 1,115 | 400 | 650 | 45,648 | | | |
| 7 | 点数 | 25 | 473 | 629 | 94 | 14 | 15 | 1,250 | | | |
| | 重量 | 480 | 10,371 | 25,350 | 3,420 | 1,595 | 500 | 41,716 | | | |
| 8 | 点数 | 8 | 162 | 539 | 70 | 45 | 16 | 840 | | | |
| | 重量 | 185 | 4,910 | 18,275 | 3,855 | 1,480 | 440 | 29,145 | | | |
| 9 | 点数 | 25 | 266 | 612 | 246 | 251 | 42 | 1,442 | | | |
| | 重量 | 785 | 7,926 | 19,485 | 9,635 | 8,725 | 1,285 | 47,841 | | | |
| 10 | 点数 | 21 | 369 | 499 | 502 | 213 | 37 | 1,641 | | | |
| | 重量 | 445 | 12,055 | 15,477 | 18,322 | 7,145 | 1,005 | 54,449 | | | |
| 11 | 点数 | 24 | 572 | 469 | 399 | 127 | 33 | 1,624 | | | |
| | 重量 | 530 | 18,248 | 19,335 | 14,220 | 4,055 | 1,545 | 57,933 | | | |
| 12 | 点数 | 6 | 77 | 133 | 12 | 10 | 14 | 252 | | | |
| | 重量 | 190 | 2,570 | 6,605 | 585 | 300 | 625 | 10,875 | | | |
| 13 | 点数 | 5 | 88 | 228 | 6 | 1 | 0 | 328 | | | |
| | 重量 | 125 | 3,047 | 14,334 | 250 | 17 | 0 | 17,773 | | | |
| 14 | 点数 | 1 | 28 | 49 | 2 | 2 | 0 | 82 | | | |
| | 重量 | 45 | 730 | 4,430 | 30 | 40 | 0 | 5,275 | | | |
| 15 | 点数 | 5 | 44 | 58 | 13 | 10 | 1 | 131 | | | |
| | 重量 | 120 | 1,740 | 6,985 | 305 | 425 | 20 | 9,595 | | | |
| 16 | 点数 | 6 | 178 | 265 | 103 | 95 | 67 | 714 | | | |
| | 重量 | 160 | 6,100 | 15,944 | 4,565 | 4,465 | 3,265 | 34,499 | | | |
| 17 | 点数 | 2 | 141 | 167 | 83 | 90 | 425 | 908 | | | |
| | 重量 | 50 | 3,924 | 6,685 | 3,050 | 3,700 | 18,160 | 35,569 | | | |
| 18 | 点数 | 1 | 103 | 211 | 23 | 24 | 1,313 | 1,675 | | | |
| | 重量 | 10 | 2,725 | 6,144 | 730 | 855 | 56,650 | 67,114 | | | |
| 19 | 点数 | 0 | 43 | 91 | 29 | 12 | 353 | 528 | | | |
| | 重量 | 0 | 980 | 3,108 | 955 | 730 | 19,460 | 25,233 | | | |
| 一括 | 点数 | 5 | 70 | 211 | 5 | 7 | 308 | 606 | | | |
| | 重量 | 115 | 2,460 | 6,563 | 117 | 150 | 16,400 | 25,805 | | | |
| 計 | 点数 | 399 | 3,792 | 6,215 | 1,720 | 915 | 2,635 | 15,676 | | | |
| | 重量 | 12,134 | 110,333 | 238,734 | 65,043 | 34,247 | 120,080 | 580,571 | | | |

第22図 終原貝塚出土土器出土状況グラフ (型式が特定できたもの、点数)



第23図 終原貝塚出土土器出土状況グラフ (型式が特定できたもの、重量)



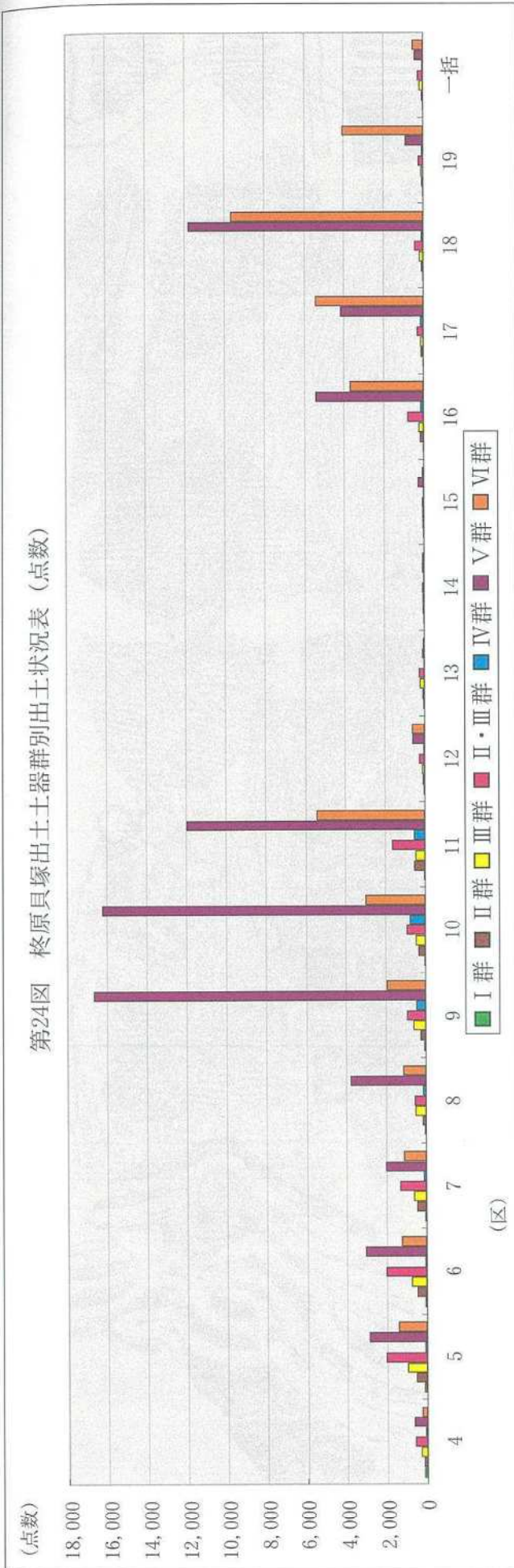
第12表 終原貝塚出土土器一覧表3 (型式が特定できなかったもの、群別)

| 区 | 群 | II・III群 | IV群 | V群 | VI群 | VIII群 | 計 |
|----|----|---------|--------|-----------|-----------|---------|-----------|
| 4 | 点数 | 605 | 22 | 664 | 261 | 598 | 2,150 |
| | 重量 | 16,368 | 786 | 16,531 | 6,391 | 13,092 | 53,168 |
| 5 | 点数 | 2,063 | 38 | 2,903 | 1,439 | 1,636 | 8,079 |
| | 重量 | 57,728 | 1,360 | 77,654 | 37,052 | 39,865 | 213,659 |
| 6 | 点数 | 2,049 | 15 | 3,061 | 1,246 | 2,308 | 8,679 |
| | 重量 | 56,000 | 319 | 79,485 | 35,209 | 45,951 | 216,964 |
| 7 | 点数 | 1,317 | 46 | 2,012 | 1,107 | 1,283 | 5,765 |
| | 重量 | 38,469 | 1,834 | 53,688 | 30,405 | 31,254 | 155,650 |
| 8 | 点数 | 570 | 83 | 3,763 | 1,147 | 1,416 | 6,979 |
| | 重量 | 16,830 | 2,600 | 95,555 | 31,110 | 34,245 | 180,340 |
| 9 | 点数 | 953 | 234 | 16,484 | 1,900 | 2,070 | 21,641 |
| | 重量 | 23,461 | 5,914 | 454,230 | 54,146 | 52,410 | 590,161 |
| 10 | 点数 | 939 | 289 | 16,091 | 2,976 | 2,590 | 22,885 |
| | 重量 | 24,735 | 7,705 | 441,512 | 82,318 | 62,942 | 619,212 |
| 11 | 点数 | 1,668 | 164 | 11,800 | 5,422 | 2,941 | 21,995 |
| | 重量 | 42,916 | 3,456 | 338,419 | 144,694 | 68,714 | 598,199 |
| 12 | 点数 | 293 | 10 | 633 | 627 | 447 | 2,010 |
| | 重量 | 8,499 | 208 | 14,892 | 17,568 | 11,064 | 52,231 |
| 13 | 点数 | 298 | 7 | 119 | 50 | 383 | 857 |
| | 重量 | 8,246 | 157 | 3,622 | 1,881 | 10,184 | 24,090 |
| 14 | 点数 | 100 | 0 | 69 | 69 | 152 | 390 |
| | 重量 | 3,140 | 0 | 2,110 | 2,024 | 3,872 | 11,146 |
| 15 | 点数 | 52 | 2 | 281 | 78 | 86 | 499 |
| | 重量 | 3,358 | 34 | 7,783 | 2,204 | 1,716 | 15,095 |
| 16 | 点数 | 828 | 60 | 5,321 | 3,635 | 1,403 | 11,247 |
| | 重量 | 25,614 | 1,440 | 140,381 | 106,902 | 36,943 | 311,280 |
| 17 | 点数 | 336 | 44 | 4,092 | 5,016 | 1,444 | 10,932 |
| | 重量 | 9,156 | 1,094 | 94,557 | 158,131 | 35,953 | 298,891 |
| 18 | 点数 | 465 | 69 | 11,835 | 8,393 | 1,876 | 22,638 |
| | 重量 | 12,115 | 1,627 | 150,630 | 278,222 | 52,985 | 495,579 |
| 19 | 点数 | 257 | 28 | 894 | 3,703 | 2,465 | 7,347 |
| | 重量 | 7,421 | 651 | 18,873 | 100,666 | 63,945 | 191,556 |
| 一括 | 点数 | 295 | 36 | 447 | 231 | 59 | 1,068 |
| | 重量 | 23,123 | 1,206 | 22,450 | 8,914 | 2,518 | 58,211 |
| 計 | 点数 | 13,088 | 1,147 | 80,469 | 37,300 | 23,157 | 155,161 |
| | 重量 | 377,179 | 30,391 | 2,012,372 | 1,097,837 | 567,653 | 4,085,432 |

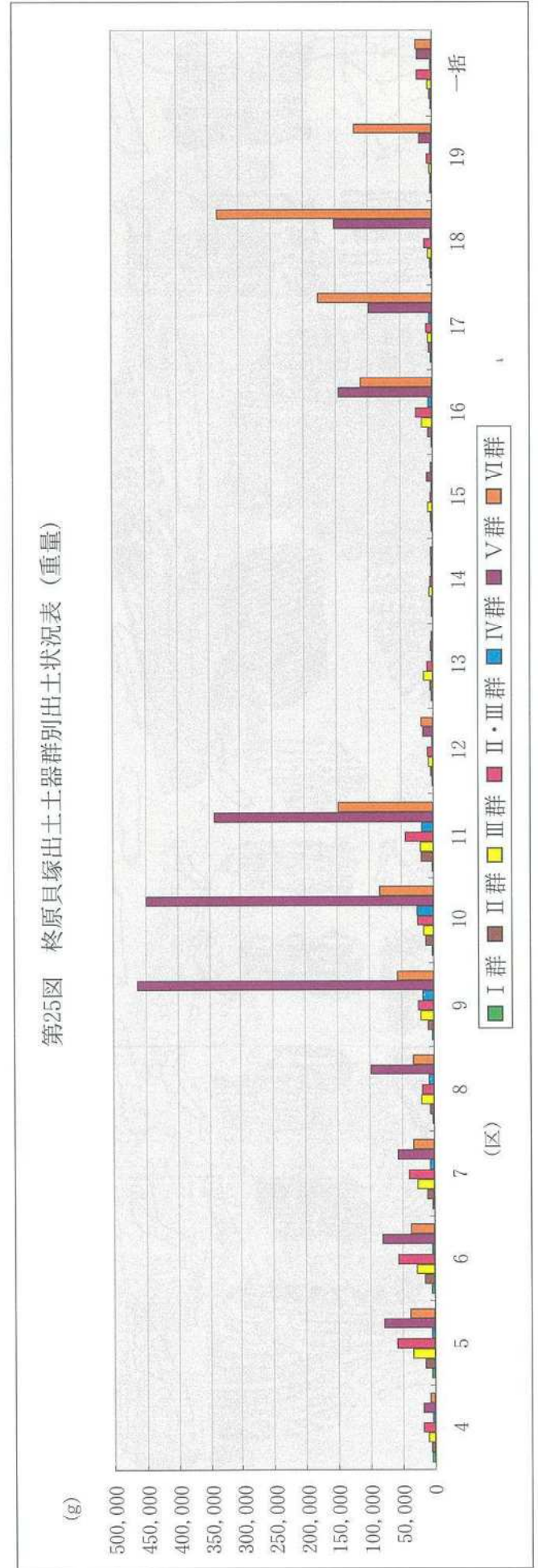
第13表 柁原貝塚出土土器一覽表4 (群別)

| 区 | 群 | I群 | II群 | III群 | II・III群 | IV群 | V群 | VI群 | VII群 | VIII群 | 計 |
|----|----|--------|---------|---------|---------|--------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|
| | | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | |
| 4 | 点数 | 113 | 145 | 309 | 605 | 59 | 664 | 261 | 16 | 598 | 2,770 |
| | 重量 | 4,161 | 4,245 | 9,557 | 16,368 | 2,355 | 16,531 | 6,391 | 1,230 | 13,092 | 73,930 |
| 5 | 点数 | 100 | 544 | 987 | 2,063 | 106 | 2,909 | 1,440 | 41 | 1,638 | 9,828 |
| | 重量 | 3,002 | 13,712 | 33,295 | 57,728 | 3,680 | 77,819 | 37,127 | 3,035 | 39,905 | 269,303 |
| 6 | 点数 | 52 | 489 | 758 | 2,049 | 43 | 3,069 | 1,256 | 205 | 2,312 | 10,233 |
| | 重量 | 1,731 | 14,590 | 27,162 | 56,000 | 1,434 | 79,885 | 35,859 | 15,500 | 45,951 | 278,112 |
| 7 | 点数 | 25 | 473 | 629 | 1,317 | 140 | 2,026 | 1,122 | 64 | 1,286 | 7,082 |
| | 重量 | 480 | 10,371 | 25,350 | 38,469 | 5,254 | 55,283 | 30,905 | 6,265 | 31,254 | 203,631 |
| 8 | 点数 | 8 | 162 | 539 | 570 | 153 | 3,808 | 1,163 | 26 | 1,416 | 7,845 |
| | 重量 | 185 | 4,910 | 18,275 | 16,830 | 6,455 | 97,035 | 31,550 | 3,935 | 34,245 | 213,420 |
| 9 | 点数 | 25 | 266 | 612 | 953 | 480 | 16,735 | 1,942 | 68 | 2,070 | 23,151 |
| | 重量 | 785 | 7,926 | 19,485 | 23,461 | 15,549 | 462,955 | 55,431 | 9,095 | 52,410 | 647,097 |
| 10 | 点数 | 21 | 369 | 499 | 939 | 791 | 16,304 | 3,013 | 588 | 2,591 | 25,115 |
| | 重量 | 445 | 12,055 | 15,477 | 24,735 | 26,027 | 448,657 | 83,323 | 40,230 | 62,942 | 713,891 |
| 11 | 点数 | 24 | 572 | 469 | 1,668 | 563 | 11,927 | 5,455 | 555 | 2,941 | 24,174 |
| | 重量 | 530 | 18,248 | 19,335 | 42,916 | 17,676 | 342,474 | 146,239 | 35,820 | 68,714 | 691,952 |
| 12 | 点数 | 6 | 77 | 133 | 293 | 22 | 643 | 641 | 21 | 447 | 2,283 |
| | 重量 | 190 | 2,570 | 6,605 | 8,499 | 793 | 15,192 | 18,193 | 2,250 | 11,064 | 65,356 |
| 13 | 点数 | 5 | 88 | 228 | 298 | 13 | 120 | 50 | 21 | 383 | 1,206 |
| | 重量 | 125 | 3,047 | 14,334 | 8,246 | 407 | 3,639 | 1,881 | 1,825 | 10,184 | 43,688 |
| 14 | 点数 | 1 | 28 | 49 | 100 | 2 | 71 | 69 | 1 | 152 | 473 |
| | 重量 | 45 | 730 | 4,430 | 3,140 | 30 | 2,150 | 2,024 | 240 | 3,872 | 16,661 |
| 15 | 点数 | 5 | 44 | 58 | 52 | 15 | 291 | 79 | 16 | 86 | 646 |
| | 重量 | 120 | 1,740 | 6,985 | 3,358 | 339 | 8,208 | 2,224 | 2,090 | 1,716 | 26,780 |
| 16 | 点数 | 6 | 178 | 265 | 828 | 163 | 5,416 | 3,702 | 78 | 1,403 | 12,039 |
| | 重量 | 160 | 6,100 | 15,944 | 25,614 | 6,005 | 144,846 | 110,167 | 8,310 | 36,943 | 354,089 |
| 17 | 点数 | 2 | 141 | 167 | 336 | 127 | 4,182 | 5,441 | 254 | 1,444 | 12,094 |
| | 重量 | 50 | 3,924 | 6,685 | 9,156 | 4,144 | 98,257 | 176,291 | 22,420 | 35,953 | 356,880 |
| 18 | 点数 | 1 | 103 | 211 | 465 | 92 | 11,859 | 9,706 | 47 | 1,877 | 24,361 |
| | 重量 | 10 | 2,725 | 6,144 | 12,115 | 2,357 | 151,485 | 334,872 | 12,835 | 52,985 | 575,528 |
| 19 | 点数 | 0 | 43 | 91 | 257 | 57 | 906 | 4,056 | 67 | 2,465 | 7,942 |
| | 重量 | 0 | 980 | 3,108 | 7,421 | 1,606 | 19,603 | 120,126 | 8,245 | 63,945 | 225,034 |
| 一括 | 点数 | 5 | 70 | 211 | 295 | 41 | 454 | 539 | 0 | 59 | 1,674 |
| | 重量 | 115 | 2,460 | 6,563 | 23,123 | 1,323 | 22,600 | 25,314 | 0 | 2,518 | 84,016 |
| 計 | 点数 | 399 | 3,792 | 6,215 | 13,088 | 2,867 | 81,384 | 39,935 | 2,068 | 23,168 | 172,916 |
| | 重量 | 12,134 | 110,333 | 238,734 | 377,179 | 95,434 | 2,046,619 | 1,217,917 | 173,325 | 567,693 | 4,839,368 |

第24图 柁原貝塚出土土器群別出土状況表 (点数)



第25图 柁原貝塚出土土器群別出土状況表 (重量)

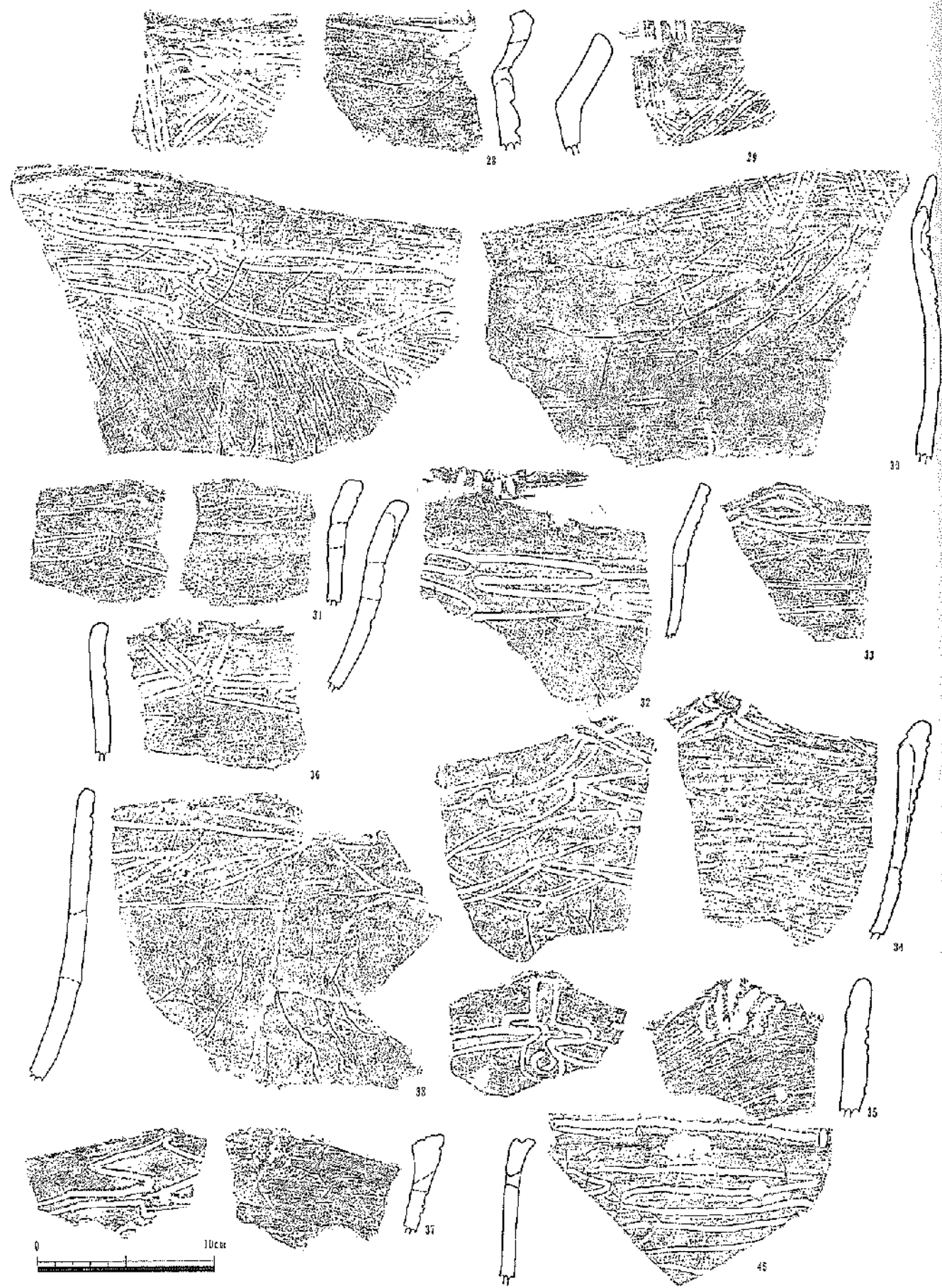




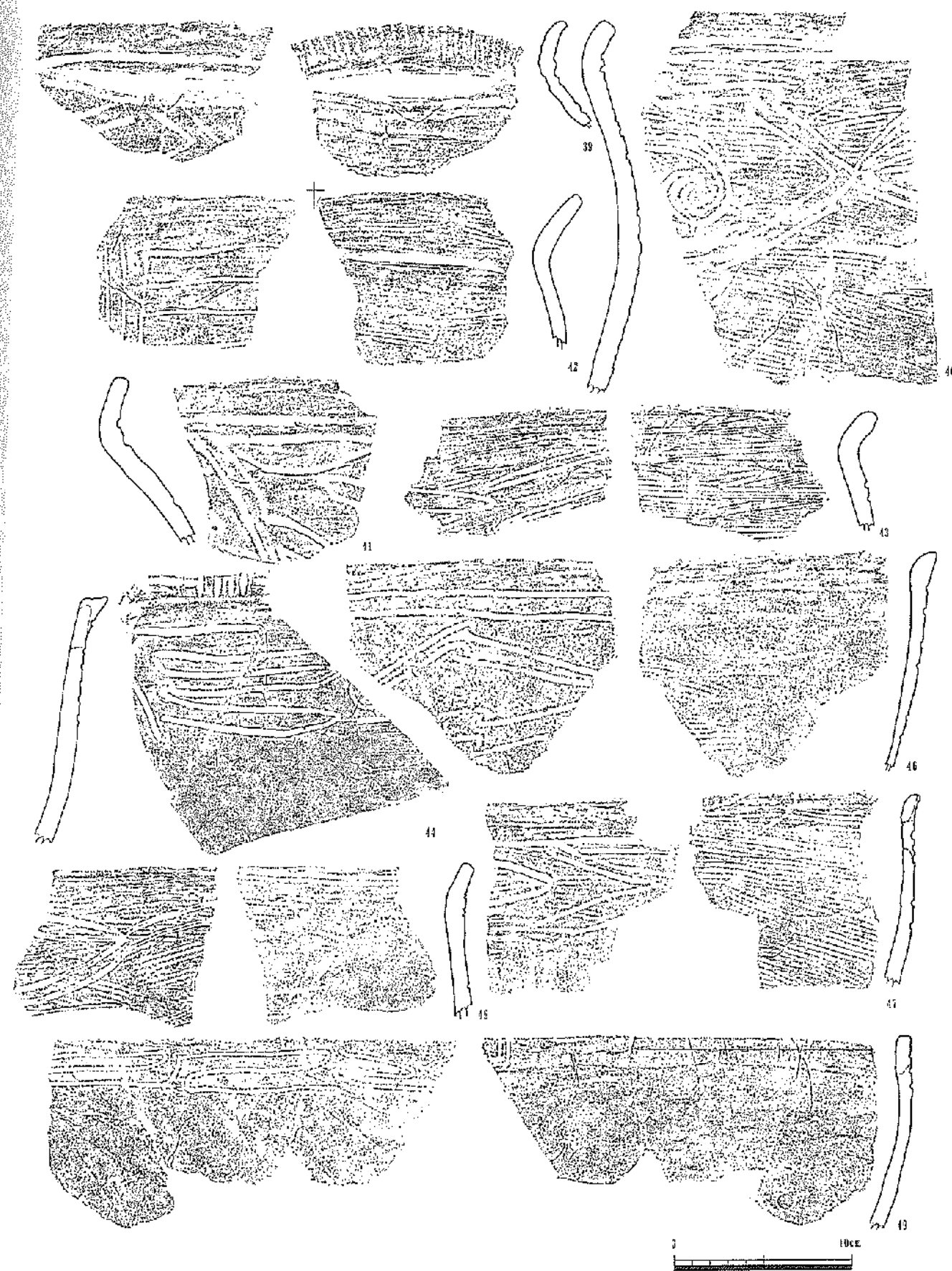
第26图 栎原貝塚出土土器 (1)



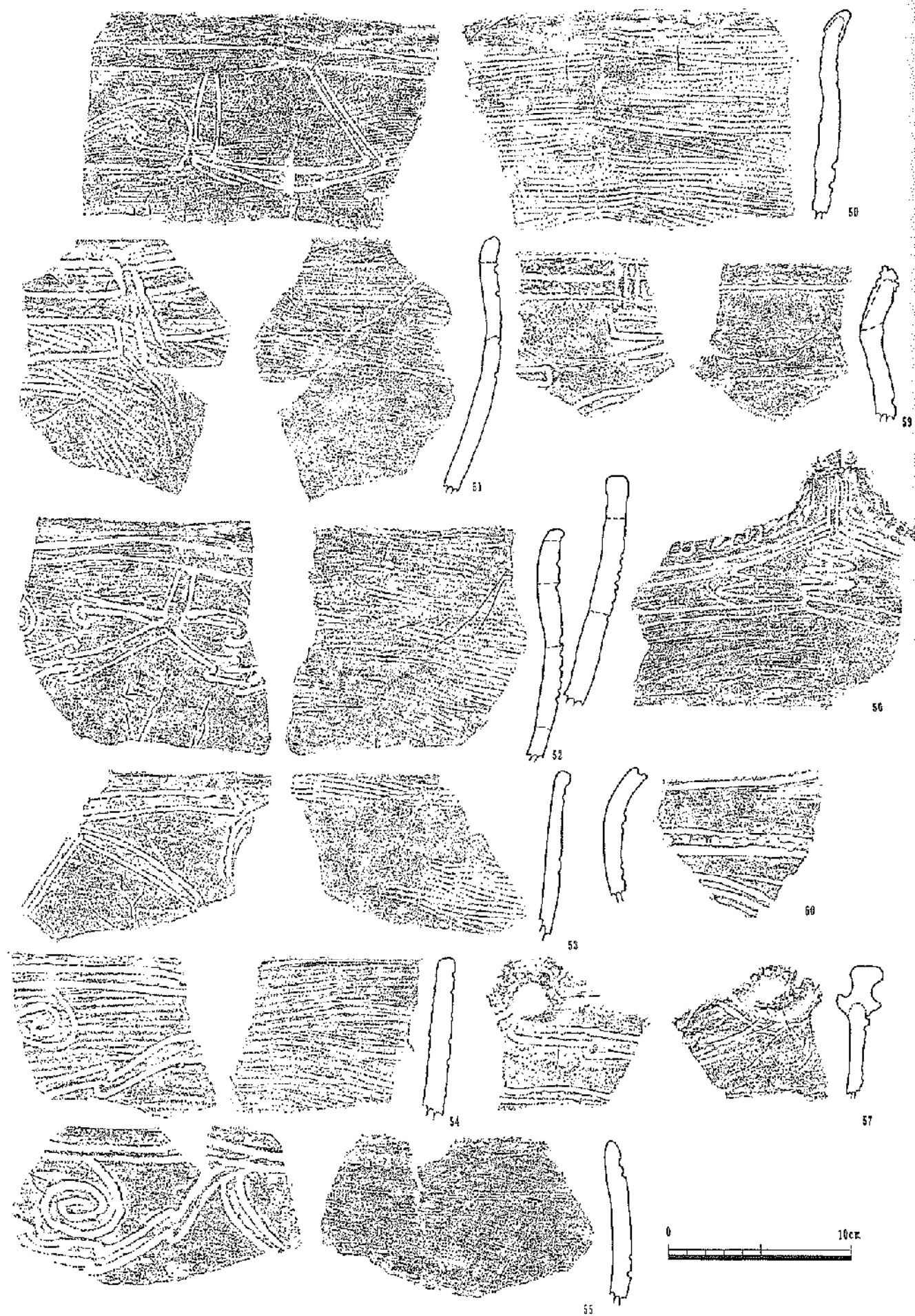
第27图 栎原貝塚出土土器 (2)



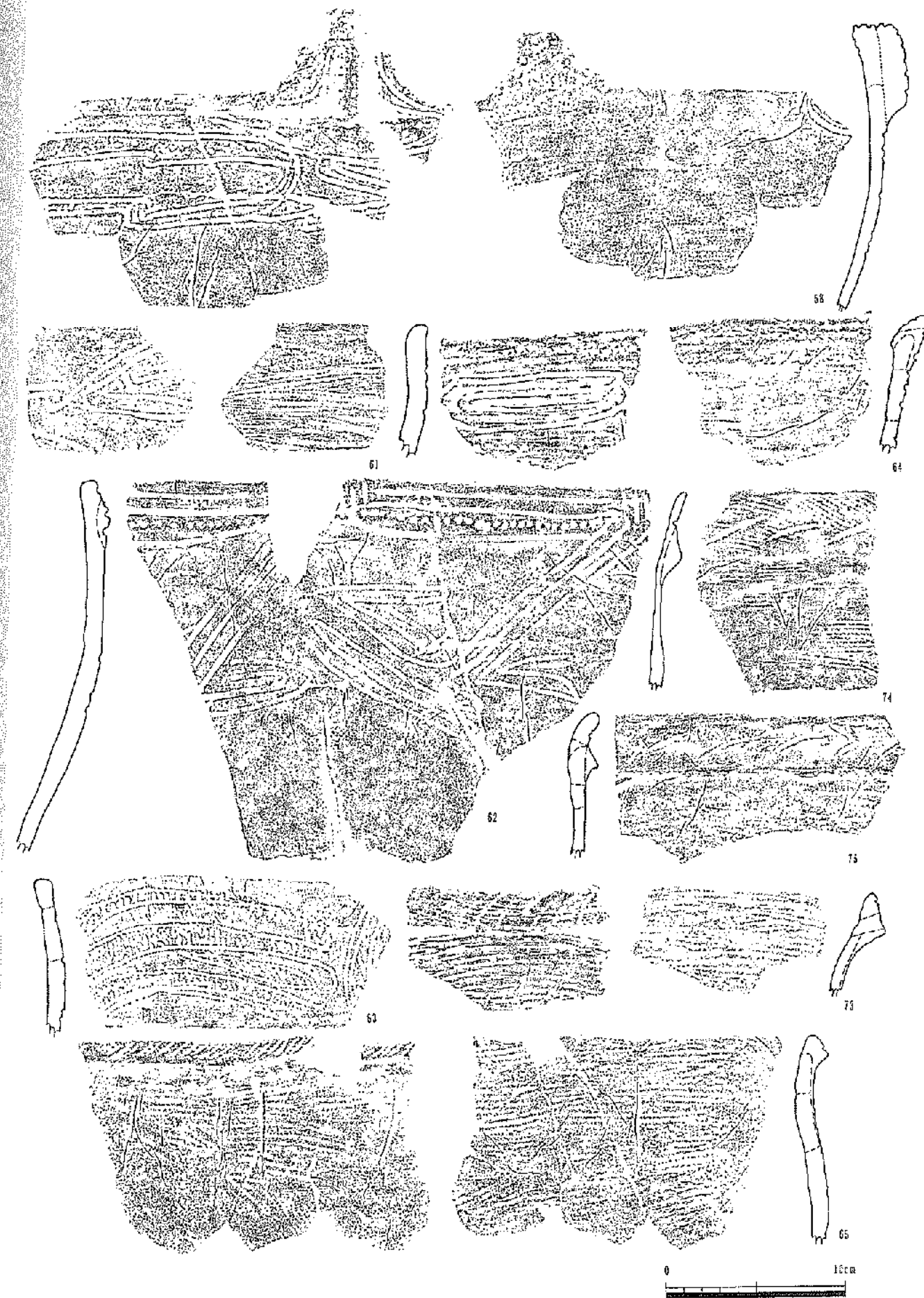
第28图 柞原貝塚出土土器 (3)



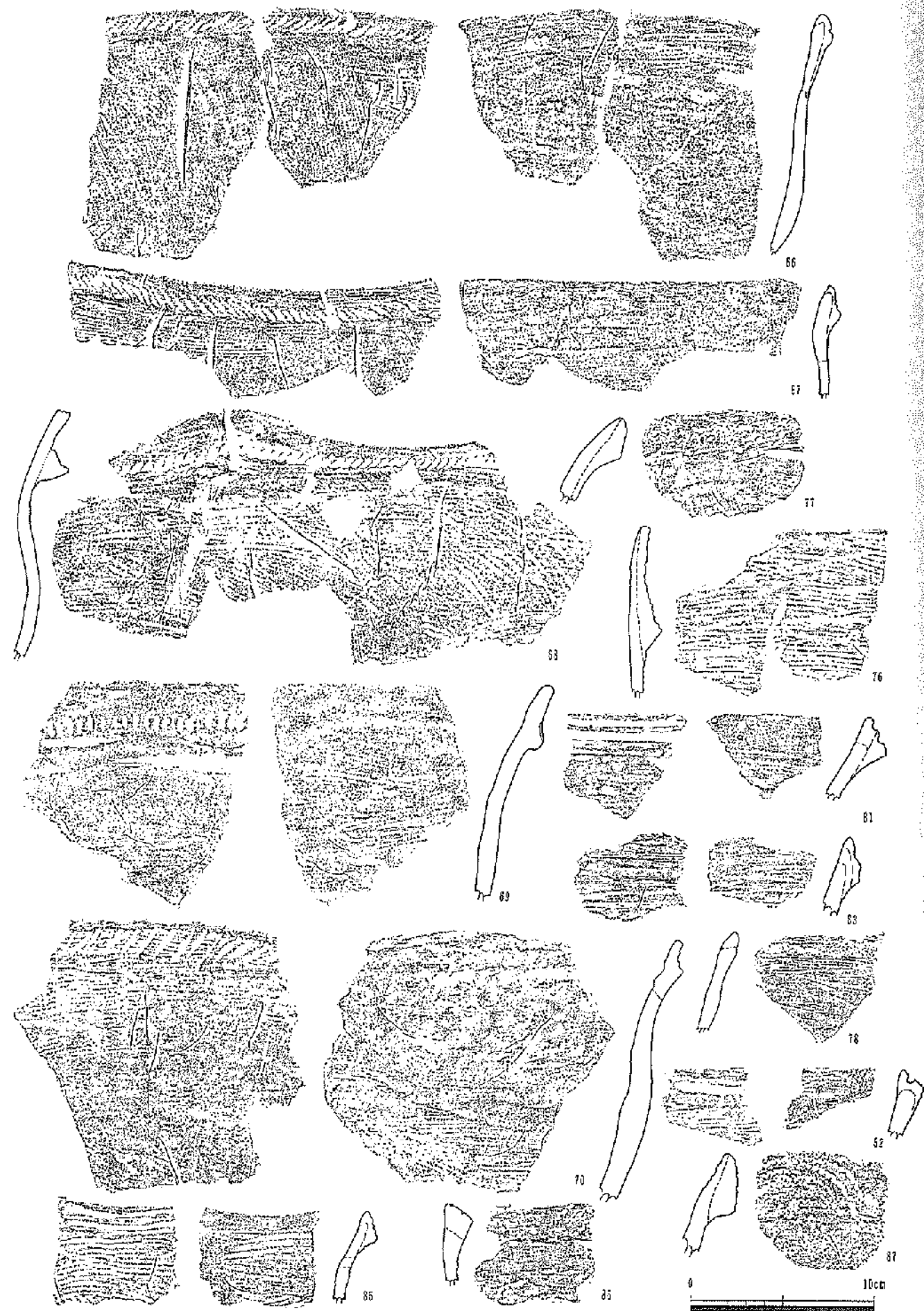
第29图 柞原貝塚出土土器 (4)



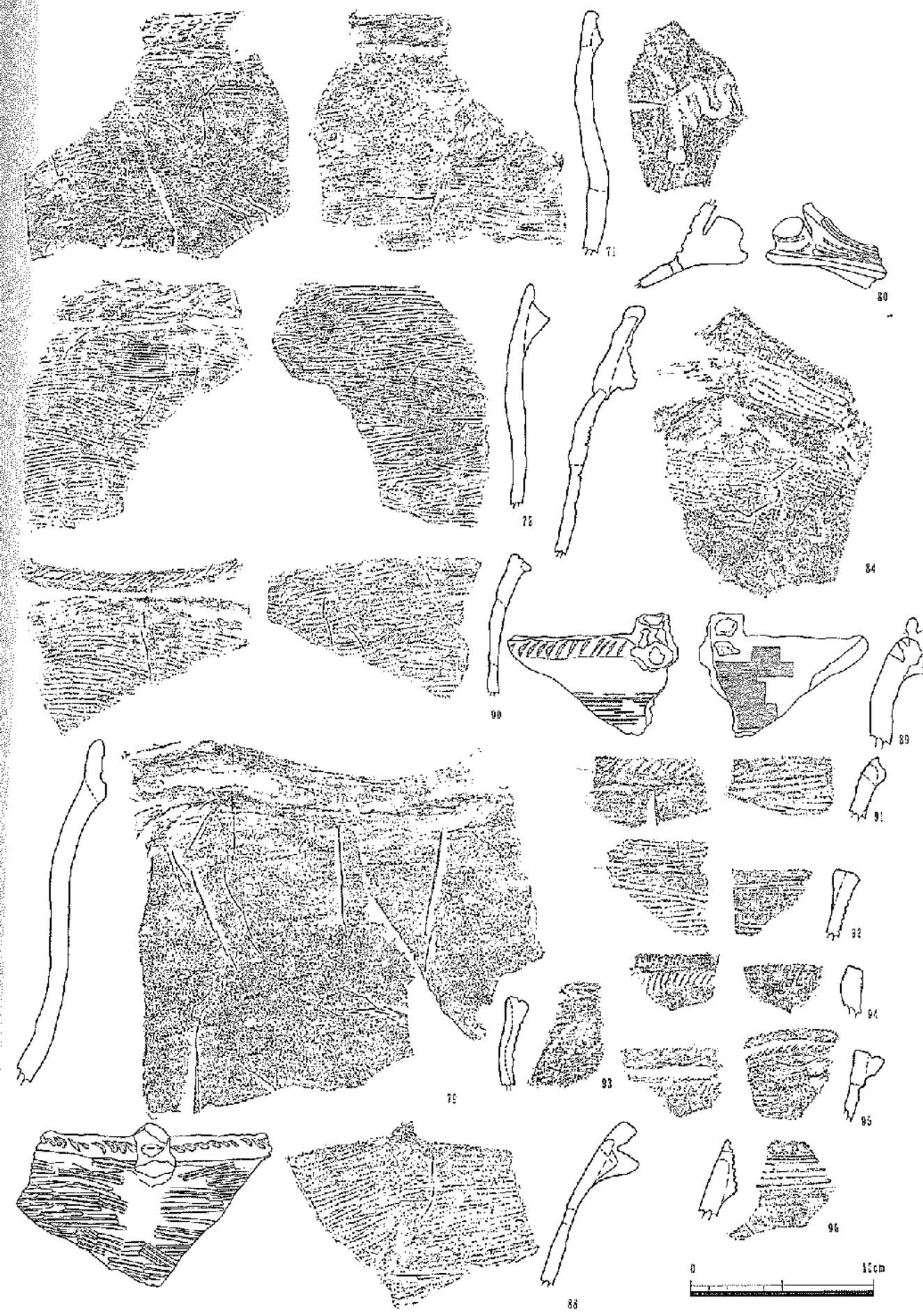
第30图 柞原貝塚出土土器 (5)



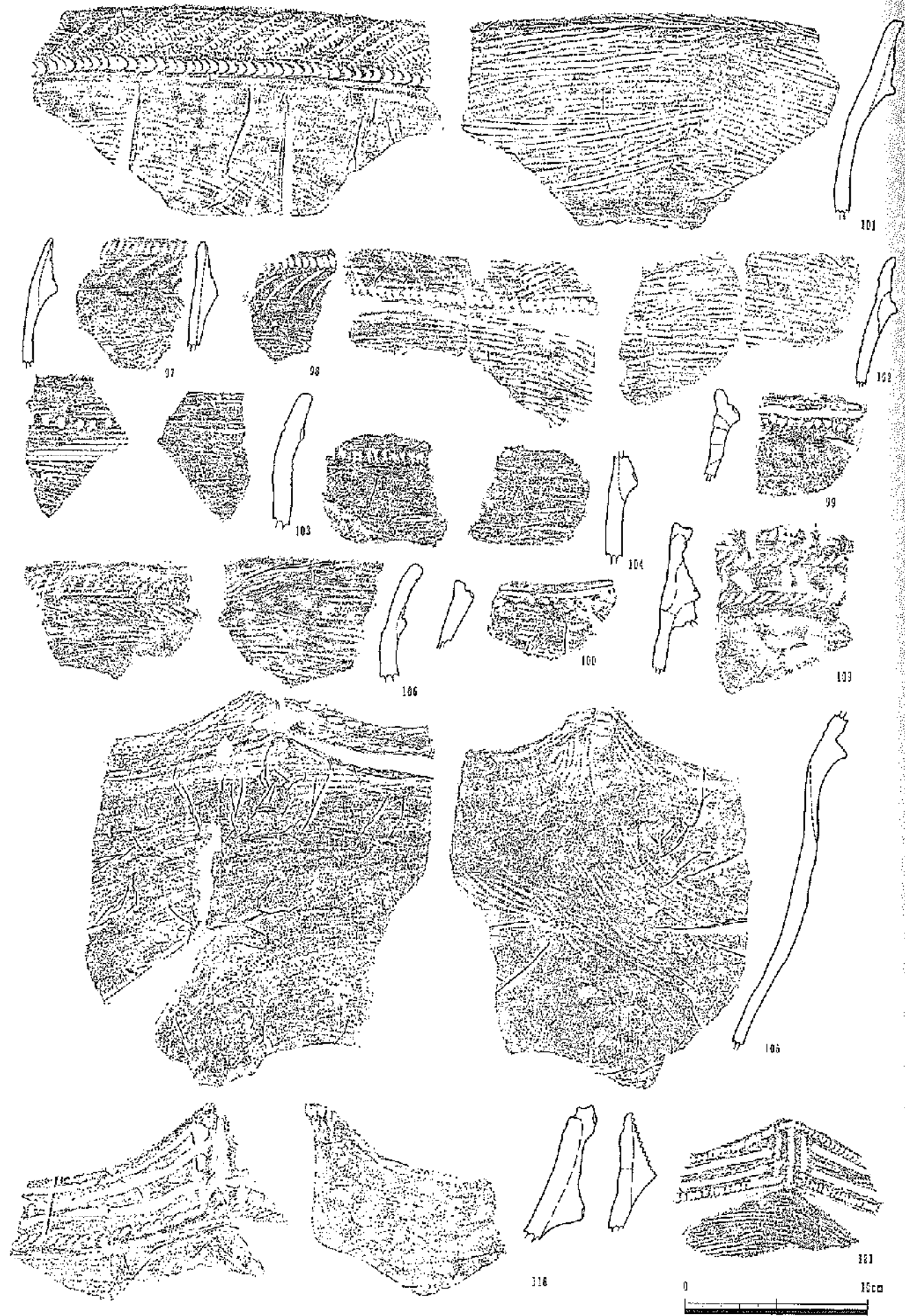
第31图 柞原貝塚出土土器 (6)



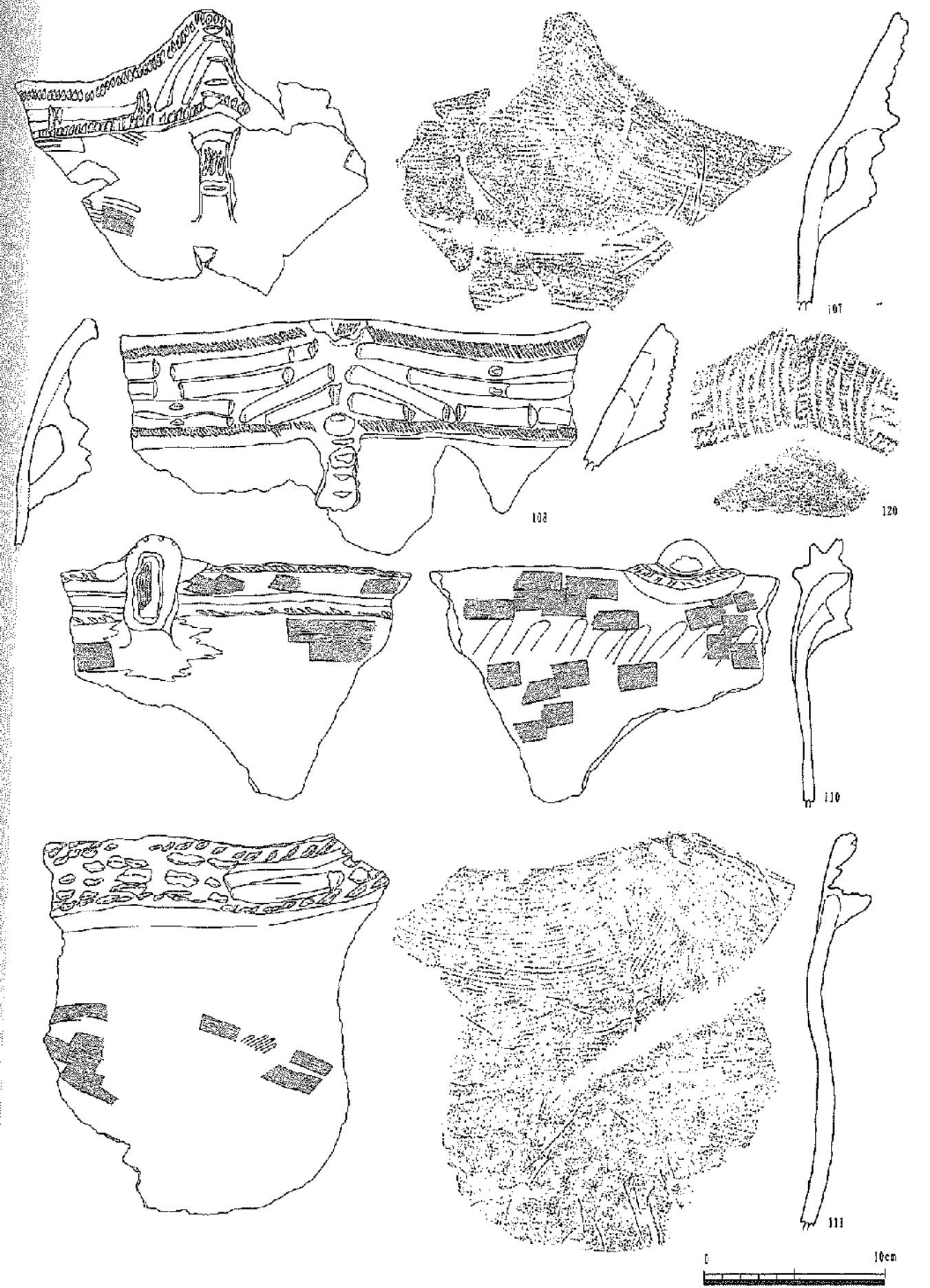
第32圖 柁原貝塚出土土器 (7)



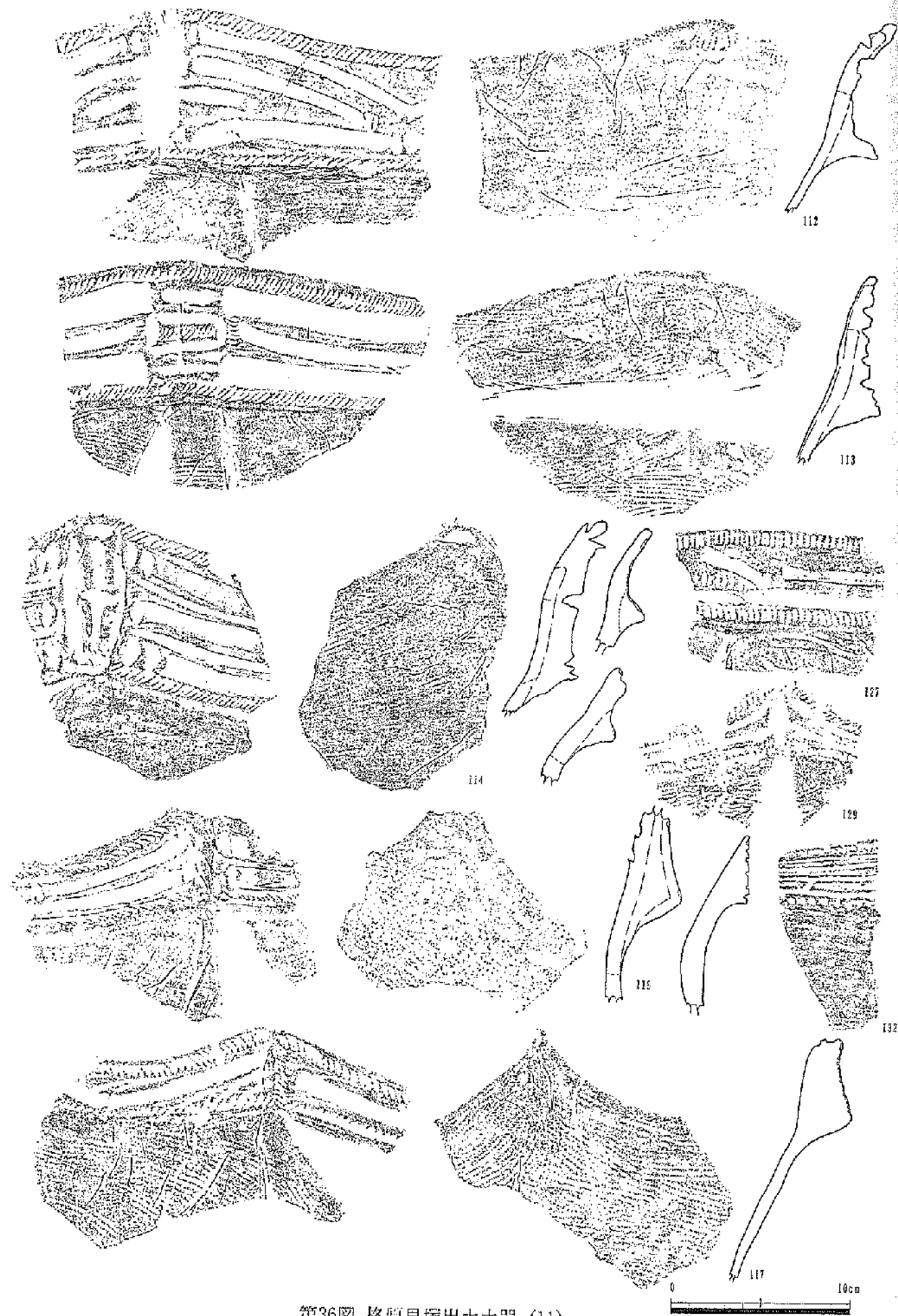
第33圖 柁原貝塚出土土器 (8)



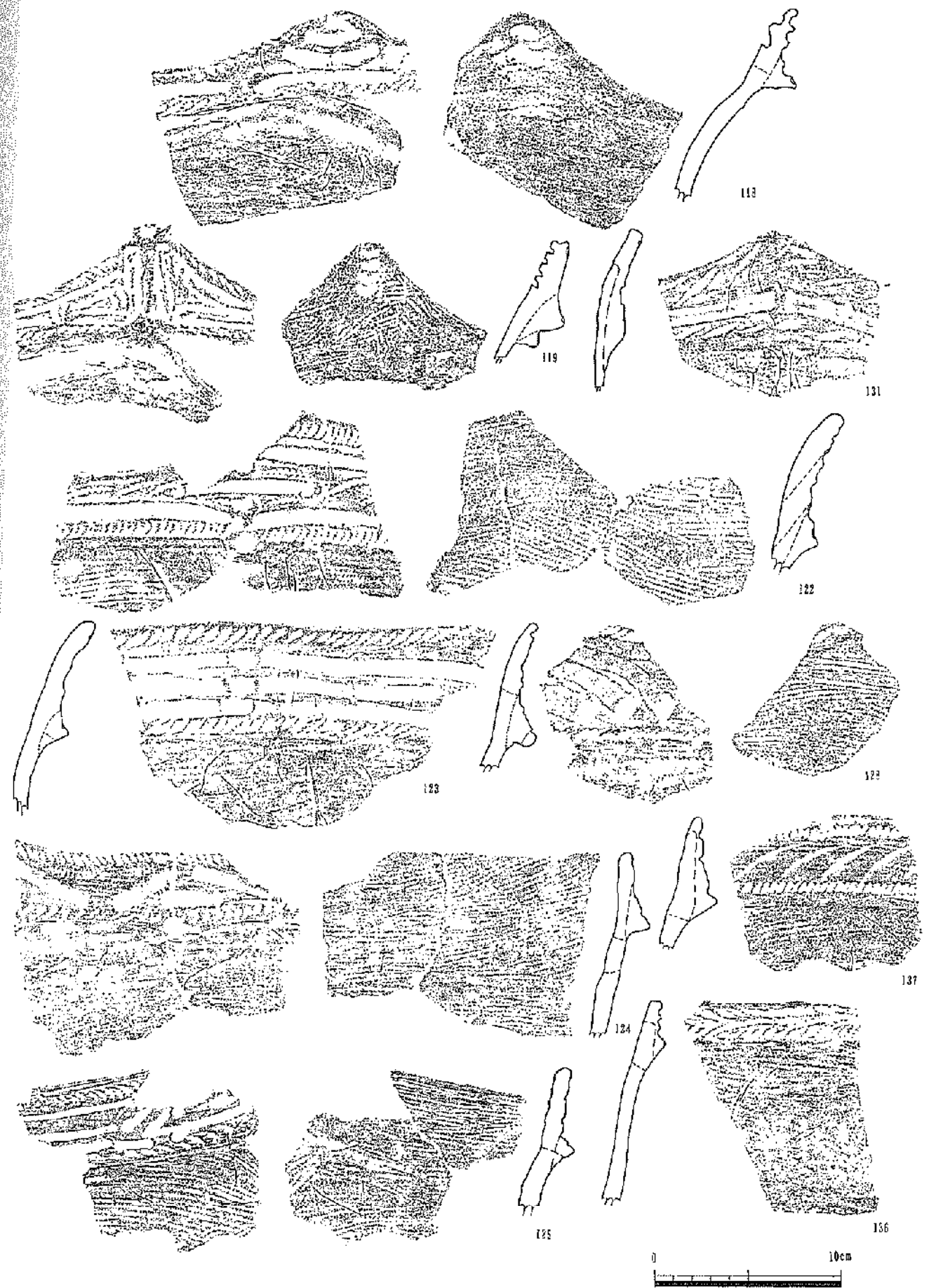
第34图 柘原貝塚出土土器 (9)



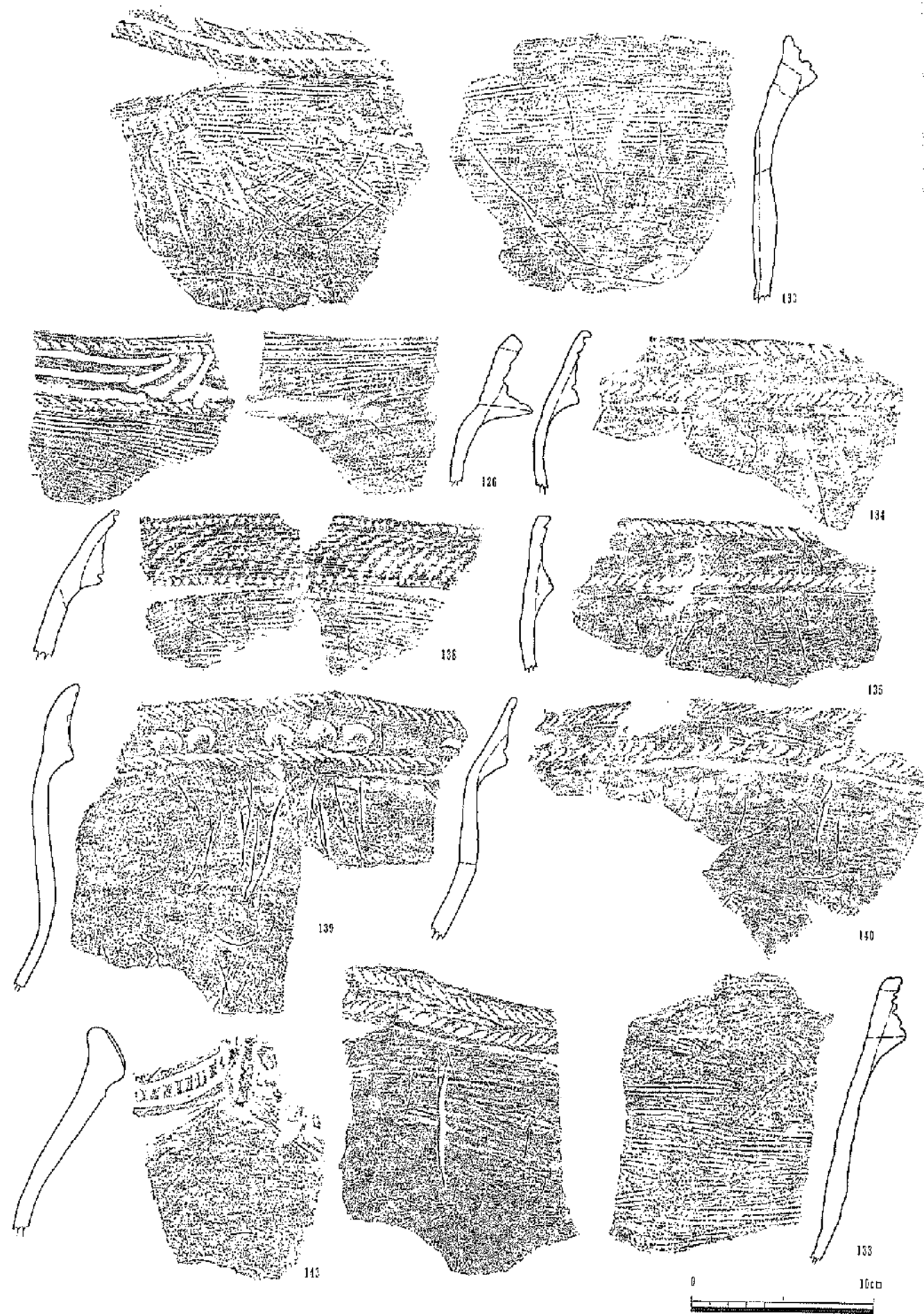
第35图 柘原貝塚出土土器 (10)



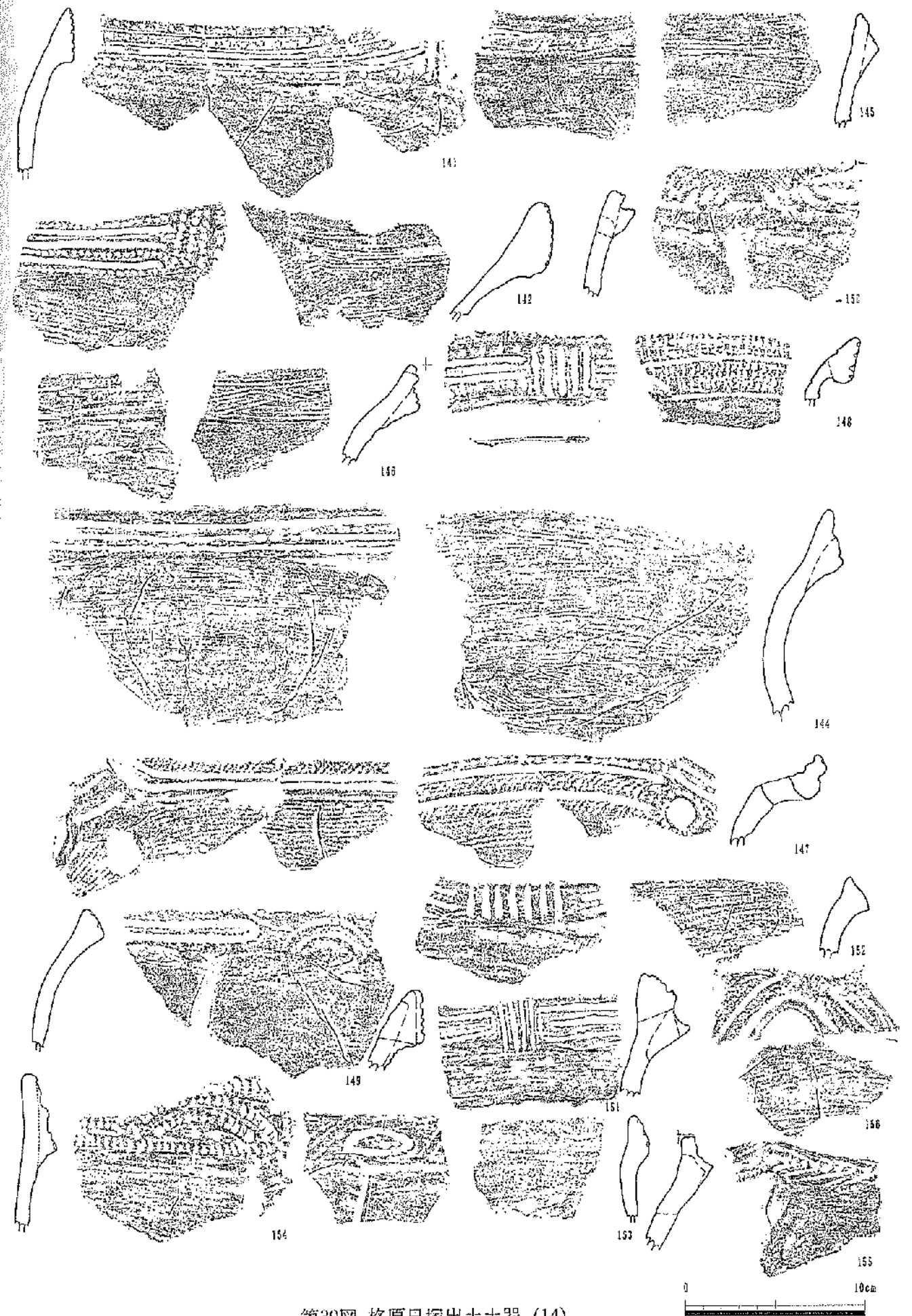
第36图 柞原貝塚出土土器 (11)



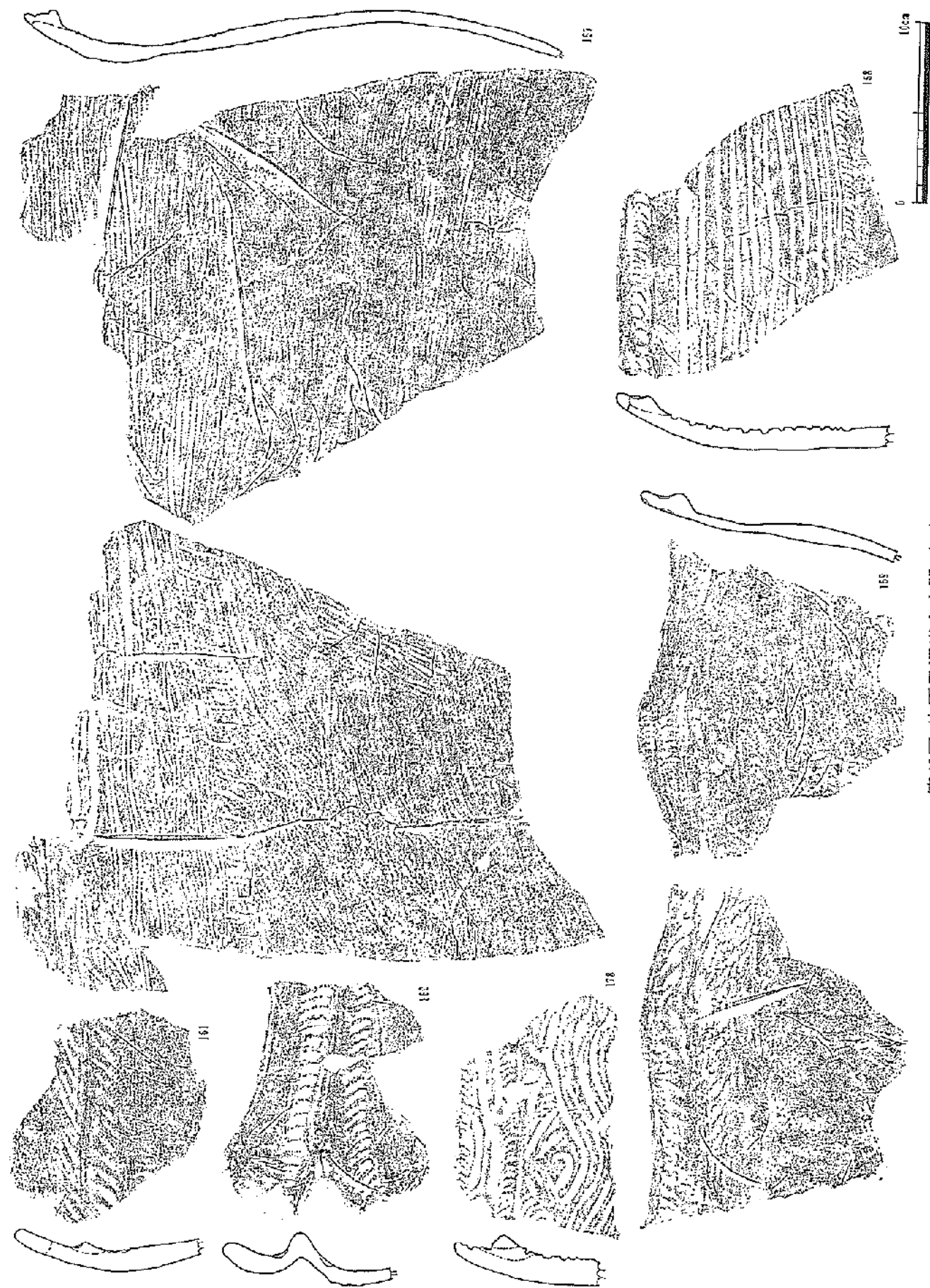
第37图 柞原貝塚出土土器 (12)



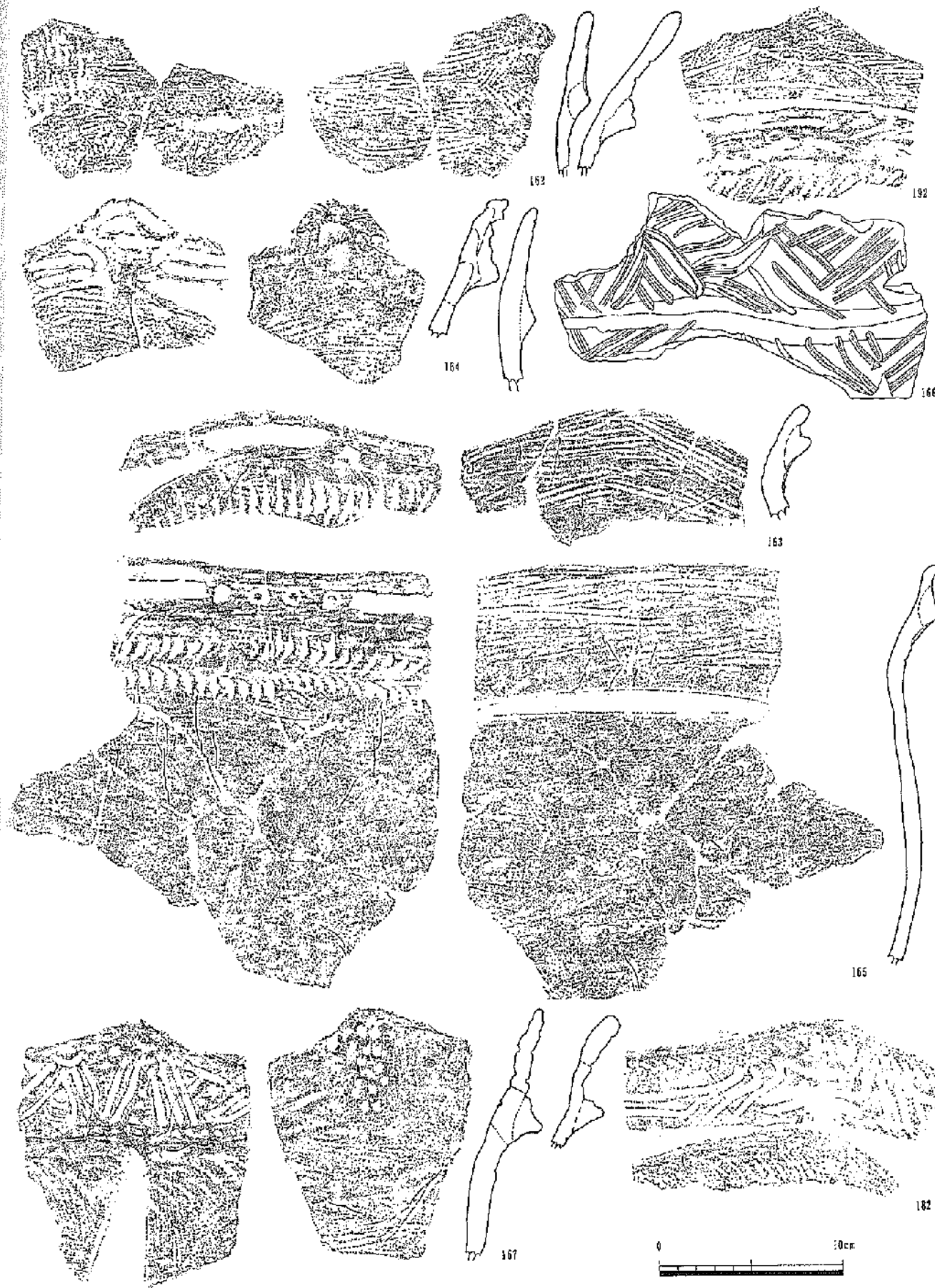
第38图 柞原貝塚出土土器 (13)



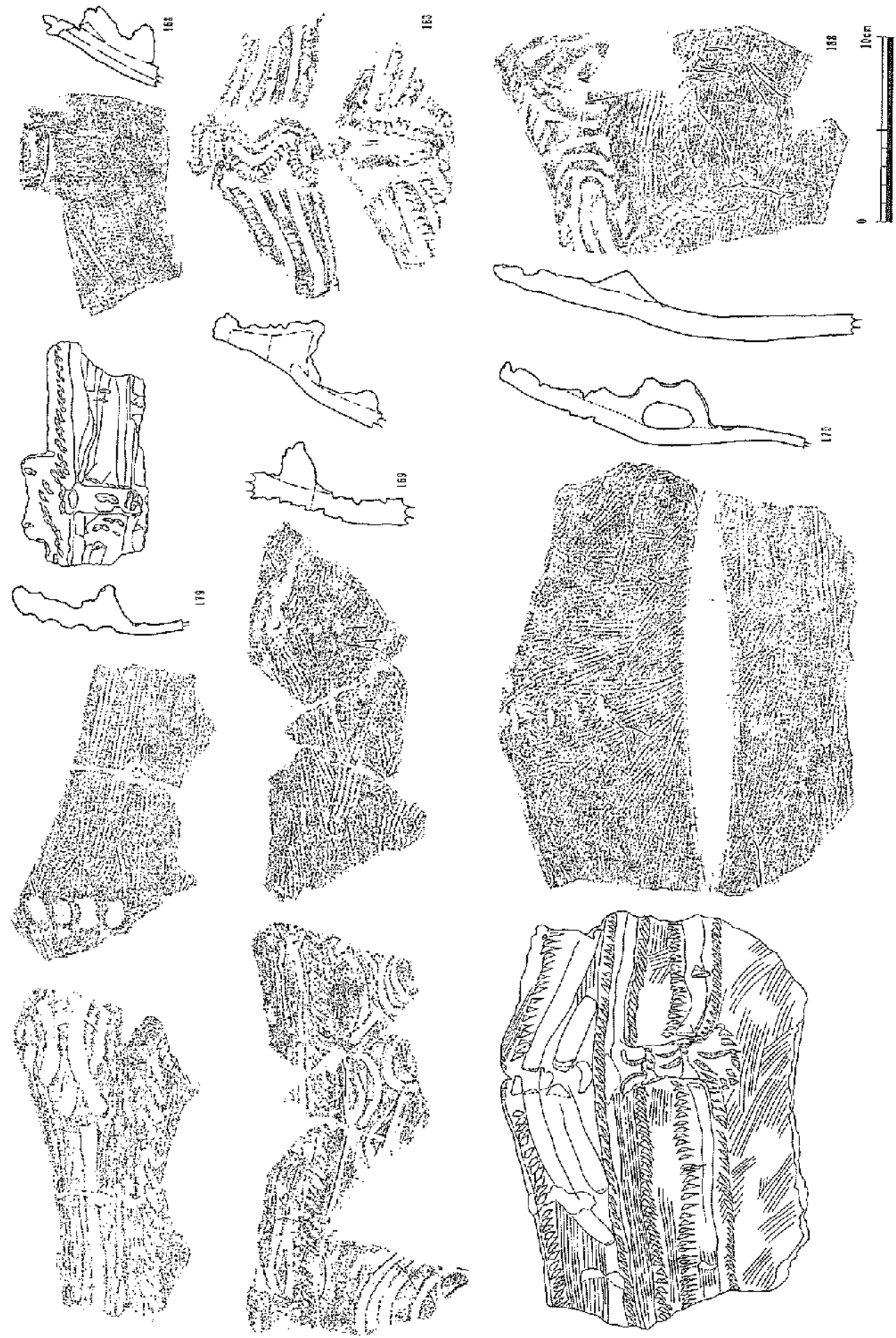
第39图 柞原貝塚出土土器 (14)



第40圖 柘原貝塚出土土器 (15)



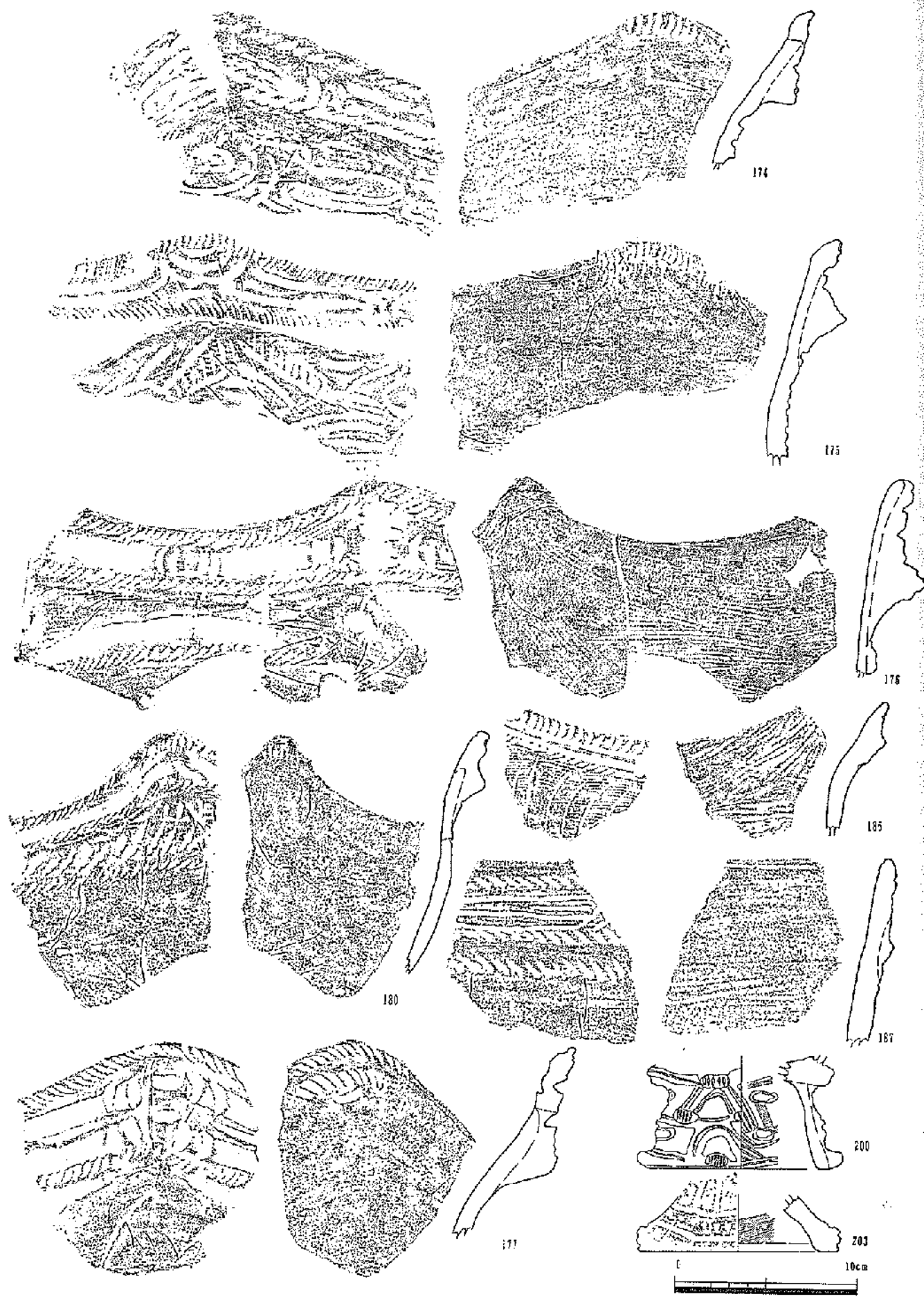
第41圖 柘原貝塚出土土器 (16)



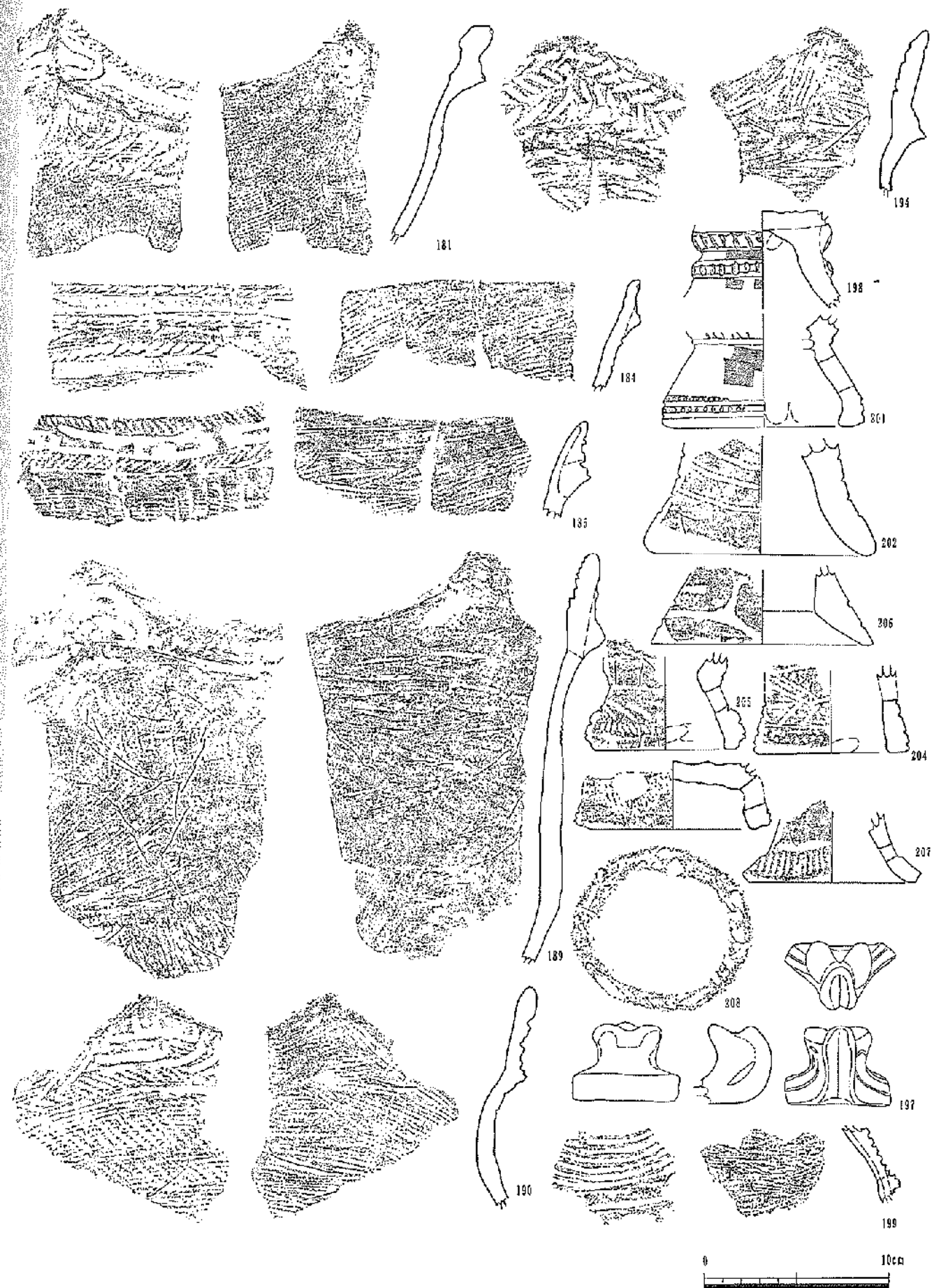
第42図 柘原貝塚出土土器 (17)



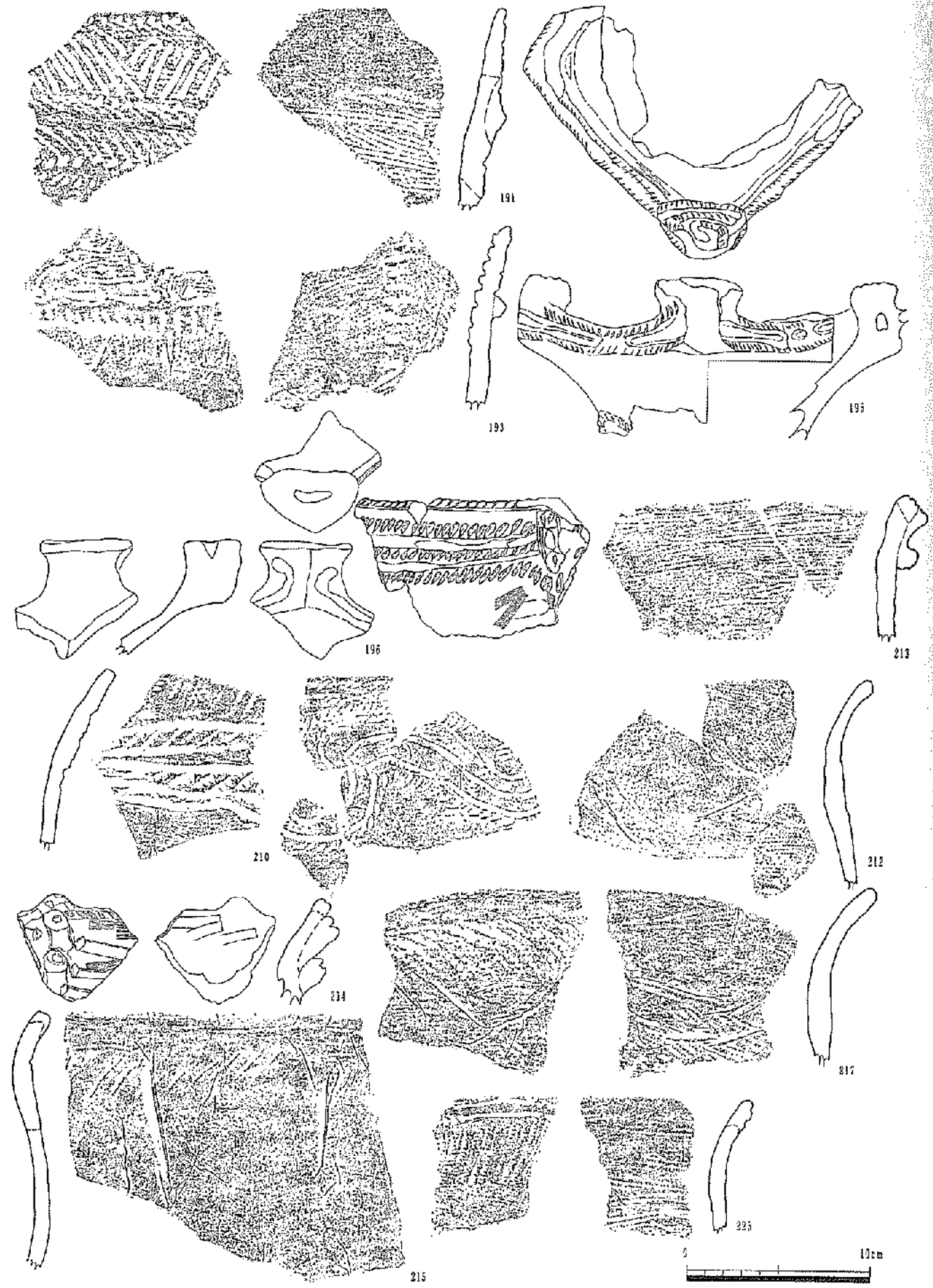
第43図 柘原貝塚出土土器 (18)



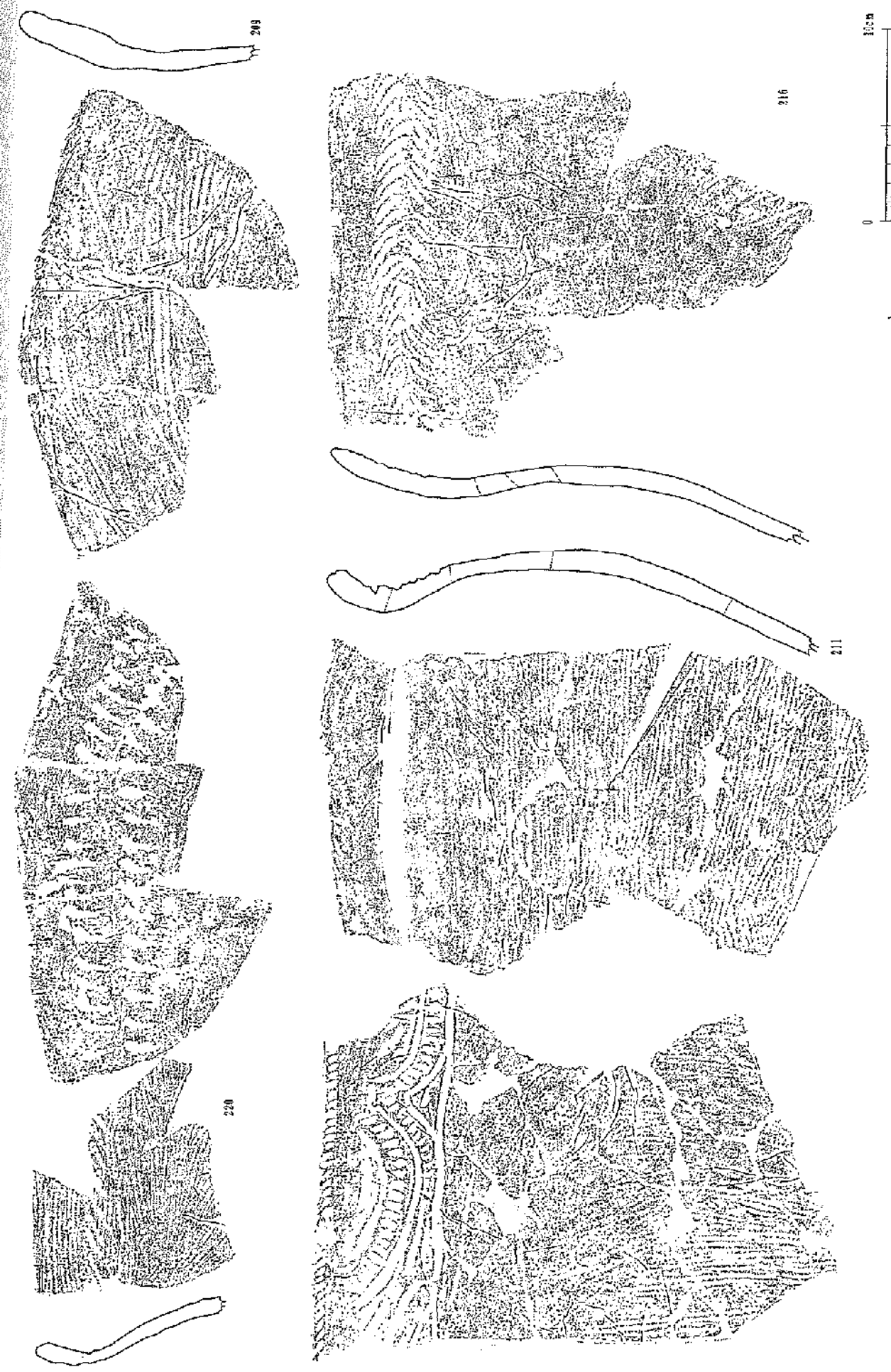
第44图 栲原貝塚出土土器 (19)



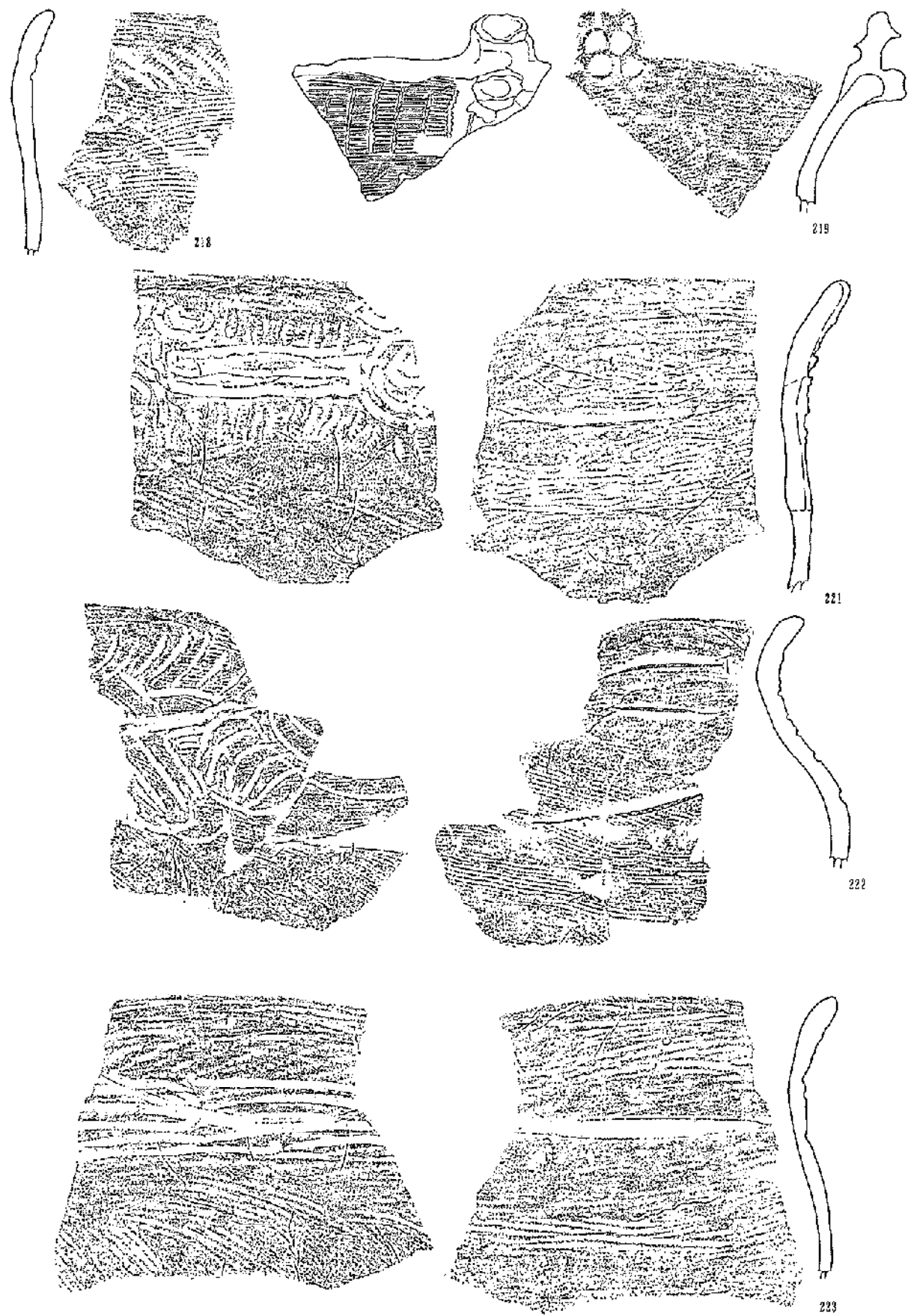
第45图 栲原貝塚出土土器 (20)



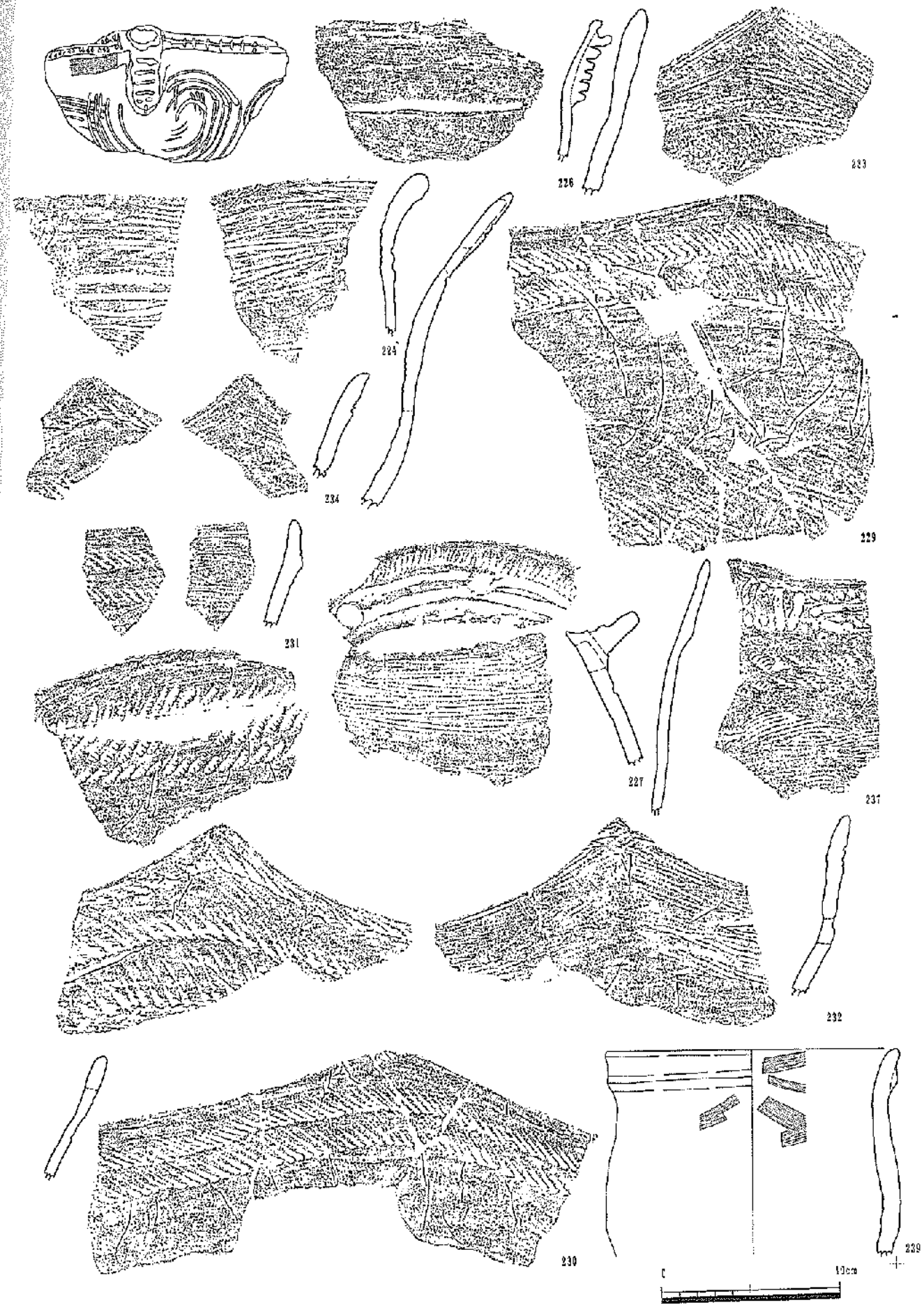
第46圖 柁原貝塚出土土器 (21)



第47圖 柁原貝塚出土土器 (22)



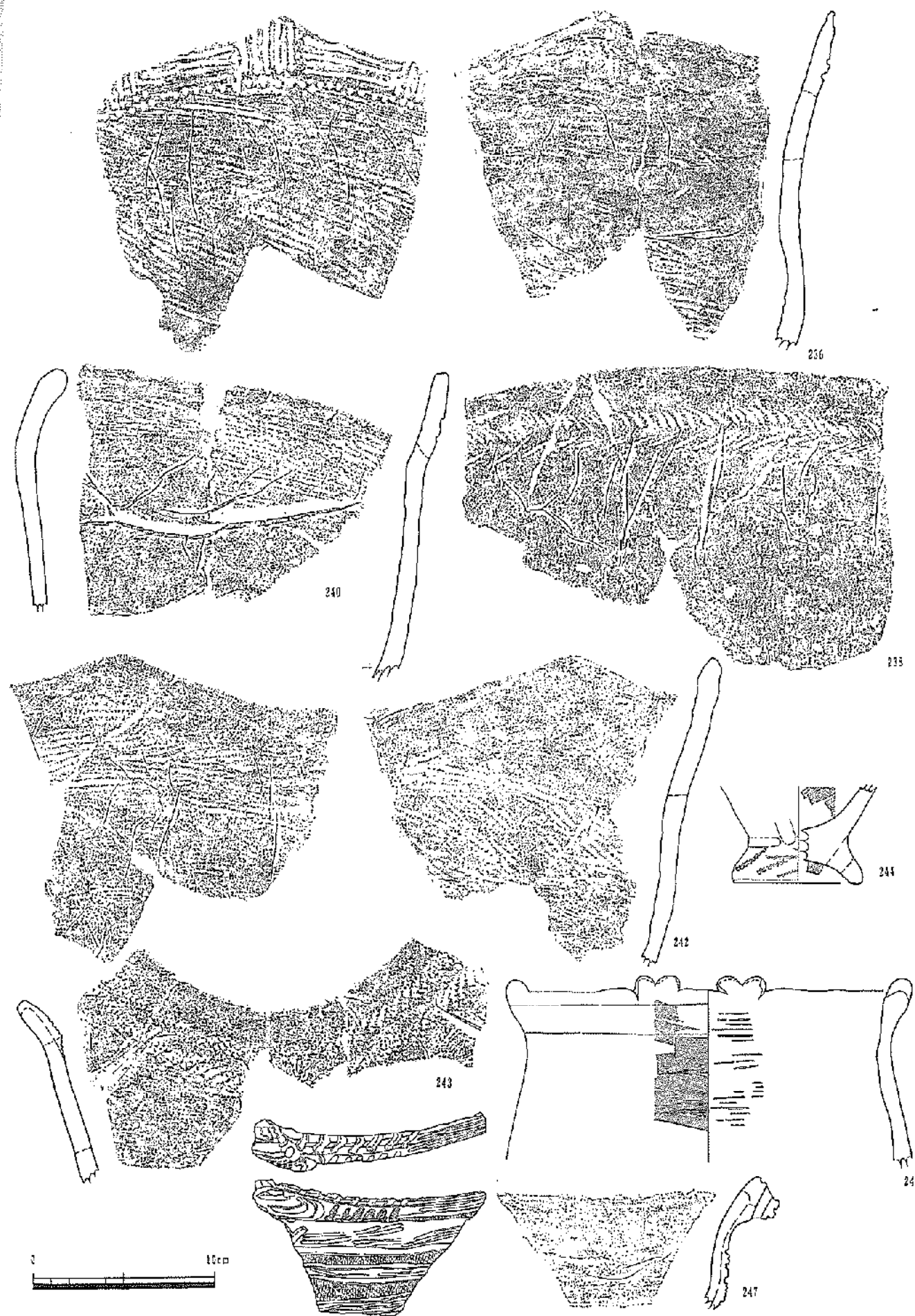
第48图 柁原貝塚出土土器 (23)



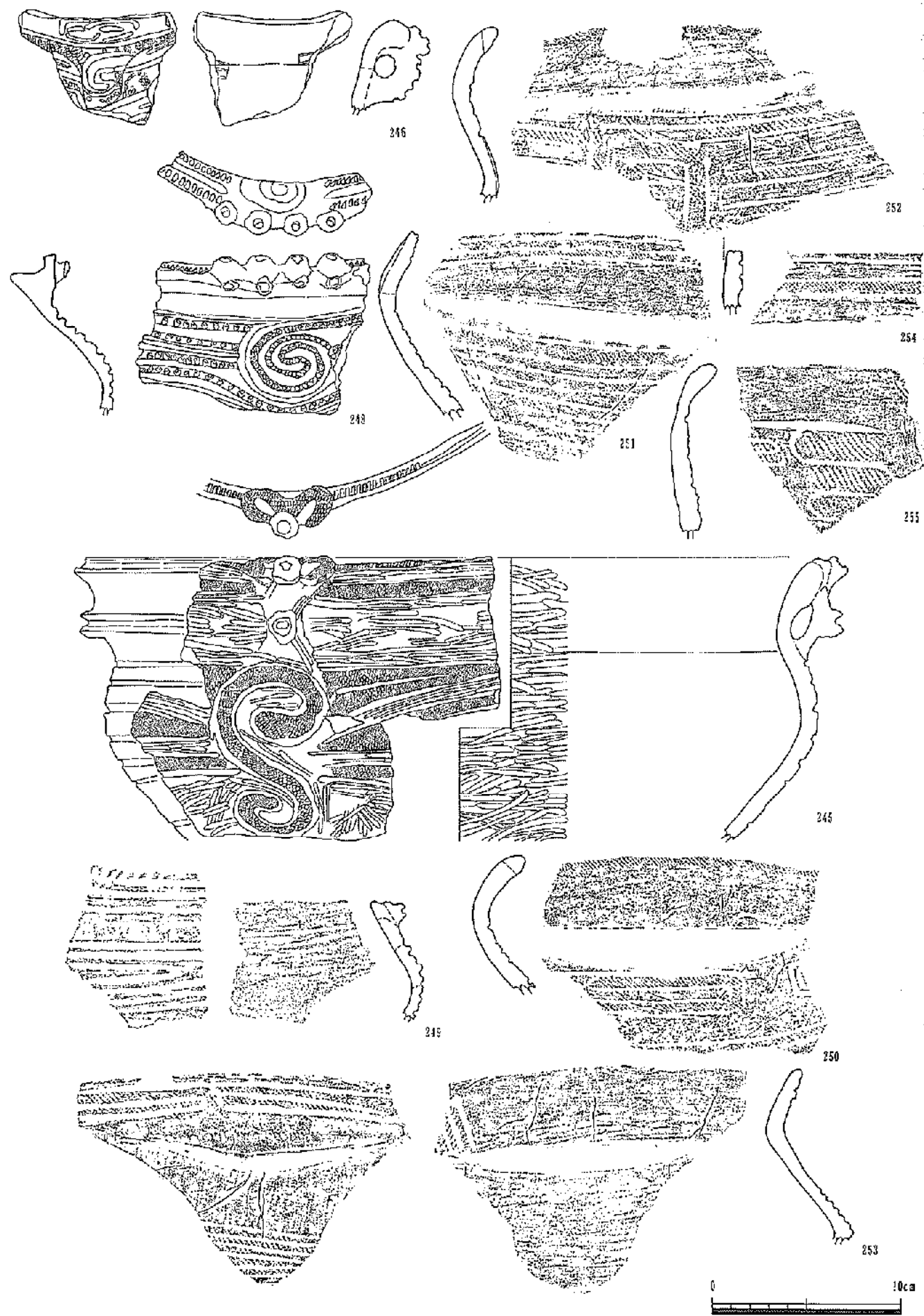
第49图 柁原貝塚出土土器 (24)



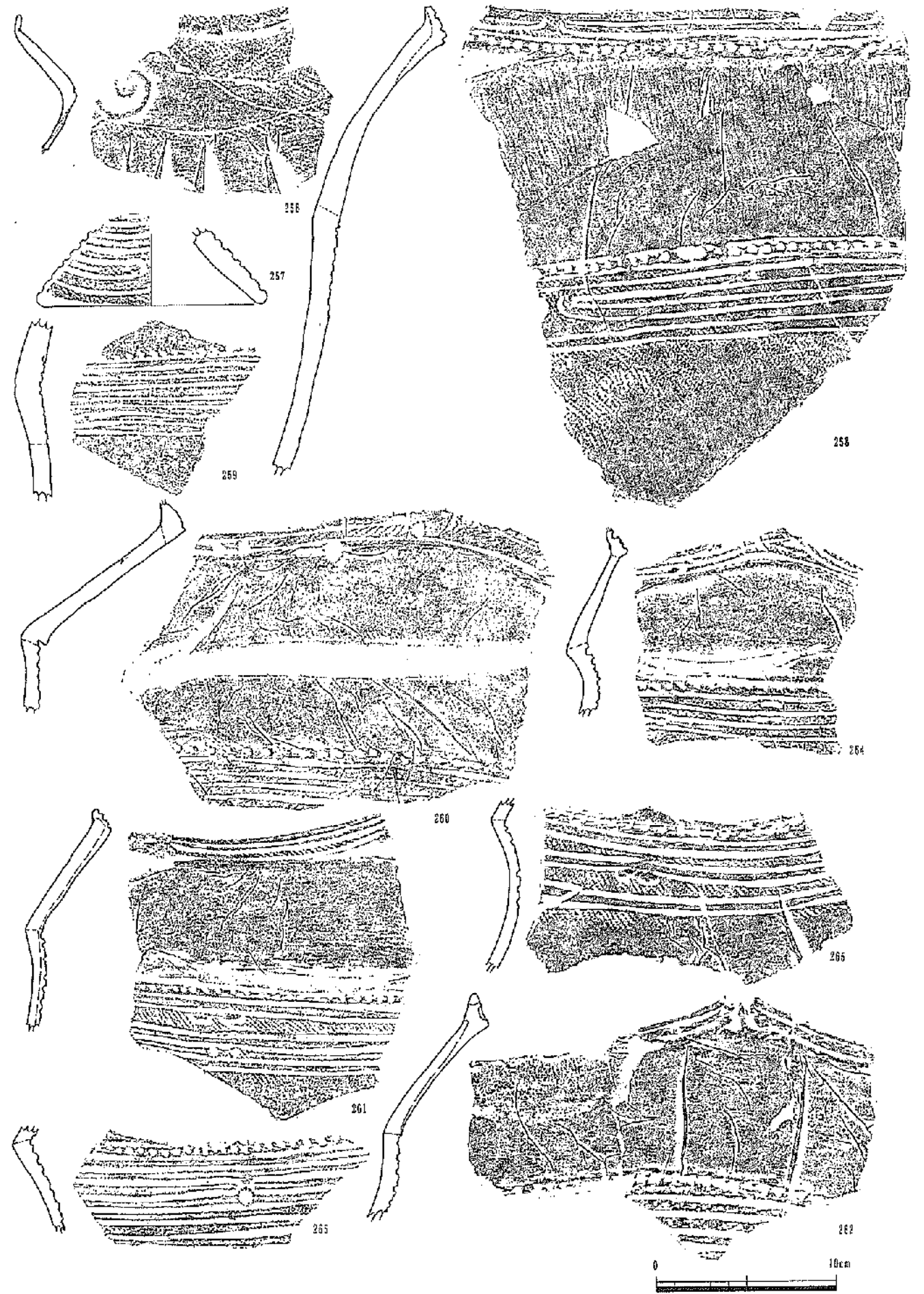
第50図 柘原貝塚出土土器 (25)



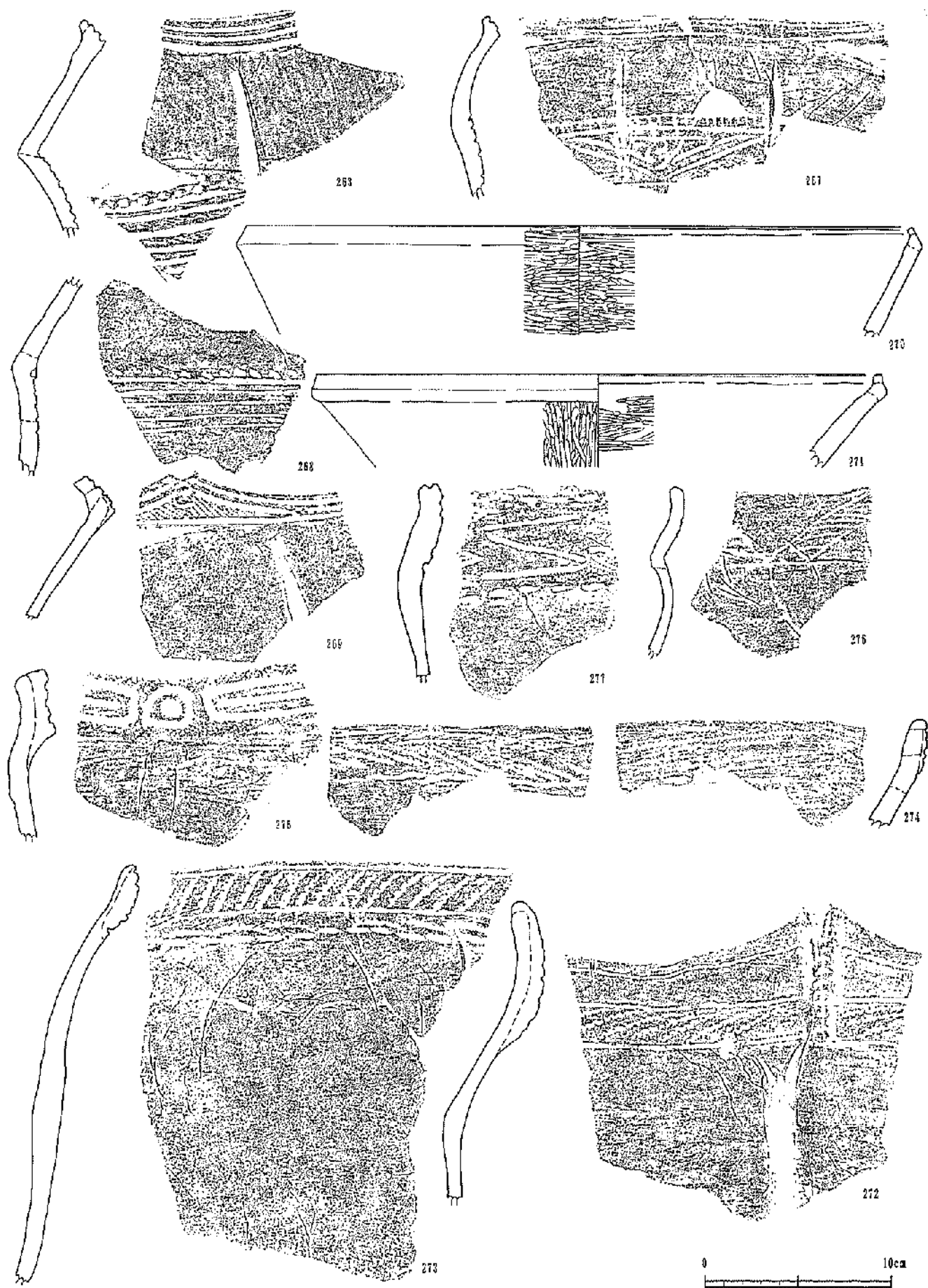
第51図 柘原貝塚出土土器 (26)



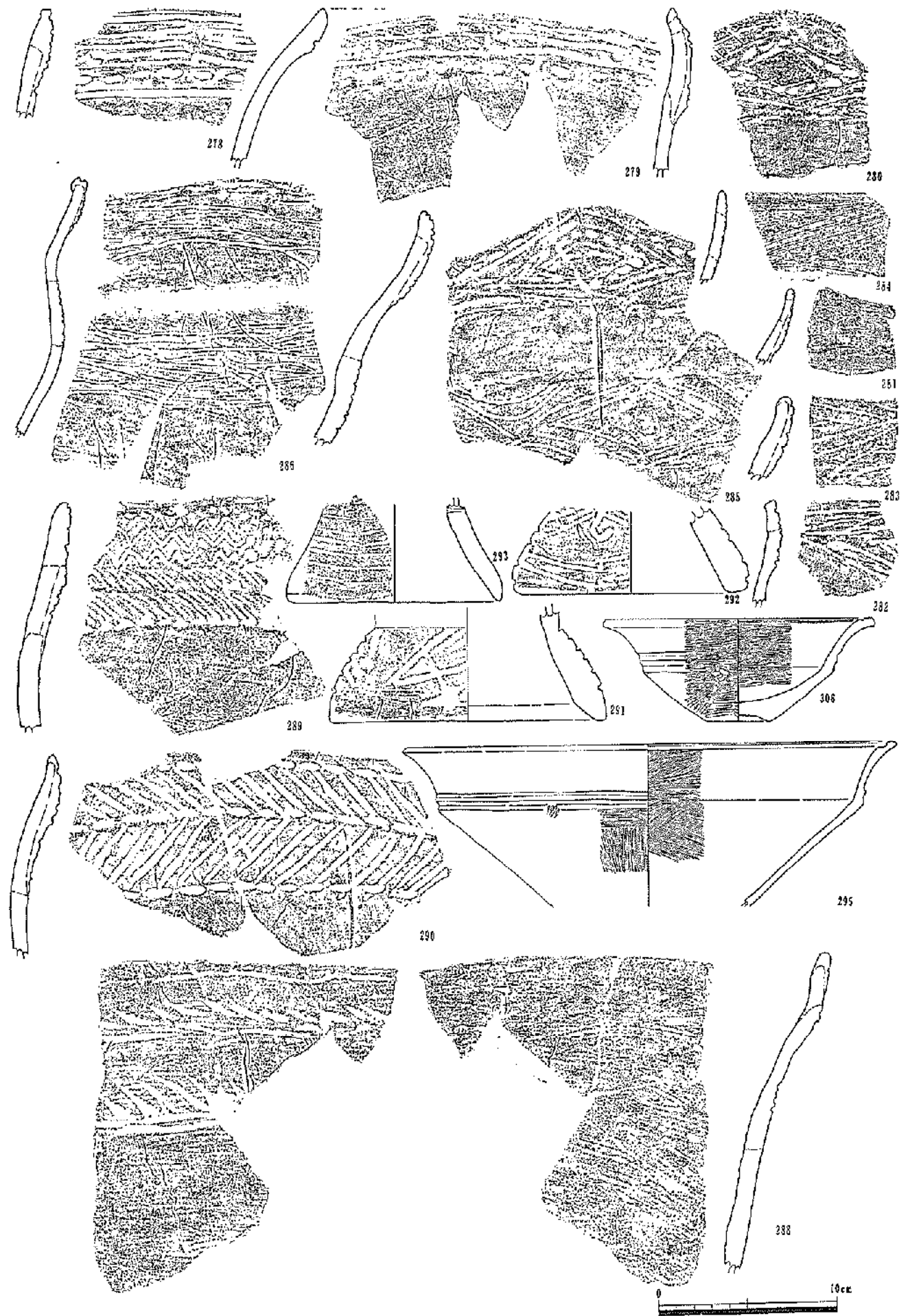
第52図 柁原貝塚出土土器 (27)



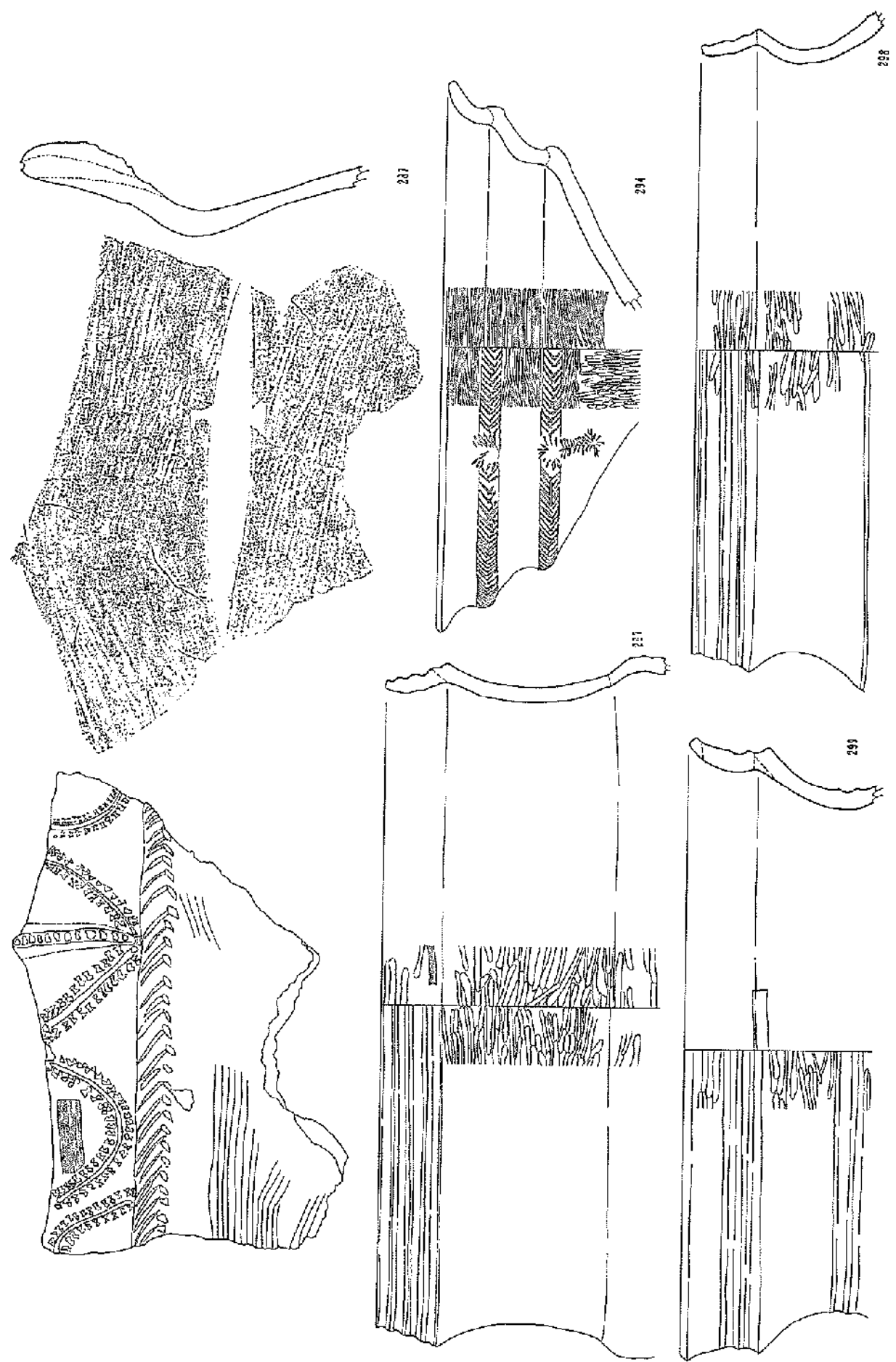
第53図 柁原貝塚出土土器 (28)



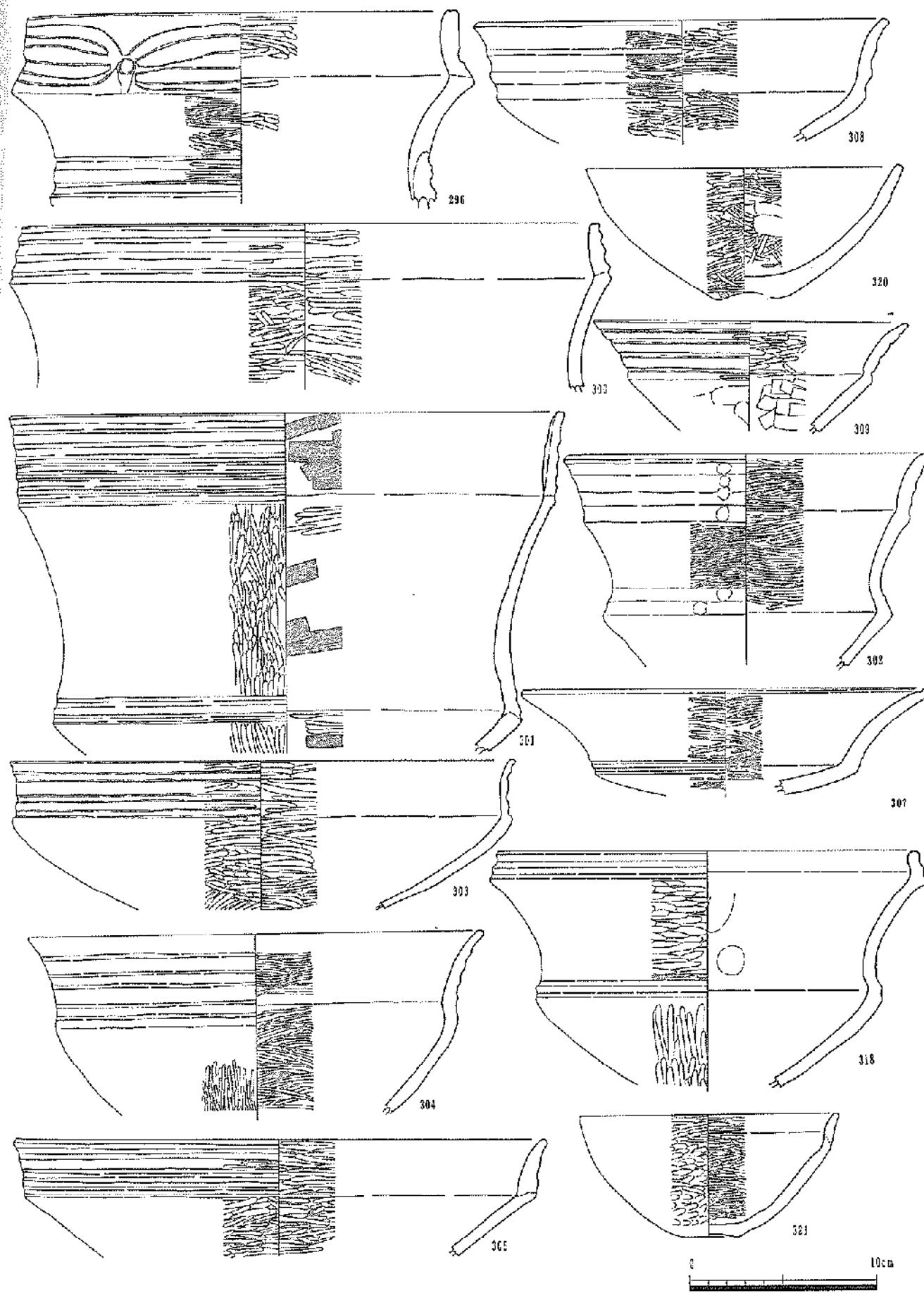
第54図 柞原貝塚出土土器 (29)



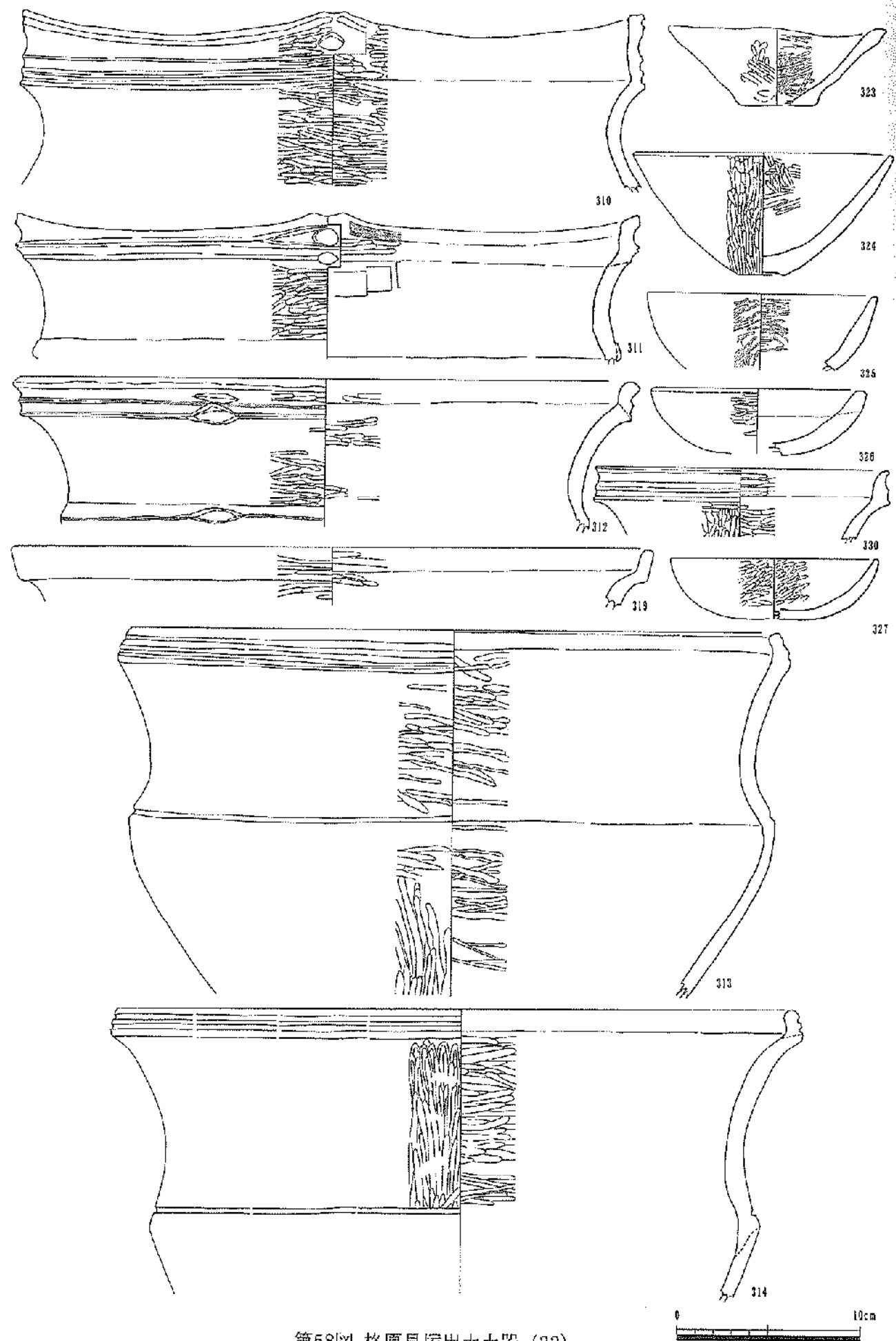
第55図 柞原貝塚出土土器 (30)



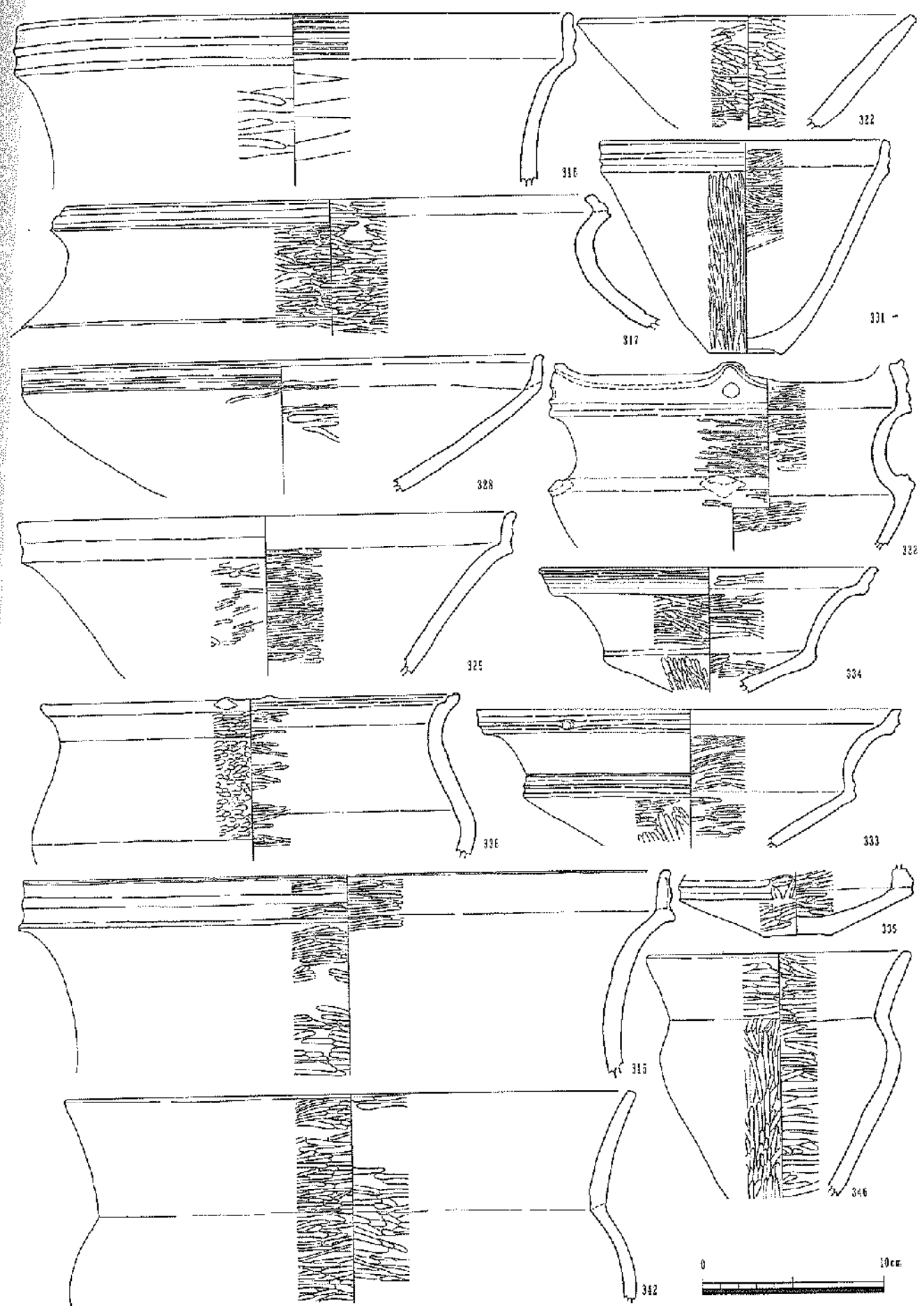
第56図 柘原貝塚出土土器 (31)



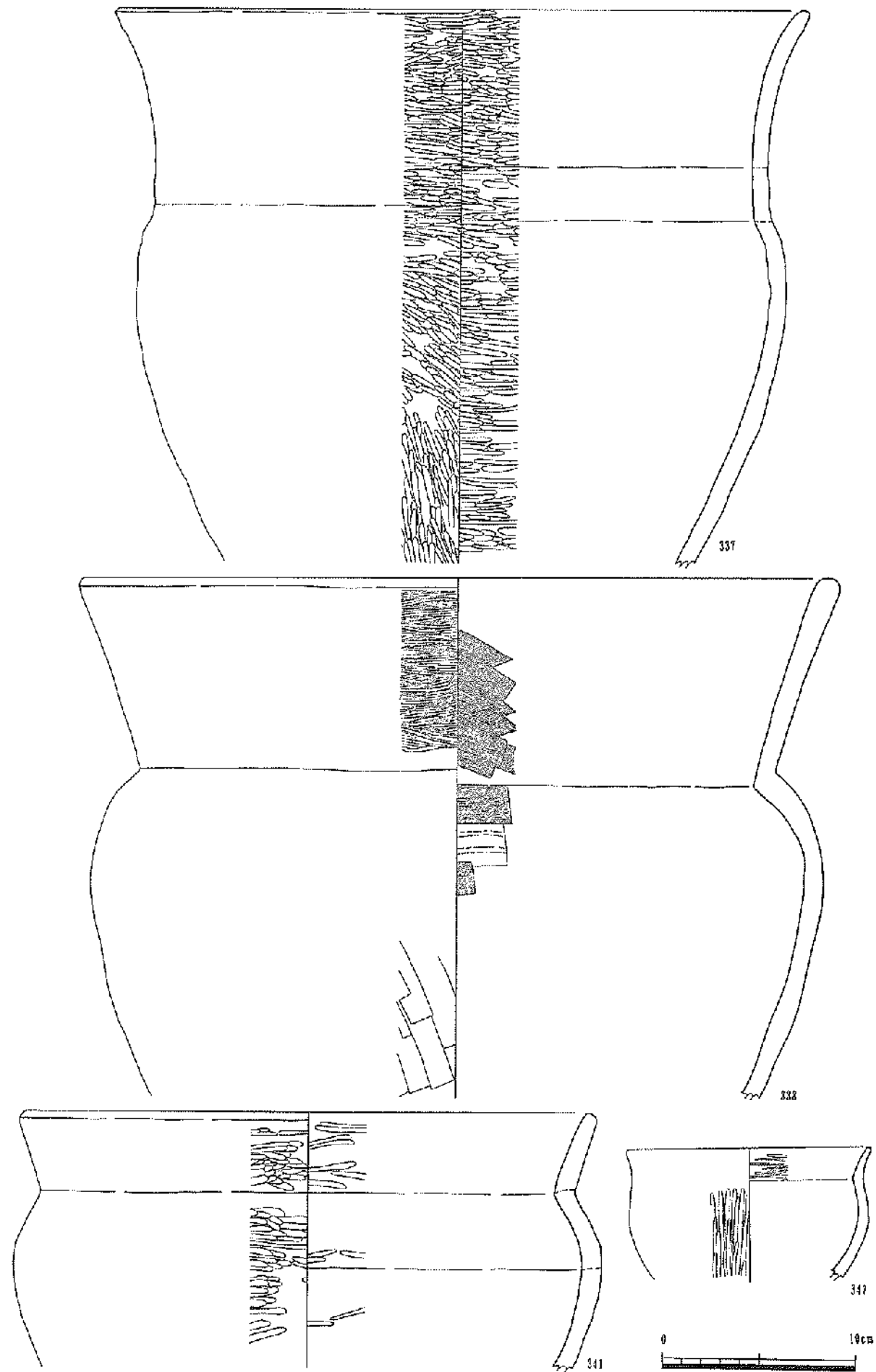
第57図 柘原貝塚出土土器 (32)



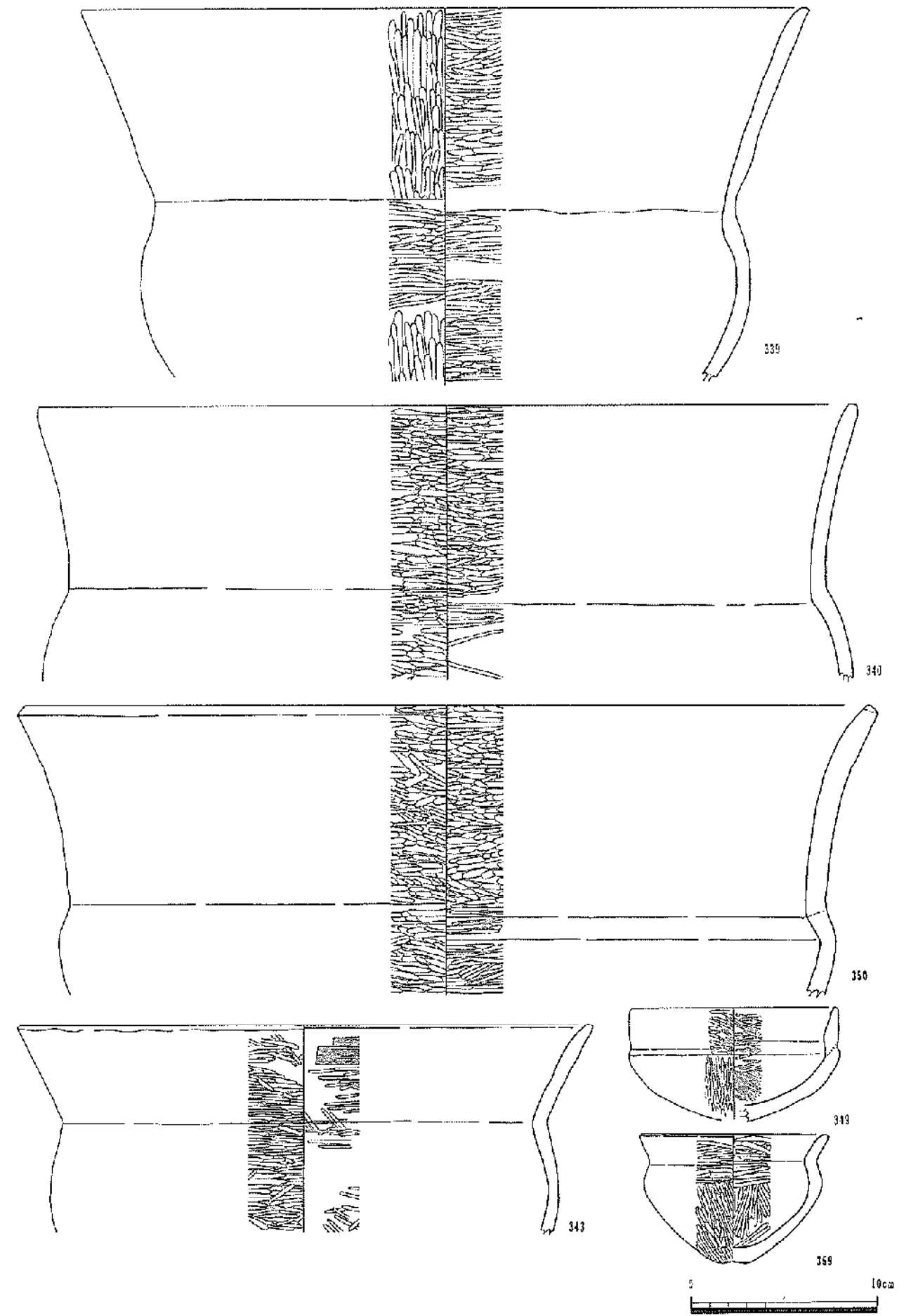
第58図 柁原貝塚出土土器 (33)



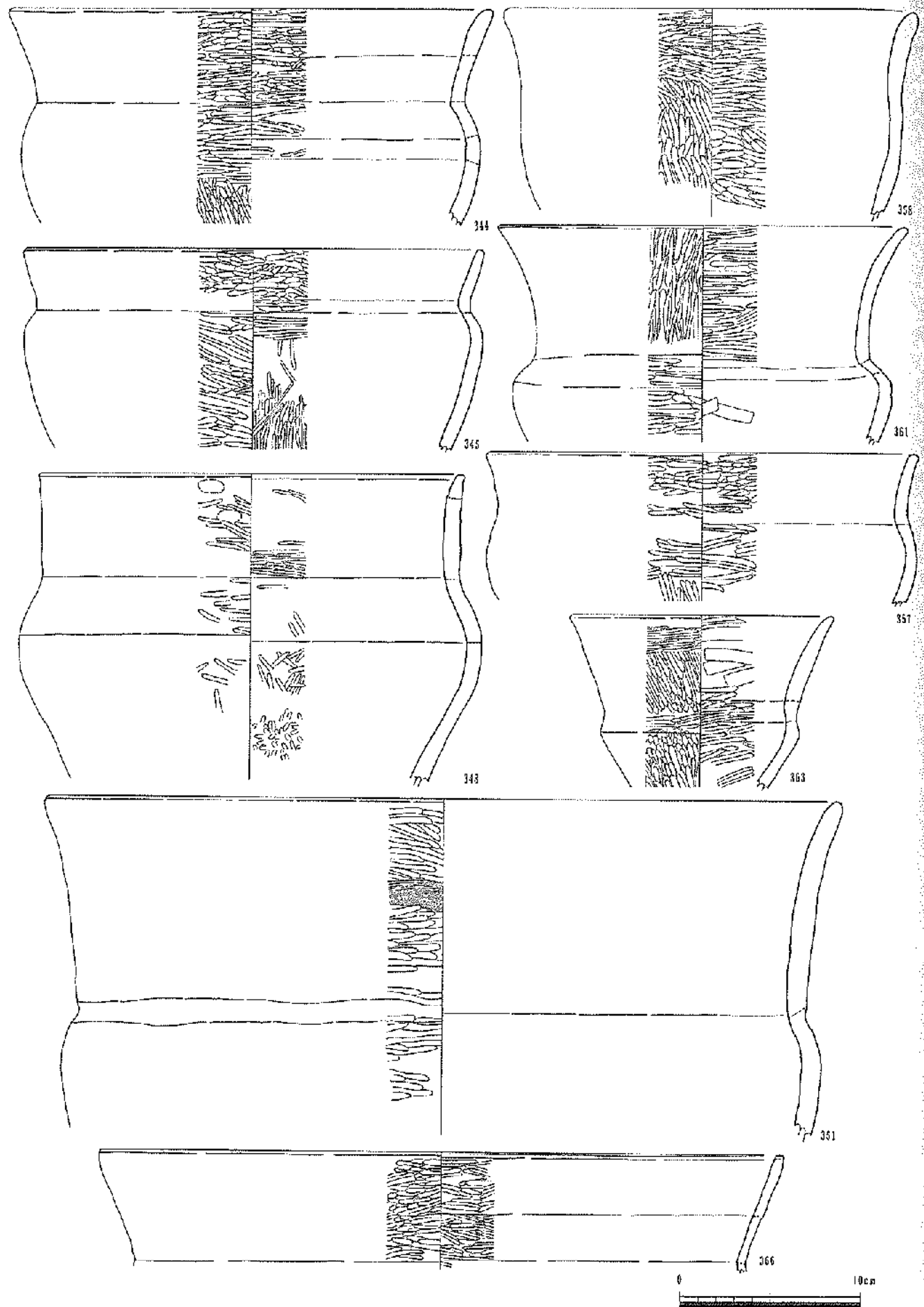
第59図 柁原貝塚出土土器 (34)



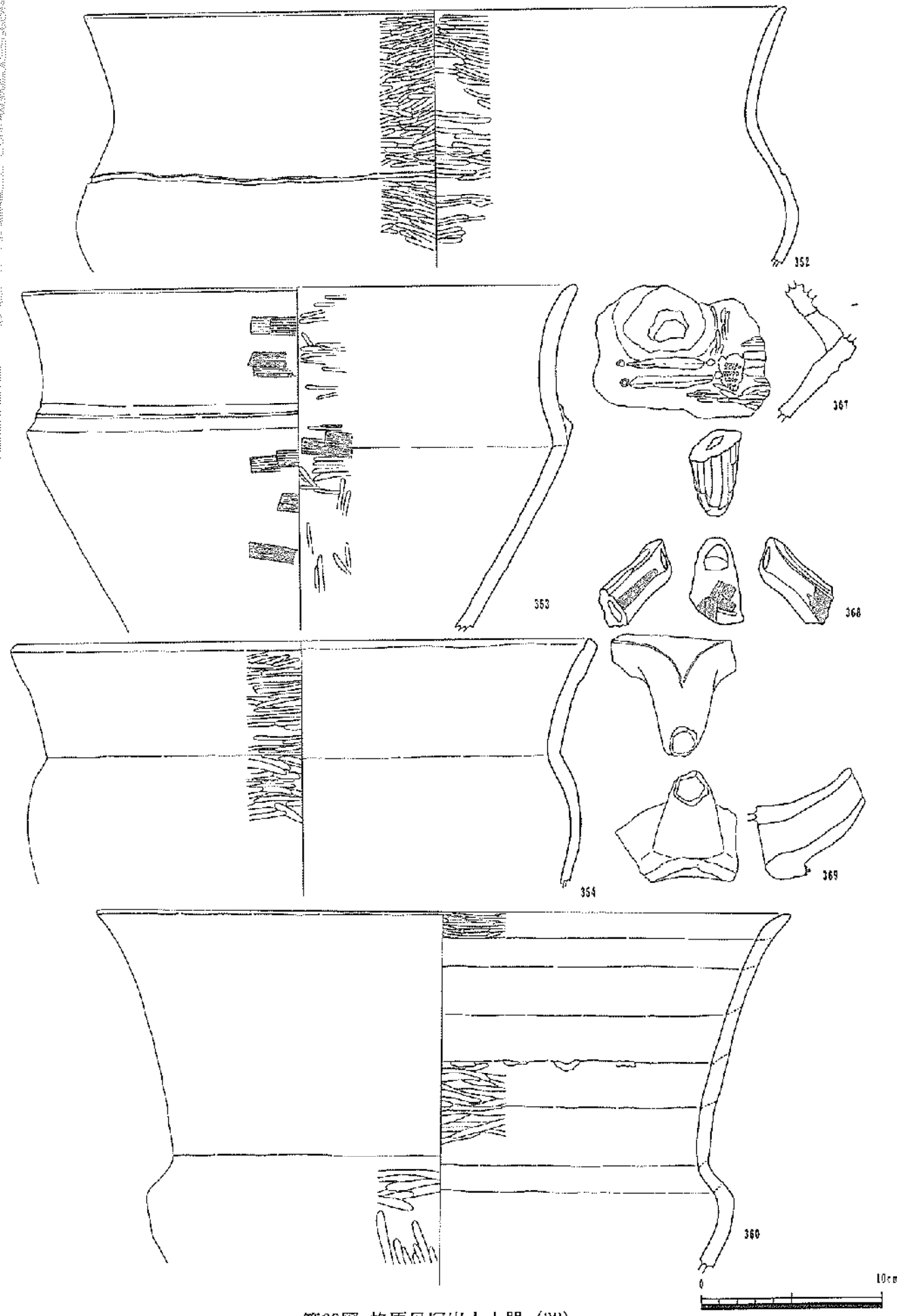
第60圖 柗原貝塚出土土器 (35)



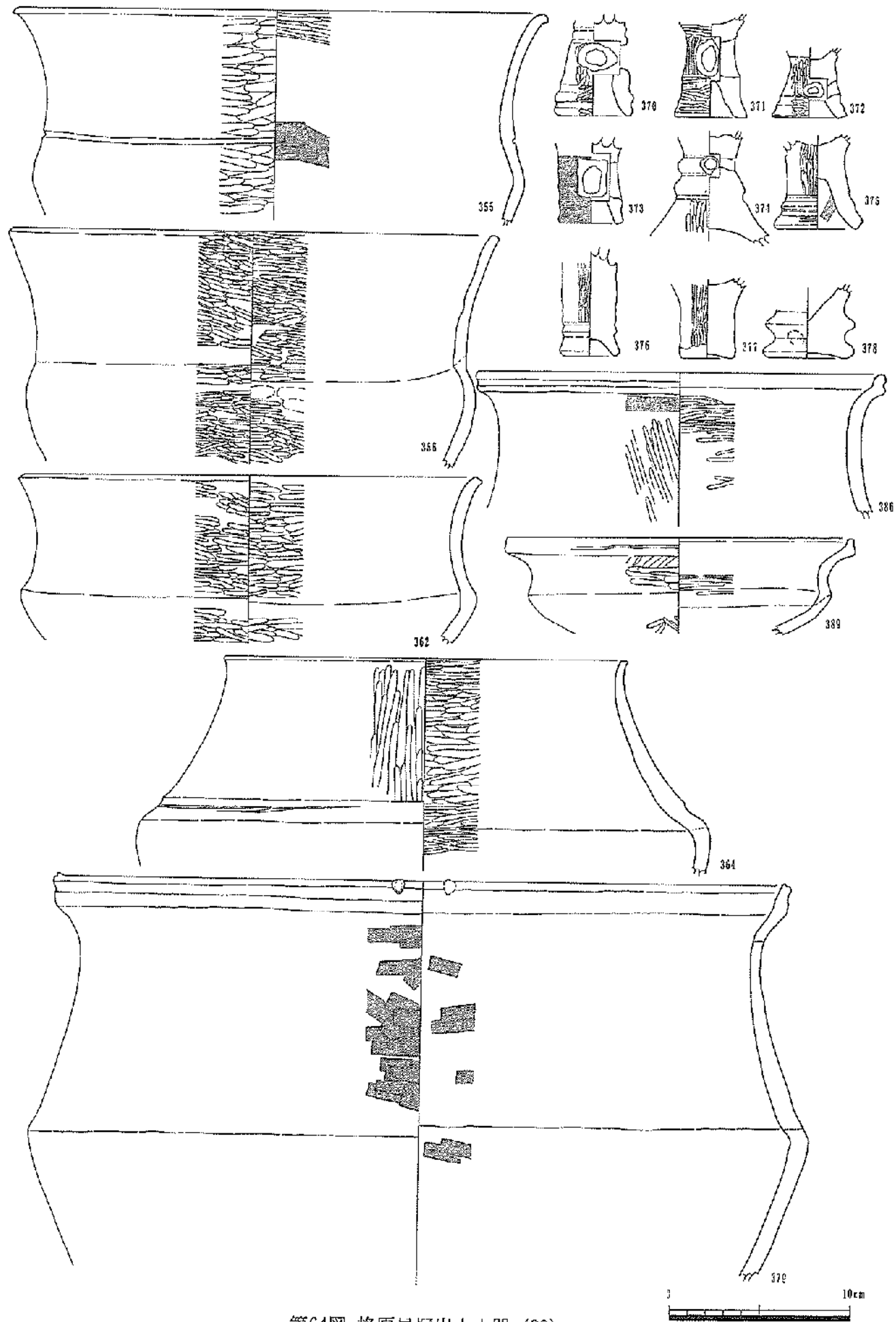
第61圖 柗原貝塚出土土器 (36)



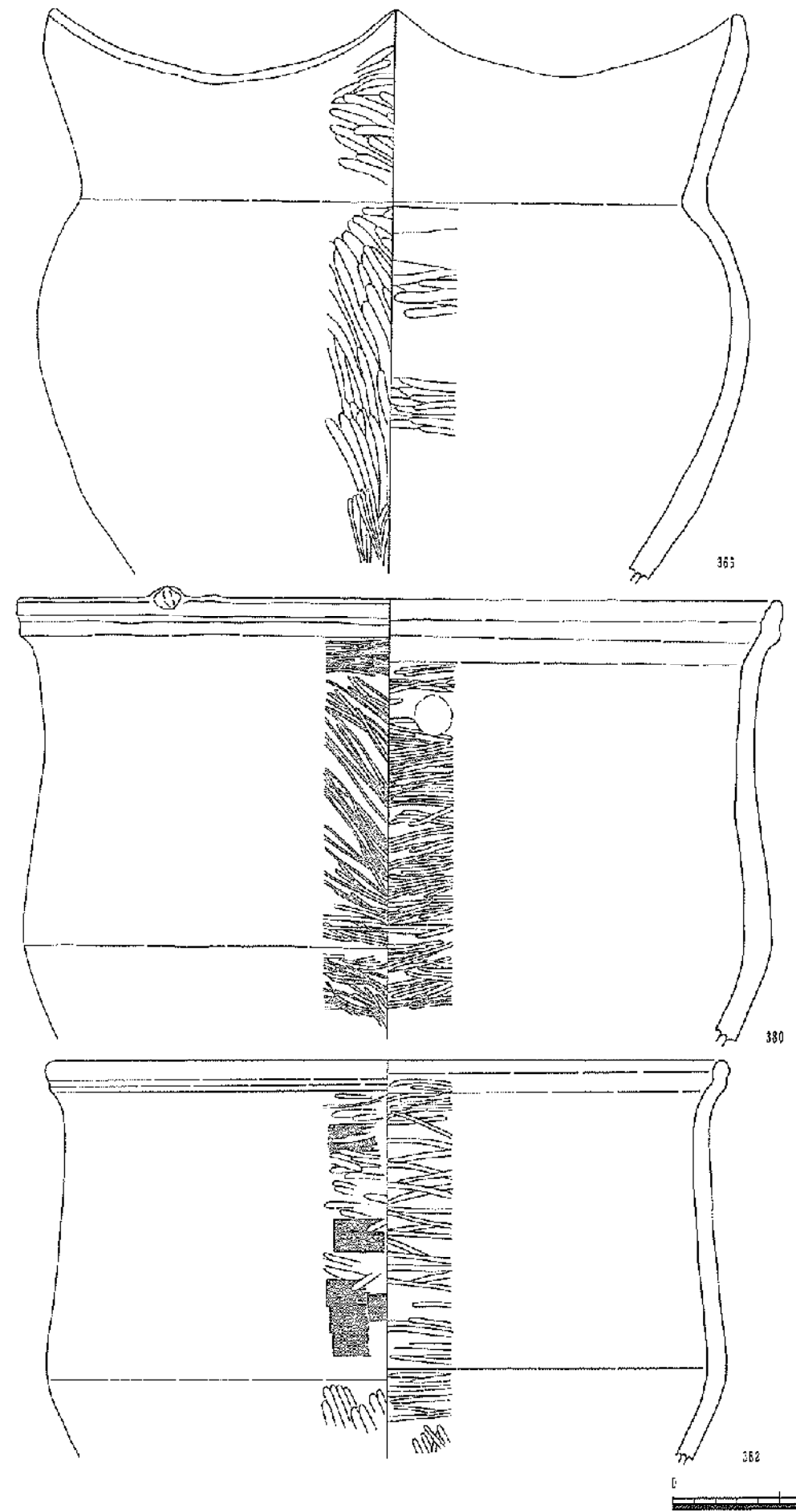
第62図 柗原貝塚出土土器 (37)



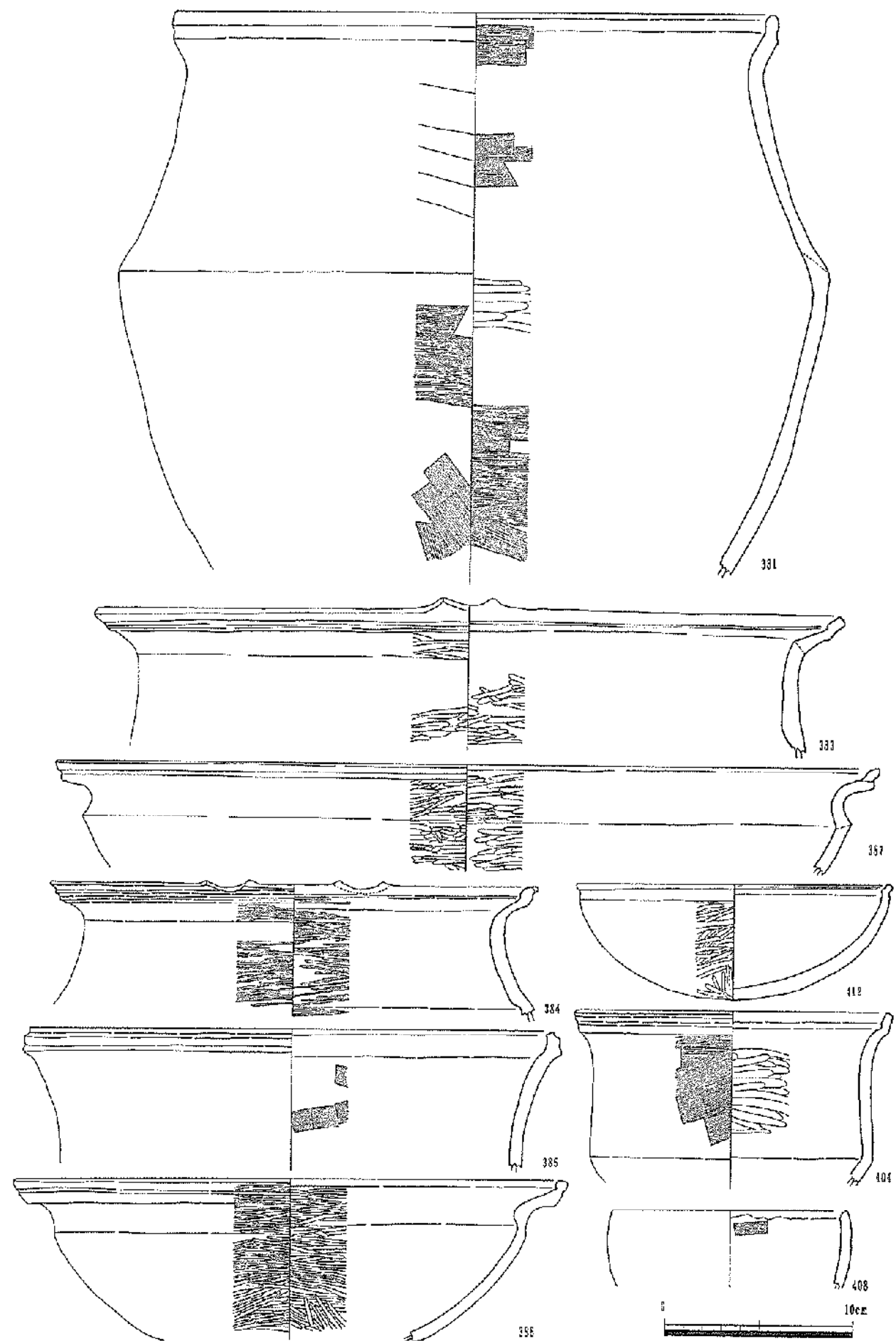
第63図 柗原貝塚出土土器 (38)



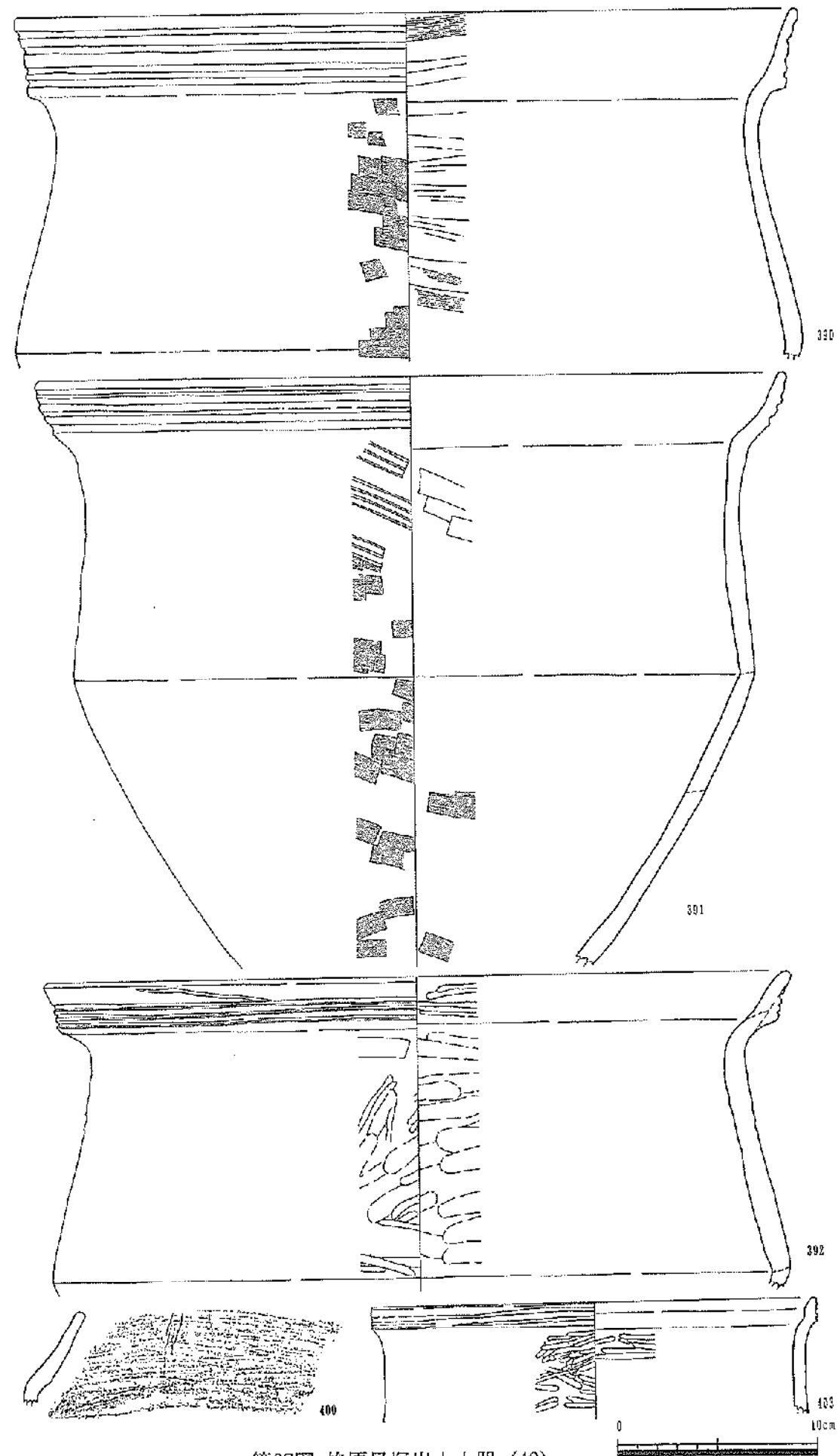
第64図 柘原貝塚出土土器 (39)



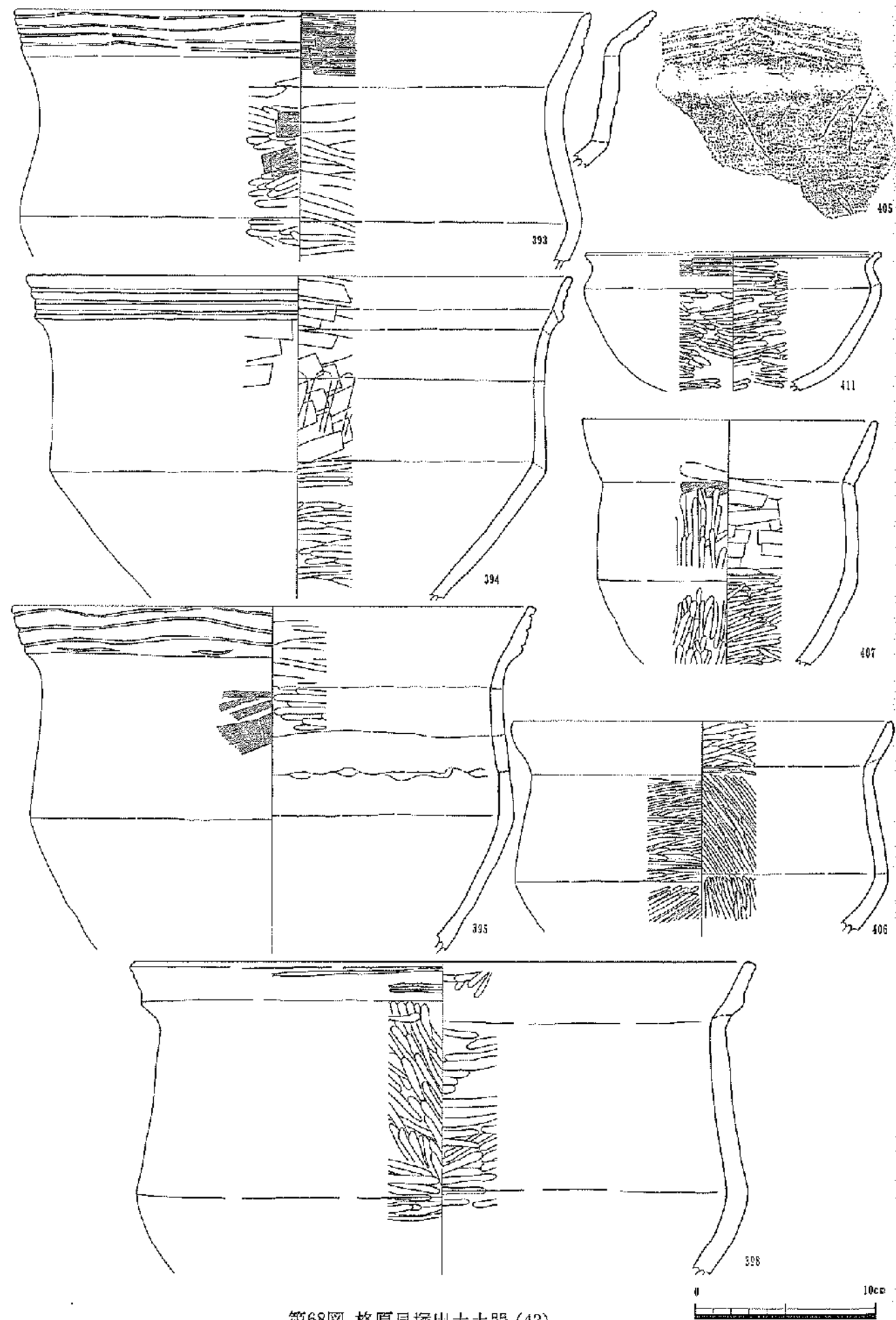
第65図 柘原貝塚出土土器 (40)



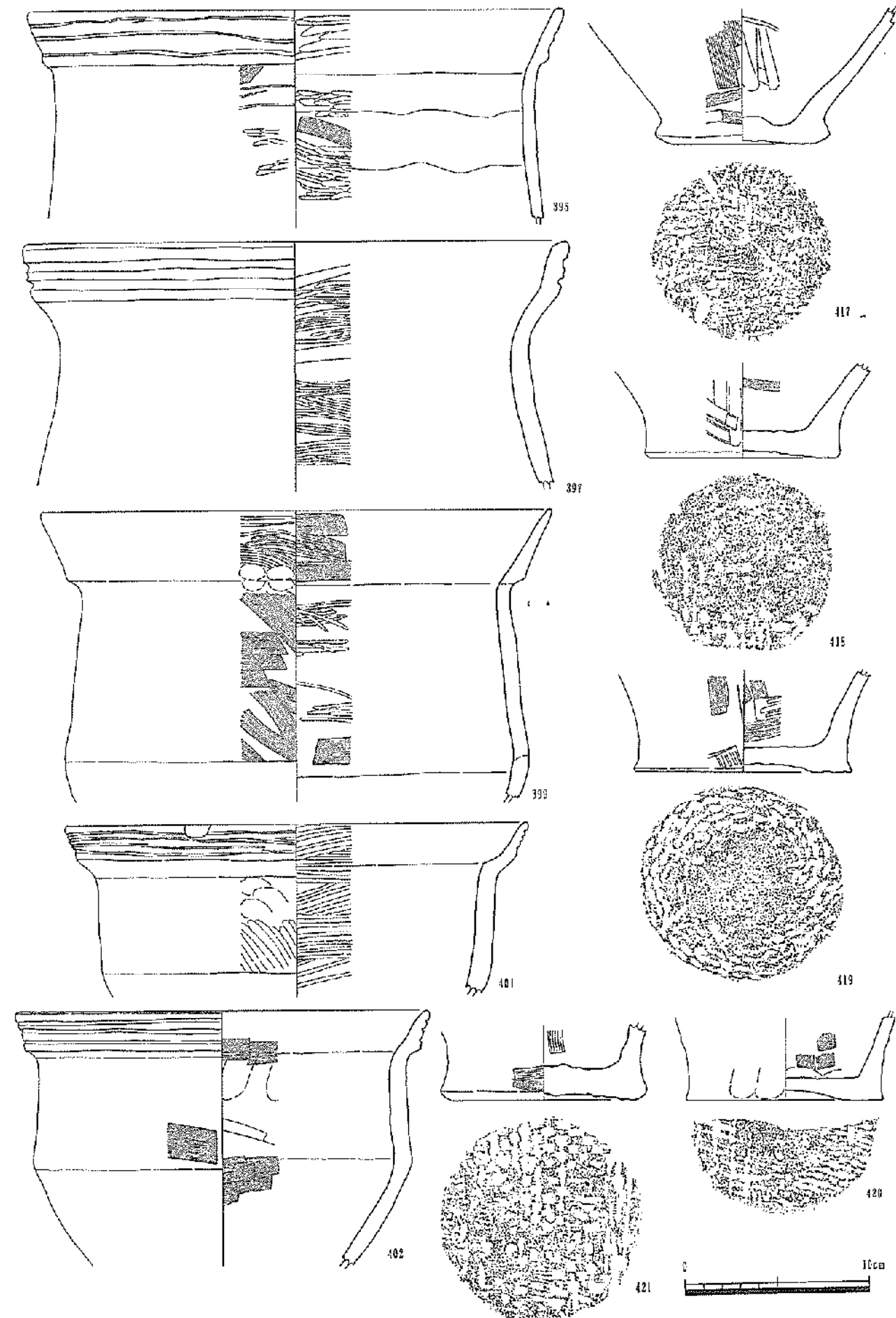
第66図 柘原貝塚出土土器 (41)



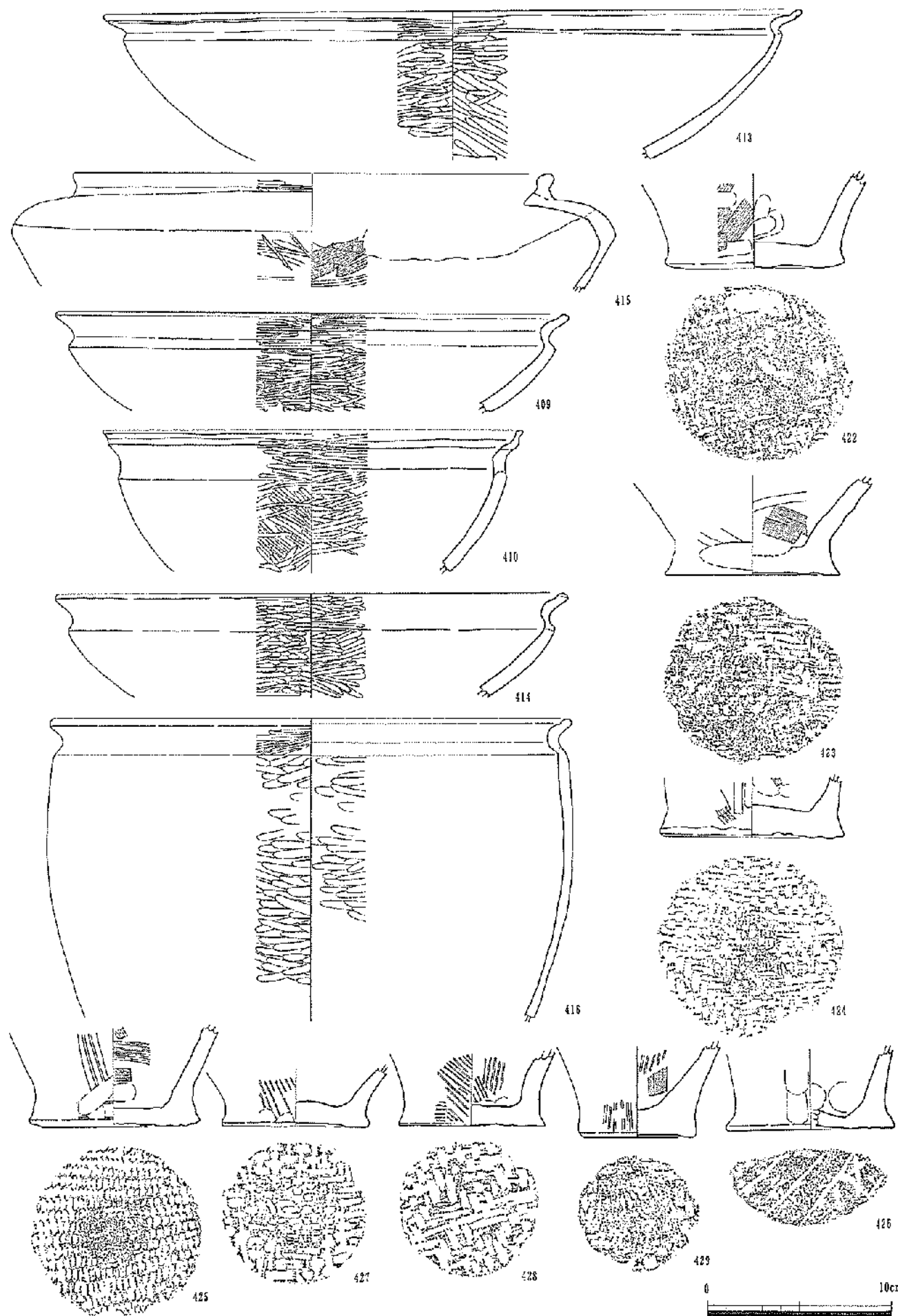
第67図 柘原貝塚出土土器 (42)



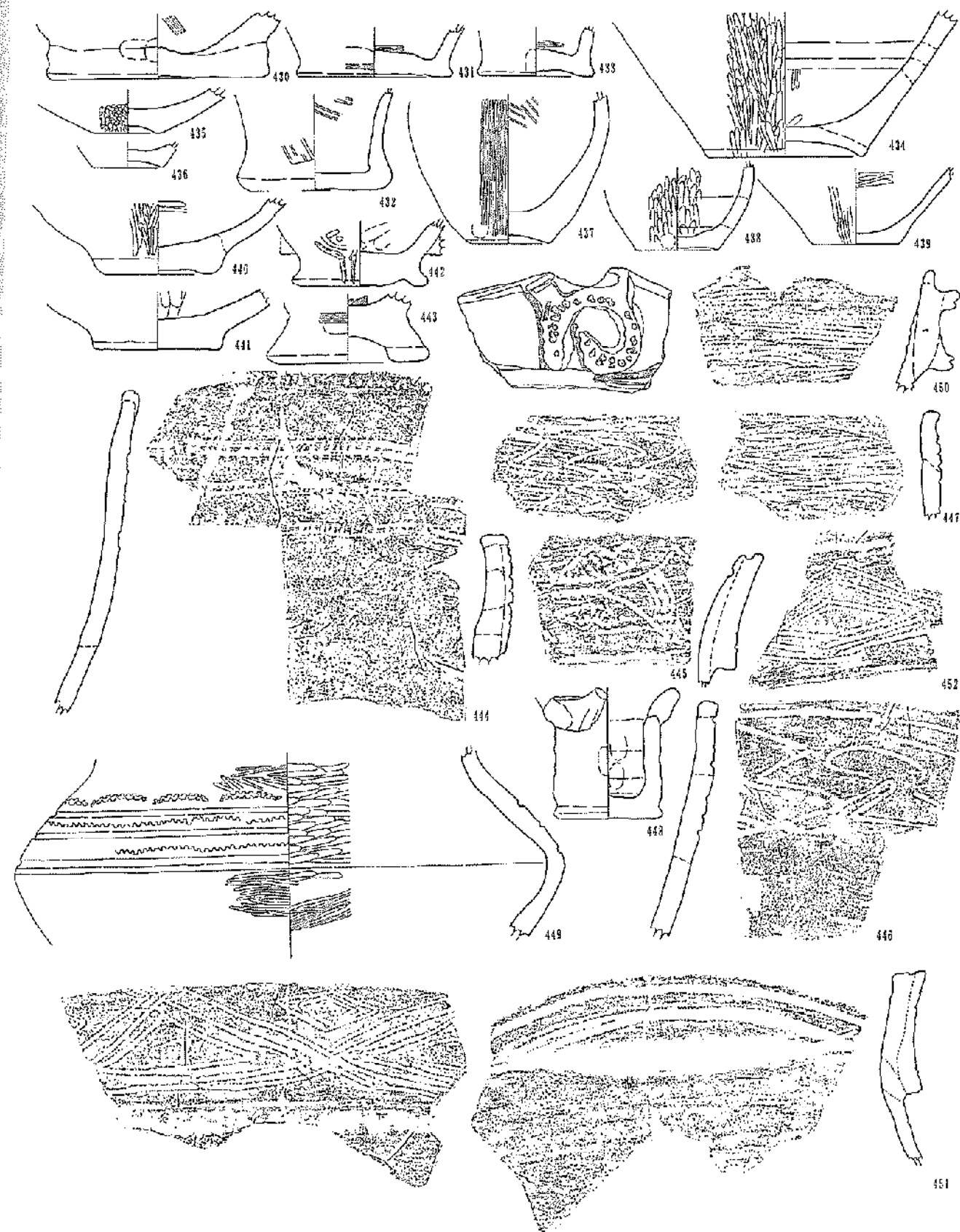
第68図 柁原貝塚出土土器(43)



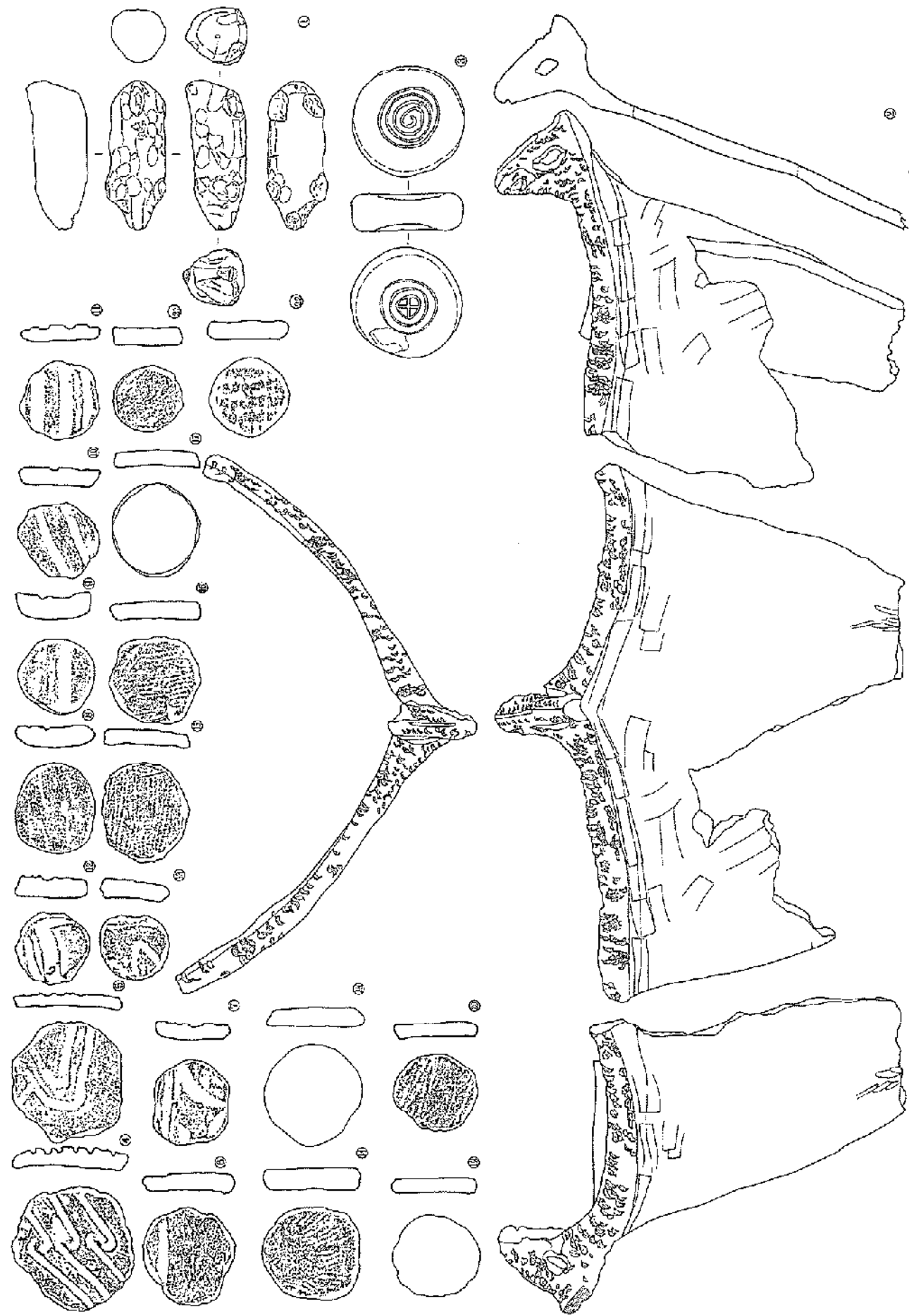
第69図 柁原貝塚出土土器(44)



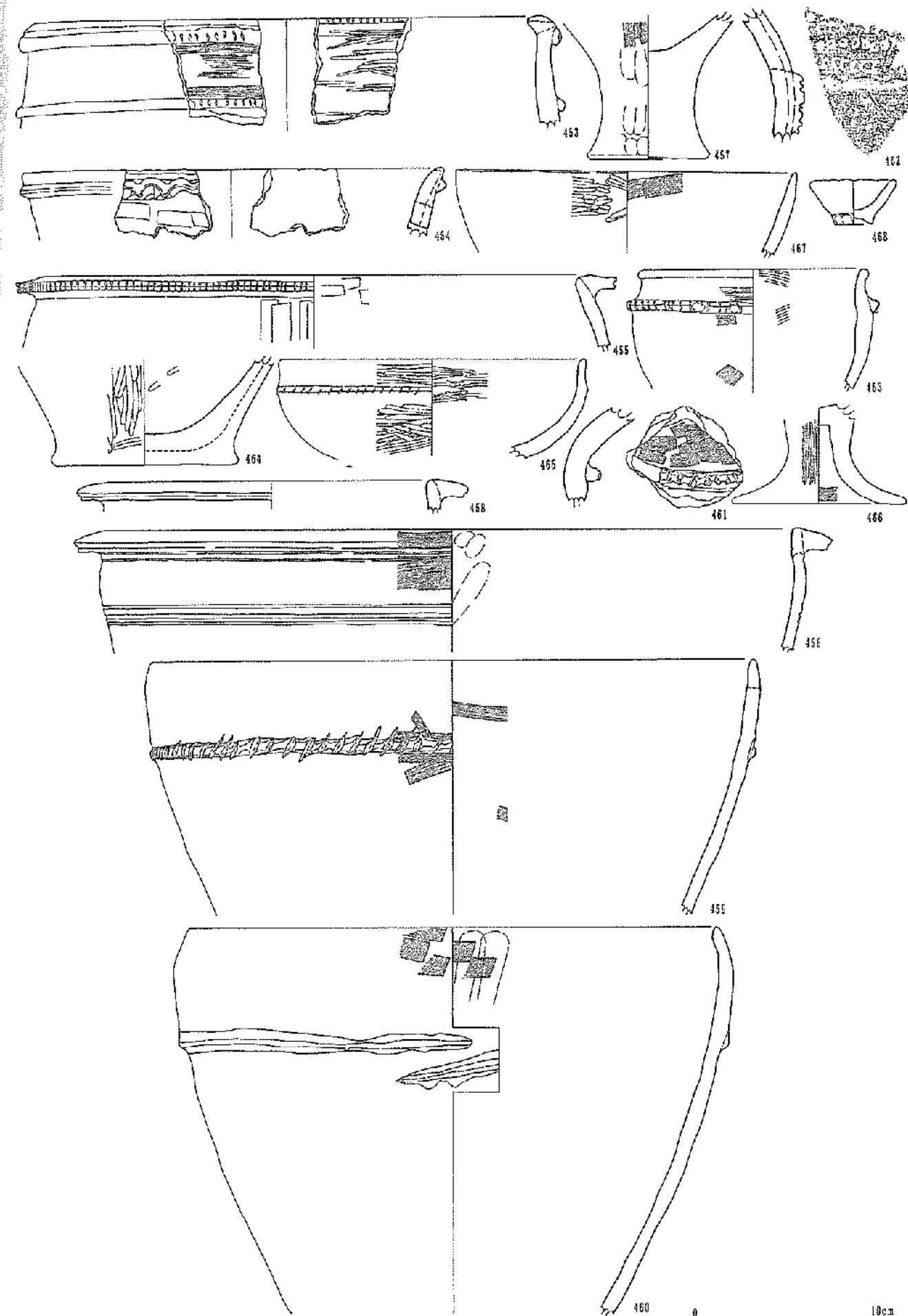
第70圖 終原貝塚出土土器 (45)



第71圖 終原貝塚出土土器 (46)



第72図 柁原貝塚出土土製品



第73図 柁原貝塚出土土器 (17)

第14表 長原貝塚出土土器調査表(1)

素胎土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, R=小石, U=炭母を指す。

| 調査 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 器面調整 | | 施 成 | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----------|----------|-----------|----|----|-----|---------|--------------|--------------|--------|--------|--------|------------|------------|------------|-----|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | | |
| 26 | 1 | H4 26T | I | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/6橙 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 2 | A5 | | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 化粧文+ナデ | 化粧文+ナデ | 良 | | | | |
| 26 | 3 | A4 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 化粧文+ナデ | 化粧文+ナデ | 良 | | | | |
| 26 | 4 | A11 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 化粧文+ナデ | 化粧文+ナデ | 良 | | | | |
| 26 | 5 | B12 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/2灰黄褐色 | 化粧文+ナデ | 化粧文+ナデ | 良 | | | | |
| 26 | 6 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/3に黄褐色 | 10YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 7 | A4 | IV | 深鉢 | 胴部 | S・C・K・U | 7.5YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/2に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 8 | A4 | IV | 深鉢 | 胴部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 9 | A4 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 2.5YR6/1 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 10 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 2.5YR6/2灰黄褐色 | 2.5YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 11 | B6 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 12 | H7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 13 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 14 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 15 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 16 | A11 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 17 | A11 | | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 2.5YR6/6橙 | 2.5YR6/6橙 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 18 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 10YR6/4に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 19 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 20 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/4に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 21 | A8 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 22 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 23 | H4 26T | I | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 24 | A6 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 26 | 25 | A6 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/4に黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | ナデ | 良 | | | | |
| 27 | 26 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 2.5YR6/4に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 27 | 27 | A18 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 28 | A7 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 29 | A5 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 30 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 31 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 32 | H7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/3に黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 33 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/3に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 34 | A12 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 35 | | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/2灰黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 28 | 36 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | ナデ | 良 | | | | |
| 28 | 37 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | ナデ | 良 | | | | |
| 28 | 38 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/3に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 39 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/6明赤褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 40 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 41 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 42 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 43 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄褐色 | 7.5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 44 | B6 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 45 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 46 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | 補修孔 |
| 29 | 47 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/3に黄褐色 | 2.5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 48 | H7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/2暗赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 29 | 49 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/2暗赤褐色 | 2.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 50 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 51 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 52 | B12 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |

第15表 長原貝塚出土土器調査表(2)

素胎土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, R=小石, U=炭母を指す。

| 調査 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 器面調整 | | 施 成 | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----------|----------|---------|----|----|-----|---------|--------------|--------------|--------|--------|--------|------------|------------|------------|-----|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | | |
| 30 | 53 | A7 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 化粧文+ナデ | 化粧文+ナデ | 良 | | | | |
| 30 | 54 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 55 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 56 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 57 | A6 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 6YR6/4に黄褐色 | 5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 58 | A6 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/3に黄褐色 | 5YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 59 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 30 | 60 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 61 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 2.5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 62 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 63 | A7 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 64 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 65 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 66 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 67 | B11 | | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 5YR6/3に黄褐色 | 5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 68 | A14 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 69 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 70 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/6明赤褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 71 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/6明赤褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 72 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 2.5YR6/6明赤褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 73 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/6橙 | 7.5YR6/6橙 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 74 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 31 | 75 | A12 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 76 | A10 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/1黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 77 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/2灰黄褐色 | 7.5YR6/1黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 78 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 10YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 79 | B16 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 80 | A7 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/4に黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | 補修孔 |
| 32 | 81 | B8 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 82 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 83 | A5 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 84 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/3に黄褐色 | 10YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 85 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 2.5YR6/1黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 86 | B8 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/3に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 32 | 87 | A11 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/2灰黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 88 | B13 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 89 | A4 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR6/4に黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 90 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 91 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/4に黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 92 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 10YR6/2灰黄褐色 | 10YR6/2灰黄褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 93 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/3に黄褐色 | 7.5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 94 | A11 | | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR6/4に黄褐色 | 7.5YR6/6明赤褐色 | 磨目調整 | 磨目調整 | 良 | | | | |
| 33 | 95 | A16 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR6/4に黄褐色 | | | | | | | | |

第18表 長原貝塚出土土器調査表(5)

※胎土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, R=小石, U=雲母を指す。

| 順号 | 遺物番号 | 出土区 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 割面観察 | | 焼成 | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 | |
|----|------|-----|----|-----|-------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|---------|---------|------|--|
| | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | | | |
| 47 | 209 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR4/2灰褐 | 5YR6/6明赤褐 | 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 210 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR3/2黒褐 | 7.5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 47 | 211 | B13 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR5/6明赤褐 | 5YR4/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 212 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR4/4に赤い | 5YR4/6赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 213 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR4/3褐 | 10YR6/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 46 | 214 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR5/3に赤い | 10YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 46 | 215 | B14 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR6/6に赤い | 7.5YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | 24.0 | | |
| 47 | 216 | A15 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 10YR4/2灰黄褐 | 7.5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 46 | 217 | A4 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR5/4に赤い | 7.5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 48 | 218 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR4/6赤褐 | 7.5YR4/6褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 219 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR4/4褐 | 5YR5/6明赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | 裝飾突起 | |
| 47 | 220 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR3/3暗褐 | 5YR4/6赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 221 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR4/3褐 | 7.5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 222 | B13 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/4に赤い | 5YR4/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 48 | 223 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR5/4に赤い | 7.5YR4/6褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 224 | 14 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に赤い | 7.5YR6/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 46 | 225 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR3/3暗褐 | 5YR4/6赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 226 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR6/2灰黄褐 | 10YR6/2灰黄褐 | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 49 | 227 | B14 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR5/4に赤い | 5YR6/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | 26.2 | | |
| 50 | 228 | B16 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 2.5YR6/6赤 | 5YR4/6赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 229 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR5/4に赤い | 5YR4/6赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 230 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR4/3褐 | 7.5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 231 | B19 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR5/4に赤い | 5YR5/6明赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 232 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR4/6赤 | 5YR5/6明赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 233 | B8 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・U | 5YR5/4に赤い | 5YR6/6赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 234 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR5/4に赤い | 5YR6/6赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 50 | 235 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR5/6明赤褐 | 5YR5/6明赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 51 | 236 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR3/2暗褐 | 5YR5/6明赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 49 | 237 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 7.5YR3/3暗褐 | 5YR4/6赤褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 51 | 238 | B8 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 10YR6/3に赤い | 10YR4/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 49 | 239 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR5/4に赤い | 7.5YR4/3褐 | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | 10.2 | | | |
| 51 | 240 | A6 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR4/3暗褐 | 7.5YR4/6赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 51 | 241 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 10YR6/3に赤い | 10YR6/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | 22.0 | | | |
| 51 | 242 | B9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR3/3暗褐 | 10YR4/2灰黄褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 貝殻片による染付 | ナデ | 良 | | | |
| 51 | 243 | B7 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に赤い | 10YR6/4に赤い | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 51 | 244 | A10 | IV | 鉢 | 脚台 | S・C | 2.5Y7/3黄 | 2.5Y7/2黄 | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | 7.0 | | | |
| 52 | 245 | B17 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/6赤褐 | 7.5YR4/6赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | 41.0 | | |
| 51 | 246 | B5 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR6/4に赤い | 10YR6/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | | |
| 52 | 247 | B12 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | C・K | 2.5Y6/2灰黄 | 2.5Y5/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 248 | B14 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 10YR5/2灰黄 | 10YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 249 | | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | C・K | 7.5YR6/2灰黄 | 7.5YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 250 | A5 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR6/3に赤い | 10YR6/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 251 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | C・K | 2.5YR4/1黄 | 2.5YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 252 | B16 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR4/1黄 | 2.5YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 253 | B16 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 2.5YR4/1黄 | 7.5YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 254 | B17 | IV | 鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 2.5YR4/2灰黄 | 10YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 52 | 255 | B15 | IV | 鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR3/1黒 | 10YR3/1黒 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 53 | 256 | B11 | IV | 鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR6/6赤 | 5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 53 | 257 | A8 | IV | 台付皿 | 脚台 | S・C | 7.5YR5/6明赤 | 5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | 12.8 | | | |
| 53 | 258 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR4/4に赤い | 5YR4/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 53 | 259 | A16 | IV | 深鉢 | 胴部 | C・K | 10YR5/2灰黄 | 10YR6/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 50 | 260 | B11 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 10YR4/2灰黄 | 5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | | |

第19表 長原貝塚出土土器調査表(6)

※胎土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, R=小石, U=雲母を指す。

| 順号 | 遺物番号 | 出土区 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 割面観察 | | 焼成 | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----|------|-----|----|------|-------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|---------|---------|------|
| | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | | |
| 53 | 261 | | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 10YR4/2灰黄 | 10YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 53 | 262 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 10YR6/4に赤い | 10YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 263 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・U | 10YR4/1黄 | 10YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 53 | 264 | B11 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR4/1黄 | 2.5YR1/2暗赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 53 | 265 | A10 | IV | 深鉢 | 胴部 | C・K | 10YR4/1黄 | 10YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 53 | 266 | B9 | IV | 浅鉢 | 胴部 | C・K | 5YR3/1黒 | 5YR5/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 267 | B9 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 10YR5/3に赤い | 7.5YR6/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 268 | A15 | IV | 深鉢 | 胴部 | C・K | 10YR4/1黄 | 2.5Y4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 269 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR3/3に赤い | 10YR6/2灰黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 51 | 270 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR4/6赤 | 5YR4/6赤 | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | 35.8 | | |
| 54 | 271 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR4/3に赤い | 10YR3/2黒 | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | 30.4 | | |
| 54 | 272 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 7.5YR5/4に赤い | 5YR5/6明赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | 裝飾突起 |
| 54 | 273 | B8 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR4/2灰黄 | 10YR3/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 274 | A8 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR4/2灰黄 | 5YR5/6明赤 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 275 | B5 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR4/3褐 | 7.5YR4/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 276 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 7.5YR6/6赤 | 7.5YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 54 | 277 | B8 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄 | 10YR6/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 278 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR6/4に赤い | 7.5YR6/4に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 279 | B9 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR5/2灰黄 | 10YR4/1黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 280 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR4/3褐 | 2.5Y4/3オリーブ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 281 | B16 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR4/3に赤い | 7.5YR4/3褐 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 282 | A8 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 5YR5/4に赤い | 10YR4/2灰黄 | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 283 | B19 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR5/4に赤い | 5YR5/6明赤 | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 55 | 284 | B19 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 7.5YR5/3に赤い | 10YR6/3に赤い | 灰褐色, ナデ | ナデ | 良 | | | |
| 55 | 285 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR5/4に赤い | 7.5YR5/3に赤い | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | 灰褐色, 貝殻片+ナデ | ナデ | 良 | | |
| 55 | 286 | B16 | IV | 深鉢</ | | | | | | | | | | |

第20表 核原具出土土器観察表(7)

原土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石英、C=長石、K=角閃石、R=小石、U=雲母を指す。

| 検出 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 表面調整 | | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----------|----------|---------|----|----|-------|---------|---------------|---------------|-------------|----------|------------|------------|------------|-------|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | 313 | | | 深鉢 | 口縁~底部 | C・K | 7.5YR4/3褐 | 7.5YR6/4に赤い斑 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 36.8 | | |
| 58 | 314 | A17 | | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 2.5YR4/4に赤い赤褐 | 5YR1/6赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 37.4 | | |
| 59 | 315 | A9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR5/4に赤い褐 | 7.5YR6/3に赤い褐 | 斑紋+ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 34.0 | | |
| 59 | 316 | A9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR6/3に赤い褐 | 5YR5/2灰褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ナデ | 良 | 30.2 | | |
| 59 | 317 | | | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR4/6赤褐 | 5YR4/6赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 28.0 | | |
| 57 | 318 | A17 | | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 5YR4/6赤褐 | 7.5YR4/4褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ナデ、ナデ | 良 | 22.9 | | |
| 58 | 319 | A11 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR4/6赤 | 7.5YR6/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 35.2 | | |
| 57 | 321 | B11 | | 浅鉢 | 完形 | S・C・K・U | 5YR5/4に赤い赤褐 | 5YR4/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 14.0 | 6.7 | |
| 59 | 322 | A9 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 5YR5/4赤褐 | 5YR3/4明赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 17.8 | 6.0 | |
| 58 | 323 | B19 | | 浅鉢 | 完形 | S・C | 5YR5/6明赤褐 | 5YR3/6明赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 12.0 | 4.3 | |
| 58 | 324 | B9 | IV | 浅鉢 | 完形 | S・C・K・U | 5YR4/4に赤い赤褐 | 5YR1/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 14.4 | 6.7 | |
| 58 | 325 | A9 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 5YR5/4に赤い赤褐 | 5YR5/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 12.6 | 4.2 | |
| 58 | 326 | B10 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 2.5YR4/4に赤い赤褐 | 2.5YR1/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 11.8 | 2.5 | |
| 58 | 327 | B19 | | 浅鉢 | 完形 | S・C | 7.5YR2/1黒 | 7.5YR2/2黒褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 11.2 | 3.3 | |
| 59 | 328 | A9 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 7.5YR3/2黒褐 | 2.5YR1/黒褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 28.0 | | |
| 59 | 329 | A9 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C | 7.5YR3/2黒褐 | 10YR3/3黒褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 26.8 | | |
| 58 | 330 | A9 | IV | 浅鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR3/1黒褐 | 10YR3/4に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 16.2 | | |
| 59 | 331 | B9 | IV | 浅鉢 | 完形 | S・C | 5YR4/4に赤い赤褐 | 5YR3/4明赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 15.6 | 11.4 | |
| 59 | 332 | B17 | | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C | 10YR5/3に赤い赤褐 | 2.5YR1/赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 18.8 | | 楕円形押点 |
| 59 | 333 | B9 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | 10YR5/3に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 23.0 | | 楕円形押点 |
| 59 | 334 | A9 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 7.5YR3/2黒褐 | 7.5YR5/3に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 9.0 | | |
| 59 | 335 | A9 | IV | 浅鉢 | 底部 | S・C・K | 10YR3/3黒褐 | 10YR3/1黒褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 3.8 | | 楕円形押点 |
| 59 | 336 | A17 | | 浅鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR3/2黒褐 | 10YR4/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 22.4 | | 楕円形押点 |
| 60 | 337 | B19 | | 深鉢 | 口縁~底部 | C・K | 5YR2/1黒 | 7.5YR5/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 35.8 | | |
| 60 | 338 | B9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | 7.5YR1/3褐 | ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 39.6 | | |
| 61 | 339 | B9 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 5YR1/4に赤い赤褐 | 5YR4/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 39.0 | | |
| 61 | 340 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR4/6赤褐 | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 43.8 | | |
| 60 | 341 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR1/3褐 | 5YR1/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 20.4 | | |
| 59 | 342 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 2.5YR5/6明赤褐 | 2.5YR5/6明赤褐 | ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ | 良 | 30.5 | | |
| 61 | 343 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/4に赤い赤褐 | 7.5YR2/1黒 | ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ | 良 | 30.8 | | |
| 62 | 344 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 7.5YR2/2黒褐 | 2.5YR5/6明赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 26.2 | | |
| 62 | 345 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 5YR3/1黒褐 | 5YR3/3暗赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 25.4 | | |
| 59 | 346 | B10 | IV | 鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR4/4に赤い赤褐 | 10YR5/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 14.2 | | |
| 60 | 347 | A10 | | 浅鉢 | 口縁~胴部 | S | 5YR4/4に赤い赤褐 | 5YR4/6赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 11.6 | | |
| 62 | 348 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR1/2灰黄褐 | 10YR4/2灰黄褐 | ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ | 良 | 23.4 | | |
| 61 | 349 | B10 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・K | 10YR1/6赤 | 10YR5/8黄褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 11.0 | | |
| 61 | 350 | A9 | | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 7.5YR4/4褐 | 7.5YR1/4褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 45.2 | | |
| 62 | 351 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/3に赤い赤褐 | 2.5YR1/2暗赤褐 | ヘラミガキ | ナデ | 良 | 44.0 | | |
| 62 | 352 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 10YR4/2灰黄褐 | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 38.8 | | |
| 63 | 353 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 7.5YR5/3に赤い赤褐 | 2.5YR5/1黄褐 | 斑紋+ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 33.0 | | |
| 63 | 354 | A9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 5YR4/4に赤い赤褐 | 10YR5/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 32.0 | | |
| 64 | 355 | A9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 7.5YR1/4褐 | 10YR5/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 30.0 | | |
| 64 | 356 | A9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 10YR4/3に赤い赤褐 | 10YR1/2灰黄褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 26.6 | | |
| 62 | 357 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | C・K | 7.5YR3/3暗赤褐 | 7.5YR3/3暗赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 23.6 | | |
| 62 | 358 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 10YR6/3に赤い赤褐 | 10YR6/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 28.6 | | |
| 61 | 359 | B10 | IV | 深鉢 | 完形 | C・K | 5YR5/4に赤い赤褐 | 5YR2/1黒褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 10.2 | | |
| 63 | 360 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR4/4に赤い赤褐 | 7.5YR6/2灰褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 39.0 | | |
| 62 | 361 | B9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/6赤褐 | 5YR3/3暗赤褐 | ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 22.4 | | |
| 61 | 362 | A9 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 7.5YR3/2黒褐 | 7.5YR2/1黒 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 24.8 | | |
| 62 | 363 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁~底部 | C・K | 5YR5/4に赤い赤褐 | 5YR3/6明赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 14.2 | | |
| 64 | 364 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR5/4に赤い赤褐 | 7.5YR5/2灰褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 22.4 | | |

第21表 核原具出土土器観察表(8)

原土のS・C・K・R・U・SはそれぞれS=石英、C=長石、K=角閃石、R=小石、U=雲母を指す。

| 検出 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 表面調整 | | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----------|----------|---------|----|----------|-------|---------|---------------|---------------|-------------|----------|------------|------------|------------|----|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 65 | 365 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 5YR5/6赤褐 | 7.5YR6/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 33.0 | | |
| 62 | 366 | A10 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 5YR4/6赤褐 | 5YR5/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 37.5 | | |
| 63 | 367 | B16 | IV | 注口 土器 | | S・C・K・U | 5YR3/1黒褐 | 5YR5/4に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | | | |
| 63 | 368 | A11 | IV | 注口 土器 | 注口部 | S・C・K・U | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | 2.5YR5/2暗赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | | | |
| 63 | 369 | B18 | IV | 注口 土器 | 注口部 | S・C・K | 7.5YR1/3褐 | 10YR5/3に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | | 良 | | | |
| 64 | 370 | A11 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C | 10YR3/1褐灰 | 2.5YR5/2暗赤褐 | ヘラミガキ | | 良 | 2.0 | | 穿孔 |
| 64 | 371 | A9 | | 高杯 | 脚台 | S・C・K | 5YR1/4に赤い赤褐 | 7.5YR1/3褐 | ヘラミガキ | | 良 | 4.2 | | 穿孔 |
| 64 | 372 | A9 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C | 7.5YR6/4に赤い赤褐 | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ナデ | 良 | 4.2 | | 穿孔 |
| 64 | 373 | A11 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C | 5YR5/4に赤い赤褐 | 7.5YR5/3に赤い赤褐 | ナデ | ナデ | 良 | 3.6 | | 穿孔 |
| 64 | 374 | B11 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C | 7.5YR1/3褐 | 7.5YR4/4褐 | ヘラミガキ | | 良 | | | 穿孔 |
| 64 | 375 | B17 | IV | 高杯 | 脚台 | C・K | 10YR5/3に赤い赤褐 | 10YR3/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ナデ | 良 | 4.3 | | |
| 64 | 376 | B19 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C・K | 5YR1/4に赤い赤褐 | 5YR1/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | ナデ | 良 | 2.4 | | |
| 64 | 377 | A10 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C・K | 5YR4/6赤褐 | 10YR5/3に赤い赤褐 | ヘラミガキ | | 良 | 2.7 | | |
| 64 | 378 | B5 | IV | 高杯 | 脚台 | S・C・K | 10YR7/3に赤い赤褐 | 7.5YR6/4に赤い赤褐 | ナデ、斑紋 | ナデ | 良 | 5.0 | | |
| 64 | 379 | A18 | IV | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 5YR5/6明赤褐 | 5YR5/6明赤褐 | 斑紋+ナデ | ナデ | 良 | 10.5 | | 押点 |
| 65 | 380 | A17 | | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR5/4に赤い赤褐 | 7.5YR1/3褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 36.8 | | 押点 |
| 65 | 381 | A19 | IV | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 7.5YR6/4に赤い赤褐 | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | ナデ | ナデ、ヘラミガキ | 良 | 32.0 | | |
| 65 | 382 | A18 | | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR3/3暗赤褐 | 10YR3/1黒褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 32.0 | | |
| 66 | 383 | B19 | | 鉢 | 口縁部 | S・C・K・U | 10YR3/1黒褐 | 10YR3/2黒褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 39.4 | | |
| 66 | 384 | A18 | IV | 鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR4/3に赤い赤褐 | 10YR5/6赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 25.8 | | |
| 66 | 385 | B10 | | 鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR5/3赤 | 10YR5/6赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 27.8 | | |
| 64 | 386 | B10 | | 鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR2/1黒 | 10YR1/2灰黄褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 28.0 | | |
| 66 | 387 | B18 | | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | 10YR6/4に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 43.6 | 5.6 | |
| 66 | 388 | A18 | | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C | 5YR3/1黒褐 | 7.5YR1/3褐 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 29 | 6.5 | |
| 64 | 389 | A19 | IV | 浅鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 2.5YR1/黄褐 | 10YR1/1褐灰 | 斑紋+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 17.2 | 5.3 | |
| 67 | 390 | A18 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C | 5YR5/6明赤褐 | 5YR5/6明赤褐 | 斑紋+ナデ | ナデ | 良 | 39.9 | | |
| 67 | 391 | B19 | IV | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 5YR4/4に赤い赤褐 | 5YR4/4に赤い赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ナデ、ヘラミガキ | 良 | 37.2 | | |
| 67 | 392 | A17 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 5YR5/6明赤褐 | 7.5YR4/6赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ナデ、ヘラミガキ | 良 | 37.2 | | |
| 68 | 393 | A18 | | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 10YR5/2黒褐 | 5YR4/4に赤い赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 32.9 | | |
| 68 | 394 | A18 | | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K | 7.5YR6/4に赤い赤褐 | 7.5YR6/6赤褐 | 斑紋+ナデ | ナデ | 良 | 30.2 | | |
| 68 | 395 | A18 | | 深鉢 | 口縁~底部 | S・C・K・U | 10YR2/1黒褐 | 10YR6/4に赤い赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 29.0 | | |
| 69 | 396 | A18 | | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 7.5YR1/2黒褐 | 7.5YR5/4に赤い赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 29.0 | | |
| 69 | 397 | A18 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/4に赤い赤褐 | 5YR4/4に赤い赤褐 | 斑紋+ヘラミガキ、ナデ | ヘラミガキ、ナデ | 良 | 29.4 | | |
| 68 | 398 | B16 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K・U | 5YR4/6赤褐 | 5YR5/6明赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ナデ、ヘラミガキ | 良 | 34.2 | | |
| 69 | 399 | A18 | IV | 深鉢 | 口縁~胴部 | S・C・K | 2.5YR5/6明赤褐 | 2.5YR5/6明赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ナデ、ヘラミガキ | 良 | 27.6 | | |
| 67 | 400 | A18 | | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 7.5YR1/3褐 | 5YR4/6赤褐 | 斑紋+ナデ、ヘラミガキ | ナデ | 良 | 31.2 | | |
| 69 | 401 | A18 | | 鉢 | | | | | | | | | | |

第22表 終原貝塚出土土器観察表(1)

※胎土のS・C・K・R・UはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, R=小石, U=雲母を指す。

| 挿入 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 器面調整 | | 完成 | 口径 (cm) | 底径 (cm) | 器高 (cm) | 備考 |
|----------|----------|---------|----------|----------|-------|---------|---------------|---------------|----------------------|---------------|----|------------|------------|------------|---------|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | | | |
| 69 | 417 | B5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 2.5YR5/3にぶい赤褐 | 2.5YR5/3にぶい赤褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 10.0 | | | 組織痕 |
| 69 | 418 | B5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 10YR5/2灰黄褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 10.0 | | | 組織痕 |
| 69 | 419 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 10YR5/3にぶい黄褐 | 10YR5/4にぶい黄褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 10.8 | | | 組織痕 |
| 69 | 420 | A5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C | 7.5YR4/6褐 | 10YR5/4にぶい黄褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 10.6 | | | 組織痕 |
| 69 | 421 | B5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/6明赤褐 | 5YR4/4にぶい赤褐 | ナデ, 細砂 | ナデ, ナメケムリ | 良 | 9.6 | | | 組織痕 |
| 70 | 422 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/6赤褐 | 10YR5/3にぶい黄褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 9.4 | | | 組織痕 |
| 70 | 423 | A4 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C | 10YR5/4にぶい黄褐 | 10YR5/3にぶい黄褐 | 細砂, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 9.4 | | | 組織痕 |
| 70 | 424 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 5YR5/6明赤褐 | 細砂, ナデ | 細砂, ナデ | 良 | 9.4 | | | 組織痕 |
| 70 | 425 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR4/3にぶい赤褐 | 5YR4/2赤褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 9.2 | | | 組織痕 |
| 70 | 426 | B5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR5/6褐 | 10YR5/4にぶい黄褐 | 細砂, ナデ | 細砂, ナデ | 良 | 9.2 | | | 組織(葉脈)痕 |
| 70 | 427 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR4/4にぶい赤褐 | 5YR4/4にぶい赤褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 8.0 | | | 組織痕 |
| 70 | 428 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 5YR5/6明赤褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 8.0 | | | 組織痕 |
| 70 | 429 | B6 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR4/4にぶい赤褐 | 5YR4/4にぶい赤褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 6.4 | | | 組織痕 |
| 71 | 430 | B5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/6明赤褐 | 5YR4/2赤褐 | 細砂, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 11.2 | | | |
| 71 | 431 | A4 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 10YR6/4にぶい黄褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | ナデ, 細砂 | ナデ | 良 | 9.8 | | | |
| 71 | 432 | A5 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR4/4褐 | 7.5YR4/4褐 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | ナデ | 良 | 8.4 | | | |
| 71 | 433 | A4 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 10YR5/3にぶい黄褐 | ナデ, 細砂 | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 4.9 | | | |
| 71 | 434 | B10 | IV | 深鉢 | 底部 | C・K | 5YR5/4にぶい赤褐 | 5YR5/2灰黄褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ, ナデ | 良 | 8.0 | | | |
| 71 | 435 | B10 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C | 5YR4/1褐灰 | 5YR4/2灰黄 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 3.8 | | | |
| 71 | 436 | A16 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/4にぶい赤褐 | 10YR5/2灰黄褐 | ナデ | ナデ | 良 | 3.6 | | | |
| 71 | 437 | B10 | IV | 鉢 | 底部 | S・C・K | 10YR5/3暗褐 | 2.5YR4/2暗灰黄 | ヘラミガキ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | 4.6 | | | |
| 71 | 438 | A9 | IV | 鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR4/4にぶい赤褐 | 10YR5/3にぶい黄褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 4.2 | | | |
| 71 | 439 | B10 | IV | 深鉢 | 底部 | C・K | 10YR4/2灰黄褐 | 2.5Y5/2暗灰黄 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 4.4 | | | |
| 71 | 440 | B10 | IV | 深鉢 | 底部 | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 7.5YR4/2灰黄 | ヘラミガキ, ナデ | ナデ | 良 | 5.4 | | | |
| 71 | 441 | B10 | IV | 鉢 | 底部 | S・C・K | 10YR5/4にぶい黄褐 | 10YR7/3にぶい黄褐 | ナデ | ナデ | 良 | 6.2 | | | |
| 71 | 442 | B7 | IV | 鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/4にぶい赤褐 | 5YR5/6明赤褐 | 細砂, ナデ | 細砂, ナデ | 良 | 5.4 | | | |
| 71 | 443 | B6 | IV | 鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/6明赤褐 | 5YR5/6明赤褐 | ナデ, 細砂 | ナデ | 良 | 4.6 | | | |
| 71 | 444 | B10 | IV | 深鉢 | 口縁-腹部 | S・C・K | 7.5YR3/1黒褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | 洗剤, 洗剤+ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | | | | |
| 71 | 445 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR3/2暗褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | 洗剤, 洗剤+貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | | | | |
| 71 | 446 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR3/2暗褐 | 2.5YR5/6明赤褐 | 洗剤+貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | | | | |
| 71 | 447 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR3/2暗褐 | 10YR4/2灰黄褐 | 洗剤+貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | | | | |
| 71 | 448 | B18 | ミニ メソ | | | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | 細砂, ナデ | 細砂, ナデ | 良 | 5.0 | 6.5 | | |
| 71 | 449 | D7 | IV | 壺 | 胴部 | S・C・K | 7.5YR6/6褐 | 7.5YR5/6明赤褐 | 洗剤, 洗剤+ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | | | | |
| 71 | 450 | B6 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR3/2暗褐 | 7.5YR4/3褐 | 洗剤+貝殻粉による赤褐色, ナデ | 貝殻粉による赤褐色, ナデ | 良 | | | | |
| 71 | 451 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR5/2灰黄褐 | 7.5YR5/6明赤褐 | 洗剤+ナデ | 洗剤+ナデ | 良 | | | | |
| 71 | 452 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C | 10YR5/3にぶい黄褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | 洗剤+ナデ | 洗剤+ナデ | 良 | | | | |
| 73 | 453 | A11 | IV | 深鉢 | 口縁部 | S・C・K | 10YR5/3にぶい黄褐 | 10YR5/3にぶい黄褐 | ナデ+ナデ | 細砂+ナデ | 良 | 24.0 | | | |
| 73 | 454 | A7 | IV | 深鉢 | 口縁部 | C・K | 2.5YR3/3にぶい黄 | 10YR6/4にぶい黄褐 | ナデ+ナデ | ナデ | 良 | 23.0 | | | |
| 73 | 455 | | IV | 壺 | 口縁部 | S・C・K | 5YR5/3にぶい赤 | 5YR5/4にぶい赤褐 | 洗剤+ナデ | ナデ | 良 | 33.0 | | | |
| 73 | 456 | B18 | | 壺 | 口縁部 | C・K | 5YR5/4にぶい赤褐 | 5YR5/4にぶい赤褐 | ナデ+ナデ | ナデ | 良 | 36.0 | | | |
| 73 | 457 | | IV | 壺 | 脚台 | S・C・K・U | 7.5YR5/4にぶい褐 | 5YR4/4にぶい赤褐 | 細砂, ナデ | ナデ | 良 | 6.3 | | | |
| 73 | 458 | D18 | | 壺 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/2灰黄褐 | 10YR6/3にぶい黄褐 | ナデ | ナデ | 良 | 21.4 | | | |
| 73 | 459 | B10 | | 壺 | 口縁部 | S・C・K | 10YR6/4にぶい黄褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 32.8 | | | |
| 73 | 460 | B19 | | 壺 | 口縁-腹部 | S・C・K | 5YR6/4にぶい黄 | 7.5YR5/4にぶい褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 28.8 | | | |
| 73 | 461 | A19 | | 壺 | 頸部 | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | | | | 刻目突帯 |
| 73 | 462 | B19 | | 壺 | 胴部 | S・C・K | 10YR6/3にぶい黄褐 | 5YR5/4にぶい赤褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | | | | 咽広突帯 |
| 73 | 463 | A12 | | 鉢 | 口縁-底部 | S・C・K | 10YR4/1褐灰 | 10YR4/2灰黄褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 12.6 | | | 刻目突帯 |
| 73 | 464 | B7 | | 鉢 | 底部 | S・C・K | 5YR5/3にぶい赤 | 5YR4/1褐灰 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 10.4 | | | |
| 73 | 465 | A10 | | 高杯 | 杯部 | S・C | 7.5YR5/6明赤褐 | 10YR7/3にぶい黄褐 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 15.8 | | | |
| 73 | 466 | B18 | | 高杯 | 脚台 | S・C | 2.5YR5/6明赤褐 | 5YR5/3にぶい黄 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 良 | 9.4 | | | |
| 73 | 467 | B18 | | 壺 | 口縁部 | C・K | 10YR4/4赤褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | ヘラミガキ | ナデ | 良 | 22.5 | | | |
| 73 | 468 | B18 | IV | ミニ メソ | | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい褐 | 7.5YR5/4にぶい褐 | 細砂, ナデ | ナデ | 良 | 4.4 | | | |

第23表 終原貝塚出土土器観察表(1)

※胎土のS・C・K・UはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, U=雲母を指す。

| 挿入 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 胎土 | 色調 | | 長軸 (cm) | 短軸 (cm) | 高さ (cm) | 重量 (g) | 焼成 | 備考 |
|----------|----------|---------|----|-------|---------|---|------------|------------|------------|-----------|----|----|
| | | | | | 外 | 内 | | | | | | |
| 72 | 1 | B8 | IV | S・C・K | 10YR5/3 | - | 7.6 | 3.0 | 3.2 | 70.05 | 良 | 獸形 |

第24表 終原貝塚出土土器観察表(2)

※胎土のS・C・K・UはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, U=雲母を指す。

※表中の径については、口縁部なら口径を、底部なら底径をさす。(大半が破片であるため、復元径である。)

| 挿入 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 器種 | 部位 | 胎土 | 色調 | | 器面調整 | | 焼成 | 口径 (cm) | 備考 |
|----------|----------|---------|----|----|----|---------|-------------------|------------------|----------------------------|-----------------------|----|------------|----|
| | | | | | | | 外 | 内 | 外 | 内 | | | |
| 72 | 2 | A7 | IV | 深鉢 | | S・C・K・U | 10Y R7/3にぶい 黄褐 | 7.5YR5/4に ぶい褐 | 洗剤文, 洗剤文+貝殻 粉による赤褐色, ナデ | 洗剤文+貝殻粉による 赤褐色, ナデ | 良 | 29.0 | |

第25表 終原貝塚出土土器観察表(3)

※胎土のS・C・K・UはそれぞれS=石英, C=長石, K=角閃石, U=雲母を指す。

| 挿入 番号 | 遺物 番号 | 出土 区 | 層 | 胎土 | 色調 | | 直径 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | 焼成 | 備考 |
|----------|----------|---------|----|---------|-------------------|-------------------|------------|------------|-----------|----|------------|
| | | | | | 表 | 裏 | | | | | |
| 72 | 3 | A16 | IV | S・C・K | 7.5YR4/2灰褐 | 10Y R3/2黒褐 | 6.0 | 1.8 | 82.85 | 良 | 円盤形土 製品 |
| 72 | 4 | A9 | IV | S・C・K | 10Y R5/3にぶい 黄褐 | 10Y R6/3にぶい 黄褐 | 6.7 | 1.1 | 44.76 | 良 | メソコ |
| 72 | 5 | B6 | IV | S・C・K | 5Y R5/4にぶい 赤褐 | 10Y R6/2灰黄褐 | 5.9 | 0.6 | 29.75 | 良 | メソコ |
| 72 | 6 | B6 | IV | S・C・K | 7.5YR5/3にぶい 褐 | 7.5YR5/4にぶい 褐 | 5.0 | 0.9 | 26.74 | 良 | メソコ |
| 72 | 7 | A9 | IV | S・C | 10Y R4/2灰黄褐 | 10Y R5/2灰黄褐 | 4.2 | 0.7 | 19.78 | 良 | メソコ |
| 72 | 8 | B11 | IV | C・K | 10Y R5/2灰黄褐 | 10Y R5/2灰黄褐 | 4.9 | 1.1 | 23.04 | 良 | メソコ |
| 72 | 9 | B7 | IV | S・C | 10Y R5/3にぶい 黄褐 | 2.5Y5/2暗灰黄 | 4.0 | 1.2 | 25.5 | 良 | メソコ |
| 72 | 10 | A5 | IV | S・C・K | 7.5YR6/4にぶい 褐 | 7.5YR5/6明褐 | 4.4 | 0.9 | 20.98 | 良 | メソコ |
| 72 | 11 | A6 | IV | C・K | 10Y R6/4にぶい 黄褐 | 10Y R7/4にぶい 黄褐 | 4.3 | 0.9 | 14.16 | 良 | メソコ |
| 72 | 12 | A6 | IV | C・K | 5Y R4/3にぶい 赤褐 | 10Y R5/3にぶい 黄褐 | 3.8 | 1.2 | 18.44 | 良 | メソコ |
| 72 | 13 | A6 | IV | S・C・K・U | 7.5YR6/4にぶい 褐 | 10Y R5/3にぶい 黄褐 | 3.8 | 0.9 | 15.25 | 良 | メソコ |
| 72 | 14 | B9 | | S・C・K | 2.5Y4/1黄灰 | 2.5Y5/2暗灰黄 | 5.2 | 1.2 | 33.1 | 良 | メソコ |
| 72 | 15 | B10 | | S・C・K | 7.5YR5/4にぶい 褐 | 10Y R4/2灰黄褐 | 5.1 | 0.9 | 22.2 | 良 | メソコ |
| 72 | 16 | B10 | IV | S・C・K | 10Y R5/2灰黄褐 | 10Y R5/2灰黄褐 | 4.9 | 0.9 | 24.19 | 良 | メソコ |
| 72 | 17 | B11 | | S・C | 7.5YR5/4にぶい 褐 | 10Y R3/1黒褐 | 4.6 | 0.8 | 26.72 | 良 | メソコ |
| 72 | 18 | B8 | | S・C・K・U | 7.5YR6/4にぶい 褐 | 7.5YR5/3にぶい 褐 | 5.4 | 1.0 | 40.42 | 良 | メソコ |
| 72 | 19 | B12 | IV | S・C・K・U | 10Y R4/1褐灰 | 10Y R5/1褐灰 | 4.3 | 0.8 | 19.24 | 良 | メソコ |
| 72 | 20 | B6 | IV | S・C・K | 7.5YR6/4にぶい 褐 | 7.5YR6/4にぶい 褐 | 4.5 | 0.7 | 16.39 | 良 | メソコ |
| 72 | 21 | B7 | IV | C | 2.5Y5/1黄灰 | N4/0灰 | 3.8 | 1.0 | 15.96 | 良 | メソコ |
| 72 | 22 | A6 | | S・C | 5Y R6/6褐 | 7.5YR6/4にぶい 褐 | 4.3 | 1.0 | 24.29 | 良 | メソコ |

第26表 円盤形土製加工品出土状況一覧表

| 区 | A-4 | B- |
|---|-----|----|
|---|-----|----|

5. 石器

土器と同様、大半はIV層からの出土であるが、細分可能なIV層中からは層位に関わらず混在して出土しており、層位的・形態的な時代区分は困難であった。従って、出土した層位に関わらず、器種による分類に従って記述する。

全2,360点(重量約759,092g)出土した。器種は37種に及び(第27表)、そのバリエーションは豊富で、多岐に亘る。紙面の都合上、実測図・観察表は一部のもののみについて掲載し(第75～78図及び第31表)、他は点数及び重量のみ表示するに留める(第28表)。

器種・分類に関しては、基本的には平成16年度中間報告分の分類に従った。但し、石斧、凹石・敲石・磨石、石皿については再分類を試みた。そのため、前回報告分の計測表のうち、分類の項が訂正されることになり、新旧対応表(第29表)で表示する。また、前回円盤形石器としたものを、今回円盤形石製加工品と改めたため、円盤形石製加工品の計測表の番号は4番より開始する。その他のもので、今回新たに報告する分の計測表の番号については、前回報告分の掲載番号に、継続して番号を付けた。

発掘調査は、遺跡の中心たる貝塚の大部分については未実施である。そのため、石器組成の割出は行っていない。ただし、平成9・10年度調査で出土した石器については、その一覧表を第30表及び第74図にまとめた。このうち大きな比重を占めるのが、磨石・敲石・凹石類及び石皿である。個別にはそれぞれ3.3%、12.9%、13.3%、7.8%を占めるが、磨石・敲石・凹石の合計だと29.5%を占め、これに石皿まで含めると37.4%を占める。これらの主たる用途は植物調理用と考えられるが、他の用途に用いられた可能性が高いものもある。続いて、穴掘具・農耕具と考えられる打製石斧も大量に出土しており、22%を占める。加工具と考えられる磨製石斧も多く、7.2%を占める。他にもスクレイパー、石鏃の出土も少なくなく、石錘も出土している。これらの背景には、本遺跡の生業形態の多用さが伺える。また、本遺跡は出土土器の分析より、出土区ごとにおおまかな時期が設定できるが(土器の項参照)、出土石器のうち大きな比重を占めるものは、遺跡中央部(9～11区)及び遺跡西部(17～19区)に出土のピークを持ち、黒色磨研期から晩期初頭にかけてのものと比定されると考えられるものが多い。貝塚部については未調査であるので、明言はできないが、このことから、時代が下るにつれ石器がより多様に分化していく様子が伺え、生業形態の多様化が歴史的発展に伴うものであったことが伺える。

また、用途不明の石製品が85点(約3.6%)出土している。使用痕等はなく、用途も含めて詳細不明であるが、土製品や軽石製品と同様、何らかの祭祀遺物と考えられる。

次に、器種の分類と細分について説明する。

石鏃(第75図1～3)

基部に抉りを持つものをI類/平基なものをII類とする。I類は基部の抉りの深さによって浅いものをa/深いものをbに細分する。第75図1は1a, 2は1b, 3はII類にそれぞれ分類される。

71点(重量65g)出土した。出土石器中約3%を占める。遺跡中央(9～11区)、次いで遺跡西部(18区)に集中する傾向がある。柘原貝塚は出土土器の分布より、区域ごとにおおまかな時期設定が可能であるが(前後述土器の項参照)、これに従えば、石鏃は黒色磨研期(9～11区)から晩期初頭(18区)にかけてのものに比定されるものが多いと考えられる。

I類が60点(重量51g)、II類が11点(重量14g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ85%、15%となり、I類が大半を占める。I類中ではaが20点(重量16g)、bが40点(重量35g)出土しており、I類に占める比率はそれぞれ33%、67%となる。

石匙(第75図4)

つまみ部を上部にした時、全体が縦長になるものをI類/縦長になるものをII類とする。第75図4はIに分類される。

10点(重量215g)出土した。点数はあまり多くなく、出土石器中約0.4%を占めるに過ぎない。I類が6点(重量100g、石匙中60%)、II類が4点(重量115g、石匙中40%)出土した。

スクレイパー

縁辺部に片面または両面加工の刃部を持つものをスクレイパーの範疇に入れる。不定形状を呈するものをI類/明確な光沢部を確認する事は出来ないが、全体の形状が石鏃状を呈するものをII類/半円状を呈し、弧の部分に刃部を持つものをIII類/不定形状を呈し、縁辺部にU字状の抉りを持つものをIV類/横長剥片を利用し、長辺縁辺部に刃部が調整されているものをV類とする。

118点(重量6,423g)出土した。出土石器中約5%を占める。遺跡西部(18区)、遺跡中央(9・10区)に集中する傾向があり、黒色磨研期～晩期初頭に比定されるものが多いと考えられる。

I類が74点(重量3,532g)、II類が15点(重量1,342g)、III類が10点(重量711g)、IV類が6点(重量516g)、V類が13点(重量322g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ63%、13%、8%、5%、11%となる。

楔形石器

対向する2辺に階段状剥離を持つ石器。1点(重量3g)のみ出土した。

石錘(第75図5, 6)

つまみ状の柄部を持つものをI類/持たないものをII類とする。今回は先端部に使用痕を有する錘部を持つものを取りあげた。第75図5はI, 6はII類にそれぞれ分類される。

15点(重量40g)出土した。点数はあまり多くなく、出土石器中約0.6%を占めるに過ぎない。11区を出土のピークとする。I類が10点(重量33g)、II類が5点(重量7g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ67%、33%となる。

挟入石刃(第75図7)

長軸両縁部に対称的な抉りを持つ石刃。抉り部が打点よりではなく、末端部よりであるため、石匙とは区別する。3点(重量9g)のみ出土した。

小型棒状磨製石器(第75図8)

小型の棒状を呈し、表面に研磨痕を有する石器。先端部付近に横位の擦痕を確認できるものもあり、錐のように利用した可能性も考えられる。4点(重量13g)のみ出土した。

異形石器

加工痕を有し、定型石器とは異なる形態(三脚状等)をした剥片石器。石錘の未製品の可能性も考えられるものも含める。3点(重量3g)のみ出土した。

剥片石器

不定形状を呈し、縁辺部に刃部を調整した剥片で上記の器種に属さない石器。

14点(重量664g)出土した。点数はあまり多くなく、出土石器中約0.6%を占めるに過ぎない。

加工痕を有する剥片

刃部は形成されていないが、意図的と思われる剥離を有する剥片。2点(重量6g)のみ出土。

使用痕剥片

意図的な刃部は確認できないが、使用によると思われる微細剥離痕を有する剥片。

20点(重量135g)出土した。点数はあまり多くなく、出土石器中約0.6%を占めるに過ぎない。

剥片

背面と腹面から成り、腹面に打点が明確に確認できるものを剥片として取り挙げる。

356点(重量18,916g)出土した。出土石器中約15%を占める。遺跡西部に集中して出土する傾向があり、18区からは特に顕著に出土している。

石核

打面形成および縁辺部調整がなされているものを石核とする。2点(重量191g)のみ出土した。

打製石斧(第76図9~11)

平面が長方形から楕円形状を呈し、長辺両縁部に対称的な抉りをもつものをI類/平面が方形状(円形状に近いものも含む)を呈し、刃部が短辺に用いられているものをII類/平面が二等辺三角形形状を呈し、刃部が底辺に用いられているものをIII類/平面が楕円形状を呈するものをIV類/小型で扁平なものをV類/欠損品で、詳細不明なものをVI類/未製品をVII類とする。なお、各分類の刃部形状は平基・緩やかな山線・U字状を呈し多様である。第76図9はI、10はII、11はIII類にそれぞれ分類される。

521点(重量68,569g)出土した。大量の出土で、その占有率は出土石器中約22%に及ぶ。18区をピークとし、遺跡中央部(8~10)区及び遺跡西部(17~19)区に集中する傾向がある。黒色磨研期~晩期初頭に比定されるものが多いと考えられる。

I類が107点(重量15,688g)、II類が275点(重量37,415g)、III類が67点(重量9,351g)、IV類が8点(重量739g)、V類が8点(重量621g)、VI類が55点(重量4,688g)、VII類が1点(重量67g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ21%、53%、13%、2%、2%、11%、0.2%となる。最多のタイプはII類で、打製石斧の約半数を占める。

磨製石斧(第76図12~16)

乳棒状を呈し、表面が研磨されており、刃部が底辺に用いられるものをI類/刃部・基部等全面に研磨が加えられており、両刃でハマグリ状を呈するものをII類/ノミ状を呈するものをIII類/小型で扁平状のものをIV類/欠損品で、詳細不明なものをV類/未製品をVI類とする。なお、各分類の刃部形状は平基・緩やかな曲線・U字状を呈し多様である。第76図12はI、13・14はII、15はIII、16はIV類にそれぞれ分類される。

171点(重量28,048g)出土した。出土石器中約7.25%を占める。遺跡中央部(9~11)区及び西部(18)区に集中する傾向があり、黒色磨研期~晩期初頭に比定されるものが多いと考えられる。

I類が82点(重量15,887g)、II類が56点(重量9,893g)、III類が17点(重量1,236g)、IV類が4点(重量208g)、V類が10点(重量525g)、VI類が2点(重量301g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ48%、33%、10%、2%、6%、1%となる。I類が約半数を占める。

磨製石器

表面に研磨痕を有し、縁辺部が調整され扁平状を呈する石器。6点(重量193g)のみ出土した。

擦切石器(第76図17)

扁平で不定形状を呈し、縁辺部に横位の擦痕が確認できる石器。7点(重量136g)出土した。

石錘(第76図18~20)

抉りを持つものをI類/溝を持つものをII類とする。I類は抉りが4ヶ所のものをa/2ヶ所のものをbに細分する。第76図18はI a、19はI b、20はII類にそれぞれ分類される。

24点(重量3,237g)出土した。点数はあまり多くなく、出土石器中約1%を占めるのみである。遺跡東~中央部より集中して出土する傾向があり、9区を出土のピークとする。

I類が22点(重量3,176g)、II類が2点(重量61g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ92%、8%となり、I類が大半を占める。

I類中ではaが12点(重量1,560g)、bが10点(重量1,615g)出土しており、I類に占める比率はそれぞれ55%、45%となる

礫器

扁平で不定形状の礫の縁辺部に、粗雑な剥離による刃部を形成した石器。8点(1,204g)出土。

凹石・敲石・磨石(第77図21~25)

それぞれの機能を共有しているため、ここでは次のような基準に基づいて分類することとする。明確な凹を持つものをすべて凹石の範疇に入れる。次に凹を持たないが敲打痕を持つものをすべて敲石の範疇に入れ、磨面だけを持つものを磨石とする。それぞれ形状により分類し、さらに、凹・敲打痕・磨面の組み合わせにより細分する。凹石・敲石・磨石の合計は697点(重量347,895g)を計り、出土石器中約29.5%を占める。

凹石については、78点(重量68,117g)出土した。出土石器中約3.3%を占める。遺跡中央部(9~11)区に集中する傾向があり、黒色磨研期に比定されるものが多いと考えられる。

凹のみ有するものをI類/磨石状のものに凹があるものをII類/敲打痕を有し、さらに凹があるものをIII類/磨石状で敲打痕を有し、さらに凹があるものをIV類とする。さらに、凹の場所に着目し、凹が磨面一面(表面)に施されるものをa/磨面二面(表裏)に施されるものをb/凹縁部にも施されるものをcと細分した。凹の数は様々で、バリエーションがある。第77図21はI a、2はIV cにそれぞれ分類される。

I類が4点(重量1,041g)、II類が3点(重量2,680g)、III類が4点(重量4,225g)、IV類が67点(重量62,055g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ5%、4%、5%、86%となり、IV類が突出している。I類中ではaが3点(重量841g)、bが0点、cが1点(重量200g)出土しており、I類に占める比率はそれぞれ75%、0%、25%となる。II類中ではaが1点(重量980g)、bが2点(重量1,700g)、cが0点出土しており、II類に占める比率はそれぞれ33%、67%、0%となる。III類中ではaが0点、bが1点(重量1,950g)、cが3点(重量2,275g)出土しており、III類に占める比率はそれぞれ0%、25%、75%となる。IV類中ではaが2点(重量3,275g)、bが9点(重量6,540g)、cが56点(重量51,731g)出土しており、IV類に占める比率はそれぞれ3%、12%、85%となる。全種類中IV cが突出しており、全体の72%を占める。

敲石は305点(重量151,406g)出土した(出土石器中約12.9%)。遺跡中央部及び西部(9~11, 18区)に集中する傾向があり、黒色磨研期~晩期初頭に比定されるものが多いと思われる。

棒状のものをⅠ類/球形のものをⅡ類/磨石に敲打痕のあるものをⅢ類/扁平のものをⅣ類とする。さらにⅠ類については、敲打痕が端部片方(下面)のみに施されるものをa/端部両面(上下面)に施されるものをb/側面に施されるものをcと細々分した。また、Ⅱ~Ⅳ類については、敲打痕が表面に施されるもの(表裏両面に施されるものも含む)をa/周縁部の両短辺(上下)に施されるものをb/周縁部の両長辺(左右)に施されるものをc/周縁部を巡るものをdと細分した。第77図23はⅠa, 24はⅡb類にそれぞれ分類される。

Ⅰ類が42点(14,612g)、Ⅱ類が70点(42,748g)、Ⅲ類が157点(89,120g)、Ⅳ類が36点(4,920g)出土しており、総点数に占める比率はそれぞれ14%、23%、51%、12%となる。Ⅲ類が半数を占める。Ⅰ類中ではaが18点(5,258g)、bが11点(3,329g)、cが13点(6,026g)出土しており、Ⅰ類に占める比率はそれぞれ43%、26%、31%となる。Ⅱ類中ではaが7点(3,488g)、bが18点(13,850g)、cが6点(3,165g)、dが39点(22,245g)出土しており、Ⅱ類に占める比率はそれぞれ10%、26%、9%、56%となる。Ⅲ類中ではaが6点(4,725g)、bが32点(18,720g)、cが9点(5,620g)、dが110点(60,091g)出土しており、Ⅲ類に占める比率はそれぞれ4%、26%、6%、70%となる。Ⅳ類中ではaが2点(790g)、b・cが0点、dが34点(4,130g)出土しており、Ⅳ類に占める比率はそれぞれ6%、0%、0%、94%となる。Ⅱ~Ⅲ類については、dのタイプが多く、Ⅱ~Ⅲ類中64%を占める。

磨石は314点(重量128,312g)出土した(出土石器中約13.3%)。遺跡東~中央部(6~11区)、遺跡西部(18区)に集中する傾向があり、市来式期~晩期初頭に比定されるものが多いと思われる。

楕円形状のものをⅠ類/球形状のものをⅡ類/扁平状のものをⅢ類/特殊なものをⅣ類とする。さらに、Ⅰ、Ⅲ類については、形状が円形に近いものをa/小判形(長楕円形)を呈するものをb/両者の中間をc/と細分した。第77図25はⅠc類に分類される。

Ⅰ類が174点(重量75,664g)、Ⅱ類が57点(重量30,245g)、Ⅲ類が81点(重量21,818g)、Ⅳ類が2点(重量585g)出土しており、それぞれの比率はそれぞれ55%、18%、26%、1%となる。Ⅰ類中ではaが42点(重量16,149g)、bが7点(重量4,499g)、cが125点(重量55,016g)出土しており、Ⅰ類に占める比率はそれぞれ24%、4%、72%となる。Ⅲ類中ではaが22点(重量6,935g)、bが24点(重量6,101g)、cが35点(重量9,782g)出土しており、Ⅲ類に占める比率はそれぞれ27%、30%、43%となる。

他とは特に異なると考えられるもの2点をⅣ類とした。楕円形を呈し(形状はⅠcタイプ)、敲打後研磨したと考えられるもの1点(計測表313)、円形を呈し(Ⅰa)、磨面が光沢をもち他とは使用法が異なると考えられるもの1点(計測表314)がそれである。

注目すべきは敲石Ⅳ類、磨石Ⅲ類の存在である。サイズ的には、敲石Ⅲ類が直径6.1cm・厚さ2.1cm前後のものも多く、磨面Ⅲ類が直径8.2cm・厚さ2.7cm前後のものが多い。凹石・敲石・磨石の出土数は、石皿の出土数と大きく隔差があり、本遺跡出土の凹石・敲石・磨石が単に植物調理用のみ使用されたのではなく、様々な用途があったと思われる。この扁平なタイプも、そういった植物調理以外の用途に用いられた可能性がある。

台石

周縁部が整形されており、石皿状の外観を呈するが、磨面がなく敲打痕を有し、石皿とは用法が異なると考えられるものである。B19区より1点(重量2,100g)のみ出土した。

石皿(第77図26)

加工により磨面に凹がないものをⅠ類/縁を残して、中央部が断面で弓状に凹むものをⅡ類/凹が深いものをⅢ類/破片のみで全体像が不明なものをⅣ類とした。さらにⅠ~Ⅲ類は、それぞれの分類を、周縁加工のあるものをa/川原などにある自然転石を利用したもので、円形や楕円形の平面形を呈するものをb/板状の角礫を用い、多角形の平面形を呈するものをcと細分した。第77図26はⅢa類に分類される。

185点(重量260,543g)出土した。出土石器中約7.8%を占める。遺跡中央部(8~11区)、(18区)に集中して出土する傾向があり、市来式期~晩期初頭に比定されるものが多いと考えられる。

Ⅰ類が28点(重量77,210g)、Ⅱ類が24点(重量59,573g)、Ⅲ類が12点(重量48,260g)、Ⅳ類が185点(重量260,543g)出土しており、それぞれの比率はそれぞれ15%、13%、6%、65%となる。Ⅳ類の割合が高く、粉々に粉砕された状態のものが多い。Ⅰ類中ではaが12点(重量29,260g)、bが2点(重量7,765g)、cが14点(重量40,185g)出土しており、Ⅰ類に占める比率はそれぞれ43%、7%、50%となる。Ⅱ類中ではaが17点(重量51,358g)、bが1点(重量1,825g)出土しており、cが6点(重量6,390g)出土しており、Ⅱ類に占める比率はそれぞれ71%、4%、25%となる。Ⅲ類中ではaが12点(重量48,260g)、b・cは出土していない。Ⅳ類が多いため詳細は不明であるが、それぞれの分類ではa類の比率が高く、Ⅰ~Ⅲ類中64%を占める。

砥石

使用面が面状のものをⅠ類/溝状のものをⅡ類/両者を併せ持つものをⅢ類とする。使用面は一面と多面の両者がある。

Ⅱ類中、1点(計測表5)攻玉用と思われるものが出土している。このタイプは平成7年度確認調査でも1点出土している(3)。出土している玉類や後述する玉未製品、玉材等の出土を考えあわせると、本遺跡で玉製作が行われていたと考えられる。

27点(重量11,655g)出土した。出土石器中約1.14%を占める。遺跡東部~中央部(5~11区)より集中して出土する傾向がある。

Ⅰ類が16点(重量5,450g)、Ⅱ類が5点(重量2,540g)、Ⅲ類が6点(重量3,665g)出土しており、それぞれの比率はそれぞれ59%、19%、22%となる。

研磨器

砥石と同様の研磨が認められるが、手にもち使用したと考えられるものを研磨器とした。敲打痕を側面に有するもの(計測表4)もある。4点(重量681g)のみ出土した。

その他不明品

上記以外のもので、用途も含めて詳細不明なもの計4点(656g)を一括して取り扱った。突状部を有し扁平で、粗雑な石匙状の外観を呈するもの2点(計測表1, 2)、扁平な台形状を呈し、長辺部2辺に研磨痕が見られるもの1点(計測表3)、豚蹄状を呈し、下面に平坦な磨面を有し、側面に紐等を掛けて使用したたことで生じたと思われる磨減痕が見られるもの1点(計測表4)がある。

石製品（祭祀具）

何らかの加工が行われているが、使用痕などは認められず、祭祀具と思われるものを一括して石製品として取り扱った。用途も含めて詳細は不明である。総点数 85 点（重量 4,754g）を計り、出土石器中約 3.6% を占める。

a. 線刻を有する石製品（第78図27）

短い棒状を呈し、三条の線刻を巡らすものである。安山岩製で、表面は研磨されている。軽石製岩偶に類似した形状のものがあり(2) 何らかの祭祀遺物と思われる。B7 区より1点のみ出土した。

b. 三角塔形石製品（第78図28）

砂岩製で、三角柱形に整形されたものである。縄文時代中期後半～後期初頭に、北陸から東北部を中心として出土が見られる三角塔形石製品に類似したものである(15)。A10 区より1点のみ出土した。軽石製品でもこれに類似した形状のものが出土している(2)。

c. 石刀形石製品（第78図29）

扁平で三日月状を呈し、全面に丁寧な磨きを確認できる石器。B18 区より1点のみ出土した。

d. 有孔製品（第78図30, 31）

有孔のもので、垂飾品と考えられる。形態は扁平で方形に近いもの、長楕円形でやや厚みのあるものなどバリエーションがある。長軸 5.4～11.7cm のものがあり、サイズのにも数種類あると考えられる。欠損品も含めた。4 点（重量 132g）出土した。

e. 円盤形石製加工品

前回、円盤形石器として報告したものであるが、円盤形石製加工品と呼称することにする。前回報告分は、計測表と合わせて訂正いただきたい。円形状を呈する表面が滑らかで扁平な碟で、いわゆる石製メンコである。使用痕などは認められない。15 点（重量 1,042g）出土した。

f. 円盤形石器

周縁部を打ち欠いて円形に整形したものである。粗雑で、表面も研磨しておらず、円盤形石製加工品とは異なるため、区別した。サイズ的にはほぼ同じ大きさで、直径 8cm 前後のものが多い。

20 点（重量 2,638g）出土した。遺跡中央部（9, 10 区）及び西部（18, 19 区）より集中して出土する傾向がある

g. 小判形・円形加工品

小判形・楕円形・円形等に整形したものである。軽石製品に同様のものが認められるが(2)、やはり何らかの祭祀遺物と思われる。19 点（重量 3,162g）出土した。

h. 玉類（石製装身具）（第78図32～38）

玉類（石製装身具）が 19 点（重量 19.5g）出土している。コ字形勾玉 3 点、垂飾形のもの 3 点、エンタシス状管玉 2 点、裂玉 3 点、小玉 3 点、小型石棒状のもの 1 点、小片 3 点である。

出土区に注目すると、9～11 区、18・19 区からの出土が多く、柘原貝塚出土の石製装身具は、縄文後期後半（黒色磨研期）から晩期初頭（上加世田式・入佐式期）にかけてのものに比定できると考えられる。

石製装身具の石材鑑定については、松本幡郎氏に委託した。その結果、大分県産の異極鉱や新潟県糸魚川産の翡翠等遠隔地のものも出土しており、当時の人々の生活圏の広さを物語る。

i. 玉未製品（第78図39）

2 点のみ出土した。いずれも周縁部及び表面に研磨・整形が見られるもので、玉未製品と考えられる。石材は碧玉製と思われるもの 1 点（計測表 1）、苔瑪瑙製と思われるもの 1 点（計測表 2）であるが、未鑑定であり、今後鑑定の必要がある。

j. 玉材

玉材と思われるものである。3 点出土した。いずれも A-10 区より出土で、同一石材（碧玉製）と思われる（未鑑定、今後鑑定の必要あり）。玉未製品や、玉製作に関連して使用されたと考えられる砥石が出土していることから、本遺跡において玉製作がなされた可能性が高い。

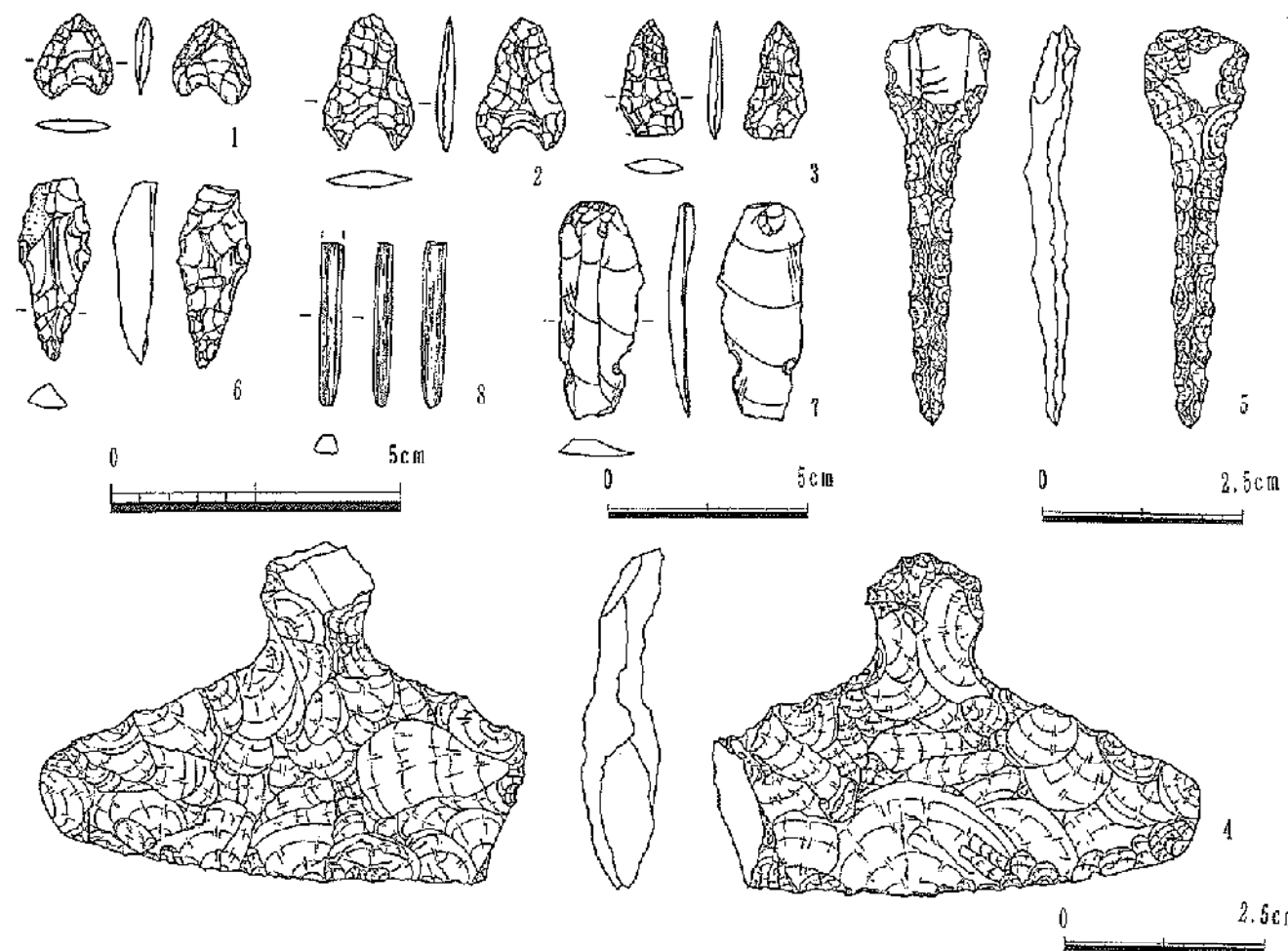
6. 歴史時代の遺物

土器、土製品、石器の他に、土師器、須恵器、陶磁器、鉄器、滑石製品等が出土したが、出土量はごく微量で、出土区も限られている。大半が小片であり、詳細は不明であるため、点数・重量を記すに留めた（第 45 表）。

滑石製品が 10 点出土している（第 46 表）。いずれも表層中の出土である。有孔製品が 1 点（第 46 表 1）、石鍋片と思われるものが 9 点（第 46 表 2～10）出土した。石鍋片については、全て A5 区からの出土で、同一個体の可能性がある。

[参考・引用文献]

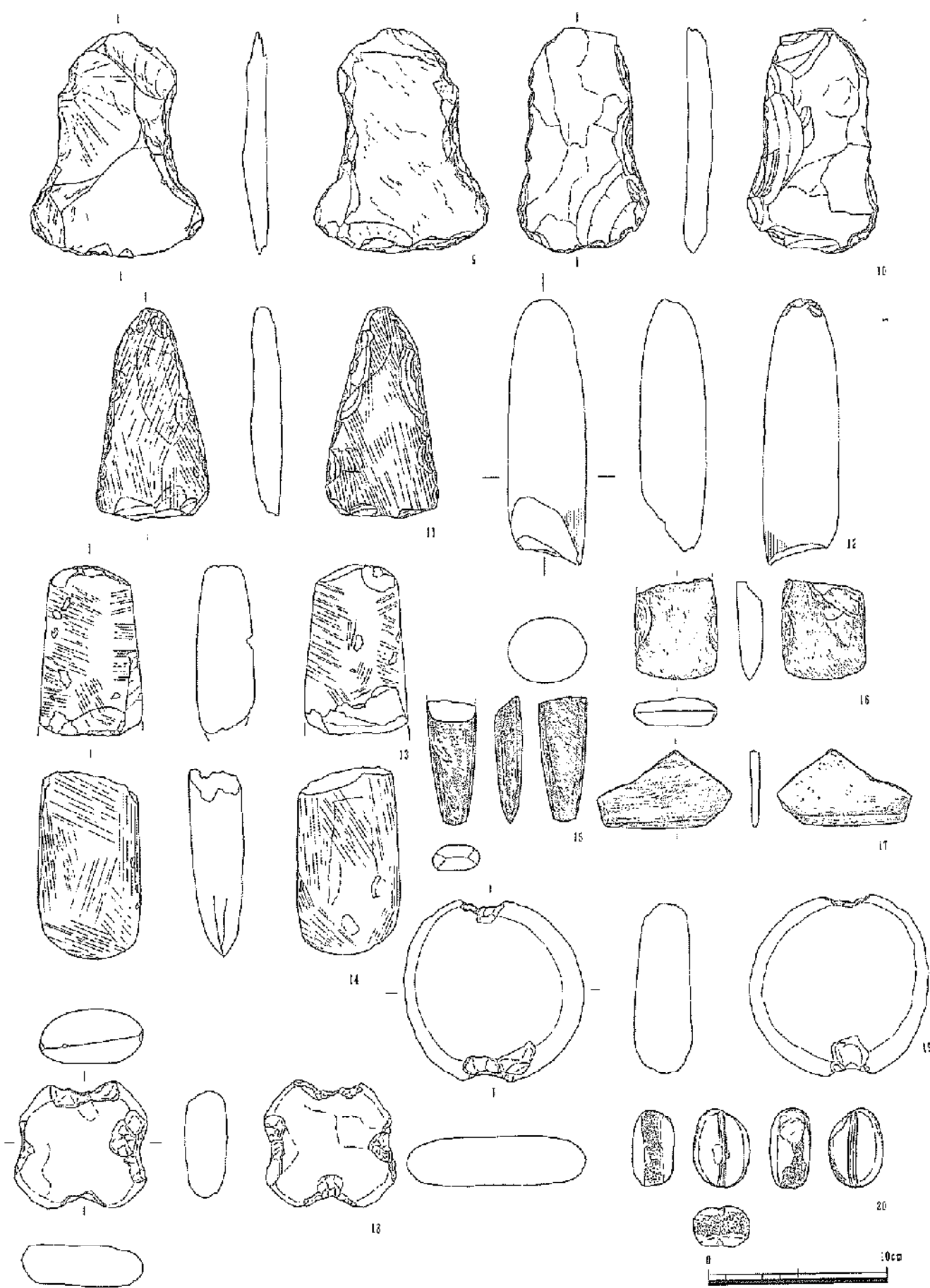
- (1) 鶴飼一伸・羽生文彦編 1999. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4)柘原貝塚」垂水市教育委員会
- (2) 羽生文彦(編) 2005. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8)柘原貝塚」垂水市教育委員会
- (3) 今村敏照・鶴飼一伸 1996. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(1)柘原貝塚」垂水市教育委員会
- (4) 池畑耕一・前迫亮一 1997. 「鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(22)千迫遺跡」鹿児島県立埋蔵文化財センター
- (5) 酒匂義明 1979. 「野久尾遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書」志布志町教育委員会
- (6) 中村愿 1981. 「曾加式土器」『縄文時代の研究』第 3 巻 縄文土器 I
- (7) 羽生文彦・梶原剛 2002. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(6)宮ノ前遺跡・重田遺跡」垂水市教育委員会
- (8) 宮内克己 1981. 「三万田式土器の研究」『古文化談叢』第 8 集
- (9) 清田純一 1998. 「縄文後・晩期土器考—中九州の縄文後・晩期土器とその並行型式について—」『肥後考古』第 11 号 肥後考古学会
- (10) 堂込秀人 1997. 「南九州縄文晩期土器の再検討—入佐式と黒川式の細分—」『鹿児島考古』第 31 号 鹿児島県考古学会
- (11) 長野真一・峯崎幸清 1984. 「鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書(1)〈上祓川遺跡群〉」鹿屋市教育委員会
- (12) 河口貞徳 1981. 「新南九州弥生式土器集成」『鹿児島考古』第 15 号 鹿児島県考古学会
- (13) 中國 聡 1997. 「九州南部地域弥生土器編年」『人類史研究』第 9 号
- (14) 中村直子 1987. 「成川式土器再考」『鹿大考古』6: 57-56
- (15) 三垣恵一 2005. 「市ノ原遺跡」『先史・古代の鹿児島 資料編』鹿児島県教育委員会



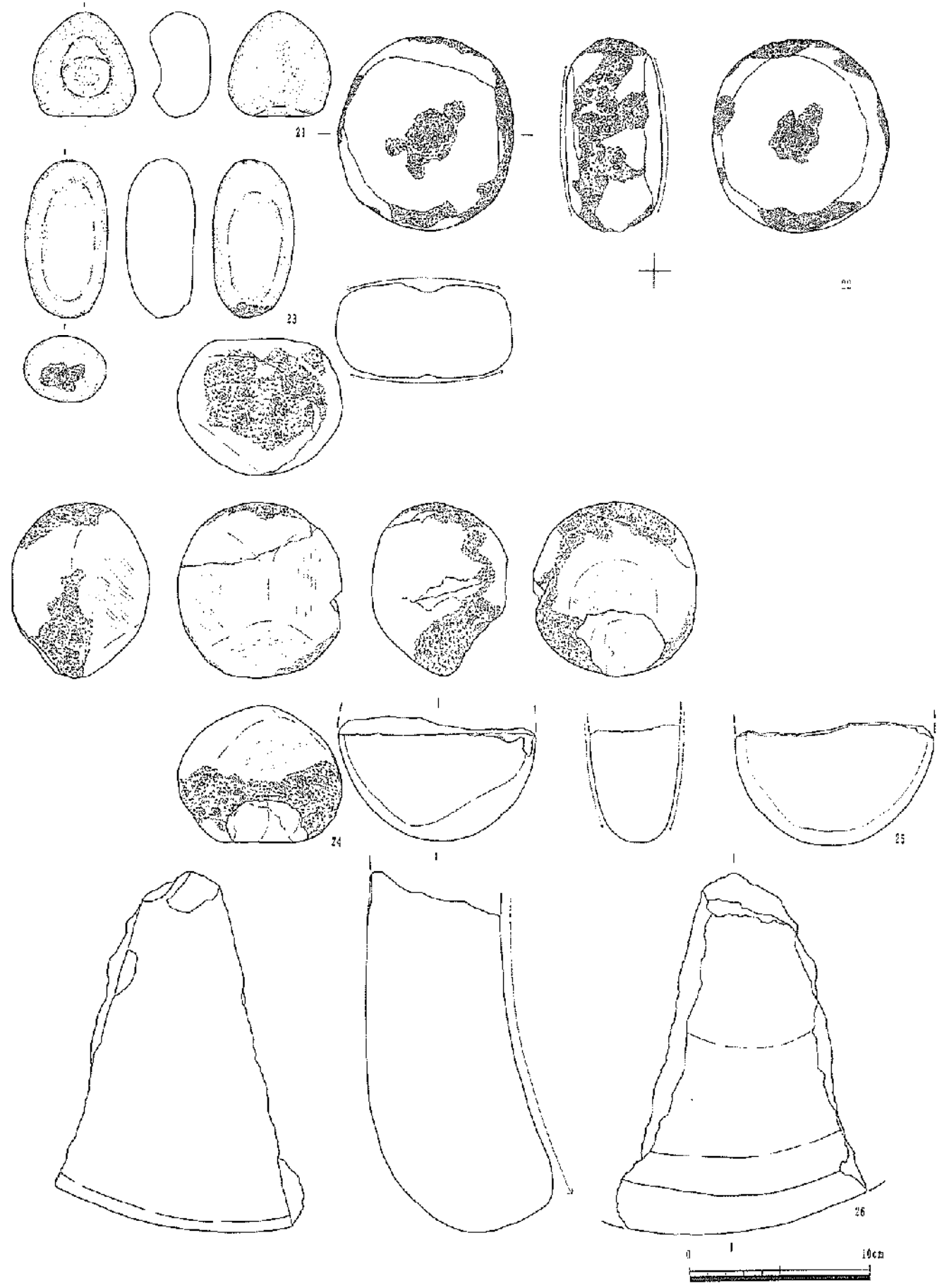
第75図 柘原貝塚出土石器実測 (1)

表1 実測図掲載石器計測表

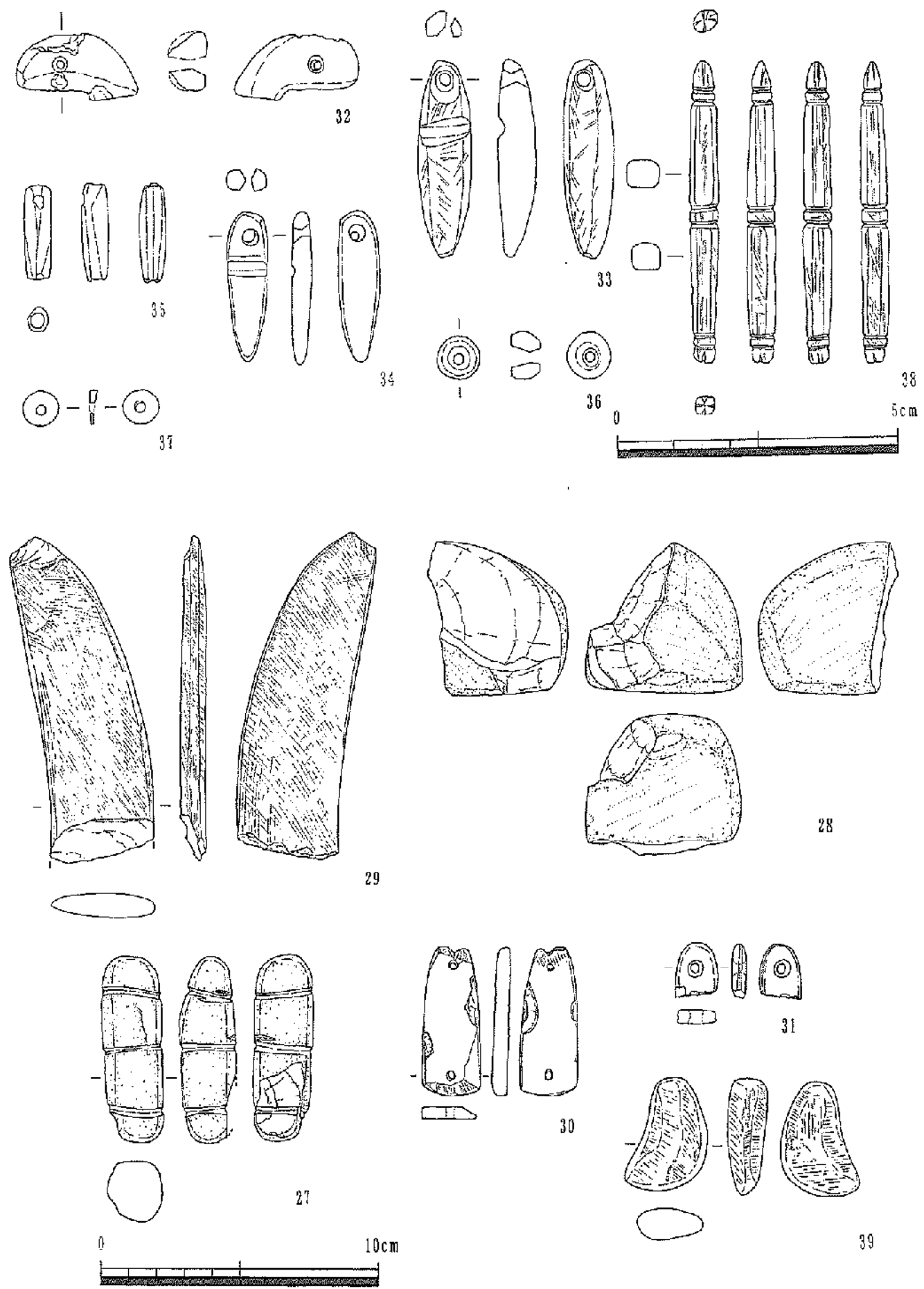
| No. | 種別番号 | 計測番号 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|------|-----------|-------|--------|----|--------|-------|--------|--------|---------|--------------------|
| 1 | 75 | 石器1 | I-a | 一括 | | 1.4 | 1.3 | 0.3 | 0.47 | 安山岩 | H16報告書図版5-1 |
| 2 | 75 | 石器15 | I-b | A-19 | IV | 2.3 | 1.5 | 0.2 | 0.74 | チャート | H16報告書図版5-2 |
| 3 | 75 | 石器10 | II | 一括 | | 1.9 | 1.1 | 0.3 | 0.49 | チャート | 一部欠損, H16報告書図版5-3 |
| 4 | 75 | 石器5 | I | 一括 | | 4.3 | 6.0 | 1.1 | 21.07 | チャート | 一部欠損, H12報告書18 |
| 5 | 75 | 石器12 | I | B-11 | IV | 5.1 | 1.7 | 1.0 | 4.21 | 黒曜岩 | 一部欠損, H12報告書17 |
| 6 | 75 | 石器2 | II | 一括 | | 3.1 | 1.2 | 0.7 | 2.00 | 水産 | H16報告書図版5-10 |
| 7 | 75 | 扶入石232 | - | B-9 | IV | 5.4 | 1.2 | 0.6 | 4.85 | 黒曜岩 | H16報告書図版5-17 |
| 8 | 75 | 小丸状片状石器22 | - | 一括 | | 2.8 | 0.4 | 0.4 | 0.69 | 頁岩 | 一部欠損, H16報告書図版5-12 |
| 9 | 75 | 打製石499 | I | A-16 | IV | 12.8 | 8.0 | 1.9 | 220.0 | 安山岩 | 應有, H12報告書20 |
| 10 | 75 | 打製石422 | II | A-18 | IV | 16.10 | 8.20 | 1.80 | 205.00 | 頁岩 | H12報告書21 |
| 11 | 75 | 打製石490 | III | A-11 | IV | 12.20 | 5.40 | 0.80 | 65.80 | 頁岩 | H12報告書22 |
| 12 | 75 | 磨製石158 | I | A-17 | IV | 14.80 | 4.60 | 3.76 | 370.00 | 頁岩 | H12報告書26 |
| 13 | 75 | 磨製石162 | II | A-7 | IV | 9.10 | 5.85 | 3.15 | 310.00 | 頁岩 | H12報告書24 |
| 14 | 75 | 磨製石490 | II | B-18 | | 10.6 | 6.9 | 3.2 | 300.0 | 頁岩 | 基部欠損, H12報告書25 |
| 15 | 75 | 磨製石499 | III | B-7 | | 7.1 | 2.8 | 1.4 | 41.2 | ホルンフェルス | 基部欠損, H16報告書図版5-16 |
| 16 | 75 | 磨製石477 | IV | A-9 | | 5.7 | 4.7 | 1.5 | 59.3 | 砂岩 | 基部欠損 |
| 17 | 75 | 磨製石1 | - | A,B-4 | | 4.4 | 7.6 | 0.6 | 24.28 | 砂岩 | H16報告書図版5-19 |
| 18 | 75 | 石器22 | I-a | A-15 | IV | 7.1 | 7.6 | 2.4 | 150.0 | 安山岩 | H12報告書34 |
| 19 | 75 | 石器23 | I-b | A-15 | IV | 10.1 | 10.1 | 3.1 | 465.0 | 安山岩 | H12報告書33 |
| 20 | 75 | 石器20 | II | A-9 | IV | 4.4 | 3.2 | 2.3 | 42.9 | 砂岩 | 一部欠損, H16報告書図版5-20 |
| 21 | 77 | 脚石2 | I-a | B-5 | IV | 5.9 | 5.8 | 3.3 | 141.2 | 安山岩 | H16報告書図版7-1 |
| 22 | 77 | 脚石12 | IVc | A-12 | IV | 10.3 | 9.8 | 5.3 | 900.0 | 安山岩 | H12報告書30 |
| 23 | 77 | 脚石2 | I-a | B-16 | IV | 8.7 | 4.6 | 3.9 | 210.0 | 安山岩 | H16報告書図版7-2 |
| 24 | 77 | 脚石1 | Ib | A-11 | | 9.7 | 9.1 | 7.5 | 940.0 | 安山岩 | 一部欠損, H16報告書図版7-6 |
| 25 | 77 | 脚石102 | I-c | A-B-12 | IV | 6.50 | 10.80 | 6.00 | 600.00 | 砂岩 | 欠損品, H12報告書31 |
| 26 | 77 | 石器34 | IIIa | 一括 | | 13.9 | 20.1 | 10.0 | 3100.0 | 花崗岩 | 破片, H12報告書32 |
| 27 | 75 | 磨製石有孔石器1 | - | B-7 | IV | 6.70 | 2.10 | 2.10 | 42.20 | 安山岩 | 一部欠損, 磨製図版4-1 |
| 28 | 75 | 三角磨製石器1 | - | A-10 | IV | 4.50 | 5.80 | 5.10 | 172.50 | 砂岩 | 一部欠損, 磨製図版4-4 |
| 29 | 75 | 石刀1 | - | B-18 | | 11.7 | 4.1 | 1.0 | 69.30 | 頁岩 | 一部欠損 |
| 30 | 75 | 有孔石器1 | - | A-4 | IV | 5.3 | 2.1 | 0.5 | 10.64 | 頁岩 | 一部欠損, 磨製図版4-3 |
| 31 | 75 | 有孔石器2 | - | B-11 | IV | 1.9 | 1.5 | 0.5 | 1.78 | 頁岩 | 一部欠損, 磨製図版4-2 |
| 32 | 75 | 玉類1 | 円盤形玉 | B-19 | IV | 2.03 | 1.65 | 0.66 | 2.29 | 青銅 | 磨製図版4-1 |
| 33 | 75 | 玉類5 | 楕圓形玉 | 一括 | IV | 3.51 | 0.96 | 0.98 | 3.58 | 碧玉 | 磨製図版4-6 |
| 34 | 75 | 玉類8 | 楕圓形玉 | B-11 | IV | 2.65 | 0.77 | 0.34 | 1.28 | 青銅 | 磨製図版4-8 |
| 35 | 75 | 玉類9 | 小玉 | 一括 | IV | 1.71 | 0.63 | 0.52 | 0.67 | 磨製石 | 磨製図版4-9 |
| 36 | 75 | 玉類13 | 小玉 | E-11 | IV | 0.79 | 0.79 | 0.58 | 0.82 | 碧玉 | 磨製図版4-13 |
| 37 | 75 | 玉類15 | 小玉 | 一括 | IV | 0.56 | 0.56 | 0.16 | 0.09 | 磨製石 | 磨製図版4-15 |
| 38 | 75 | 玉類19 | 小丸状片状 | A-10 | IV | 5.38 | 0.47 | 0.47 | 2.01 | 砂岩 | 磨製図版4-19 |
| 39 | 75 | 玉類製品1 | - | A-10 | IV | 4.70 | 2.40 | 1.30 | 20.63 | 砂岩(磨製?) | 磨製図版4-20 |



第76図 柘原貝塚出土石器実測 (2)



第77图 柘原貝塚出土石器実測 (3)



第78图 柘原貝塚出土石器実測 (4)

第32表 柘原貝塚遺跡石器計測表(1)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|---------|--------|-------|---------|----|--------|-------|--------|--------|---------|-----|
| 71 | 石鏃 | I b | A-16 | IV | 2.32 | 2.33 | 1.06 | 6.00 | 瑪瑙 | |
| 石匙 | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| 8 | 石匙 | I | B-18 | IV | 3.57 | 5.54 | 0.39 | 20.98 | ハリ質安山岩 | 欠損品 |
| 9 | 石匙 | I | 一括 | | 3.71 | 3.25 | 1.37 | 10.81 | 玉髓 | 欠損品 |
| 10 | 石匙 | II | A-6 | IV | 3.57 | 3.03 | 0.69 | 8.69 | 瑪瑙 | 欠損品 |
| スクレイパー | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| 115 | スクレイパー | I | B-11 | IV | 4.80 | 1.90 | 0.51 | 4.38 | 黒曜石(廢品) | |
| 116 | スクレイパー | III | A-10 | IV | 11.00 | 5.00 | 0.53 | 53.80 | 安山岩 | |
| 117 | スクレイパー | III | A-13 | IV | 7.50 | 3.80 | 1.05 | 31.40 | 安山岩 | 欠損品 |
| 118 | スクレイパー | III | B-18 | IV | 6.80 | 5.80 | 0.89 | 63.60 | 安山岩 | 欠損品 |
| 剥片石器 | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| 444 | 剥片石器 | | A-5 | IV | 5.30 | 7.60 | 2.00 | 99.50 | 安山岩 | |
| 石核 | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| 2 | 石核 | | B-9 | IV | 5.62 | 4.78 | 37.86 | 170.00 | 鉄石英 | |
| 打製石斧(1) | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| 357 | 打製石斧 | I | A-7 | IV | 14.40 | 6.20 | 2.50 | 255.00 | 粘板岩 | |
| 358 | 打製石斧 | I | A-8 | IV | 12.30 | 7.30 | 1.50 | 195.00 | 頁岩 | |
| 359 | 打製石斧 | I | A-8 | IV | 10.20 | 7.90 | 2.27 | 290.00 | 粘板岩 | |
| 360 | 打製石斧 | I | A-9 | IV | 12.00 | 0.50 | 1.20 | 129.30 | 頁岩 | |
| 361 | 打製石斧 | I | A-9 | IV | 12.30 | 7.00 | 0.90 | 81.50 | 粘板岩 | |
| 362 | 打製石斧 | I | B-9 | IV | 13.40 | 6.50 | 1.60 | 360.00 | 粘板岩 | |
| 363 | 打製石斧 | I | A-10 | IV | 7.60 | 7.90 | 1.60 | 139.10 | 頁岩 | |
| 364 | 打製石斧 | I | A-10 | IV | 11.00 | 6.00 | 1.70 | 145.20 | 頁岩 | |
| 365 | 打製石斧 | I | A-10 | IV | 11.70 | 8.60 | 1.80 | 265.00 | 頁岩 | |
| 366 | 打製石斧 | I | A-17 | IV | 15.40 | 10.00 | 1.70 | 240.00 | 粘板岩 | |
| 367 | 打製石斧 | I | B-17 | IV | 11.30 | 5.50 | 0.80 | 61.75 | 粘板岩 | |
| 368 | 打製石斧 | I | B-17 | IV | 14.20 | 5.60 | 2.30 | 211.00 | 粘板岩 | |
| 369 | 打製石斧 | I | A-18 | IV | 10.50 | 9.80 | 1.00 | 200.00 | 粘板岩 | |
| 370 | 打製石斧 | I | B-18 | IV | 12.00 | 6.50 | 0.70 | 79.95 | 粘板岩 | |
| 371 | 打製石斧 | I | A-19 | IV | 7.50 | 5.80 | 1.20 | 77.00 | 頁岩 | |
| 372 | 打製石斧 | I | B-19 | IV | 15.70 | 11.20 | 1.80 | 340.00 | 粘板岩 | |
| 373 | 打製石斧 | I | B-19 | IV | 9.40 | 7.00 | 1.10 | 104.25 | 安山岩 | |
| 374 | 打製石斧 | I | 一括 | | 11.60 | 6.30 | 1.10 | 113.40 | 粘板岩 | |
| 375 | 打製石斧 | II | A-7 | IV | 13.40 | 5.40 | 1.40 | 141.60 | 頁岩 | |
| 376 | 打製石斧 | II | A-7 | IV | 22.30 | 9.30 | 1.80 | 410.00 | 粘板岩 | |
| 377 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 14.10 | 6.70 | 1.60 | 180.00 | 頁岩 | |
| 378 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 16.10 | 6.40 | 1.60 | 160.00 | 頁岩 | |
| 379 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 15.10 | 5.80 | 1.60 | 137.50 | 頁岩 | |
| 380 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 11.80 | 7.50 | 1.80 | 170.00 | 頁岩 | |
| 381 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 12.00 | 6.00 | 2.10 | 146.10 | 粘板岩 | |
| 382 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 13.50 | 2.50 | 1.10 | 147.20 | 粘板岩 | |
| 383 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 13.00 | 5.50 | 1.80 | 138.00 | 粘板岩 | |
| 384 | 打製石斧 | II | A-8 | IV | 9.00 | 5.50 | 1.10 | 95.00 | 頁岩 | |
| 385 | 打製石斧 | II | A-9 | IV | 16.00 | 5.70 | 1.60 | 150.00 | 頁岩 | |
| 386 | 打製石斧 | II | A-9 | IV | 15.00 | 6.10 | 2.00 | 170.00 | 頁岩 | |
| 387 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 6.50 | 5.50 | 1.20 | 57.14 | 粘板岩 | |
| 388 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 11.50 | 6.60 | 1.60 | 128.80 | 粘板岩 | |
| 389 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 12.20 | 6.50 | 1.30 | 111.85 | 粘板岩 | |
| 390 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 11.00 | 6.80 | 0.60 | 65.85 | 粘板岩 | |
| 391 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 12.90 | 5.90 | 1.90 | 150.00 | 粘板岩 | |
| 392 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 13.00 | 4.50 | 1.50 | 113.50 | 粘板岩 | |
| 393 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 12.60 | 6.00 | 1.20 | 137.50 | 頁岩 | |
| 394 | 打製石斧 | II | B-9 | IV | 6.20 | 4.50 | 1.50 | 58.60 | 頁岩 | |
| 395 | 打製石斧 | II | A-10 | IV | 11.00 | 6.90 | 2.00 | 150.00 | 頁岩 | |
| 396 | 打製石斧 | II | A-10 | IV | 15.00 | 5.50 | 1.70 | 152.00 | 頁岩 | |
| 397 | 打製石斧 | II | B-10 | IV | 13.00 | 6.00 | 1.40 | 117.25 | 頁岩 | |
| 398 | 打製石斧 | II | B-10 | IV | 7.10 | 5.00 | 2.00 | 150.00 | 頁岩 | |
| 399 | 打製石斧 | II | A-11 | IV | 12.50 | 7.30 | 1.40 | 170.00 | 頁岩 | |
| 400 | 打製石斧 | II | A-11 | IV | 13.00 | 5.00 | 2.00 | 143.00 | 頁岩 | |
| 401 | 打製石斧 | II | A-11 | IV | 11.10 | 5.50 | 1.10 | 118.85 | 頁岩 | |
| 402 | 打製石斧 | II | B-11 | IV | 12.50 | 7.30 | 1.80 | 190.00 | 頁岩 | |
| 403 | 打製石斧 | II | B-11 | IV | 9.70 | 6.00 | 2.20 | 150.00 | 頁岩 | |
| 404 | 打製石斧 | II | B-15・16 | IV | 11.80 | 7.00 | 2.20 | 195.00 | 粘板岩 | |
| 405 | 打製石斧 | II | A-16 | IV | 13.80 | 6.00 | 1.40 | 105.90 | 頁岩 | |
| 406 | 打製石斧 | II | A-16 | IV | 11.40 | 7.30 | 1.30 | 124.60 | 粘板岩 | |
| 407 | 打製石斧 | II | A-16 | IV | 11.60 | 6.20 | 1.30 | 96.75 | 粘板岩 | |
| 408 | 打製石斧 | II | A-16 | IV | 16.60 | 7.60 | 1.70 | 203.00 | 粘板岩 | |
| 409 | 打製石斧 | II | A-16 | IV | 11.60 | 7.00 | 0.90 | 119.25 | 頁岩 | |
| 410 | 打製石斧 | II | B-16 | IV | 12.20 | 6.50 | 2.00 | 160.00 | 粘板岩 | |
| 411 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 17.70 | 6.00 | 1.90 | 175.00 | 粘板岩 | |
| 412 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 11.30 | 4.90 | 1.00 | 97.80 | 粘板岩 | |
| 413 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 12.00 | 7.30 | 1.70 | 239.00 | 頁岩 | |
| 414 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 11.30 | 6.70 | 1.40 | 133.90 | 粘板岩 | |
| 415 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 13.00 | 6.90 | 1.90 | 202.00 | 粘板岩 | |

第33表 柘原貝塚遺跡石器計測表(2)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|------|-------|--------|----|--------|-------|--------|--------|-----|----|
| 416 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 12.00 | 6.30 | 1.70 | 160.00 | 頁岩 | |
| 417 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 14.80 | 8.80 | 1.70 | 210.00 | 粘板岩 | |
| 418 | 打製石斧 | II | A-17 | IV | 13.80 | 7.40 | 1.80 | 250.00 | 頁岩 | |
| 419 | 打製石斧 | II | B-17 | IV | 12.30 | 6.60 | 1.30 | 138.25 | 粘板岩 | |
| 420 | 打製石斧 | II | B-17 | IV | 12.50 | 4.80 | 1.00 | 81.00 | 粘板岩 | |
| 421 | 打製石斧 | II | B-17 | IV | 13.10 | 7.30 | 1.90 | 240.00 | 粘板岩 | |
| 422 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 16.10 | 8.20 | 1.80 | 205.00 | 頁岩 | |
| 423 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 14.60 | 8.00 | 1.70 | 24.50 | 頁岩 | |
| 424 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 11.00 | 6.50 | 1.60 | 165.00 | 安山岩 | |
| 425 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 16.10 | 7.90 | 1.50 | 172.00 | 粘板岩 | |
| 426 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 13.60 | 7.70 | 1.40 | 185.00 | 粘板岩 | |
| 427 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 13.40 | 7.10 | 1.10 | 124.50 | 粘板岩 | |
| 428 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 11.20 | 7.40 | 1.10 | 107.35 | 粘板岩 | |
| 429 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 12.90 | 3.60 | 1.00 | 53.12 | 頁岩 | |
| 430 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 6.50 | 6.10 | 0.90 | 48.00 | 粘板岩 | |
| 431 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 10.90 | 7.80 | 1.50 | 146.25 | 粘板岩 | |
| 432 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 7.60 | 7.50 | 1.00 | 81.40 | 粘板岩 | |
| 433 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 8.00 | 6.80 | 0.60 | 43.08 | 粘板岩 | |
| 434 | 打製石斧 | II | A-18 | IV | 13.00 | 6.40 | 1.70 | 175.00 | 粘板岩 | |
| 435 | 打製石斧 | II | A・B-18 | IV | 7.40 | 7.00 | 0.70 | 64.10 | 頁岩 | |
| 436 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 9.10 | 6.20 | 1.40 | 99.85 | 粘板岩 | |
| 437 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 15.60 | 8.90 | 2.60 | 350.00 | 粘板岩 | |
| 438 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 14.70 | 8.00 | 1.50 | 165.00 | 粘板岩 | |
| 439 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 11.90 | 6.20 | 1.10 | 96.10 | 粘板岩 | |
| 440 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 13.30 | 6.00 | 1.50 | 145.30 | 頁岩 | |
| 441 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 13.30 | 7.10 | 1.50 | 175.00 | 粘板岩 | |
| 442 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 12.60 | 8.80 | 2.00 | 230.00 | 粘板岩 | |
| 443 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 12.60 | 8.00 | 1.70 | 190.00 | 粘板岩 | |
| 444 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 11.80 | 6.80 | 0.90 | 96.65 | 粘板岩 | |
| 445 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 13.50 | 6.50 | 2.80 | 286.00 | 粘板岩 | |
| 446 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 16.00 | 5.50 | 1.90 | 220.00 | 粘板岩 | |
| 447 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 13.60 | 7.40 | 2.30 | 170.00 | 粘板岩 | |
| 448 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 13.10 | 7.20 | 0.80 | 139.90 | 粘板岩 | |
| 449 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 13.40 | 6.30 | 1.50 | 127.75 | 粘板岩 | |
| 450 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 10.90 | 4.50 | 1.40 | 100.80 | 粘板岩 | |
| 451 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 14.30 | 6.20 | 1.30 | 131.80 | 安山岩 | |
| 452 | 打製石斧 | II | B-18 | IV | 10.20 | 5.70 | 1.70 | 98.65 | 頁岩 | |
| 453 | 打製石斧 | II | B-19 | IV | 16.00 | 8.30 | 2.20 | 245.00 | 頁岩 | |
| 454 | 打製石斧 | II | B-19 | IV | 11.10 | 4.50 | 1.50 | 107.35 | 粘板岩 | |
| 455 | 打製石斧 | II | B-19 | IV | 13.50 | 7.40 | 1.60 | 183. | | |

第34表 松原貝塚遺跡石器計測表(3)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|------|-------|--------|----|--------|-------|--------|--------|-----|----|
| 495 | 打製石斧 | VI | A-17 | IV | 5.30 | 5.40 | 1.10 | 47.34 | 粘板岩 | |
| 496 | 打製石斧 | VI | A-17 | IV | 7.60 | 6.10 | 1.42 | 74.95 | 頁岩 | |
| 497 | 打製石斧 | VI | B-17 | IV | 9.90 | 6.00 | 1.24 | 82.70 | 頁岩 | |
| 498 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 7.90 | 5.00 | 1.00 | 38.02 | 粘板岩 | |
| 499 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 11.90 | 5.50 | 1.90 | 106.15 | 粘板岩 | |
| 500 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 6.50 | 7.10 | 1.13 | 70.25 | 粘板岩 | |
| 501 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 11.20 | 8.10 | 1.55 | 150.00 | 頁岩 | |
| 502 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 5.90 | 5.20 | 0.93 | 34.18 | 粘板岩 | |
| 503 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 7.40 | 5.80 | 1.29 | 73.70 | 頁岩 | |
| 504 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 12.40 | 5.30 | 1.05 | 86.89 | 粘板岩 | |
| 505 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 10.60 | 6.20 | 1.04 | 102.70 | 粘板岩 | |
| 506 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 11.10 | 4.90 | 1.10 | 56.70 | 粘板岩 | |
| 507 | 打製石斧 | VI | A-18 | IV | 8.40 | 7.90 | 1.05 | 96.15 | 粘板岩 | |
| 508 | 打製石斧 | VI | A・B-18 | IV | 5.90 | 6.00 | 1.10 | 58.52 | 粘板岩 | |
| 509 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 10.50 | 5.50 | 1.40 | 80.50 | 粘板岩 | |
| 510 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 9.90 | 6.30 | 1.75 | 112.25 | 粘板岩 | |
| 511 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 10.60 | 7.10 | 1.01 | 94.45 | 粘板岩 | |
| 512 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 6.70 | 6.70 | 1.12 | 81.60 | 粘板岩 | |
| 513 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 7.60 | 6.60 | 0.98 | 63.50 | 粘板岩 | |
| 514 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 7.90 | 5.10 | 0.97 | 41.60 | 粘板岩 | |
| 515 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 10.70 | 6.70 | 1.94 | 122.70 | 粘板岩 | |
| 516 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 6.50 | 5.30 | 1.41 | 42.95 | 粘板岩 | |
| 517 | 打製石斧 | VI | B-18 | IV | 11.50 | 8.60 | 1.36 | 114.05 | 粘板岩 | |
| 518 | 打製石斧 | VI | B-19 | IV | 11.80 | 7.40 | 1.06 | 120.00 | 頁岩 | |
| 519 | 打製石斧 | VI | B-19 | IV | 6.90 | 7.20 | 1.14 | 86.40 | 安山岩 | |
| 520 | 打製石斧 | VI | B-19 | IV | 13.50 | 7.80 | 0.79 | 147.25 | 頁岩 | |
| 521 | 打製石斧 | VI | 一括 | IV | 8.60 | 6.80 | 1.60 | 127.15 | 頁岩 | |

磨製石斧

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|------|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|---------|
| 151 | 磨製石斧 | I | A-8 | IV | 13.50 | 5.20 | 3.00 | 270.00 | 粘板岩 | |
| 152 | 磨製石斧 | I | A-8 | IV | 7.70 | 5.20 | 3.37 | 160.00 | 粘板岩 | |
| 153 | 磨製石斧 | I | A-8 | IV | 13.20 | 6.10 | 2.40 | 241.00 | 粘板岩 | |
| 154 | 磨製石斧 | I | A-10 | IV | 12.30 | 2.40 | 2.77 | 95.70 | 頁岩 | |
| 155 | 磨製石斧 | I | B-11 | IV | 13.40 | 5.80 | 1.94 | 180.00 | 頁岩 | |
| 156 | 磨製石斧 | I | B-11 | IV | 11.90 | 5.80 | 2.71 | 240.00 | 粘板岩 | |
| 157 | 磨製石斧 | I | A-17 | IV | 14.90 | 5.30 | 2.07 | 210.00 | 砂岩 | |
| 158 | 磨製石斧 | I | A-17 | IV | 14.80 | 4.60 | 3.76 | 370.00 | 頁岩 | H12報告26 |
| 159 | 磨製石斧 | I | A-17 | IV | 8.40 | 5.00 | 2.30 | 120.20 | 粘板岩 | |
| 160 | 磨製石斧 | I | B-19 | IV | 8.40 | 4.80 | 1.69 | 85.65 | 粘板岩 | |
| 161 | 磨製石斧 | I | B-19 | IV | 12.60 | 5.10 | 2.88 | 240.00 | 頁岩 | |
| 162 | 磨製石斧 | II | A-7 | IV | 9.10 | 5.85 | 3.15 | 310.00 | 頁岩 | H12報告24 |
| 163 | 磨製石斧 | II | A-7 | IV | 7.20 | 5.60 | 1.78 | 91.35 | 頁岩 | |
| 164 | 磨製石斧 | II | A-11 | IV | 7.80 | 5.30 | 1.83 | 110.50 | 頁岩 | |
| 165 | 磨製石斧 | III | A-10 | IV | 5.70 | 3.20 | 1.14 | 29.16 | 頁岩 | |
| 166 | 磨製石斧 | III | A-17 | IV | 8.00 | 2.80 | 1.10 | 37.60 | 頁岩 | |
| 167 | 磨製石斧 | IV | A-9 | IV | 9.30 | 4.00 | 1.46 | 84.35 | 安山岩 | |
| 168 | 磨製石斧 | IV | B-10 | IV | 5.80 | 3.60 | 1.14 | 46.50 | 安山岩 | |
| 169 | 磨製石斧 | IV | B-11 | IV | 5.00 | 3.50 | 8.65 | 25.84 | 頁岩 | H12報告27 |
| 170 | 磨製石斧 | IV | B-11 | IV | 8.70 | 3.80 | 1.14 | 70.75 | 頁岩 | |
| 171 | 磨製石斧 | VI | A-16 | IV | 9.20 | 4.80 | 3.36 | 220.50 | 粘板岩 | |

磨製石器

| | | | | | | | | | | |
|---|------|--|------|----|------|------|------|-------|-----|--|
| 4 | 磨製石器 | | A-9 | IV | 9.40 | 5.20 | 0.06 | 39.70 | 粘板岩 | |
| 5 | 磨製石器 | | A-16 | IV | 8.90 | 5.30 | 0.60 | 41.92 | 頁岩 | |
| 6 | 磨製石器 | | B-18 | IV | 8.50 | 3.50 | 0.40 | 20.43 | 粘板岩 | |

擦切石器

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|------|-------|------|----|--------|-------|--------|-------|-----|-----|
| 5 | 擦切石器 | - | B-10 | IV | 4.20 | 3.00 | 0.38 | 8.79 | 砂岩 | 欠損品 |
| 6 | 擦切石器 | - | A-17 | IV | 6.30 | 4.10 | 0.50 | 29.88 | 砂岩 | |
| 7 | 擦切石器 | - | 一括 | | 6.90 | 4.10 | 0.58 | 24.50 | 粘板岩 | 欠損品 |

石鏃

| | | | | | | | | | | |
|---------|----|-----|-----|----|------|------|-------|--------|----|-----|
| 3179.10 | | | | | | | | | | |
| 24 | 石鏃 | I b | A-6 | IV | 9.40 | 8.00 | 21.67 | 220.00 | 頁岩 | 欠損品 |

凹石(1)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|----|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 43 | 凹石 | I a | A-9 | IV | 5.5 | 8.2 | 4.2 | 250.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 44 | 凹石 | I c | B-19 | IV | 6.3 | 4.8 | 3.5 | 200.0 | 安山岩 | |
| 45 | 凹石 | II b | B-5 | IV | 6.5 | 9.5 | 5.0 | 500.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 46 | 凹石 | II b | B-11 | IV | 11.5 | 14.7 | 4.8 | 1200.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 47 | 凹石 | IV b | B-7 | IV | 9.4 | 5.0 | 3.6 | 300.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 48 | 凹石 | IV b | B-8 | IV | 7.6 | 6.5 | 3.2 | 175.0 | 安山岩 | |
| 49 | 凹石 | IV b | A-10 | IV | 11.5 | 11.2 | 7.2 | 1350.0 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 50 | 凹石 | IV b | A-17 | IV | 6.9 | 6.1 | 2.4 | 125.0 | 頁岩 | |
| 51 | 凹石 | IV b | A-18 | IV | 12.2 | 10.5 | 6.0 | 930.0 | 凝灰岩 | |
| 52 | 凹石 | IV b | B-18 | IV | 7.1 | 11.6 | 5.7 | 690.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 53 | 凹石 | IV b | A-19 | IV | 7.5 | 6.4 | 3.0 | 180.0 | 安山岩 | |
| 54 | 凹石 | IV c | A-6 | IV | 9.3 | 7.8 | 3.4 | 400.0 | 安山岩 | |
| 55 | 凹石 | IV c | B-8 | IV | 8.3 | 8.0 | 4.5 | 295.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 56 | 凹石 | IV c | B-8 | IV | 10.0 | 9.1 | 4.3 | 570.0 | 安山岩 | |
| 57 | 凹石 | IV c | A-9 | IV | 10.7 | 9.2 | 4.6 | 800.0 | 安山岩 | |

第35表 松原貝塚遺跡石器計測表(4)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|----|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 58 | 凹石 | IV c | A-9 | IV | 11.8 | 9.0 | 4.6 | 930.0 | 安山岩 | |
| 59 | 凹石 | IV c | A-9 | IV | 10.8 | 16.4 | 3.8 | 920.0 | 安山岩 | |
| 60 | 凹石 | IV c | A-9 | IV | 12.7 | 10.1 | 4.7 | 1070.0 | 安山岩 | |
| 61 | 凹石 | IV c | B-9 | IV | 10.4 | 10.7 | 5.0 | 1010.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 62 | 凹石 | IV c | A-10 | IV | 11.1 | 8.7 | 4.5 | 750.0 | 安山岩 | |
| 63 | 凹石 | IV c | A-10 | IV | 5.2 | 4.6 | 2.8 | 100.0 | 安山岩 | |
| 64 | 凹石 | IV c | A-10 | IV | 11.5 | 8.8 | 4.2 | 780.0 | 安山岩 | |
| 65 | 凹石 | IV c | A-10 | IV | 10.3 | 10.8 | 7.0 | 1090.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 66 | 凹石 | IV c | B-10 | IV | 12.9 | 10.2 | 5.0 | 1120.0 | 安山岩 | |
| 67 | 凹石 | IV c | A-11 | IV | 11.3 | 10.5 | 5.6 | 1000.0 | 安山岩 | |
| 68 | 凹石 | IV c | A-11 | IV | 14.0 | 11.5 | 8.5 | 2170.0 | 安山岩 | |
| 69 | 凹石 | IV c | A-11 | IV | 13.0 | 11.0 | 8.0 | 1820.0 | 凝灰岩 | |
| 70 | 凹石 | IV c | A-11 | IV | 14.5 | 12.0 | 9.3 | 2500.0 | 安山岩 | |
| 71 | 凹石 | IV c | A-11 | IV | 10.4 | 7.4 | 5.5 | 600.0 | 花崗岩 | |
| 72 | 凹石 | IV c | A-12 | IV | 10.3 | 9.8 | 5.3 | 900.0 | 安山岩 | |
| 73 | 凹石 | IV c | A-17 | IV | 12.2 | 10.1 | 4.9 | 1150.0 | 安山岩 | |
| 74 | 凹石 | IV c | B-17 | IV | 13.3 | 10.5 | 4.4 | 850.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 75 | 凹石 | IV c | B-18 | IV | 11.5 | 9.2 | 7.4 | 1120.0 | 安山岩 | |
| 76 | 凹石 | IV c | B-19 | IV | 7.8 | 7.2 | 2.7 | 250.0 | 安山岩 | |
| 77 | 凹石 | IV c | B-19 | IV | 9.3 | 8.3 | 3.8 | 600.0 | 安山岩 | 欠損品 |
| 78 | 凹石 | IV c | 一括 | IV | 12.3 | 9.9 | 4.0 | 585.0 | 凝灰岩 | |

敲石(1)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|------|----|--------|-------|--------|---------|-----|-----|
| 70 | 敲石 | I a | B-4 | IV | 5.20 | 7.50 | 7.00 | 320.00 | 黒曜岩 | 欠損品 |
| 71 | 敲石 | I a | A-6 | IV | 4.80 | 6.00 | 4.00 | 130.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 72 | 敲石 | I a | A-6 | IV | 5.00 | 5.30 | 4.50 | 130.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 73 | 敲石 | I a | A-6 | IV | 6.80 | 5.60 | 3.20 | 285.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 74 | 敲石 | I a | B-8 | IV | 8.70 | 7.30 | 3.80 | 315.00 | 凝灰岩 | |
| 75 | 敲石 | I a | B-9 | IV | 7.20 | 5.80 | 3.30 | 120.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 76 | 敲石 | I a | A-10 | IV | 7.40 | 6.80 | 5.80 | 360.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 77 | 敲石 | I a | A-10 | IV | 11.00 | 6.00 | 5.20 | 525.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 78 | 敲石 | I a | B-10 | IV | 8.70 | 6.00 | 6.00 | 420.00 | 砂岩 | |
| 79 | 敲石 | I a | B-11 | IV | 9.40 | 6.80 | 3.80 | 300.00 | 安山岩 | |
| 80 | 敲石 | I a | B-11 | IV | 6.90 | 4.80 | 3.70 | 100.00 | 安山岩 | |
| 81 | 敲石 | I a | B-11 | IV | 11.80 | 7.10 | 5.60 | 500.00 | 黒曜岩 | |
| 82 | 敲石 | I a | B-17 | IV | 13.40 | 6.80 | 5.30 | 780.00 | 砂岩 | |
| 83 | 敲石 | I a | B-17 | IV | 5.20 | 6.20 | 3.30 | 155.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 84 | 敲石 | I b | B-9 | IV | 11.00 | 6.50 | 6.30 | 550.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 85 | 敲石 | I b | B-10 | IV | 12.10 | 5.70 | 5.50 | 620.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 86 | 敲石 | I c | A-4 | IV | 11.20 | 5.10 | 4.30 | 425.00 | 砂岩 | |
| 87 | 敲石 | I c | A-9 | IV | 7.00 | 4.70 | 3.80 | 175.00 | 安山岩 | |
| 88 | 敲石 | I c | A-10 | IV | 9.40 | 5.80 | 5.20 | 420.00 | 花崗岩 | |
| 89 | 敲石 | I c | A-10 | IV | 9.20 | 7.30 | 6.20 | 555.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 90 | 敲石 | I c | B-11 | IV | 7.20 | 6.20 | 5.00 | 235.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 91 | 敲石 | I c | B-17 | IV | 18.40 | 7.40 | 6.30 | 1180.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 92 | 敲石 | II a | B-9 | IV | 6.40 | 6.00 | 4.80 | 280.00 | 安山岩 | |
| 93 | 敲石 | II a | B-9 | IV | 5.70 | 10.20 | 7.20 | 580.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 94 | 敲石 | II a | B-10 | IV | 5.80 | 4.80 | 4.50 | 180.00 | 黒曜岩 | |
| 95 | 敲石 | II a | B-10 | IV | 4.50 | 10.10 | 6.60 | 38.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 96 | 敲石 | II a | A-11 | IV | 9.50 | 7.30 | 7.00 | 750.00 | 花崗岩 | |
| 97 | 敲石 | II a | A-11 | IV | 10.50 | 8.90 | 6.00 | 880.00 | 安山岩 | |
| 98 | 敲石 | II a | B-11 | IV | 11.50 | 8.80 | 6.40 | 780.00 | 凝灰岩 | |
| 99 | 敲石 | II b | A-5 | IV | 7.60 | 6.60 | 4.00 | 300.00 | 砂岩 | |
| 100 | 敲石 | II b | A-6 | IV | 6.00 | 5.60 | 6.70 | 300.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 101 | 敲石 | II b | B-7 | IV | 5.00 | | | | | |

第36表 松原貝塚遺跡石器計測表(5)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|---------|----|--------|-------|--------|---------|-----|-----|
| 126 | 敲石 | II d | A-9 | IV | 12.50 | 8.80 | 10.00 | 1565.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 127 | 敲石 | II d | B-9 | IV | 8.70 | 7.20 | 8.50 | 620.00 | 黒曜岩 | 欠損品 |
| 128 | 敲石 | II d | B-9 | IV | 7.90 | 7.30 | 3.80 | 230.00 | 安山岩 | |
| 129 | 敲石 | II d | A-10 | IV | 11.60 | 6.50 | 7.20 | 600.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 130 | 敲石 | II d | A-10 | IV | 6.20 | 5.00 | 5.00 | 160.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 131 | 敲石 | II d | B-10 | IV | 10.70 | 10.00 | 5.00 | 710.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 132 | 敲石 | II d | B-10 | IV | 12.20 | 11.50 | 6.40 | 1110.00 | 花崗岩 | |
| 133 | 敲石 | II d | A-11 | IV | 6.50 | 10.20 | 6.80 | 530.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 134 | 敲石 | II d | B-11 | IV | 10.80 | 6.60 | 7.70 | 585.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 135 | 敲石 | II d | B-11 | IV | 13.70 | 7.80 | 8.00 | 1280.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 136 | 敲石 | II d | B-13 | IV | 6.70 | 7.70 | 6.80 | 230.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 137 | 敲石 | II d | A-16 | IV | 5.50 | 5.40 | 3.50 | 130.00 | 砂岩 | |
| 138 | 敲石 | II d | A・B-16 | IV | 6.20 | 4.80 | 4.60 | 160.00 | 安山岩 | |
| 139 | 敲石 | II d | B-17 | IV | 10.80 | 9.30 | 5.90 | 770.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 140 | 敲石 | II d | A-18 | IV | 6.80 | 5.90 | 4.40 | 210.00 | 花崗岩 | |
| 141 | 敲石 | II d | A-18 | IV | 11.20 | 10.80 | 5.60 | 840.00 | 安山岩 | |
| 142 | 敲石 | II d | B-18 | IV | 11.80 | 10.40 | 8.30 | 1360.00 | 花崗岩 | |
| 143 | 敲石 | II d | B-18 | IV | 7.80 | 7.00 | 4.80 | 320.00 | 安山岩 | |
| 144 | 敲石 | II d | B-18 | IV | 4.30 | 6.30 | 3.50 | 110.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 145 | 敲石 | II d | B-19 | IV | 9.00 | 7.70 | 3.80 | 290.00 | 安山岩 | |
| 146 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 11.20 | 9.30 | 7.30 | 975.00 | 花崗岩 | |
| 147 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 7.00 | 6.70 | 4.20 | 295.00 | 安山岩 | |
| 148 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 5.50 | 4.50 | 4.20 | 150.00 | 安山岩 | |
| 149 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 6.50 | 4.70 | 3.80 | 130.00 | 安山岩 | |
| 150 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 12.80 | 9.20 | 6.00 | 740.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 151 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 8.20 | 11.20 | 7.00 | 700.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 152 | 敲石 | II d | 一括 | IV | 5.90 | 4.80 | 2.80 | 110.00 | 花崗岩 | |
| 153 | 敲石 | III a | B-1 | IV | 6.30 | 11.30 | 5.00 | 450.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 154 | 敲石 | III a | B-9 | IV | 10.30 | 9.20 | 3.50 | 590.00 | 安山岩 | |
| 155 | 敲石 | III a | A-10 | IV | 14.50 | 11.80 | 6.60 | 1510.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 156 | 敲石 | III a | A・B-12 | IV | 9.80 | 10.30 | 6.50 | 80.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 157 | 敲石 | III b | B-4 | IV | 7.80 | 3.10 | 3.70 | 130.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 158 | 敲石 | III b | A-6 | IV | 4.80 | 7.60 | 3.50 | 190.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 159 | 敲石 | III b | A-6 | IV | 12.00 | 4.00 | 6.50 | 470.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 160 | 敲石 | III b | A-6 | IV | 10.70 | 9.00 | 4.50 | 860.00 | 安山岩 | |
| 161 | 敲石 | III b | A-7 | IV | 7.00 | 10.20 | 5.00 | 650.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 162 | 敲石 | III b | B-7 | IV | 9.60 | 5.30 | 4.20 | 350.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 163 | 敲石 | III b | A-10 | IV | 8.20 | 14.50 | 8.70 | 1650.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 164 | 敲石 | III b | B-10 | IV | 4.20 | 6.80 | 3.80 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 165 | 敲石 | III b | B-10 | IV | 7.20 | 10.00 | 4.80 | 600.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 166 | 敲石 | III b | B-10 | IV | 13.00 | 10.00 | 4.20 | 1010.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 167 | 敲石 | III b | B-10 | IV | 3.20 | 9.60 | 3.70 | 160.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 168 | 敲石 | III b | A-11 | IV | 18.10 | 10.50 | 4.50 | 1560.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 169 | 敲石 | III b | A・B-11 | IV | 8.20 | 9.60 | 6.60 | 910.00 | 花崗岩 | |
| 170 | 敲石 | III b | B-11 | IV | 5.50 | 10.50 | 3.70 | 600.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 171 | 敲石 | III b | A-12 | IV | 7.20 | 6.00 | 4.50 | 260.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 172 | 敲石 | III b | A・B-12 | IV | 7.20 | 9.20 | 4.60 | 450.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 173 | 敲石 | III b | A・B-12 | IV | 6.50 | 5.60 | 5.00 | 370.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 174 | 敲石 | III b | B-15・16 | IV | 7.90 | 10.50 | 6.50 | 840.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 175 | 敲石 | III b | A-16 | IV | 11.70 | 5.50 | 4.50 | 510.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 176 | 敲石 | III b | A-18 | IV | 11.30 | 5.70 | 5.40 | 540.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 177 | 敲石 | III b | A-18 | IV | 13.60 | 11.10 | 6.40 | 1560.00 | 花崗岩 | |
| 178 | 敲石 | III b | B-18 | IV | 9.80 | 7.80 | 2.50 | 410.00 | 安山岩 | |
| 179 | 敲石 | III b | B-19 | IV | 8.40 | 10.00 | 5.50 | 750.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 180 | 敲石 | III b | 一括 | IV | 9.00 | 7.10 | 3.80 | 440.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 181 | 敲石 | III c | A・B-7 | IV | 8.00 | 9.50 | 4.80 | 470.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 182 | 敲石 | III c | B-7 | IV | 11.70 | 10.40 | 5.00 | 625.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 183 | 敲石 | III c | B-9 | IV | 9.30 | 9.30 | 4.80 | 720.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 184 | 敲石 | III c | A-18 | IV | 7.00 | 9.70 | 6.60 | 335.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 185 | 敲石 | III c | A-18 | IV | 11.30 | 6.70 | 6.50 | 600.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 186 | 敲石 | III c | B-18 | IV | 11.40 | 9.50 | 5.00 | 750.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 187 | 敲石 | III c | 一括 | IV | 7.50 | 9.80 | 3.80 | 370.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 188 | 敲石 | III d | B-4 | IV | 5.70 | 9.20 | 4.80 | 265.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 189 | 敲石 | III d | A-5 | IV | 7.10 | 9.50 | 4.60 | 490.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 190 | 敲石 | III d | B-5 | IV | 9.70 | 7.80 | 3.30 | 360.00 | 安山岩 | |
| 191 | 敲石 | III d | B-5 | IV | 11.00 | 8.70 | 3.90 | 485.00 | 安山岩 | |
| 192 | 敲石 | III d | B-5 | IV | 8.70 | 7.20 | 3.90 | 430.00 | 安山岩 | |
| 193 | 敲石 | III d | B-5 | IV | 7.40 | 6.80 | 3.50 | 250.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 194 | 敲石 | III d | B-5 | IV | 5.00 | 9.00 | 4.50 | 320.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 195 | 敲石 | III d | B-5 | IV | 11.00 | 8.30 | 5.10 | 612.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 196 | 敲石 | III d | A-6 | IV | 7.50 | 7.00 | 3.40 | 220.00 | 安山岩 | |
| 197 | 敲石 | III d | A-6 | IV | 6.00 | 9.50 | 5.90 | 450.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 198 | 敲石 | III d | B-6 | IV | 8.50 | 12.30 | 4.70 | 415.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 199 | 敲石 | III d | B-6 | IV | 7.00 | 8.50 | 7.00 | 980.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 200 | 敲石 | III d | B-6 | IV | 4.50 | 5.90 | 4.70 | 490.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 201 | 敲石 | III d | A-7 | IV | 12.30 | 15.30 | 4.90 | 1360.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 202 | 敲石 | III d | A-7 | IV | 8.80 | 9.30 | 3.70 | 370.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 203 | 敲石 | III d | A-7 | IV | 6.80 | 11.80 | 4.60 | 520.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 204 | 敲石 | III d | A-7 | IV | 10.00 | 7.80 | 3.20 | 370.00 | 安山岩 | |

第37表 松原貝塚遺跡石器計測表(C)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|--------|----|--------|-------|--------|---------|-----|------|
| 205 | 敲石 | III d | A-7 | IV | 6.50 | 9.70 | 3.80 | 460.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 206 | 敲石 | III d | B-7 | IV | 7.80 | 11.30 | 5.20 | 790.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 207 | 敲石 | III d | A-8 | IV | 7.10 | 10.60 | 7.00 | 760.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 208 | 敲石 | III d | A-8 | IV | 5.80 | 8.40 | 5.50 | 310.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 209 | 敲石 | III d | B-8 | IV | 13.00 | 11.50 | 4.70 | 1095.00 | 安山岩 | |
| 210 | 敲石 | III d | B-8 | IV | 6.30 | 5.00 | 5.00 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 211 | 敲石 | III d | B-8 | IV | 3.10 | 7.50 | 3.80 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 212 | 敲石 | III d | B-8 | IV | 5.10 | 9.00 | 5.00 | 530.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 213 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 10.40 | 9.30 | 5.70 | 770.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 214 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 11.20 | 8.80 | 4.80 | 815.00 | 安山岩 | |
| 215 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 6.80 | 10.70 | 5.40 | 435.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 216 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 13.30 | 9.00 | 5.10 | 1040.00 | 安山岩 | |
| 217 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 5.70 | 12.50 | 4.80 | 500.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 218 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 3.90 | 9.40 | 5.00 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 219 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 8.90 | 7.80 | 5.50 | 540.00 | 安山岩 | |
| 220 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 9.80 | 6.70 | 3.90 | 480.00 | 砂岩 | |
| 221 | 敲石 | III d | A-9 | IV | 12.00 | 9.00 | 4.50 | 930.00 | 安山岩 | |
| 222 | 敲石 | III d | A・B-9 | IV | 11.30 | 8.50 | 4.20 | 640.00 | 安山岩 | |
| 223 | 敲石 | III d | B-9 | IV | 7.80 | 9.70 | 7.80 | 950.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 224 | 敲石 | III d | B-9 | IV | 10.90 | 6.00 | 5.00 | 385.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 225 | 敲石 | III d | B-9 | IV | 9.70 | 7.30 | 2.90 | 480.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 226 | 敲石 | III d | B-9 | IV | 12.30 | 9.40 | 5.20 | 1200.00 | 花崗岩 | |
| 227 | 敲石 | III d | A-10 | IV | 7.30 | 6.40 | 2.60 | 165.00 | 安山岩 | |
| 228 | 敲石 | III d | A-10 | IV | 17.50 | 6.60 | 4.70 | 690.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 229 | 敲石 | III d | A-10 | IV | 8.40 | 11.00 | 4.00 | 500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 230 | 敲石 | III d | A-10 | IV | 7.30 | 10.30 | 5.20 | 650.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 231 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 6.50 | 8.50 | 4.50 | 220.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 232 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 6.40 | 10.30 | 5.70 | 575.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 233 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 6.30 | 10.50 | 5.40 | 465.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 234 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 7.00 | 11.80 | 8.50 | 980.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 235 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 9.20 | 4.00 | 6.20 | 325.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 236 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 6.80 | 11.00 | 5.00 | 570.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 237 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 5.60 | 10.50 | 5.20 | 500.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 238 | 敲石 | III d | B-10 | IV | 10.40 | 9.50 | 4.80 | 850.00 | 安山岩 | |
| 239 | 敲石 | III d | A-11 | IV | 8.50 | 9.50 | 3.80 | 460.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 240 | 敲石 | III d | A-11 | IV | 11.90 | 6.50 | 4.90 | 400.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 241 | 敲石 | III d | A-11 | IV | 11.60 | 10.00 | 5.00 | 610.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 242 | 敲石 | III d | A-11 | IV | 6.50 | 6.00 | 2.40 | 170.00 | 花崗岩 | 一部欠損 |
| 243 | 敲石 | III d | B-11 | IV | 6.20 | 3.70 | 3.80 | 85.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 244 | 敲石 | III d | B-11 | IV | 14.20 | 13.30 | 6.80 | 1800.00 | 安山岩 | |
| 245 | 敲石 | III d | B-11 | IV | 7.40 | 6.70 | 4.40 | 335.00 | 安山岩 | |
| 246 | 敲石 | III d | B-11 | IV | 3.50 | 9.50 | 5.40 | 230.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 247 | 敲石 | III d | B-11 | IV | 3.90 | 8.90 | 5.40 | 320.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 248 | 敲石 | III d | A-12 | IV | 8.20 | 2.70 | 4.20 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 249 | 敲石 | III d | A・B-12 | IV | 9.70 | 10.30 | 4.80 | 740.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 250 | 敲石 | III d | A・B-12 | IV | 10.50 | 6.70 | 4.00 | 380.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 251 | 敲石 | III d | B-12 | IV | 6.00 | 9.10 | 6.30 | 340.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 252 | 敲石 | III d | B-12 | IV | 7.40 | 9.30 | 4.30 | 530.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 253 | | | | | | | | | | |

第38表 終原貝塚遺跡石器計測表(7)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|--------|----|--------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 284 | 敲石 | IVd | A・B-12 | IV | 72.00 | 10.00 | 2.50 | 320.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 285 | 敲石 | IVd | A・B-12 | IV | 5.00 | 7.70 | 2.00 | 125.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 286 | 敲石 | IVd | A-17 | IV | 6.50 | 5.90 | 2.50 | 120.00 | 花崗岩 | |
| 287 | 敲石 | IVd | A-17 | IV | 4.70 | 4.50 | 1.50 | 50.00 | 安山岩 | |
| 288 | 敲石 | IVd | A-17 | IV | 6.00 | 5.20 | 2.00 | 90.00 | 砂岩 | |
| 289 | 敲石 | IVd | A-17 | IV | 5.40 | 4.90 | 1.80 | 100.00 | 安山岩 | |
| 290 | 敲石 | IVd | B-17 | IV | 4.50 | 4.30 | 2.40 | 70.00 | 砂岩 | |
| 291 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 5.30 | 5.00 | 2.30 | 90.00 | 砂岩 | |
| 292 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 6.50 | 6.00 | 2.30 | 130.00 | 砂岩 | |
| 293 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 5.60 | 5.50 | 1.90 | 100.00 | 花崗岩 | |
| 294 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 5.60 | 4.80 | 1.40 | 60.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 295 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 5.70 | 4.90 | 2.00 | 70.00 | 砂岩 | |
| 296 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 6.90 | 6.20 | 2.70 | 160.00 | 安山岩 | |
| 297 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 7.10 | 6.80 | 1.90 | 125.00 | 安山岩 | |
| 298 | 敲石 | IVd | A-18 | IV | 6.80 | 6.00 | 2.10 | 110.00 | 砂岩 | |
| 299 | 敲石 | IVd | A・B-18 | IV | 5.30 | 4.70 | 2.50 | 80.00 | 砂岩 | |
| 300 | 敲石 | IVd | B-18 | IV | 6.70 | 5.80 | 2.00 | 120.00 | 砂岩 | |
| 301 | 敲石 | IVd | B-18 | IV | 5.50 | 4.50 | 2.10 | 75.00 | 安山岩 | |
| 302 | 敲石 | IVd | B-18 | IV | 6.00 | 4.40 | 2.40 | 105.00 | 砂岩 | |
| 303 | 敲石 | IVd | B-18 | IV | 6.90 | 5.80 | 2.50 | 110.00 | 凝灰岩 | |
| 304 | 敲石 | IVd | 一括 | IV | 3.80 | 5.30 | 1.90 | 80.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 305 | 敲石 | IVd | 一括 | IV | 5.90 | 5.20 | 2.50 | 100.00 | 砂岩 | |

磨石(1)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|---------|----|--------|-------|--------|---------|---------|------|
| 92 | 磨石 | Ia | A6 | IV | 6.60 | 11.60 | 6.00 | 620.00 | 花崗岩 | |
| 93 | 磨石 | Ia | B-6 | IV | 6.80 | 5.60 | 2.50 | 130.00 | 砂岩 | |
| 94 | 磨石 | Ia | A-7 | IV | 8.20 | 7.20 | 3.40 | 185.00 | 凝灰岩 | |
| 95 | 磨石 | Ia | B-8 | IV | 9.00 | 7.40 | 4.80 | 450.00 | 花崗岩 | |
| 96 | 磨石 | Ia | B-9 | IV | 13.00 | 12.40 | 5.00 | 1230.00 | 砂岩 | |
| 97 | 磨石 | Ia | A-10 | IV | 10.30 | 16.00 | 5.00 | 870.00 | 安山岩 | |
| 98 | 磨石 | Ia | A-10 | IV | 6.70 | 6.40 | 2.80 | 130.00 | 安山岩 | |
| 99 | 磨石 | Ia | B-10 | IV | 7.00 | 5.90 | 3.50 | 180.00 | 安山岩 | |
| 100 | 磨石 | Ia | A-11 | IV | 10.70 | 5.00 | 4.90 | 410.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 101 | 磨石 | Ia | A-17 | IV | 6.90 | 6.00 | 2.60 | 150.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 102 | 磨石 | Ia | A-18 | IV | 6.10 | 4.80 | 2.90 | 165.00 | 安山岩 | |
| 103 | 磨石 | Ia | A-18 | IV | 7.00 | 5.90 | 3.40 | 200.00 | 砂岩 | |
| 104 | 磨石 | Ia | A-19 | IV | 6.60 | 6.10 | 2.90 | 155.00 | 砂岩 | |
| 105 | 磨石 | Ia | B-19 | IV | 6.70 | 5.50 | 2.90 | 140.00 | 安山岩 | |
| 106 | 磨石 | Ia | 一括 | IV | 6.30 | 6.00 | 3.10 | 120.00 | 凝灰岩 | |
| 107 | 磨石 | Ib | A-6 | IV | 6.40 | 6.00 | 4.30 | 175.00 | ホルンフェルス | 欠損品 |
| 108 | 磨石 | Ib | B-6 | IV | 7.10 | 4.40 | 5.30 | 160.00 | 安山岩 | |
| 109 | 磨石 | Ib | A-7 | IV | 5.10 | 6.10 | 4.10 | 190.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 110 | 磨石 | Ib | A-10 | IV | 7.40 | 6.20 | 3.40 | 170.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 111 | 磨石 | Ib | A-11 | IV | 7.30 | 8.40 | 6.10 | 518.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 112 | 磨石 | Ib | A-11 | IV | 7.20 | 6.20 | 3.80 | 220.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 113 | 磨石 | Ib | A-13 | IV | 6.70 | 4.60 | 3.50 | 153.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 114 | 磨石 | Ib | B-14 | IV | 13.40 | 8.70 | 5.20 | 480.00 | 凝灰岩 | 一部欠損 |
| 115 | 磨石 | Ib | B-17 | IV | 7.10 | 8.10 | 4.80 | 270.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 116 | 磨石 | Ib | 一括 | IV | 4.20 | 4.50 | 3.00 | 70.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 117 | 磨石 | Ib | 一括 | IV | 10.60 | 8.00 | 4.20 | 380.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 118 | 磨石 | Ic | A・B-4・5 | IV | 4.50 | 4.20 | 2.80 | 100.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 119 | 磨石 | Ic | B-5 | IV | 6.50 | 5.10 | 4.60 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 120 | 磨石 | Ic | B-5 | IV | 12.70 | 8.20 | 4.50 | 600.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 121 | 磨石 | Ic | B-5 | IV | 4.80 | 8.00 | 4.30 | 290.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 122 | 磨石 | Ic | A-6 | IV | 9.70 | 3.60 | 4.00 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 123 | 磨石 | Ic | A-6 | IV | 1.60 | 9.00 | 4.70 | 100.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 124 | 磨石 | Ic | A-6 | IV | 2.70 | 7.00 | 5.80 | 140.00 | ホルンフェルス | 欠損品 |
| 125 | 磨石 | Ic | A-6 | IV | 13.70 | 10.10 | 4.60 | 880.00 | 安山岩 | |
| 126 | 磨石 | Ic | A-6 | IV | 12.00 | 3.40 | 5.50 | 350.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 127 | 磨石 | Ic | A-6 | IV | 11.20 | 5.40 | 5.60 | 510.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 128 | 磨石 | Ic | B-6 | IV | 9.30 | 4.20 | 4.40 | 200.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 129 | 磨石 | Ic | B-6 | IV | 8.90 | 6.10 | 3.70 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 130 | 磨石 | Ic | A-7 | IV | 9.00 | 3.60 | 7.40 | 200.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 131 | 磨石 | Ic | B-7 | IV | 13.60 | 6.40 | 6.60 | 410.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 132 | 磨石 | Ic | B-7 | IV | 10.30 | 7.10 | 4.50 | 440.00 | 安山岩 | |
| 133 | 磨石 | Ic | B-7 | IV | 14.40 | 11.20 | 6.50 | 1235.00 | 安山岩 | |
| 134 | 磨石 | Ic | B-7 | IV | 6.00 | 8.50 | 5.40 | 350.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 135 | 磨石 | Ic | B-7 | IV | 7.60 | 5.10 | 3.90 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 136 | 磨石 | Ic | A-8 | IV | 3.00 | 5.90 | 5.00 | 110.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 137 | 磨石 | Ic | A・B-8 | IV | 8.60 | 8.00 | 5.50 | 600.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 138 | 磨石 | Ic | B-8 | IV | 4.50 | 3.00 | 7.60 | 110.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 139 | 磨石 | Ic | B-8 | IV | 4.20 | 7.70 | 3.50 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 140 | 磨石 | Ic | B-8 | IV | 8.90 | 4.20 | 5.60 | 320.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 141 | 磨石 | Ic | B-8 | IV | 10.50 | 6.50 | 5.80 | 400.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 142 | 磨石 | Ic | A-9 | IV | 10.50 | 4.60 | 5.00 | 300.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 143 | 磨石 | Ic | A-9 | IV | 6.00 | 5.40 | 3.00 | 100.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 144 | 磨石 | Ic | B-9 | IV | 2.40 | 7.20 | 4.30 | 150.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 145 | 磨石 | Ic | B-9 | IV | 4.20 | 4.60 | 4.20 | 100.00 | 黒曜岩 | 欠損品 |
| 146 | 磨石 | Ic | B-9 | IV | 8.40 | 8.30 | 3.90 | 360.00 | 花崗岩 | 欠損品 |

第39表 終原貝塚遺跡石器計測表(8)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|---------|----|--------|-------|--------|---------|---------|------|
| 147 | 磨石 | Ic | B-9 | IV | 10.30 | 5.30 | 5.40 | 350.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 148 | 磨石 | Ic | B-9 | IV | 11.60 | 11.70 | 6.50 | 1400.00 | 安山岩 | |
| 149 | 磨石 | Ic | A-10 | IV | 3.40 | 7.70 | 5.00 | 110.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 150 | 磨石 | Ic | A-10 | IV | 4.90 | 7.00 | 7.20 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 151 | 磨石 | Ic | A-10 | IV | 9.20 | 6.80 | 3.70 | 280.00 | 安山岩 | |
| 152 | 磨石 | Ic | A-10 | IV | 7.70 | 5.50 | 3.70 | 195.00 | 安山岩 | |
| 153 | 磨石 | Ic | A-10 | IV | 5.90 | 8.00 | 4.40 | 250.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 154 | 磨石 | Ic | B-10 | IV | 5.80 | 5.10 | 4.00 | 150.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 155 | 磨石 | Ic | B-10 | IV | 9.40 | 6.30 | 3.70 | 310.00 | 安山岩 | |
| 156 | 磨石 | Ic | A-11 | IV | 5.60 | 8.00 | 2.00 | 120.00 | 頁岩 | 欠損品 |
| 157 | 磨石 | Ic | A-11 | IV | 9.20 | 4.70 | 3.70 | 250.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 158 | 磨石 | Ic | A-11 | IV | 6.40 | 8.90 | 4.00 | 39.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 159 | 磨石 | Ic | A-11 | IV | 12.30 | 6.50 | 5.40 | 650.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 160 | 磨石 | Ic | B-11 | IV | 8.90 | 5.50 | 4.20 | 250.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 161 | 磨石 | Ic | B-11 | IV | 15.00 | 5.70 | 4.20 | 400.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 162 | 磨石 | Ic | A・B-12 | IV | 6.50 | 10.80 | 5.00 | 500.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 163 | 磨石 | Ic | A・B-12 | IV | 9.90 | 10.00 | 4.00 | 500.00 | 黒曜岩 | 欠損品 |
| 164 | 磨石 | Ic | A・B-12 | IV | 5.80 | 8.30 | 4.00 | 250.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 165 | 磨石 | Ic | A-13 | IV | 5.40 | 5.50 | 4.90 | 160.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 166 | 磨石 | Ic | A-13 | IV | 10.20 | 6.00 | 5.00 | 360.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 167 | 磨石 | Ic | A・B-13 | IV | 5.00 | 4.00 | 3.70 | 150.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 168 | 磨石 | Ic | B-14・15 | IV | 8.70 | 5.90 | 3.50 | 300.00 | ホルンフェルス | |
| 169 | 磨石 | Ic | A-16 | IV | 3.20 | 7.30 | 4.80 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 170 | 磨石 | Ic | A-16 | IV | 4.30 | 3.30 | 4.80 | 60.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 171 | 磨石 | Ic | A-16 | IV | 8.40 | 7.70 | 4.00 | 300.00 | 黒曜岩 | |
| 172 | 磨石 | Ic | B-16 | IV | 9.60 | 8.00 | 4.30 | 460.00 | 砂岩 | |
| 173 | 磨石 | Ic | B-16 | IV | 3.50 | 10.00 | 4.30 | 300.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 174 | 磨石 | Ic | A-17 | IV | 3.70 | 9.00 | 4.50 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 175 | 磨石 | Ic | A-17 | IV | 5.80 | 4.90 | 5.70 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 176 | 磨石 | Ic | A-17 | IV | 10.20 | 8.50 | 2.80 | 308.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 177 | 磨石 | Ic | A-17 | IV | 12.00 | 7.00 | 6.00 | 600.00 | 砂岩 | |
| 178 | 磨石 | Ic | B-17 | IV | 13.40 | 9.90 | 5.50 | 1210.00 | 安山岩 | 一部欠損 |
| 179 | 磨石 | Ic | A-18 | IV | 5.70 | 6.50 | 4.90 | 260.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 180 | 磨石 | Ic | A-18 | IV | 6.70 | 3.10 | 4.70 | 150.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 181 | 磨石 | Ic | A-18 | IV | 16.60 | 10.50 | 6.60 | 1810.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 182 | 磨石 | Ic | B-18 | IV | 6.60 | 1.20 | 2.60 | 40.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 183 | 磨石 | Ic | B-18 | IV | 4.30 | 2.50 | 5.10 | 70.00 | 黒曜岩 | 欠損品 |
| 184 | 磨石 | Ic | B-18 | IV | 8.40 | 4.80 | 4.20 | 160.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 185 | 磨石 | Ic | B-18 | IV | 7.30 | 10.80 | 5.70 | 570.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 186 | 磨石 | Ic | B-19 | IV | 5.90 | 4.20 | 3.40 | 100.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 187 | 磨石 | Ic | B-19 | IV | 10.20 | 4.90 | 5.10 | 300.00 | ホルンフェルス | 欠損品 |
| 188 | 磨石 | Ic | B-19 | IV | 7.70 | 10.50 | 5.70 | 450.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 189 | 磨石 | Ic | B-19 | IV | 12.80 | 6.80 | 6.00 | 740.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 190 | 磨石 | Ic | 一括 | IV | 4.40 | 6.50 | 2.50 | 100.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 191 | 磨石 | Ic | 一括 | IV | 4.10 | 1.80 | 4.70 | 30.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 192 | 磨石 | Ic | 一括 | IV | 13.40 | 3.20 | 5.50 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 193 | 磨石 | Ic | 一括 | IV | 5.40 | 3.20 | 5.50 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 194 | 磨石 | II | B-4 | IV | 6.50 | 5.90 | 3.60 | 200.00 | 安山岩 | |
| 195 | 磨石 | II | B-5 | IV | 5.00 | 7.50 | 6.50 | 260.00 | 安山岩 | |
| 196 | 磨石 | II | A-6 | IV | 4.50 | 3.90 | 2.50 | 60.00 | 頁岩 | |
| 197 | 磨石 | II | A-6 | IV | 3.80 | 12.10 | 7.10 | 41 | | |

第40表 枚原貝塚遺跡石器計測表(9)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|--------|----|--------|-------|--------|---------|---------|-----|
| 226 | 磨石 | II | B-11 | IV | 15.00 | 12.20 | 9.80 | 2700.00 | 安山岩 | |
| 227 | 磨石 | II | B-11 | IV | 5.00 | 8.40 | 5.80 | 340.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 228 | 磨石 | II | A-12 | IV | 6.50 | 5.30 | 4.60 | 200.00 | 安山岩 | |
| 229 | 磨石 | II | B-12 | IV | 6.50 | 6.10 | 4.90 | 255.00 | ホルンフェルス | |
| 230 | 磨石 | II | A-13 | IV | 6.60 | 6.40 | 4.50 | 245.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 231 | 磨石 | II | A-16 | IV | 8.50 | 11.50 | 8.20 | 1020.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 232 | 磨石 | II | A-17 | IV | 5.90 | 5.40 | 3.70 | 170.00 | 砂岩 | |
| 233 | 磨石 | II | A-18 | IV | 6.30 | 5.40 | 3.30 | 160.00 | 砂岩 | |
| 234 | 磨石 | II | B-18 | IV | 5.40 | 5.20 | 3.50 | 120.00 | 安山岩 | |
| 235 | 磨石 | II | B-18 | IV | 7.50 | 7.40 | 6.20 | 470.00 | 凝灰岩 | |
| 236 | 磨石 | II | B-19 | IV | 5.20 | 4.30 | 2.50 | 70.00 | 安山岩 | |
| 237 | 磨石 | II | B-19 | IV | 4.80 | 6.40 | 6.00 | 240.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 238 | 磨石 | II | 一括 | IV | 6.30 | 4.70 | 3.40 | 120.00 | 安山岩 | |
| 239 | 磨石 | II | 一括 | IV | 8.00 | 7.60 | 4.50 | 320.00 | 安山岩 | |
| 240 | 磨石 | II | 一括 | IV | 15.50 | 14.90 | 8.00 | 3200.00 | 安山岩 | |
| 241 | 磨石 | III a | A-7 | IV | 9.50 | 8.40 | 2.70 | 330.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 242 | 磨石 | III a | B-7 | IV | 5.70 | 7.40 | 2.10 | 80.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 243 | 磨石 | III a | B-7 | IV | 8.70 | 12.80 | 4.00 | 815.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 244 | 磨石 | III a | A・B-8 | IV | 11.80 | 9.70 | 2.70 | 500.00 | 安山岩 | |
| 245 | 磨石 | III a | B-8 | IV | 6.50 | 5.80 | 2.30 | 120.00 | 安山岩 | |
| 246 | 磨石 | III a | A-9 | IV | 5.50 | 7.30 | 2.80 | 100.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 247 | 磨石 | III a | A-9 | IV | 4.30 | 4.10 | 1.70 | 40.00 | 安山岩 | |
| 248 | 磨石 | III a | A-10 | IV | 10.60 | 13.30 | 3.80 | 715.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 249 | 磨石 | III a | B-10 | IV | 8.50 | 7.10 | 3.00 | 170.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 250 | 磨石 | III a | B-11 | IV | 7.50 | 7.30 | 2.40 | 190.00 | 安山岩 | |
| 251 | 磨石 | III a | A・B-12 | IV | 6.80 | 7.80 | 2.90 | 170.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 252 | 磨石 | III a | A・B-12 | IV | 13.20 | 11.80 | 5.00 | 945.00 | 安山岩 | |
| 253 | 磨石 | III a | B-14 | IV | 9.40 | 7.50 | 3.20 | 190.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 254 | 磨石 | III a | A-15 | IV | 8.00 | 8.00 | 4.40 | 680.00 | 安山岩 | |
| 255 | 磨石 | III a | A-16 | IV | 7.30 | 6.80 | 2.20 | 170.00 | 安山岩 | |
| 256 | 磨石 | III a | A-16 | IV | 6.40 | 7.30 | 3.40 | 230.00 | 頁岩 | 欠損品 |
| 257 | 磨石 | III a | B-17 | IV | 6.50 | 5.50 | 2.70 | 140.00 | 砂岩 | |
| 258 | 磨石 | III a | B-18 | IV | 6.30 | 5.40 | 2.10 | 110.00 | 安山岩 | |
| 259 | 磨石 | III a | B-18 | IV | 5.30 | 4.80 | 1.50 | 55.00 | 砂岩 | |
| 260 | 磨石 | III a | A-19 | IV | 5.80 | 5.60 | 1.80 | 100.00 | 安山岩 | |
| 261 | 磨石 | III a | B-19 | IV | 4.70 | 4.70 | 2.10 | 50.00 | 安山岩 | |
| 262 | 磨石 | III a | 一括 | IV | 4.70 | 4.20 | 1.40 | 35.00 | 砂岩 | |
| 263 | 磨石 | III b | A-5 | IV | 14.00 | 9.00 | 3.30 | 640.00 | 安山岩 | |
| 264 | 磨石 | III b | A-5 | IV | 5.00 | 7.80 | 2.90 | 153.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 265 | 磨石 | III b | B-5 | IV | 5.90 | 7.10 | 3.70 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 266 | 磨石 | III b | A-6 | IV | 9.80 | 5.60 | 2.50 | 210.00 | 安山岩 | |
| 267 | 磨石 | III b | A-8 | IV | 5.40 | 8.10 | 2.70 | 180.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 268 | 磨石 | III b | A-8 | IV | 11.00 | 7.30 | 2.90 | 390.00 | 安山岩 | |
| 269 | 磨石 | III b | A-9 | IV | 9.10 | 6.00 | 2.00 | 170.00 | 安山岩 | |
| 270 | 磨石 | III b | A-9 | IV | 11.40 | 6.00 | 2.80 | 300.00 | 安山岩 | |
| 271 | 磨石 | III b | A-9 | IV | 14.00 | 8.80 | 3.90 | 700.00 | 安山岩 | |
| 272 | 磨石 | III b | A-9 | IV | 10.60 | 6.10 | 2.50 | 240.00 | 安山岩 | |
| 273 | 磨石 | III b | A-9 | IV | 4.50 | 7.50 | 2.90 | 150.00 | 頁岩 | 欠損品 |
| 274 | 磨石 | III b | B-9 | IV | 8.50 | 7.80 | 3.40 | 260.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 275 | 磨石 | III b | B-10 | IV | 11.30 | 3.00 | 3.60 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 276 | 磨石 | III b | B-10 | IV | 9.30 | 5.00 | 2.90 | 220.00 | 安山岩 | |
| 277 | 磨石 | III b | B-10 | IV | 7.50 | 7.90 | 2.80 | 250.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 278 | 磨石 | III b | B-11 | IV | 8.60 | 5.70 | 2.30 | 95.00 | 凝灰岩 | |
| 279 | 磨石 | III b | A・B-12 | IV | 9.10 | 6.20 | 2.30 | 190.00 | 安山岩 | |
| 280 | 磨石 | III b | A・B-12 | IV | 7.80 | 9.00 | 3.30 | 340.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 281 | 磨石 | III b | B-16 | IV | 10.00 | 10.90 | 3.30 | 550.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 282 | 磨石 | III b | B-17 | IV | 5.70 | 2.30 | 2.50 | 65.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 283 | 磨石 | III b | B-18 | IV | 8.10 | 5.20 | 2.90 | 150.00 | 安山岩 | |
| 284 | 磨石 | III b | 一括 | IV | 5.50 | 7.80 | 2.40 | 90.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 285 | 磨石 | III c | B-4 | IV | 6.20 | 7.50 | 3.30 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 286 | 磨石 | III c | B-4 | IV | 10.80 | 8.20 | 3.10 | 370.00 | 安山岩 | |
| 287 | 磨石 | III c | A-6 | IV | 5.20 | 8.30 | 3.50 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 288 | 磨石 | III c | A-6 | IV | 11.90 | 9.50 | 3.10 | 540.00 | 安山岩 | |
| 289 | 磨石 | III c | B-6 | IV | 9.40 | 6.70 | 2.60 | 230.00 | 安山岩 | |
| 290 | 磨石 | III c | A-7 | IV | 8.10 | 10.50 | 3.70 | 350.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 291 | 磨石 | III c | A-7 | IV | 5.30 | 7.50 | 3.50 | 170.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 292 | 磨石 | III c | B-7 | IV | 10.90 | 6.30 | 4.00 | 345.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 293 | 磨石 | III c | A-8 | IV | 9.40 | 13.20 | 3.70 | 695.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 294 | 磨石 | III c | A-9 | IV | 8.20 | 7.40 | 1.90 | 200.00 | 安山岩 | |
| 295 | 磨石 | III c | A-9 | IV | 8.30 | 10.20 | 3.20 | 335.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 296 | 磨石 | III c | A-9 | IV | 10.30 | 8.70 | 2.90 | 340.00 | 安山岩 | |
| 297 | 磨石 | III c | A-9 | IV | 6.50 | 7.00 | 2.50 | 145.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 298 | 磨石 | III c | B-9 | IV | 14.20 | 10.90 | 4.40 | 970.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 299 | 磨石 | III c | A-10 | IV | 6.00 | 8.50 | 3.30 | 190.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 300 | 磨石 | III c | A-11 | IV | 5.80 | 8.00 | 2.70 | 90.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 301 | 磨石 | III c | A-11 | IV | 4.20 | 6.80 | 3.00 | 80.00 | 安山岩 | |
| 302 | 磨石 | III c | A・B-12 | IV | 9.00 | 7.60 | 2.90 | 310.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 303 | 磨石 | III c | A-16 | IV | 7.50 | 9.60 | 2.30 | 275.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 304 | 磨石 | III c | A-16 | IV | 6.30 | 7.90 | 3.00 | 135.00 | 安山岩 | 欠損品 |

第41表 枚原貝塚遺跡石器計測表(10)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-------|----|-------|--------|----|--------|-------|--------|---------|-----|------------|
| 305 | 磨石 | III c | A-17 | IV | 7.90 | 7.60 | 2.60 | 250.00 | 安山岩 | |
| 306 | 磨石 | III c | B-17 | IV | 7.20 | 6.60 | 2.00 | 140.00 | 安山岩 | |
| 307 | 磨石 | III c | B-17 | IV | 7.20 | 5.50 | 2.60 | 120.00 | 砂岩 | |
| 308 | 磨石 | III c | B-18 | IV | 9.10 | 7.70 | 3.10 | 265.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 309 | 磨石 | III c | B-18 | IV | 8.40 | 6.70 | 2.70 | 210.00 | 砂岩 | |
| 310 | 磨石 | III c | A-19 | IV | 7.60 | 8.50 | 3.50 | 230.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 311 | 磨石 | III c | A-19 | IV | 8.70 | 7.50 | 2.90 | 265.00 | 安山岩 | |
| 312 | 磨石 | III c | 一括 | IV | 6.00 | 7.10 | 2.50 | 60.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 313 | 磨石 | IV | A18 | IV | 9.20 | 7.10 | 3.19 | 330.00 | 砂岩 | 磨打後研磨, 欠損品 |
| 314 | 磨石 | IV | 一括 | IV | 8.10 | 7.30 | 3.05 | 255.00 | 安山岩 | 磨面に光沢有 |
| 合石 | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| I | 合石 | — | B-19 | IV | 21.40 | 19.90 | 7.40 | 2100.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 石皿(I) | | | | | | | | | | |
| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
| 35 | 石皿 | I a | B-11 | IV | 13.80 | 6.80 | 5.30 | 750.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 36 | 石皿 | I a | A・B-12 | IV | 17.00 | 16.50 | 8.00 | 3600.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 37 | 石皿 | I a | B-18 | IV | 11.80 | 9.00 | 6.70 | 690.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 38 | 石皿 | I a | B-19 | IV | 20.60 | 12.60 | 16.20 | 7800.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 39 | 石皿 | I a | 一括 | IV | 14.50 | 10.00 | 9.20 | 1200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 40 | 石皿 | I c | A-5 | IV | 18.20 | 14.80 | 4.40 | 1730.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 41 | 石皿 | I c | A-8 | IV | 17.40 | 10.90 | 3.00 | 7150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 42 | 石皿 | I c | B-9 | IV | 18.50 | 15.00 | 5.10 | 1520.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 43 | 石皿 | I c | A-11 | IV | 14.40 | 9.80 | 2.30 | 455.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 44 | 石皿 | I c | A-18 | IV | 15.50 | 11.00 | 7.90 | 2600.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 45 | 石皿 | I c | B-18 | IV | 13.70 | 12.30 | 3.30 | 1000.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 46 | 石皿 | I c | B-19 | IV | 11.50 | 6.70 | 3.00 | 260.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 47 | 石皿 | I c | 一括 | IV | 25.00 | 16.00 | 15.00 | 7400.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 48 | 石皿 | I c | 一括 | IV | 16.60 | 16.30 | 12.00 | 8500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 49 | 石皿 | I c | 一括 | IV | 17.60 | 16.30 | 8.40 | 3400.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 50 | 石皿 | I c | 一括 | IV | 11.00 | 9.00 | 8.00 | 1350.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 51 | 石皿 | I c | 一括 | IV | 9.50 | 7.00 | 5.00 | 570.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 52 | 石皿 | II a | B-6 | IV | 15.60 | 14.40 | 3.80 | 1350.00 | 安山岩 | |
| 53 | 石皿 | II a | A-9 | IV | 13.00 | 13.70 | 4.00 | 900.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 54 | 石皿 | II a | B-9 | IV | 10.40 | 10.70 | 8.00 | 1450.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 55 | 石皿 | II a | B-10 | IV | 6.10 | 6.80 | 4.00 | 250.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 56 | 石皿 | II a | B-11 | IV | 21.00 | 12.70 | 5.00 | 1990.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 57 | 石皿 | II a | B-11 | IV | 10.80 | 10.20 | 9.60 | 1750.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 58 | 石皿 | II a | A-18 | IV | 11.60 | 11.40 | 4.60 | 800.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 59 | 石皿 | II a | B-18 | IV | 14.40 | 9.50 | 8.70 | 2800.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 60 | 石皿 | II a | B-19 | IV | 32.20 | 22.50 | 11.20 | 1420.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 61 | 石皿 | II a | 一括 | IV | 16.80 | 14.90 | 12.30 | 6800.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 62 | 石皿 | II a | 一括 | IV | 22.70 | 19.60 | 14.20 | 7800.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 63 | 石皿 | II a | 一括 | IV | 18.30 | 12.60 | 11.80 | 5400.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 64 | 石皿 | II a | 一括 | IV | 23.40 | 14.70 | 11.20 | 4800.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 65 | 石皿 | II a | 一括 | IV | 38.20 | 16.90 | 18.90 | 7.80 | 安山岩 | 欠損品 |
| 66 | 石皿 | II a | 一括 | IV | 29.40 | 21.80 | 11.70 | 1280.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 67 | 石皿 | II c | A-6 | IV | 18.40 | 10.90 | 6.80 | 1870.00 | 安山岩 | 一部欠損 |
| 68 | 石皿 | II c | B-7 | IV | 12.80 | 11.00 | 3.10 | 690.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 69 | 石皿 | II c | A-9 | IV | 14.20 | 10.20 | 5.30 | 1220.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 70 | 石皿 | II c | B-9 | IV | 16.90 | 11.00 | 5.10 | 1100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| | | | | | | | | | | |

第42表 柘原貝塚遺跡石器計測表(11)
石皿(2)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|--------|----|--------|-------|--------|---------|-----|-----|
| 99 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 10.20 | 7.50 | 7.60 | 370.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 100 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 5.80 | 6.30 | 7.10 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 101 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 10.00 | 5.00 | 2.80 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 102 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 3.80 | 4.00 | 6.70 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 103 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 11.50 | 3.50 | 5.40 | 220.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 104 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 4.20 | 3.50 | 2.40 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 105 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 7.90 | 8.10 | 5.00 | 450.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 106 | 石皿 | IV | A-8 | IV | 12.20 | 10.00 | 4.40 | 660.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 107 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 3.70 | 4.80 | 8.00 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 108 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 7.60 | 3.00 | 4.50 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 109 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 9.20 | 4.50 | 7.80 | 450.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 110 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 4.80 | 5.00 | 6.60 | 70.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 111 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 8.70 | 2.30 | 5.50 | 140.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 112 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 4.00 | 5.60 | 3.60 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 113 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 5.70 | 3.50 | 3.80 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 114 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 15.60 | 2.60 | 4.70 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 115 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 8.10 | 3.90 | 4.40 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 116 | 石皿 | IV | B-8 | IV | 5.10 | 6.70 | 4.00 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 117 | 石皿 | IV | A-9 | IV | 6.50 | 5.50 | 6.60 | 430.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 118 | 石皿 | IV | A-9 | IV | 4.20 | 5.70 | 10.40 | 220.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 119 | 石皿 | IV | A-9 | IV | 8.90 | 10.50 | 6.80 | 920.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 120 | 石皿 | IV | A-9 | IV | 8.50 | 5.10 | 5.60 | 250.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 121 | 石皿 | IV | A-9 | IV | 7.10 | 8.00 | 2.80 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 122 | 石皿 | IV | B-9 | IV | 10.20 | 6.50 | 6.40 | 750.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 123 | 石皿 | IV | B-9 | IV | 5.50 | 5.00 | 4.10 | 220.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 124 | 石皿 | IV | B-9 | IV | 11.30 | 2.50 | 5.70 | 140.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 125 | 石皿 | IV | B-9 | IV | 12.60 | 7.50 | 8.00 | 1060.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 126 | 石皿 | IV | B-9 | IV | 9.10 | 9.30 | 1.20 | 170.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 127 | 石皿 | IV | B-9 | IV | 5.20 | 9.90 | 7.30 | 300.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 128 | 石皿 | IV | A-10 | IV | 3.30 | 5.80 | 4.60 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 129 | 石皿 | IV | A-10 | IV | 3.60 | 4.60 | 2.70 | 40.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 130 | 石皿 | IV | A-10 | IV | 5.10 | 4.20 | 2.20 | 35.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 131 | 石皿 | IV | A-10 | IV | 7.50 | 5.50 | 4.20 | 110.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 132 | 石皿 | IV | B-10 | IV | 11.40 | 4.50 | 7.50 | 300.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 133 | 石皿 | IV | B-10 | IV | 5.00 | 2.50 | 3.60 | 600.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 134 | 石皿 | IV | A-11 | IV | 8.00 | 6.50 | 9.50 | 550.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 135 | 石皿 | IV | A-11 | IV | 6.50 | 6.70 | 3.20 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 136 | 石皿 | IV | A-11 | IV | 8.70 | 6.60 | 3.70 | 330.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 137 | 石皿 | IV | B-11 | IV | 5.00 | 2.80 | 4.50 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 138 | 石皿 | IV | B-11 | IV | 6.60 | 5.20 | 1.80 | 70.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 139 | 石皿 | IV | B-11 | IV | 10.20 | 8.20 | 6.00 | 850.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 140 | 石皿 | IV | B-11 | IV | 6.30 | 4.80 | 5.40 | 110.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 141 | 石皿 | IV | B-11 | IV | 7.20 | 6.50 | 8.50 | 450.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 142 | 石皿 | IV | B-11 | IV | 8.10 | 6.70 | 3.50 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 143 | 石皿 | IV | A-12 | IV | 5.50 | 1.90 | 3.00 | 30.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 144 | 石皿 | IV | A-12 | IV | 8.90 | 4.70 | 4.10 | 100.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 145 | 石皿 | IV | A-12 | IV | 12.90 | 4.70 | 4.10 | 210.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 146 | 石皿 | IV | A-12 | IV | 6.50 | 9.30 | 2.00 | 140.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 147 | 石皿 | IV | A-12 | IV | 8.00 | 9.10 | 3.20 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 148 | 石皿 | IV | A-B-12 | IV | 13.50 | 9.20 | 3.70 | 500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 149 | 石皿 | IV | A-B-12 | IV | 16.30 | 11.50 | 8.00 | 1500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 150 | 石皿 | IV | B-12 | IV | 10.00 | 8.80 | 407.00 | 550.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 151 | 石皿 | IV | A-13 | IV | 8.60 | 10.10 | 4.80 | 350.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 152 | 石皿 | IV | A-16 | IV | 9.60 | 6.10 | 8.20 | 410.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 153 | 石皿 | IV | A-16 | IV | 6.90 | 5.50 | 5.80 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 154 | 石皿 | IV | A-16 | IV | 7.20 | 3.00 | 5.00 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 155 | 石皿 | IV | A-16 | IV | 8.90 | 3.30 | 3.70 | 120.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 156 | 石皿 | IV | A-17 | IV | 8.40 | 6.20 | 3.10 | 260.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 157 | 石皿 | IV | B-17 | IV | 6.00 | 11.20 | 7.00 | 700.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 158 | 石皿 | IV | B-17 | IV | 11.30 | 10.10 | 3.20 | 500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 159 | 石皿 | IV | B-17 | IV | 10.00 | 9.00 | 9.00 | 500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 160 | 石皿 | IV | B-17 | IV | 4.40 | 5.00 | 4.90 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 161 | 石皿 | IV | A-18 | IV | 7.50 | 6.40 | 2.00 | 170.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 162 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 5.90 | 5.60 | 7.50 | 290.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 163 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 20.80 | 19.80 | 15.20 | 9600.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 164 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 15.00 | 9.80 | 1.80 | 380.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 165 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 9.90 | 6.00 | 6.50 | 420.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 166 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 5.90 | 8.30 | 5.40 | 500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 167 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 11.40 | 7.60 | 5.60 | 500.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 168 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 3.10 | 6.30 | 1.30 | 130.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 169 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 8.40 | 9.80 | 4.00 | 550.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 170 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 13.60 | 6.60 | 5.80 | 400.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 171 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 7.50 | 3.50 | 5.60 | 200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 172 | 石皿 | IV | B-18 | IV | 13.30 | 10.00 | 12.10 | 1660.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 173 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 5.30 | 7.30 | 2.30 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 174 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 12.30 | 7.00 | 2.80 | 400.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 175 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 8.00 | 6.00 | 2.30 | 150.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 176 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 5.80 | 7.40 | 5.30 | 300.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 177 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 12.30 | 6.90 | 4.00 | 450.00 | 安山岩 | 欠損品 |

第43表 柘原貝塚遺跡石器計測表(12)
石皿(3)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|-----|----|-------|------|----|--------|-------|--------|---------|-----|-----|
| 178 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 5.60 | 7.60 | 6.10 | 510.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 179 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 11.80 | 7.70 | 6.90 | 1050.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 180 | 石皿 | IV | B-19 | IV | 12.30 | 13.00 | 12.10 | 1800.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 181 | 石皿 | IV | 一括 | IV | 17.40 | 10.20 | 9.20 | 3200.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 182 | 石皿 | IV | 一括 | IV | 7.00 | 4.20 | 4.80 | 60.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 183 | 石皿 | IV | 一括 | IV | 10.60 | 7.50 | 11.40 | 1350.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 184 | 石皿 | IV | 一括 | IV | 7.70 | 9.60 | 3.60 | 370.00 | 安山岩 | 欠損品 |
| 185 | 石皿 | IV | 一括 | IV | 9.50 | 6.70 | 2.30 | 270.00 | 安山岩 | 欠損品 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|----|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 20 | 砥石 | I | A-6 | IV | 7.90 | 7.60 | 2.80 | 260.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 21 | 砥石 | I | A-6 | IV | 7.50 | 4.90 | 0.90 | 61.10 | 砂岩 | |
| 22 | 砥石 | I | A-7 | IV | 12.40 | 6.60 | 1.50 | 230.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 23 | 砥石 | I | B-8 | IV | 7.40 | 7.40 | 4.10 | 228.00 | 花崗岩 | 欠損品 |
| 24 | 砥石 | II | B-5 | IV | 12.60 | 9.50 | 8.80 | 850.00 | 凝灰岩 | 欠損品 |
| 25 | 砥石 | II | B-9 | IV | 11.20 | 10.30 | 6.10 | 750.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 26 | 砥石 | II | A-10 | IV | 7.90 | 7.20 | 6.10 | 500.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 27 | 砥石 | III | A-8 | IV | 12.00 | 9.40 | 1.60 | 300.00 | 砂岩 | 欠損品 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|-----|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|----|-----|
| 1 | 研磨器 | - | B-4 | IV | 8.70 | 4.40 | 1.21 | 38.82 | 砂岩 | 欠損品 |
| 2 | 研磨器 | - | B-10 | IV | 9.90 | 6.50 | 3.10 | 260.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 3 | 研磨器 | - | B-11 | IV | 11.70 | 5.20 | 0.90 | 82.00 | 砂岩 | 欠損品 |
| 4 | 研磨器 | - | A-16 | IV | 12.00 | 9.90 | 1.60 | 300.00 | 砂岩 | 欠損品 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|-----|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|-------------------|
| 1 | 不明品 | - | A-18 | IV | 6.80 | 8.40 | 0.63 | 42.56 | 粘板岩 | 突状部を有し、扁平なもの |
| 2 | 不明品 | - | 一括 | IV | 8.10 | 4.90 | 1.08 | 28.66 | 頁岩 | 突状部を有し、扁平なもの |
| 3 | 不明品 | - | A-18 | IV | 9.20 | 7.10 | 3.19 | 330.00 | 安山岩 | 両側面に研磨痕、欠損品 |
| 4 | 不明品 | - | B-17 | IV | 8.10 | 7.30 | 3.05 | 255.00 | 砂岩 | 下面に研磨痕、後面に紐帯による凹痕 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|-----------|-------|-----|----|--------|-------|--------|-------|-----|--------------|
| 1 | 線刻を有する石製品 | - | B-7 | IV | 6.70 | 2.10 | 2.10 | 42.20 | 安山岩 | 一部欠損、巻頭図版4-1 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|---------|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|----|--------------|
| 1 | 三角錐形石製品 | - | A-10 | IV | 4.50 | 5.60 | 5.10 | 172.50 | 砂岩 | 一部欠損、巻頭図版4-4 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|-------|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|--------------|
| 1 | 有孔石製品 | - | A-4 | IV | 5.4 | 2.1 | 0.5 | 10.64 | 頁岩 | 一部欠損、巻頭図版4-3 |
| 2 | 有孔石製品 | - | B-11 | IV | 1.9 | 1.5 | 0.5 | 1.78 | 頁岩 | 一部欠損、巻頭図版4-2 |
| 3 | 有孔石製品 | - | A-13 | IV | 11.7 | 4.4 | 2.9 | 110.76 | 頁岩 | 一部欠損 |
| 4 | 有孔石製品 | - | A-13 | IV | 7.6 | 3.5 | 0.5 | 21.25 | 粘板岩 | 一部欠損 |

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|-----------|-------|------|----|--------|-------|--------|-------|-----|---------|
| 4 | 円盤形石製品加工品 | - | A-5 | IV | 6.0 | 5.5 | 0.8 | 37.9 | 頁岩 | |
| 5 | 円盤形石製品加工品 | - | A-5 | IV | 4.9 | 4.6 | 1.3 | 40.2 | 安山岩 | 巻頭図版4-5 |
| 6 | 円盤形石製品加工品 | - | B-8 | IV | 4.6 | 4.6 | 0.7 | 27.7 | 粘板岩 | |
| 7 | 円盤形石製品加工品 | - | B-9 | IV | 8.3 | 7.2 | 1.7 | 139.4 | 頁岩 | |
| 8 | 円盤形石製品加工品 | - | B-9 | IV | 7.0 | 6.5 | 1.7 | 114.8 | 砂岩 | 巻頭図版4-8 |
| 9 | 円盤形石製品加工品 | - | B-9 | IV | 8.4 | 7.4 | 1.8 | 200.0 | 安山岩 | |
| 10 | 円盤形石製品加工品 | - | A-14 | IV | 4.4 | 4.3 | 0.9 | 19.5 | 安山岩 | 巻頭図版4-6 |
| 11 | 円盤形石製品加工品 | - | A-18 | IV | 6.5 | 6.2 | 1.2 | 71.4 | 頁岩 | |
| 12 | 円盤形石製品加工品 | - | A-18 | IV | 6.6 | 6.5 | 1.1 | 61.5 | 砂岩 | 巻頭図版4-7 |
| 13 | 円盤形石製品加工品 | - | A-18 | IV | 5.1 | 4.8 | | | | |

第44表 終原貝塚遺跡石器計測表(13)

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|-----------|-------|------|----|--------|-------|--------|--------|-----|--------------|
| 1 | 小判形・円形加工品 | - | A-6 | IV | 5.1 | 5.7 | 1.7 | 30.98 | 凝灰岩 | 小判形 |
| 2 | 小判形・円形加工品 | - | B-8 | IV | 6.0 | 7.9 | 3.4 | 103.25 | 凝灰岩 | 楕円形 |
| 3 | 小判形・円形加工品 | - | B-8 | IV | 11.5 | 9.2 | 3.4 | 250.00 | 凝灰岩 | 楕円形、巻頭図版4-15 |
| 4 | 小判形・円形加工品 | - | A-9 | IV | 8.4 | 5.7 | 2.8 | 126.90 | 凝灰岩 | 小判形 |
| 5 | 小判形・円形加工品 | - | A-9 | IV | 6.9 | 5.4 | 2.9 | 93.20 | 凝灰岩 | 小判形 |
| 6 | 小判形・円形加工品 | - | B-9 | IV | 8.6 | 5.2 | 1.7 | 64.40 | 凝灰岩 | 小判形 |
| 7 | 小判形・円形加工品 | - | A-11 | IV | 13.5 | 16.0 | 4.4 | 700.00 | 凝灰岩 | 楕円形、巻頭図版4-12 |
| 8 | 小判形・円形加工品 | - | A-11 | IV | 7.6 | 11.4 | 4.1 | 280.00 | 凝灰岩 | 楕円形 |
| 9 | 小判形・円形加工品 | - | B-11 | IV | 7.3 | 5.1 | 4.2 | 133.55 | 凝灰岩 | 卵形 |
| 10 | 小判形・円形加工品 | - | B-11 | IV | 6.9 | 6.7 | 4.1 | 132.40 | 凝灰岩 | 小判形 |
| 11 | 小判形・円形加工品 | - | A-16 | IV | 5.4 | 7.1 | 4.6 | 180.00 | 凝灰岩 | 小判形 |
| 12 | 小判形・円形加工品 | - | B-16 | IV | 4.5 | 5.4 | 0.6 | 22.36 | 凝灰岩 | 不定形 |
| 13 | 小判形・円形加工品 | - | A-17 | IV | 8.3 | 7.7 | 3.0 | 180.00 | 凝灰岩 | 円形 |
| 14 | 小判形・円形加工品 | - | B-17 | IV | 7.7 | 6.8 | 2.7 | 108.90 | 凝灰岩 | 円形、巻頭図版4-13 |
| 15 | 小判形・円形加工品 | - | B-17 | IV | 10.3 | 7.2 | 3.7 | 250.00 | 凝灰岩 | 楕円形 |
| 16 | 小判形・円形加工品 | - | B-19 | IV | 8.4 | 6.2 | 3.1 | 118.95 | 凝灰岩 | 円形 |
| 17 | 小判形・円形加工品 | - | 一括 | IV | 8.9 | 4.0 | 2.2 | 60.70 | 凝灰岩 | 小判形、巻頭図版4-14 |
| 18 | 小判形・円形加工品 | - | 一括 | IV | 7.9 | 4.1 | 2.4 | 108.40 | 安山岩 | 小判形 |
| 19 | 小判形・円形加工品 | - | 一括 | IV | 11.1 | 8.9 | 3.2 | 220.00 | 凝灰岩 | 小判形 |

玉類

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|----|---------|------|----|--------|-------|--------|-------|----------|----------|
| 1 | 玉類 | コ字形勾玉 | B-19 | IV | 2.03 | 1.05 | 0.66 | 2.29 | 菅瑪瑙 | 巻頭図版4-1 |
| 2 | 玉類 | コ字形勾玉 | 一括 | | 1.70 | 0.60 | 0.40 | 0.38 | 碧玉 | 巻頭図版4-2 |
| 3 | 玉類 | コ字形勾玉 | 一括 | | 1.72 | 0.61 | 0.41 | 0.71 | 碧玉 | 巻頭図版4-3 |
| 4 | 玉類 | 垂飾形玉 | B-11 | IV | 2.47 | 1.10 | 1.06 | 2.08 | 異極鉆 | 巻頭図版4-4 |
| 5 | 玉類 | 垂飾形玉 | A-9 | IV | 1.20 | 0.91 | 0.76 | 1.16 | 碧玉 | 巻頭図版4-5 |
| 6 | 玉類 | 垂飾形玉 | 一括 | IV | 3.51 | 0.98 | 0.68 | 3.58 | 碧玉 | 巻頭図版4-6 |
| 7 | 玉類 | 垂飾形玉 | 一括 | | 3.18 | 0.84 | 0.59 | 2.46 | 流紋岩 | 巻頭図版4-7 |
| 8 | 玉類 | 垂飾形玉 | B-11 | IV | 2.65 | 0.77 | 0.34 | 1.28 | 菅瑪瑙 | 巻頭図版4-8 |
| 9 | 玉類 | アタラシク玉 | 一括 | | 1.71 | 0.52 | 0.52 | 0.67 | 陽起石 | 巻頭図版4-9 |
| 10 | 玉類 | エンタラシク玉 | B-18 | IV | 2.00 | 0.64 | 0.54 | 1.10 | 陽起石 | 巻頭図版4-10 |
| 11 | 玉類 | 碧玉 | 一括 | | 0.91 | 0.49 | 0.49 | 0.35 | 孔雀石 | 巻頭図版4-11 |
| 12 | 玉類 | 碧玉 | 一括 | | 0.80 | 0.43 | 0.30 | 0.13 | オンファイト輝石 | 巻頭図版4-12 |
| 13 | 玉類 | 小玉 | B-11 | IV | 0.79 | 0.79 | 0.58 | 0.62 | 翡翠 | 巻頭図版4-13 |
| 14 | 玉類 | 小玉 | 一括 | | 0.48 | 0.48 | 0.20 | 0.09 | 孔雀石 | 巻頭図版4-14 |
| 15 | 玉類 | 小玉 | 一括 | | 0.56 | 0.56 | 0.16 | 0.08 | 菅瑪瑙 | 巻頭図版4-15 |
| 16 | 玉類 | 小片 | 一括 | | 0.68 | 0.64 | 0.32 | 0.20 | 碧玉 | 巻頭図版4-16 |
| 17 | 玉類 | 小片 | 一括 | | 0.97 | 0.60 | 0.33 | 0.15 | チャート | 巻頭図版4-17 |
| 18 | 玉類 | 小片 | 一括 | | 0.98 | 0.45 | 0.18 | 0.15 | 碧玉 | 巻頭図版4-18 |
| 19 | 玉類 | 小石棒状 | A-10 | IV | 5.36 | 0.47 | 0.47 | 2.01 | 砂岩 | 巻頭図版4-19 |

玉未製品

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|------|-------|------|----|--------|-------|--------|-------|-----------|----------|
| 1 | 玉未製品 | - | A-10 | IV | 4.20 | 2.40 | 1.30 | 20.83 | 未鑑定(菅瑪瑙?) | 巻頭図版4-20 |
| 2 | 玉未製品 | - | B-16 | IV | 3.08 | 1.68 | 1.55 | 10.87 | 未鑑定(菅瑪瑙?) | 巻頭図版4-21 |

玉材

| No | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石材 | 備考 |
|----|----|-------|------|----|--------|-------|--------|-------|----------|----------|
| 1 | 玉材 | - | A-10 | IV | 5.47 | 2.56 | 1.48 | 33.54 | 未鑑定(碧玉?) | 巻頭図版4-22 |
| 2 | 玉材 | - | A-10 | IV | 5.34 | 3.09 | 1.26 | 23.52 | 未鑑定(碧玉?) | 巻頭図版4-23 |
| 3 | 玉材 | - | A-10 | IV | 3.14 | 2.32 | 1.35 | 12.42 | 未鑑定(碧玉?) | 巻頭図版4-24 |

第45表 終原貝塚出土その他の製品一覧

| 器種 | 1 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | 13 | | 14 | | 15 | | 16 | | 17 | | 18 | | 19 | | 一括 | 計 | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|----|---|--|
| | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | 点数 | 重量 | | | | | |
| 土器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土師器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 須臾器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陶器 | 2 | 65 | 3 | 35 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 漆器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石製品 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第46表 滑石製品計測表

| No | 石材 | 器種 | 分類/細分 | 出土区 | 層 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----|----|------|-------|------|---|--------|-------|--------|-------|----|
| 1 | 滑石 | 滑石製品 | - | B-19 | J | 3.1 | 3.0 | 0.7 | 10.61 | |
| 2 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 6.8 | 1.9 | 1.3 | 31.64 | |
| 3 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 7.1 | 1.5 | 1.4 | 24.66 | |
| 4 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 4.0 | 1.7 | 1.7 | 18.67 | |
| 5 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 4.2 | 1.5 | 1.2 | 16.10 | |
| 6 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 1.7 | 1.1 | 0.4 | 0.38 | |
| 7 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 9.1 | 2.2 | 1.5 | 66.64 | |
| 8 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 5.3 | 0.7 | 7.8 | 14.39 | |
| 9 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 2.6 | 2.2 | 1.1 | 13.40 | |
| 10 | 滑石 | 石鏡片 | - | A-3 | J | 2.5 | 1.5 | 0.3 | 2.30 | |

第IV章 まとめ

終原貝塚に関しては、平成7年度に個人住宅建設に伴う確認調査が、平成9・10年度に農免農道整備事業に伴う発掘調査が、平成12～14年度に範囲確認等を目的とした確認調査が実施されており、それぞれに関する報告書も刊行されている(1, 2, 3)。特に、平成16年度刊行の報告書では、過去の調査で判明した事実を踏まえ、平成16年度時点での総合的まとめを述べた。

今回は、基本的にはそのまとめを踏まえ、新たな事実が判明したことについて補足する、という体裁で文を進めたい。そのため、平成16年度刊行分の報告書と、一部掲載が重複する箇所があるが、ご了承いただきたい。

第1節 遺跡の範囲

過去に実施された発掘調査の結果、貝塚本体(純貝層)の面積は約930㎡、貝塚の周囲に点在している貝B(小廃棄からなるブロック状のまとまり、以下貝Bと記述)の分布範囲は約2,600㎡、遺跡全体の範囲は約10,200㎡と予想される(第79図)。

第2節 周辺環境その他

- これまでの調査の結果、当時の終原貝塚周辺の環境については、次のように考えられる。
- ①遺跡周辺は、遺跡北方のシラス台地から、遺跡南方の海岸線へむけて、ゆるやかに傾斜していたと予想される。もっとも、傾斜角はきわめて緩やかで、貝塚が残存している地区(標高約8m)周辺の傾斜はほとんど無く、ほぼ平坦な地形であったと思われる。東西方向の地形についても、ほぼ平坦で、傾斜の無い地形であったと予想される(起伏の少ない平坦な台地上に立地)。
 - ②当時の海岸線は、標高約5m付近であったと考えられる(第80図)。
 - ③遺跡の東端に隣接する道路沿いの暗渠下に、現在小さな河川が流れているが、当時は現在よりやや規模が大きいものであったと考えられる(4)。
 - ④貝塚周辺には若干の植生があった(大木が存在する開けた場所)(4, 5)。
 - ⑤貝塚周辺の海岸は砂浜と岩礁、転石等の複合したものと考えられ、砂浜の占める割合が60～70%と比較的大きかったと考えられる(4)。
 - ⑥当時の海岸は遠浅で水温もいくらかの差異があったと考えられる(4)。
 - ⑦縄文後期当時の本遺跡付近の海況は暖流の強い影響下にあったと考えられる(6)。

第3節 縄文時代の遺構(主要遺構については第81図)

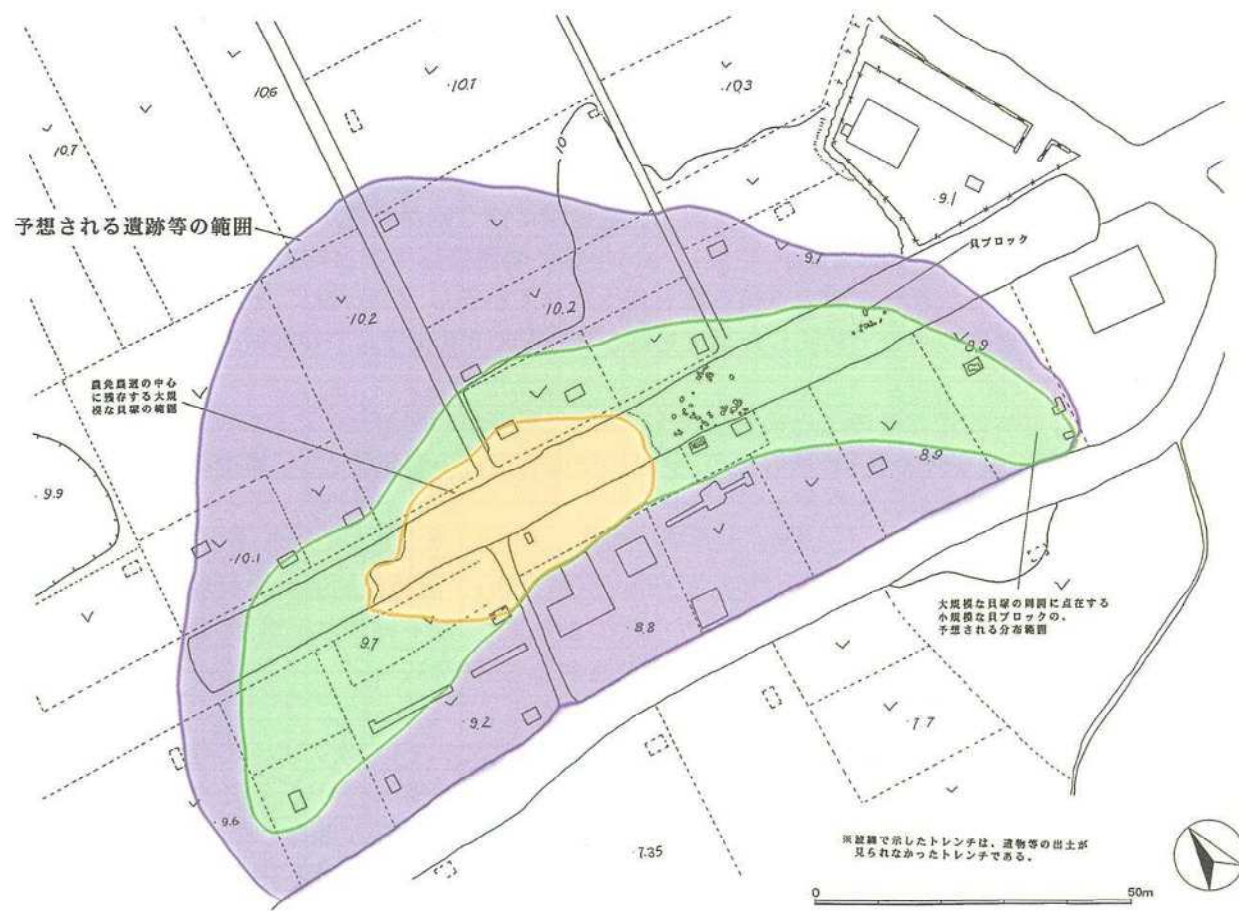
1. 貝塚及び貝B

①面積

現在の残存面積は約380㎡で、推定面積は約930㎡と考えられる。また、貝塚の最厚部の厚さは約1.1mであったが、当時は約4～5mの高さはあったものと考えられる。

②貝塚の形態

貝塚は南方から北方へ約20°傾斜しており、この傾斜は貝塚全体を通じて見られると予想される。尤も、この傾斜は貝層の上下を通じて一貫したものではなく、貝層下部ではほぼ平坦な堆積状況を呈し、貝塚の初現については、平坦な地形に積み上げるように形成されたと考えられる。上記のように貝塚形成以前、遺跡周辺の地形はほぼ平坦と考えられるが、このことから、終原貝塚は平坦な地形上に積み上げるように形成されたと想定される。



第79図 予想される遺跡の範囲



第80図 予想される当時の海岸線

③貝塚の時期

貝塚中からは、市来式系統の土器と磨消縄文土器が確認されている。これらは胴部片が多く、詳細が不明なものが多いが、出土状況や他遺跡との比較も考慮して、市来式(及びそれに伴う鐘崎式)、草野式・丸尾式(及びそれに伴う北久根山式、納曾式、辛川式)が貝塚に伴う土器と想定できる。

④貝塚を構成する貝種

終原貝塚からは約94種に及ぶ貝類遺体が確認されている(4)が、主要なものはモクハチアオイガイ、マガキガイ、パイガイ等7種で(出土貝中約96%)、極めて選択性の高い採取が行われていたことを示唆する。このうち、食用貝としてはマガキガイが多い。モクハチアオイガイとアコヤガイについては、食用以外の目的で搬入した可能性もある(モクハチアオイガイは、破損したものが多く見られることから死貝を搬入した可能性が考えられ、アコヤガイは、終原貝塚が何らかの加工場的側面を有していた可能性が考えられる)(5)。

⑤貝塚周辺での生活サイクル

貝層中にアコヤガイ層-魚骨層-モクハチアオイ層のサイクルが見られることから、貝塚周辺における集団の1年間の活動サイクルが想定される。終原人は初夏ごろ貝塚周辺での活動を開始し、数日続く大潮期にアコヤガイの大量採取を行う(その他の活動は低調)。その後、外洋性表層魚類の捕獲を行い(その他の活動は低調)、それ以降マガキガイを中心とした貝類の採集が行われる(製品の製作等その他の活動も活発化する)。そして、冬前には貝塚周辺を離れたと考えられる(通年の定住集落の否定)(5)。

⑥貝塚の機能

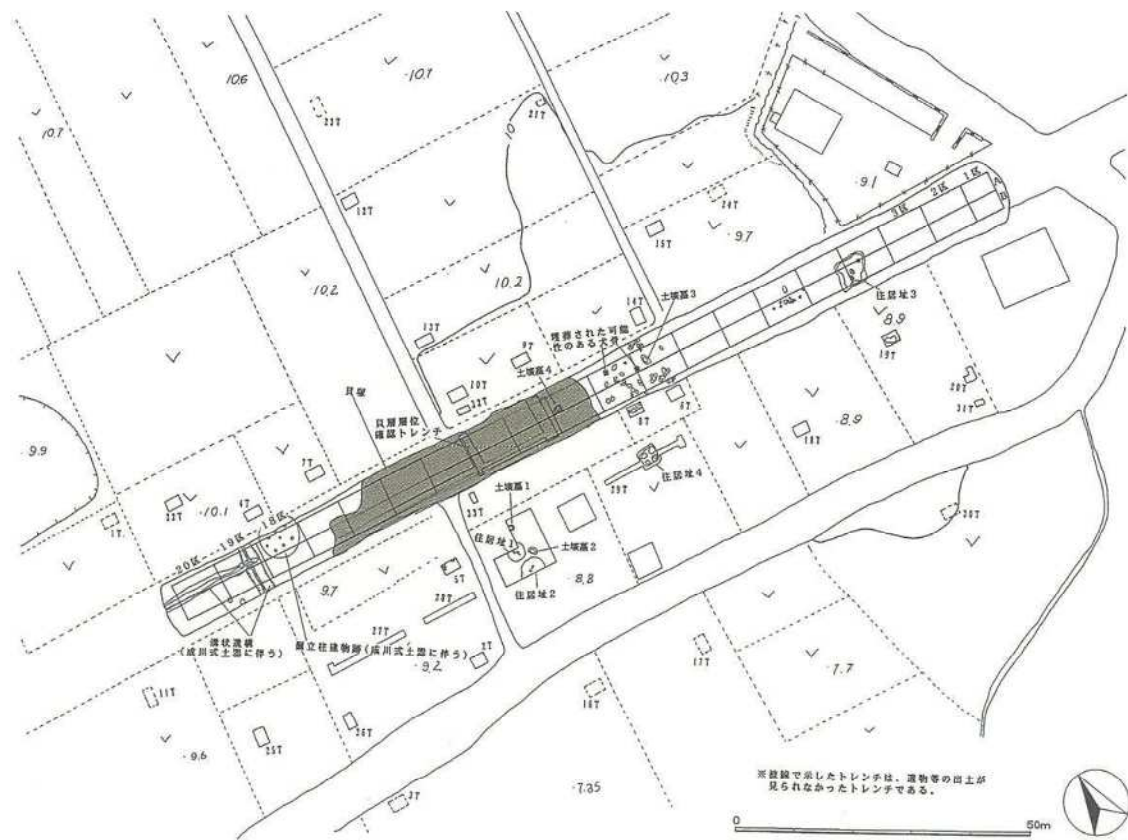
貝層中からは、貝類遺体・動物遺体・魚類遺体・種子等の食料廃棄物が大量に出土し、また、土器・石器等道具類の出土も大量に見られる。このことから、終原貝塚の第一義的機能として、食料廃棄及び道具類の廃棄があげられる。

また、貝塚の最下部より出土した埋葬人骨や埋葬された可能性のある犬骨の存在(「もの送りの場」の可能性)、岩偶をはじめとする大量の軽石製品や土製品・石製品等いわゆる「第二の道具」の出土から、終原貝塚が多分に祭祀的機能も併せ持つ貝塚であったことが想定される。

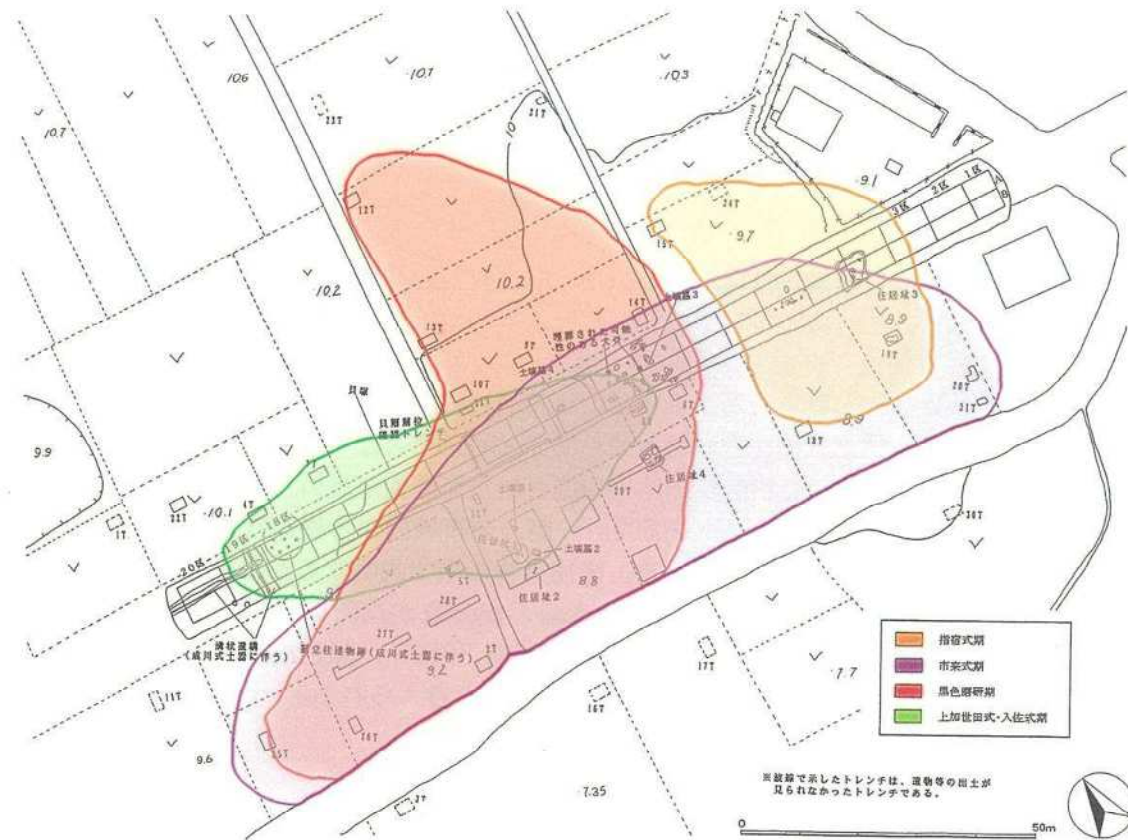
⑧貝B

貝塚の周囲には、貝Bが76基残存していた(6区に12基、9・10区に49基、16・17区に15基それぞれ残存)。これは、少量の廃棄からなるもので、その規模は様々なものがある。貝Bを構成する貝種は、貝塚本体と同様主要7種が大半を占める(出土貝中約94%)。しかし、構成割合に変化が見られる。食用種では最優占種であるマガキガイが最も多く、中には殆どマガキガイにより構成されるものもある。このことから、貝塚本体のように多義的なものではなく、単純に食料廃棄の結果形成された可能性が高いと考えられる。

貝Bの分布範囲は極めて広い(約2,600㎡)が、分布域内から満遍なく出土するのではなく、集中して出土する区域が見られる。後述遺物の項で説明するが、終原貝塚は調査地区によって出土土器に偏りがみられることから、おおまかな時期を想定することができる。それによると貝Bの集中する時期は、指宿式期(6区)、黒色磨研期(9・10区)、上加世田式・入佐式期(16・17区)の3期に比定されると考えられる。



第81図 主要遺構配置図



第82図 各期の範囲

これら各期における環境的要因（気候の寒冷化、海岸線の後退、干潟の縮小等）、及びそれに伴う社会的要因（生業形態の変化、社会・文化の変遷等）が複雑に結びつき、それが反映された結果、貝類の採取量（依存度）の低下という現象を引き起こし、それがブロック状の貝の廃棄といった形になったものと思われる。

ところで、柘原貝塚においては上加世田式期・入佐式期まで貝Bが形成される。このことは、柘原人がかなり長期に渡って貝との関わりをもっていたことを示唆し、注目される。その要因としては、地理的要因（眼前に鹿児島湾を臨む）や、環境的要因（遺跡周辺が温暖な気候であり、鹿児島湾が暖流の強い影響下にあったと考えられる）などが考えられる。

2. 竪穴住居址（3号住居址）

住居址については、平成7年度の調査で2基、平成9・10年度の調査で1基、平成12～15年度の調査で1基検出されている。混乱を回避するために、検出された順番に通し番号で呼称するものとする。このため、平成9・10年度の調査で検出されたものは、3号住居址と呼称する。

平成9・10年度の調査では、4区より竪穴住居址が1基検出された。床面付近から指宿式が出土していること、埋土としてIV d層が充填されていることから、遺構の形成時期は指宿式期と想定した。明確な炉跡は検出されなかったが、焼土が約28ヶ所から検出された。焦土は幅広く分布しているが、北側壁面と中央部に若干集中して出土する傾向がある。

尤も、明確な炉跡を欠くことや、はっきりした柱穴を欠くことなど、問題点は残されている。ところで、西側壁面の上面より、人骨が1体検出されている。ただし、保存状態は極めて悪く、半ば以上砂化しており、詳細は不明であった。年齢は壮年前半であるが、性別不詳、詳細不明で抜歯はない(7)。検出されたレベルは、ほぼ竪穴住居址検出面と同じであり、遺構が形成されたころのものとは考え難く、遺構を2次的に利用したものと考えられる。

住居址については、これまでに貝塚の南方から縄文晩期初頭（上加世田式期）のものが2基（1号住居址及び2号住居址）、貝塚の南方から縄文後期中頃（丸尾式期）のものが1基（4号住居址）それぞれ検出されている。このことから、時期的には差があるものの、住居群は貝塚の東方から南方、墓域より外側に広がって展開していたと想定される。

3. 土壙墓（3号土壙墓、4号土壙墓）

土壙墓についても、住居址と同様過去における一連の調査で検出された順番に、通し番号で呼称するものとする。平成9・10年度の調査では2基検出された。3号土壙墓、4号土壙墓と呼称する。

2つの土壙墓は主軸方向や人骨頭部の向き等異なるが、形成時期の差異によるものと考えられる。尤も、いずれも副葬品は伴わず、埋土中からの遺物も検出されておらず、問題点は残る。

3号土壙墓は、A-9で検出された。人骨を1体伴う。右の体側を下にした側臥で、肘、股、膝の大関節を半ば屈曲した埋葬体制をとっていた。頭部は南を向く。年齢は壮年前半、性別は女性で、上顎左右犬歯が風習的に抜歯されている。推定身長は149.5cmである(8)。埋土及び検出区より、遺構の形成時期は縄文時代後期末（黒色磨研期）と想定した。

4号土壙墓はA-11区、貝塚の下位より検出された。人骨を1体伴う。上半身は仰臥で、左右とも上膝を強屈し、立膝位からそのまま左方へ倒れたような姿勢であった。頭部は西北西を向く。年齢は壮年初期（約20歳）、性別は男性で、抜歯はされていない。推定身長は161.0cmである(8)。埋土及び検出区より、遺構の形成時期は縄文時代後期中頃と想定した。

過去の調査で、貝塚の南方から上加世田式期の人骨を伴う土壙墓が2基（1号土壙墓及び2号土壙墓）が検出され、土壙墓こそ検出されなかったが、貝塚の南方より市来式期の頭骨（壮年女性、風習的抜歯はされていない可能性が高い）が1体検出されている（9）。以上のことから、時期的に差はあるものの、墓域は貝塚のごく周辺、東方から南方にかけて存在していたと想定される。

4. 溝状遺構

8区、9区、10区、11区より1それぞれ各1基づつ、計4基検出された。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土から縄文時代後期末（黒色磨研期）のものとして想定した。4基中3基が南北方向（北から南）へ走っており、方向に規則性を見出すことができる。

5. 土坑

最大径が60cm以上で、底が平坦に近いものを土坑とした。8区より3基（土坑1～土坑3）、10区より2基（土坑4、土坑5）検出された。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土から縄文時代後期末（黒色磨研期）のものとして想定した。

6. ピット群

5区より2基（P1、P2）、7区より3基（P3～P5）、8区より2基（P6、P7）、10区より2基（P8、P9）、17区より4基（P10～P13）、18区より1基（P14）、19区より3基（P15～P17）の計17基検出された。平面プランは円形のものが多く、直径は約15cm～49cmに、深さは約10cm～50cmにわたる。断面形はいわゆる柱穴状のものが多い。いずれも遺構内から遺物は検出されていないが、充填されている埋土から、P1・P2を縄文時代後期中頃（指宿式期）、P3～P9を縄文時代後期末（黒色磨研期）、P10～P17を縄文時代晩期初頭（上加世田式期・入佐式期）とそれぞれ想定した。

7. 獣骨を伴う集石

B-11より獣骨を伴う集石が1基検出された。ただし、調理用に用いられたいわゆる集石ではなく、同様の遺物を意識的に集積した集積遺構の一つと考えられる。用途は不明であるが、平成12年度調査において9トレンチから猪の下顎が少なくとも29体以上集中して検出されており、これや後述する埋葬された可能性のある犬骨等と同様、祭祀活動に関連したものと考えられる。埋土及び検出区より、縄文時代後期末（黒色磨研期）のものとして想定した。

8. 埋葬された可能性のある犬骨

A-10区から2カ所、犬骨が集中して検出された地点があった。ほぼ全身の骨格を備えているが、骨の方向が一定ではなく、死後そのまま埋葬されたものではなく、再葬の可能性が高い。前述した猪の下顎の集中、獣骨を伴う集石等と同様、祭祀活動に関連したものと考えられる。埋土及び検出区より、縄文時代後期末（黒色磨研期）のものとして想定した。

第4節 遺物

A. 自然遺物

1. 人骨

3号土壙墓及び4号土壙墓から、人骨が各1体ずつ出土した。埋土及び検出区より、3号に伴う人骨を縄文時代後期末（黒色磨研期）、4号に伴う人骨を縄文時代後期中頃とそれぞれ比定した。

2. 貝類遺体より

過去の調査及びその後の分析より、以下のことが想定される（周辺環境に関しては前述）（5）。

①食用貝類に対する選択性は高かったと考えられる。食用としては、マガキガイが優占種（積極的な資源管理は見られない）。他に、アマオブネ（ダシ的利用の可能性）やバイ、イソシジミ等。

②貝類の採集空間は、やや外海の砂泥底と、潮間帯岩礁及び内湾干潟潮間帯が想定される。また、比較的水深の深い場所での貝類の潜水量は存在しなかったと考えられる。

③マガキガイ、アコヤガイの採取時期は春先から初夏にかけてと考えられる（→貝塚形成の季節決定）。

④海産微小貝類の分析より、終原貝塚における海藻（海草）の利用、「製塩」活動は否定される。

3. 魚類遺体より

過去の調査及びその後の分析より、以下のことが想定される（周辺環境に関しては前述）（6）。

①外洋性表層回遊魚が圧倒的多数を占める。

②本遺跡における漁労活動の様相について

1) 漁場については、主に湾内水域に形成された（ある程度広域的な漁場の展開も想定される）。

2) 漁法については、比較的大型のものは主に釣で、小型魚は主に網で獲得されたと推定される（大小の外洋性表層回遊魚を対象とした表層漁業の発達）。

③本遺跡の漁労季節は春～夏もしくは秋であったと推定される。

4. 動物遺体より

過去の調査及びその後の分析より、7日17種の哺乳類（イノシシ・シカが9割近くを占める）と、爬虫類（ウミガメ）、両生類（ヒキガエル）が同定されている（10、11）。特に、埋葬された可能性のある犬骨や、オオカミ、ツキノワグマ、カワウソ、アシカ、カモシカ等の存在が注目される。

出土区に注目すると、10・11区、17・18区にその集中が見られる。それぞれ黒色磨研期（10・11区）、上加世田式・入佐式期（17・18区）の2期に比定すると考えられる。黒色磨研期は、全国的に貝塚が衰退する時期であるが、この時期は、貝類遺体への依存度が低くなった分、その結果として、他の生業活動に対する比重が増し、狩猟活動も盛んになることが知られている（12）。遺跡の中心たる貝塚部（12～16区に相当）は殆ど未調査であり、一概には断言できないが、10・11区及び17・18区での獣骨の集中は、終原貝塚でも同様の傾向があることを示唆していると思われる。また、獣類の捕獲具である石鏃についても、遺跡中央（9～11区）及び遺跡西部（18区）より集中して出土する傾向があり、やはり同様の傾向を示唆する。終原貝塚においては、埋葬された可能性のある犬骨、獣骨を伴う集石、平成12年度確認調査で検出された少なくとも29体以上の猪の下顎骨の集中等、何らかの祭祀活動と関連づけて想定されるものが検出されているが、これらについても、比重を増した狩猟活動との関連が想定されよう。

5. 炭化したドングリ

植物遺体が23点（重量計4.53g）検出された（第47表及び第83図）。大半が貝層出土のもので（横断トレンチ及び縦断トレンチ）、埋土を持ち帰り水洗した結果検出された。

そのうち8点がドングリと比定され、水さらしのみでアク抜きのできるカシ類（C類）、製粉すれば水さらしのみでよいが、粒のままでは煮沸を何度も繰り返さないとアク抜きのでないナラ類（B類）のいずれかと分析されている（13）。その他のものについては、今後の分析結果を待ちたい。

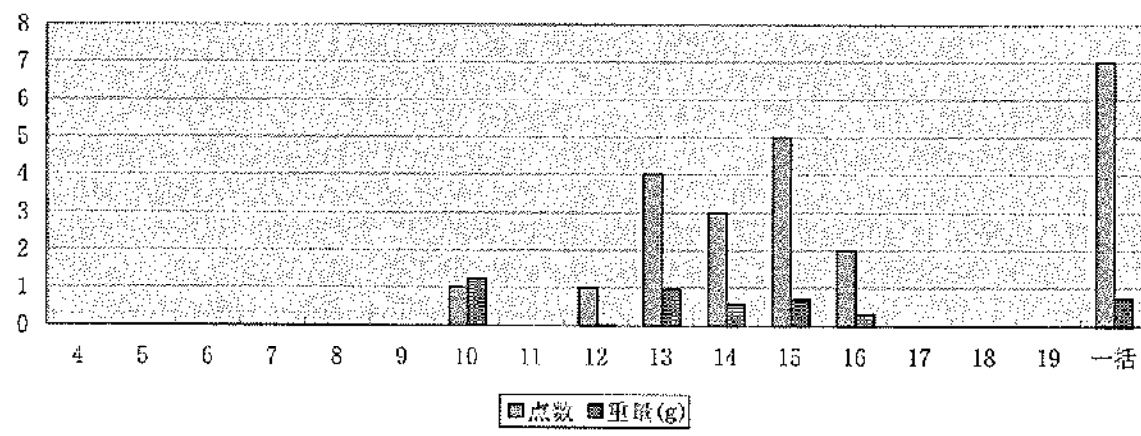
第47表 柁原貝塚出土炭化種子一覧表

| 区 | 点数 | % | 重量(g) | % | 備考 |
|----|----|------|-------|------|-----|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 10 | 1 | 4.35 | 1.24 | 27.4 | |
| 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 12 | 1 | 4.35 | 0.02 | 0.44 | 横断T |
| 13 | 4 | 17.4 | 0.95 | 21 | 横断T |
| 14 | 3 | 13 | 0.56 | 12.4 | 縦断T |
| 15 | 5 | 21.7 | 0.7 | 15.5 | 縦断T |
| 16 | 2 | 8.7 | 0.32 | 7.06 | 縦断T |
| 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 縦断T |
| 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一括 | 7 | 30.4 | 0.74 | 16.3 | 貝層他 |
| 計 | 23 | 100 | 4.53 | 100 | |

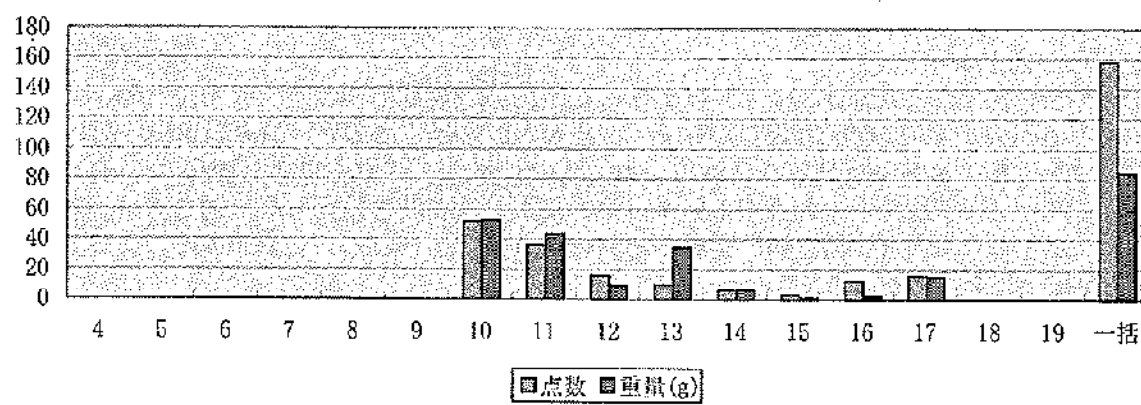
第48表 柁原貝塚出土燧石一覧表

| 区 | 点数 | % | 重量(g) | % | 備考 |
|----|-----|-----|--------|------|-----|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 10 | 52 | 17 | 52.95 | 21.2 | 犬周辺 |
| 11 | 36 | 12 | 43.21 | 17.3 | 縦断T |
| 12 | 16 | 5.2 | 9.49 | 3.8 | 縦断T |
| 13 | 10 | 3.2 | 34.57 | 13.9 | 横断T |
| 14 | 6 | 1.9 | 6 | 2.4 | 縦断T |
| 15 | 3 | 1 | 1.14 | 0.46 | |
| 16 | 13 | 4.2 | 2.14 | 0.86 | |
| 17 | 16 | 5.2 | 15.46 | 6.2 | |
| 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一括 | 158 | 51 | 84.58 | 33.9 | |
| 計 | 310 | 100 | 249.54 | 100 | |

第83図 柁原貝塚出土炭化種子一覧 (グラフ)



第84図 柁原貝塚出土燧石一覧 (グラフ)



6. 燧石

燧石が310点(重量計249.54g)検出された(第48表及び第84図)。40%近くが貝層中(横断トレンチ及び縦断トレンチ)からの出土で、残りのものも貝塚周辺(10~17区)から出土している。

埋土を持ち帰り水洗した結果検出された。うち8点を分析した結果、約半数に黒曜石・石英細片の混入が見られることから、イヌの可能性が高いと分析された(14)。また、燧石中に小型種子の圧根が少なくないことから、魚肉類と草本類の種子をお粥状にして食べさせた可能性も示唆されている。その他のものについては、今後の分析結果を待ちたい。

7. 小結

これらのことから、本遺跡においては、貝類採取・漁業・狩猟・ドングリ採集といった多様な生業活動が展開されており、しかもそれが極めて計画性の高いものであったことが伺える。

B. 人工遺物

1. 土器

全172,916点(重量4,839,368g)の土器片が検出された。これは、パンケースに換算して約500箱以上に及ぶ膨大な量であった。型的にも多様かつ長時期にわたるものが出土していたのだが、そのうちでも、指宿式期、市来式期、黒色磨研期、晩期初頭の4つの時期に属する土器群が特に顕著に出土しており、これら4つの分類に属する土器群を、柁原貝塚出土土器の中で鍵となる型式であると認識した。そこで、まずこれら4つの時期に着目し、縄文土器について大分類として便宜上8グループ(第I群~第VIII群)を設定した。柁原貝塚出土の土器を、設定した属ごとに表及びグラフ化を試みたものが第III章第5節で示した第13表及び第24図、第25図であるが、それによると、柁原貝塚出土の土器は、設定したそれぞれの属ごとに、集中して出土する場所があることがわかる。つまり、出土場所により凡その時期が特定できると言える。

この結果と、平成12~14年度確認調査の結果をあわせて、各期の分布範囲を図化したものが第82図である。この図を見ると、市来式が広範囲に分布しているが、他の3型式については、遺物が集中して出土するエリアがあることが分かる(市来式にしても、分布範囲は広いが、平成9・10年度調査の出土量のピークは遺跡東部にある)。これは、各期の集落の規模及び生活拠点を反映しているのではないかと考えられる。このことから、遺跡の移り変わりは、東西方向では東方から西方へ移動していると考えられる。時代は下るが、古墳時代の成川式も遺跡西方に分布範囲をもち、この傾向が古墳時代まで続くと言えよう。

これだけ長時期かつ多用にわたる土器が出土しているということは、本遺跡において人間活動が連続して長期にわたって行われてきたことを示唆する。残念ながら、その出土状況はまさに足の踏み場もない状況であり、層位的に上下関係を捉えることが非常に困難であった。そのため、各型式の年代的前後関係について、十分なデータを提示できなかったことが遺憾である。しかし、個々の資料には貴重なものもあり、本遺跡が、南九州の縄文時代後~晩期を考えていく上で重要な位置付けをされ得ると思われる。今後更なる整理作業の成果が期待される。

②土製品

A9区より1点、獣形土製品が出土した。足、尾を表現したと思われる突起物痕、目・鼻・口・肛門を表現していると思われる孔が認められる。また、A7区からは、獣形把手付土器(市来式の山形口縁の一部に、獣形を象ったと考えられる装飾突起を有する土器)が

出土した。いずれも黒色磨研期に比定すると考えられ、埋葬された可能性のある犬骨、獣骨を伴う集石、猪の下顎骨の集中等と同様、何らかの祭祀活動と関連づけて考えられよう。また、A16区から円盤形土製品が1点出土した。両面に異なる施文をもつ直径約6cm、厚さ約1.5cmの円盤形の土板で、黒色磨研期のものと考えられる。用途は不明であるが、何らかの祭祀遺物と考えられる。

また、円盤形土製加工品が58点出土した。通称メンコと呼ばれるもので、用途は不明である。終原貝塚出土のものは、指宿式を利用したものが多く、指宿式と同様遺跡の東方に集中して出土する傾向がある。土器の使用部位に着目すると、胴部片を利用したものが大半であるが、底部片を利用したものも見られる。直径は約4~5cm前後のものが多い。

③石器

石器は、全2,360点(重量約759,092g)出土した。出土石器のうち大きな比重を占めるのが、磨石・敲石・凹石類及び石皿である。個別にはそれぞれ3.3%、12.9%、13.3%、7.8%を占めるが、磨石・敲石・凹石の合計だと29.5%を占め、これに石皿まで含めると37.4%を占める。これらの主たる用途は植物調理用と考えられるが、他の用途に用いられた可能性が高いものもある。続いて、穴掘具・農耕具と考えられる打製石斧も大量に出土しており、約22%を占める。加工具と考えられる磨製石斧も多く、7.2%を占める。他にもスクレイパー、石鏝の出土も少なくなく、石錘も出土している。これらの背景には、本遺跡の生業形態の多用さが伺える。また、本遺跡は出土土器の分析より、出土区ごとにおおまかな時期が設定できるが(土器の項参照)、出土石器のうち大きな比重を占めるものは、遺跡中央部(9~11区)及び遺跡西部(17~19区)に出土のピークを持ち、黒色磨研期から晩期初頭にかけてのものに比定されると考えられるものが多い。貝塚部については未調査であるので、明言はできないが、このことから、時代が下るにつれ石器がより多様に分化していく様子が伺え、生業形態の多様化が歴史的発展に伴うものであったことが伺える。

ところで、黒曜石器については高橋豊氏に分析していただいたが、分析の結果終原貝塚出土の黒曜石器は、直線距離で約210kmにわたる極めて広範囲で交易されていることが判明した。

また、用途不明の石製品が85点(約3.6%)出土している。使用痕等はなく、用途も含めて詳細不明であるが、土製品や軽石製品と同様、何らかの祭祀遺物と考えられる。軽石製品と類似するものや三角罫形石製品等、本県ではあまり類例の見られないものも出土している。

玉類(石製装身具)が19点出土している。コ字形勾玉3点、垂飾形のもの3点、エンタシス状管玉2点、環玉3点、小玉3点、小型石棒状のもの1点、小片3点である。出土区に注目すると、9~11区、18・19区からの出土が多く、終原貝塚出土の石製装身具は、縄文後期後半(黒色磨研期)から晩期初頭(上加世田式・入佐式期)にかけてのものに比定できると考えられる。

本遺跡において「南九州から東日本に至る広域で玉情報が行き交う中、東日本の影響の及んだ玉類(垂飾形玉)と、九州の独自性の強い玉様式(コ字形勾玉・細いエンタシス状管玉・環玉・小玉のセット)が共存する状況」が見られたということであり、加世田市上加世田遺跡でも同様の傾向が見られる(15, 16)。

石製装身具の石材鑑定については、松本幡郎氏に委託したが、その結果大分県産の異極鉱や新潟県系魚川産の翡翠等遠隔地のものも出土しており、当時の人々の生活圏の広さを物語る。

また、未製品のもの、玉材と思われるもの(いずれも石材未鑑定。今後鑑定が必要)や玉製作に関連して使用されたと考えられる砥石も出土していることから、本遺跡において玉製作がなされた可能性が高い

⑤軽石加工品

1,525点点に及ぶ膨大な軽石製品が出土した(17)。終原貝塚出土の軽石製品には、大別して岩偶等の製品(1,148点、全体の約75%)と、加工具としての使用が想定されるもの(377点、約25%、以下加工具と呼称)に分類できる。それぞれを細かく見ると、製品では円形(226点、全約15%)、棒状(205点、約13%)、凹石(179点、約12%)、舟形(102点、7%)、磨凹石(79点、5%)、岩偶(64点、約4%)等が多く、加工具では小凹穴が多数あるもの(166点、約11%)が多い

軽石製品は、鹿児島県下において、草野貝塚や武貝塚で大量に出土している(18)、(19)。本遺跡は、加工具や大量の岩偶の出土等、鹿児島県下における他の軽石製品出土遺跡とは若干意味合いが異なるようである。特に岩偶については、岩偶類似製品や軽石を楕円盤状に成形したのみのもの、加工具(溝状加工有)等の出土より、本遺跡がその製作場であった可能性も高いと考えられる

出土区に注目すると、岩偶については、9~11区(黒色磨研期)、16~19区(上加世田式・入佐式期)から多く出土しており、この時期に比定されるものが多いと考えられる。寒川氏は、黒色磨研期は「九州内で土偶の出土が盛行する時期であり、軽石製岩偶の盛行がそれと連動している」と指摘している(17)。この時期は社会的にも大きく変容したと考えられる時期であるが(第3節)、このようないわゆる「第2の道具」の大量の出土は、精神的にもこのころに大きな画期があったことを示唆していると思われる。

他の製品は、9~11区(黒色磨研期)が若干多いようだが、まんべんなく出土する状況であった。

⑥貝器・貝製品

152点出土した(17)。材料とされた貝種は25種(二枚貝類13種、巻貝類9種、ツノガイ種2種、不明1種)である。内容は、大別して生産・生活用具と考えられるもの(3点、全体の約2%、以下貝器と呼称)と装身具(149点、約98%)に分けられ、装身具が大半を占める。装身具については、貝輪(57点、約38%)、貝小玉(46点、約30%)、垂飾状加工品(35点、約23%)となり、貝小玉・垂飾品の多さが注目される。貝輪に用いられた種のうち、タマキガイ類やサトウガイ類等錦江湾では得にくく、吹上浜からの搬入品である可能性があるものもあり(5)、貝類からも、終原人の生活圏の広さが伺える。

出土区については、貝塚本体からの出土が殆どであり、市来式期に比定すると考えられる。

⑦骨角牙器・骨角牙製品

227点出土した(17)。その原材料は、鹿角、歯牙、獣指骨、魚椎骨等多岐に及ぶ。内容は、大別して生産・生活用具と考えられるもの(85点、全体の約37%、以下骨角牙器と呼称)と装身具(142点、約63%)に分けられる。貝器・貝製品ほどではないが、装身具の割合が高い。骨角牙器については、釣針が多い。70点の出土で、骨角牙器の総数に対して約31%を占める(これは、生産・生活用具と考えられる骨角牙器の総数に対してだと、約82%の比率となる)。全て単式釣針で、銚を備えたものは僅か1点のみの出土である。このことから、本遺跡で大量の出土が見られるカツオ・スマ類等大型の外洋性回遊魚の漁獲方法として、無銚釣針が想定される。他に、数は少ないがヘラ、刺突具、牙斧が出土している。

装身具については、髪針（105点、約46%）が多い。装飾をもつもの（25点出土、髪針の総数に対して約61%を占める）ともたないもの（16点、39%）があるが、本遺跡出土のものは比較的装飾性が高いと言える。他に、有孔垂飾状歯骨製品、牙製小玉、牙製腕輪等が出土している。

貝器・貝製品同様、貝塚本体からの出土が殆どであり、市来式期に比定すると考えられる。

第5節 終原貝塚における各期の様相

以上のことを踏まえ、終原貝塚の歴史について、想定を試みた（第85図）。最終的には更に細かい時期決定が可能と思われるが、第5節で述べた主要土器4型式に着目し、特に貝塚との関わりがあったと思われる時期の様相について記す。

第I期：集落形成以前の文化（I群に伴う文化）

竊式～大平式に伴う分化。遺跡周辺での生活の足跡が伺える。

第II期：貝塚以前の文化群（II群に伴う文化）

過去経験の無い環境の変化（気候の寒冷化）に消極的対応を強いられ、それまでの生活形態を墨守していた時期と考えられる（18）。本遺跡においても、指宿式の出土量は他の主要土器と比すとやや少なく、分布域も限られており、そのことを反映していると思われる。また、そういった状況下では、新たな資源である貝類への依存度もあまり高くなかったと思われ、貝塚を形成するには至らず、それがブロック状の貝の廃棄（貝B）といった形になったものと思われる。遺物の出土状況及び住居址の検出より、遺跡の東方で繁栄したと思われる。

第III期及び第IV期：貝塚の初現～発展期（III、IV群に伴う文化）

鹿兒島県下においては、市来式期に貝塚が形成されることが知られる。本遺跡でもこの傾向は同様で、III群に属する土器（市来式、草野式、丸尾式）及びIV群に属する土器のうち西平式を除くもの（鐘崎式、北久根山式、辛川式、納曾式）が貝塚（純貝層）期の文化と思われる。河口氏は、草野貝塚の報告書において、この時期を「気候冷涼に対する経験」の蓄積を生かし、「積極的な対応を行っている」時期としている（18）が、本遺跡においても同様の文化が展開されたと考えられる。市来式系統の土器は、本遺跡においても広範囲且つ大量に出土しており、この時期人々が繁栄したことを伺わせる。また、貝器・貝製品及び骨角牙器・骨角牙製品等多彩な遺物の出土も、「積極的な対応」を示唆する。一方で同時期の磨消縄文土器も大量に出土しており、他地方からの文化の流入も積極的に行われていたことも伺える。遺物の出土状況及び住居址の検出より、貝塚を中心に遺跡全般に渡って繁栄したと思われる。

第V期：純貝層期終了後の文化

西平式に伴う文化。純貝層期から黒色磨研期へと移行する過渡期。

第VI期：貝塚の衰退期1（V群に伴う文化）

この時期は全国的に貝塚が衰退する時期である。終原貝塚においても、貝塚（純貝層）からは黒色磨研期の土器は検出されておらず、このころには貝塚を形成する程貝を採取しない、あるいはできなくなっており、このことが純貝層ではなく貝Bの形成という結果になって表れたと思われる（貝類への依存度の低下）。

この時期は環境の変化及びそれに伴う社会・文化の変遷といった極めて複雑な変化があ

ったと考えられている時期であるが、終原貝塚においても、穀ゾウムシの発見（穀物の伝播）、動物遺体の集中（狩猟への傾倒）等、そのような生業活動の変化があったことを示す諸要素が見受けられる。

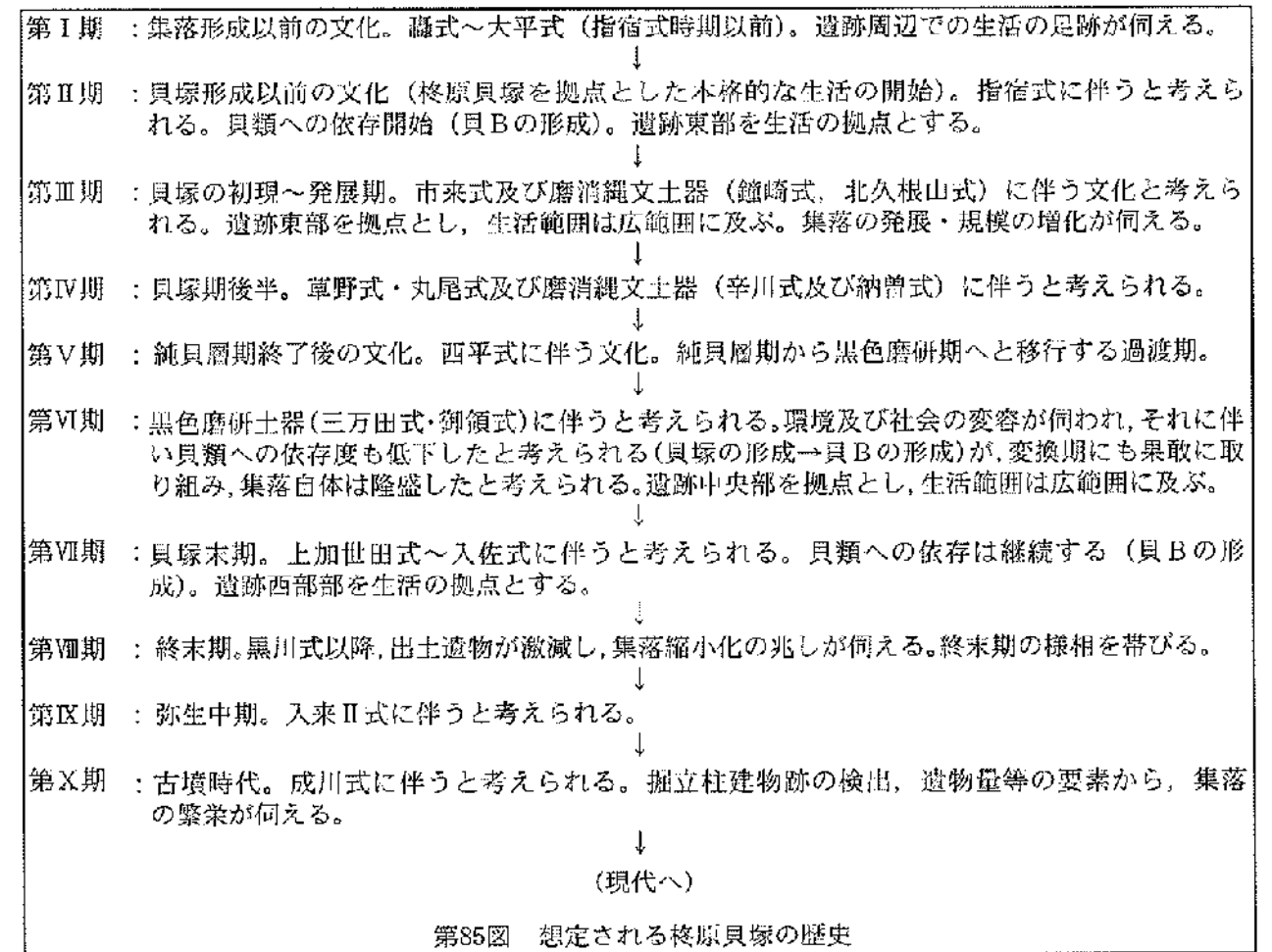
また、軽石製岩偶や石製装身具等いわゆる第2の道具もこのころのものと考えられ、精神生活にも大きな変化があったと考えられる時期である（埋葬人骨を伴う土塚墓、埋葬された可能性のある犬骨の検出等もそのことを裏付ける要素であると思われる）。ただ、遺物の出土量は全ての時期を通じて尤も多く、出土範囲も広範囲に及ぶことから、この大規模な変化にも積極的に取り組み、豊かな文化を営んだことが想定される。遺物の出土状況や土塚墓、犬骨の検出等から、遺跡の中央付近から広範囲に渡り繁栄したと思われる。

第VIII期：貝塚の衰退期2（VI群に伴う文化）

黒色磨研期に後続して発展した時期と思われる。貝類への依存度の低さ（貝塚ではなく貝Bの形成）、狩猟への傾倒（動物遺体の出土状況）、精神生活（軽石製岩偶や石製装身具等の出土）等の要素がそのことを裏付けると考えられる。遺物の出土状況及び住居址の検出より、遺跡の中央から西方にかけて繁栄したと思われる。

第IX期～第X期：集落の終末期～新たな集落の形成

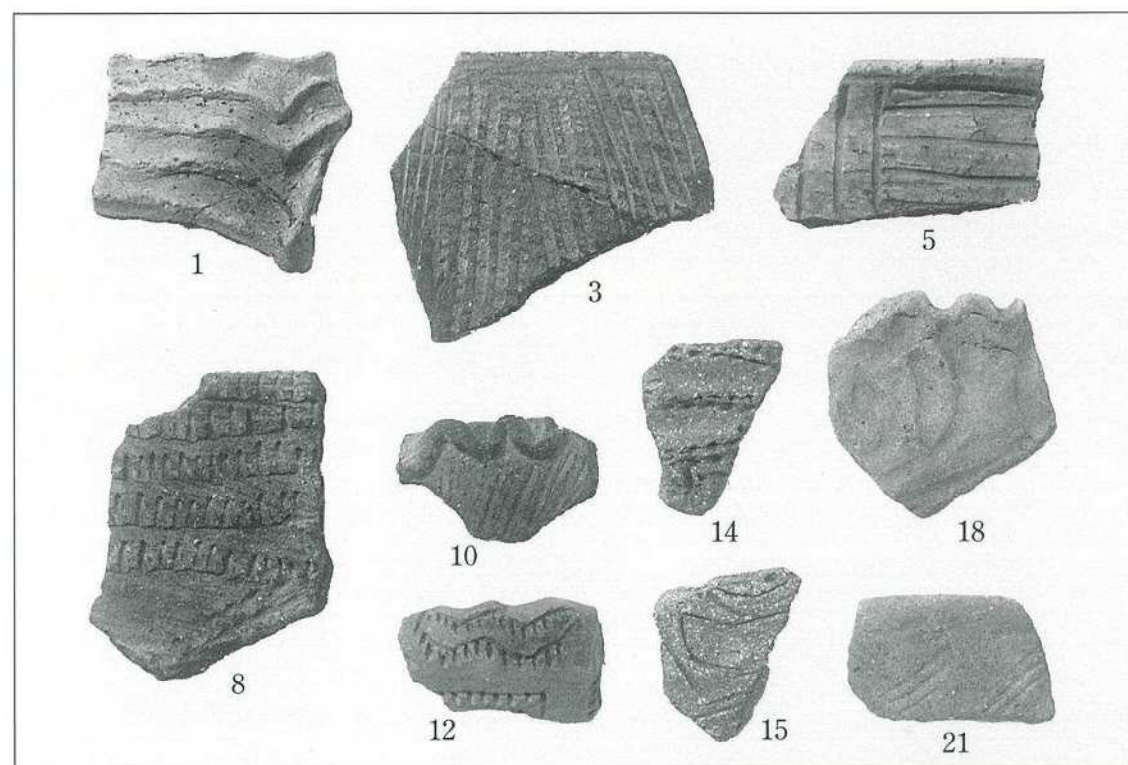
黒川式以降の文化。遺物の出土量は大幅に少なくなり、終末期の様相を顕にする。再びこの地が人々の生活の場の中心となるのは、古墳時代を待たねばならない。



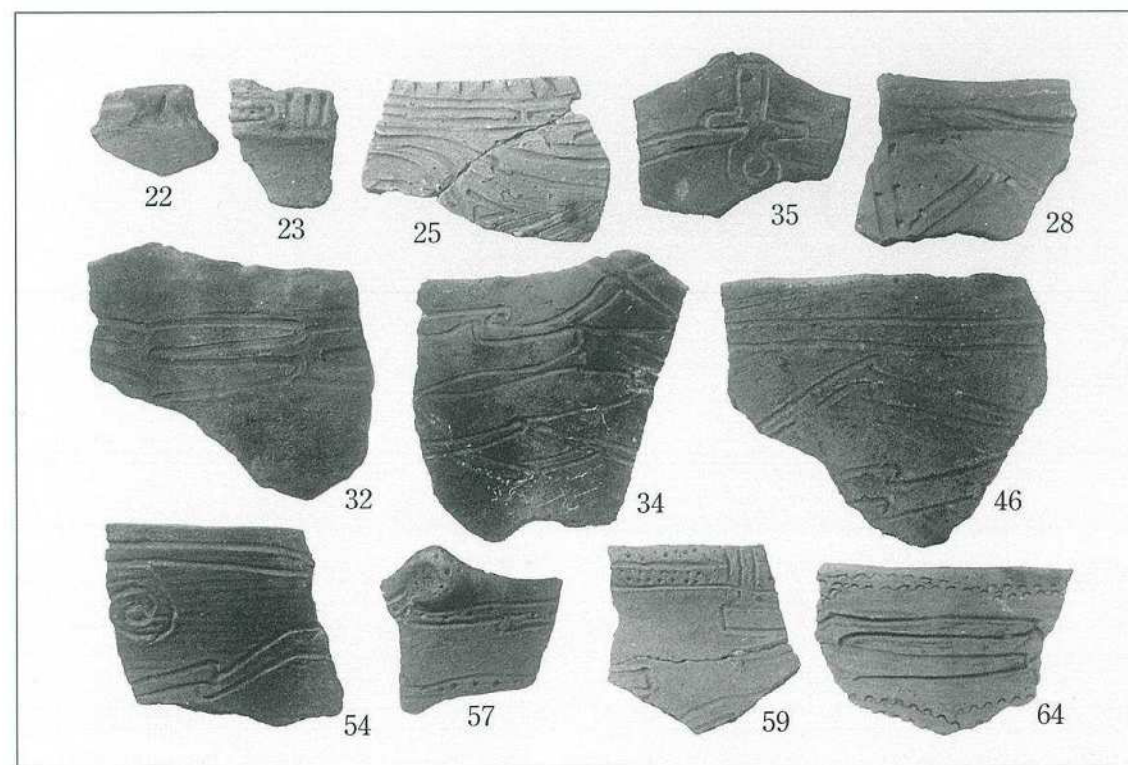
[引用・参考文献]

- (1) 今村敏照・鶴飼一伸1996. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(1) 柗原貝塚」 垂水市教育委員会
- (2) 鶴飼一伸・羽生文彦(編)1999. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 柗原貝塚」 垂水市教育委員会
- (3) 羽生文彦・宮迫佑治(編)2005. 「垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚」 垂水市教育委員会
- (4) 坂下泰典1999 「柗原貝塚出土の貝類について」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (5) 黒住耐二2005. 「貝類遺体からみた柗原貝塚の特徴」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (6) 樋泉岳二2005. 「柗原貝塚出土の魚類遺体群」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (7) 峰和治・竹中正巳・小片丘彦1996. 「垂水市柗原貝塚出土の縄文時代人骨」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(1) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (8) 峰和治・竹中正巳・小片丘彦1999. 「垂水市柗原貝塚出土の縄文時代人骨—平成9年度調査—」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (9) 竹中正巳2005. 「垂水市柗原貝塚出土の縄文時代人骨—2002—1号人骨—」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (10) 西中川駿・蓮沼浩・福島晶1999. 「垂水市柗原貝塚出土の動物遺体」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (11) 西中川駿・久林朋憲2005. 「垂水市柗原貝塚(平成12~14年度調査) 出土の動物遺体—特に哺乳類について—」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (12) 樋泉岳二. 1999. 「東京湾地域における完新世の海洋環境変遷と縄文貝塚形成歴史」 『国立礫民俗博物研究報告』 第81集
- (13) 渡辺誠1999. 「柗原貝塚出土の植物遺体」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (14) 松井章1999. 「柗原貝塚出土の糞石の観察」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (15) 木下尚子. 2001. 「双口土器と獣形勾玉」 『鹿児島考古』 第35号 鹿児島県考古学会
- (16) 青崎和憲・繁昌正幸・宮田栄二 1985 「加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書(3) 上加世田遺跡—1」 加世田市教育委員会
- (17) 寒川朋枝2005. 「柗原貝塚出土の軽石製品, 貝製品, 骨角器」 『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 柗原貝塚』 垂水市教育委員会
- (18) 出口浩・中村直子(編)1988. 「鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(9) 草野貝塚」 鹿児島市教育委員会
- (19) 澤田勝(編). 1998. 「奈良大学考古学研究室調査報告書 第16集 鹿児島県桜島武貝塚発掘調査研究報告書」 奈良大学考古学研究室

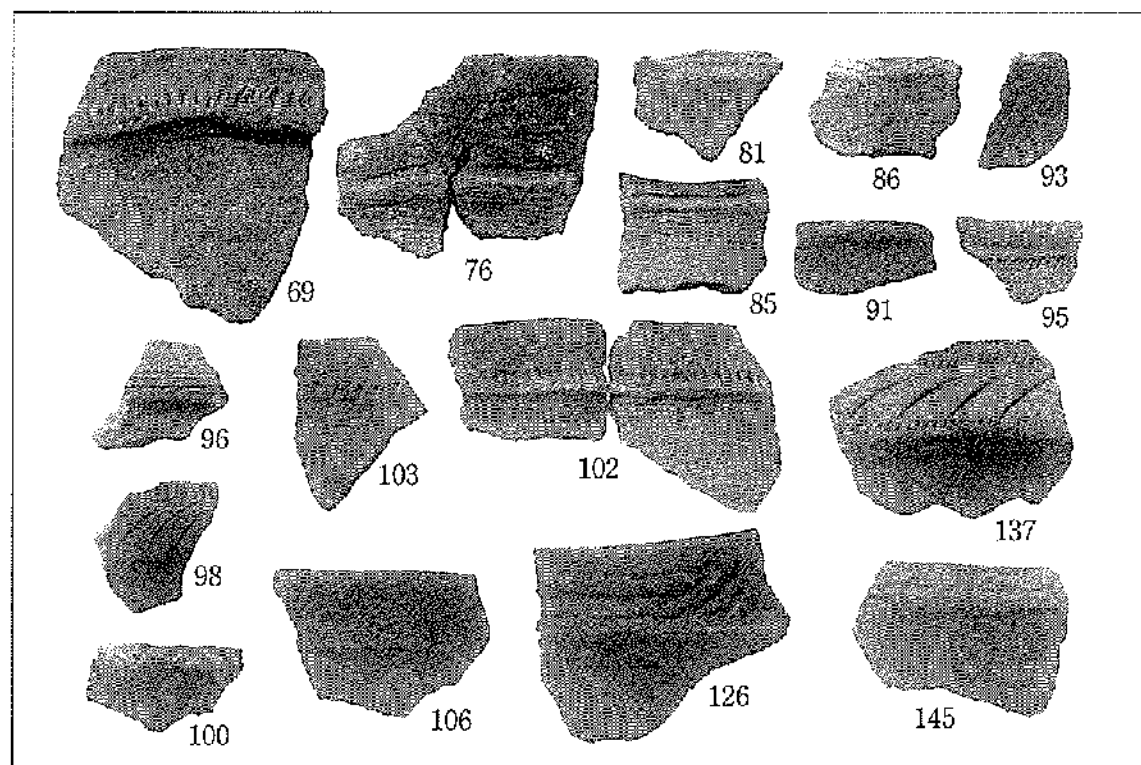
図 版



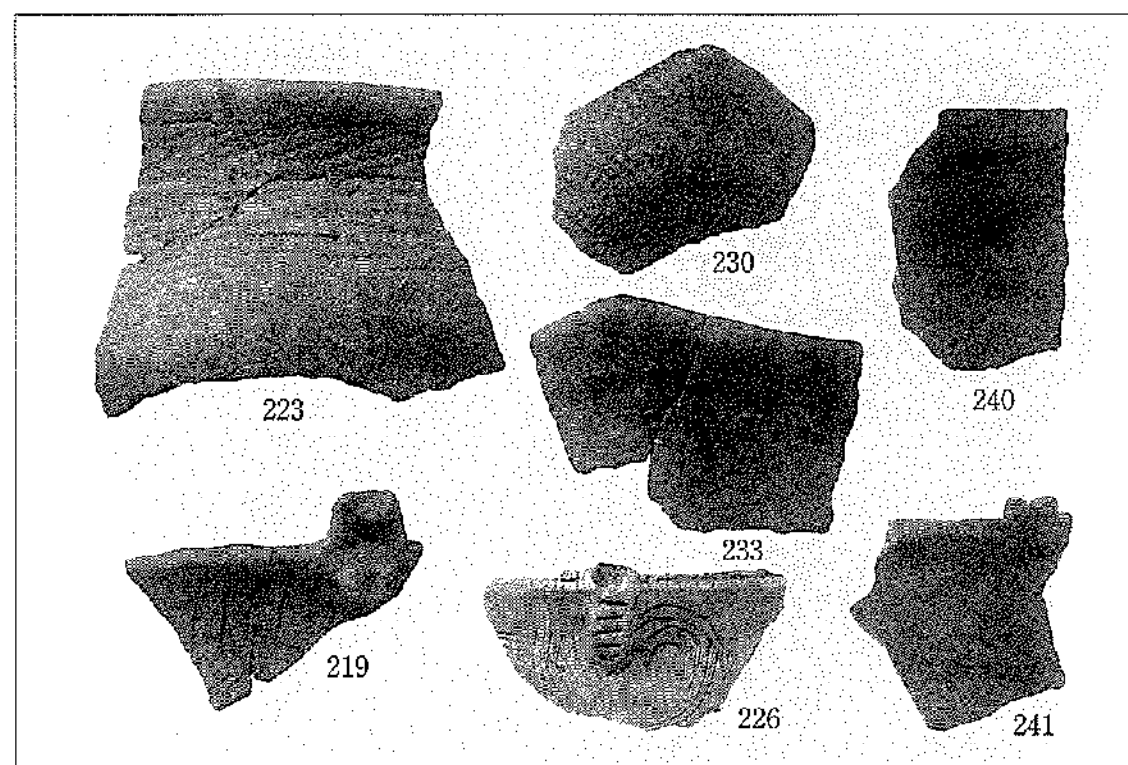
柁原貝塚出土遺物(1) 縄文時代前期中葉～中期中葉の土器



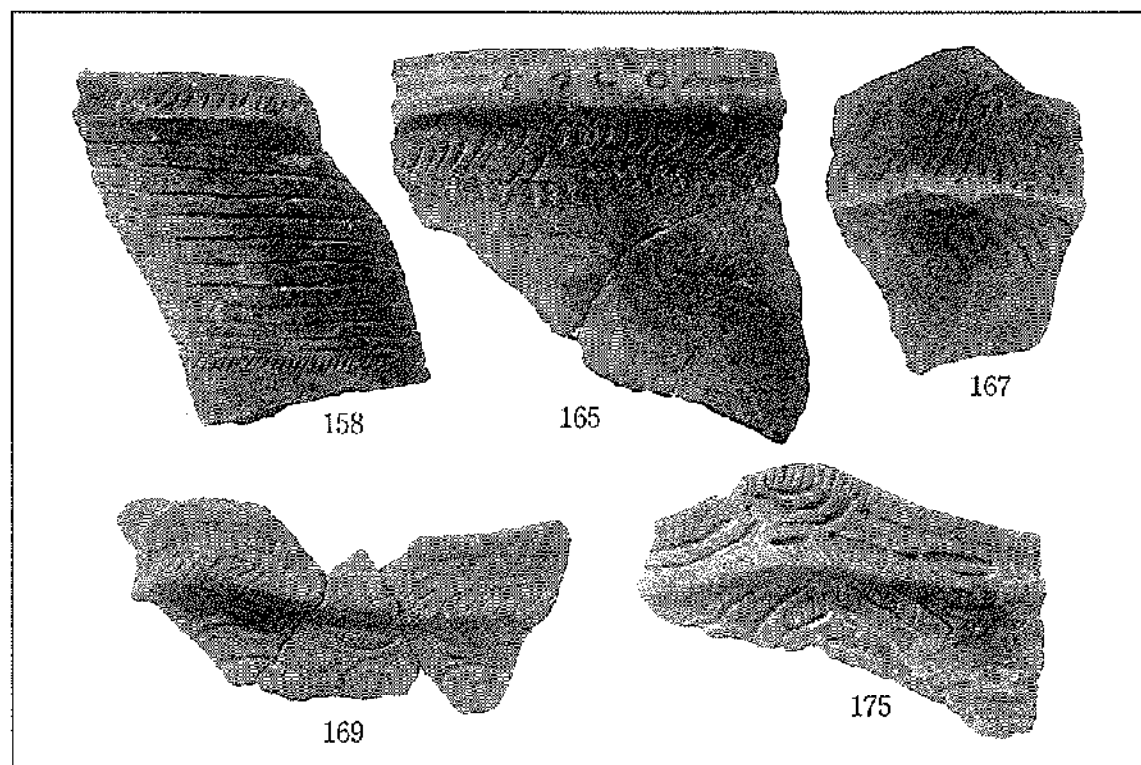
柁原貝塚出土遺物(2) 縄文時代後期前葉の土器



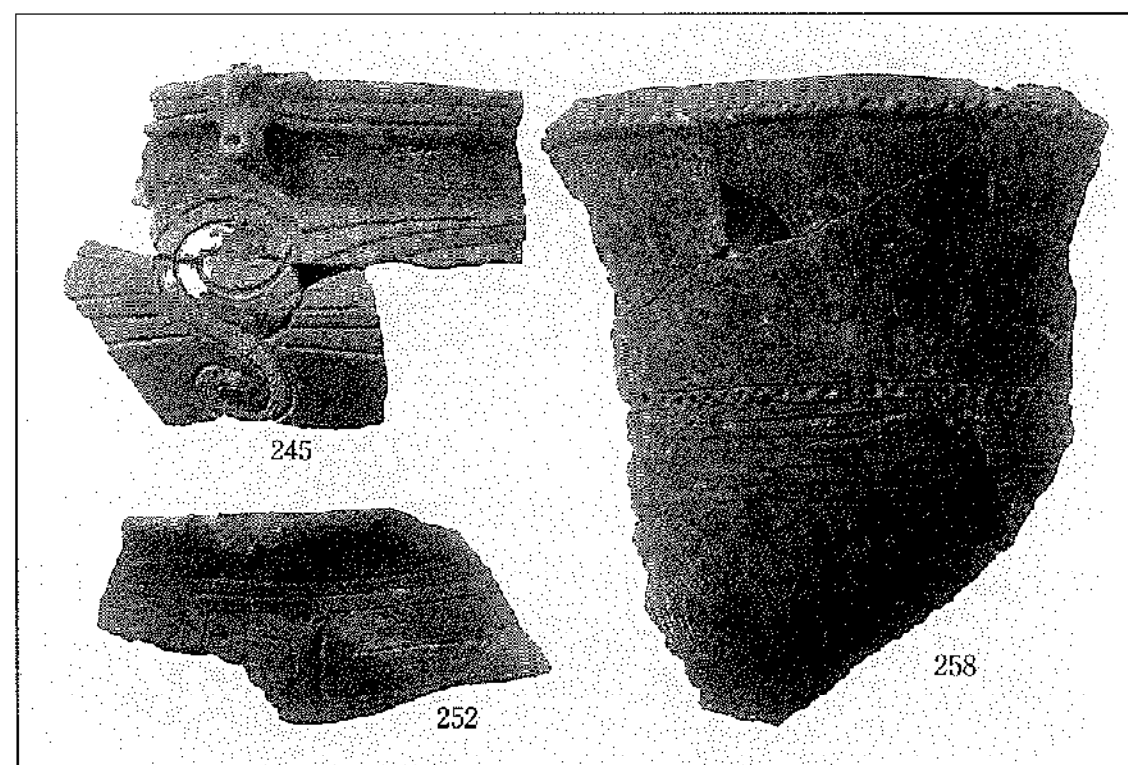
柁原貝塚出土遺物(3) 縄文時代後期中葉の土器



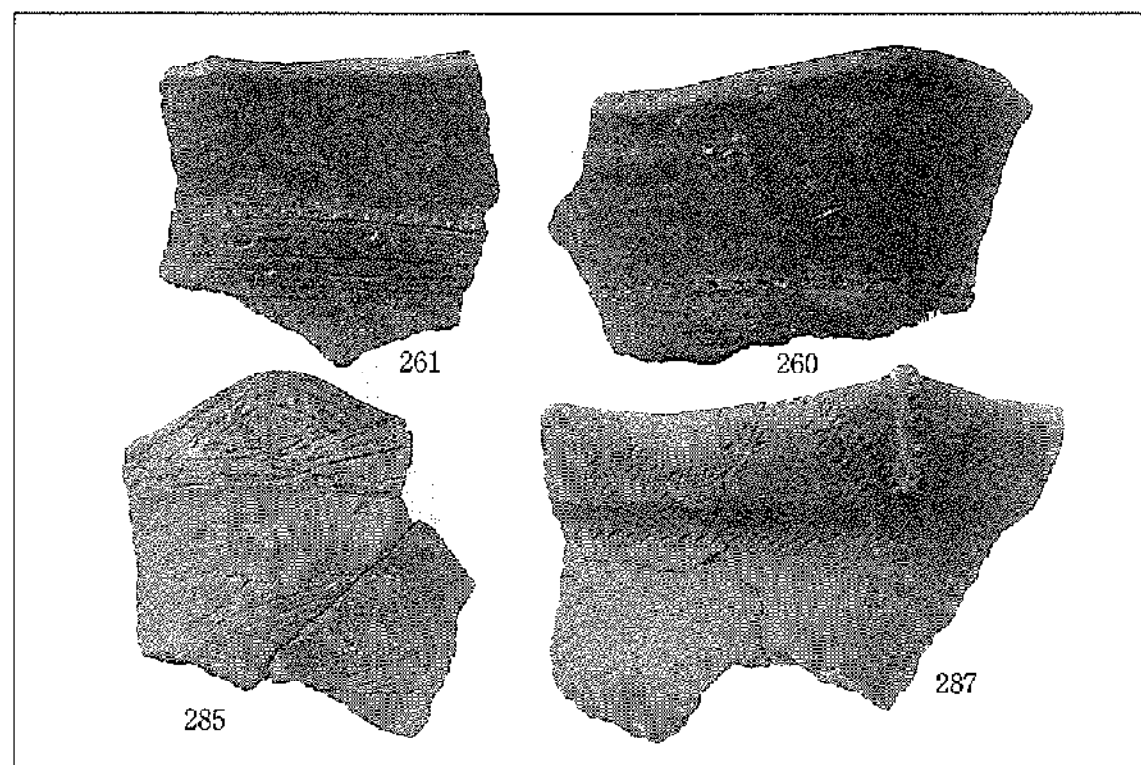
柁原貝塚出土遺物(5) 縄文時代後期中葉の土器



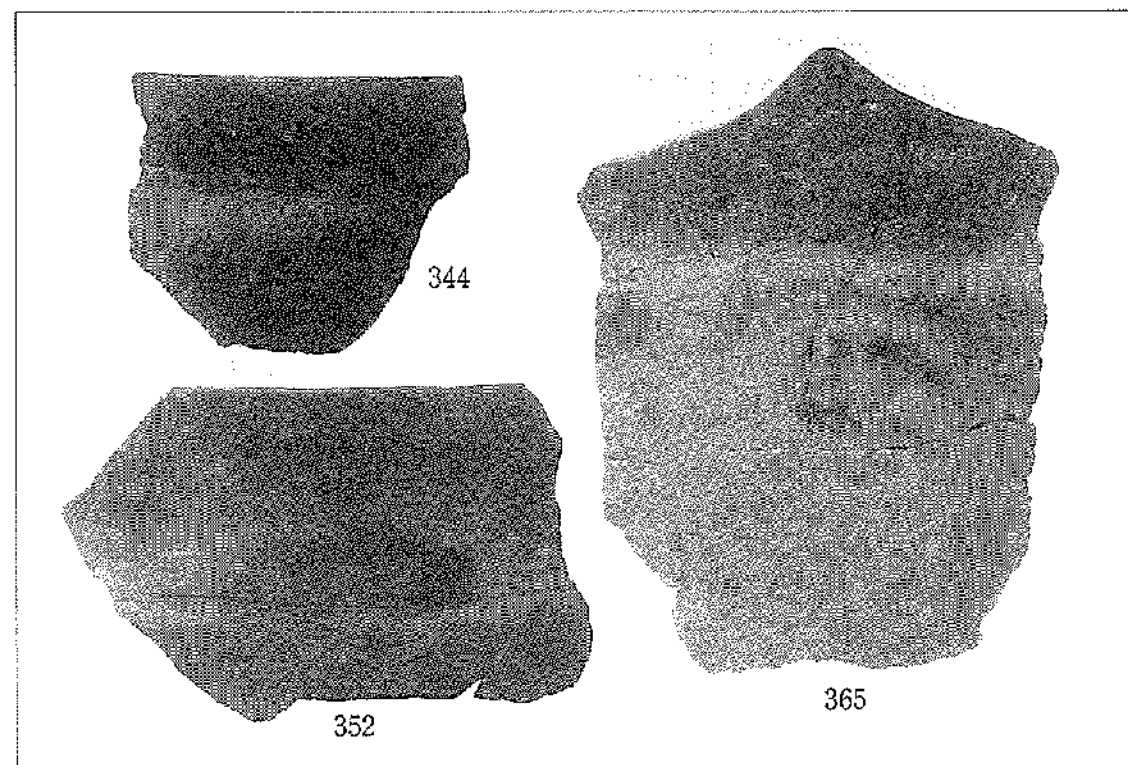
柁原貝塚出土遺物(4) 縄文時代後期中葉の土器



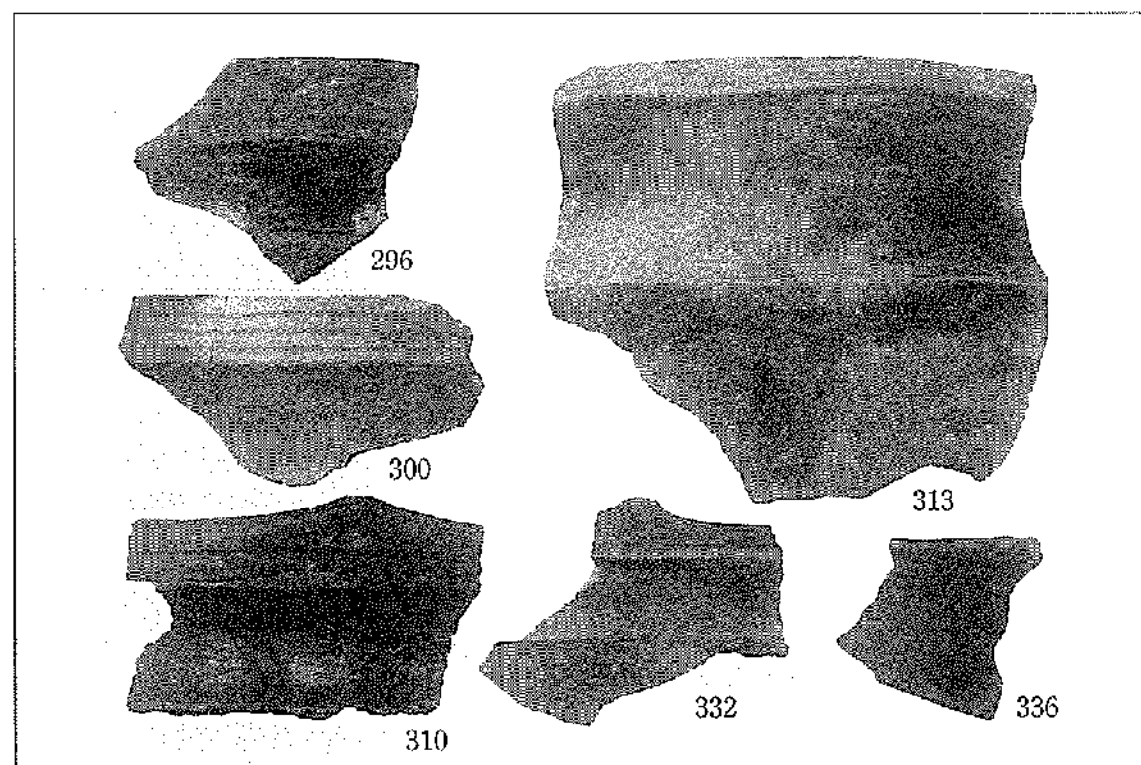
柁原貝塚出土遺物(6) 縄文時代後期中葉の土器



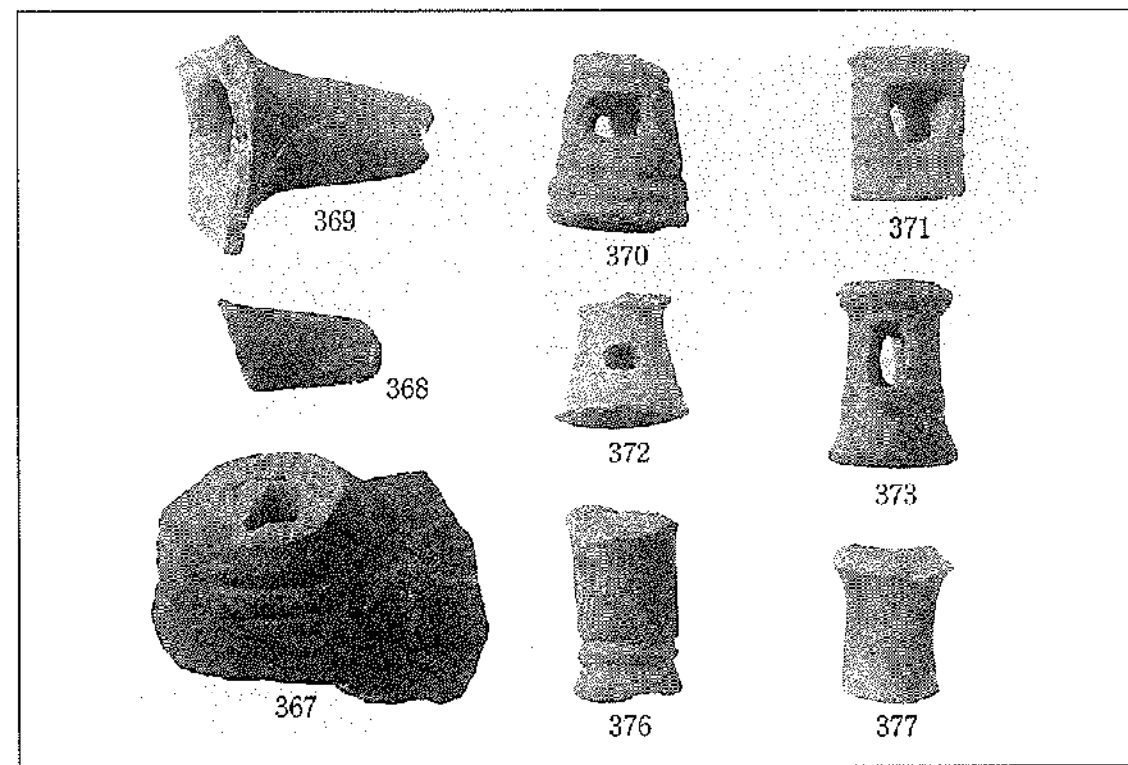
柗原貝塚出土遺物(7) 縄文時代後期中葉の土器



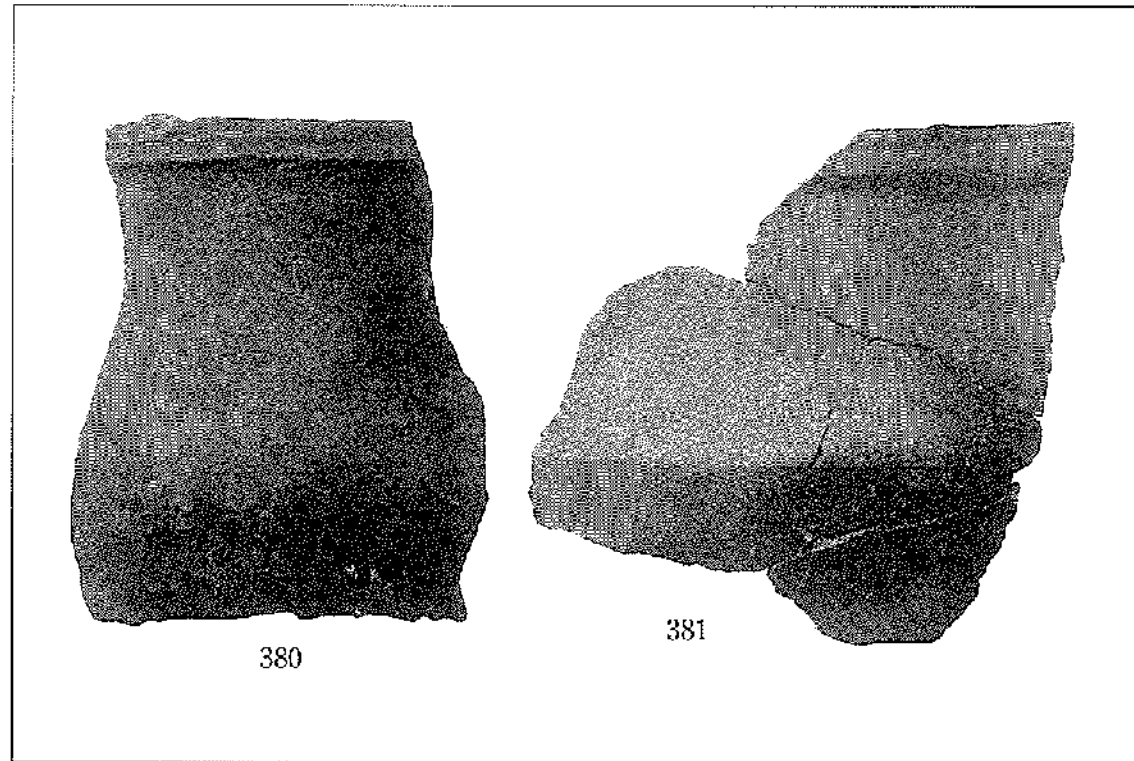
柗原貝塚出土遺物(9) 縄文時代後期末の土器



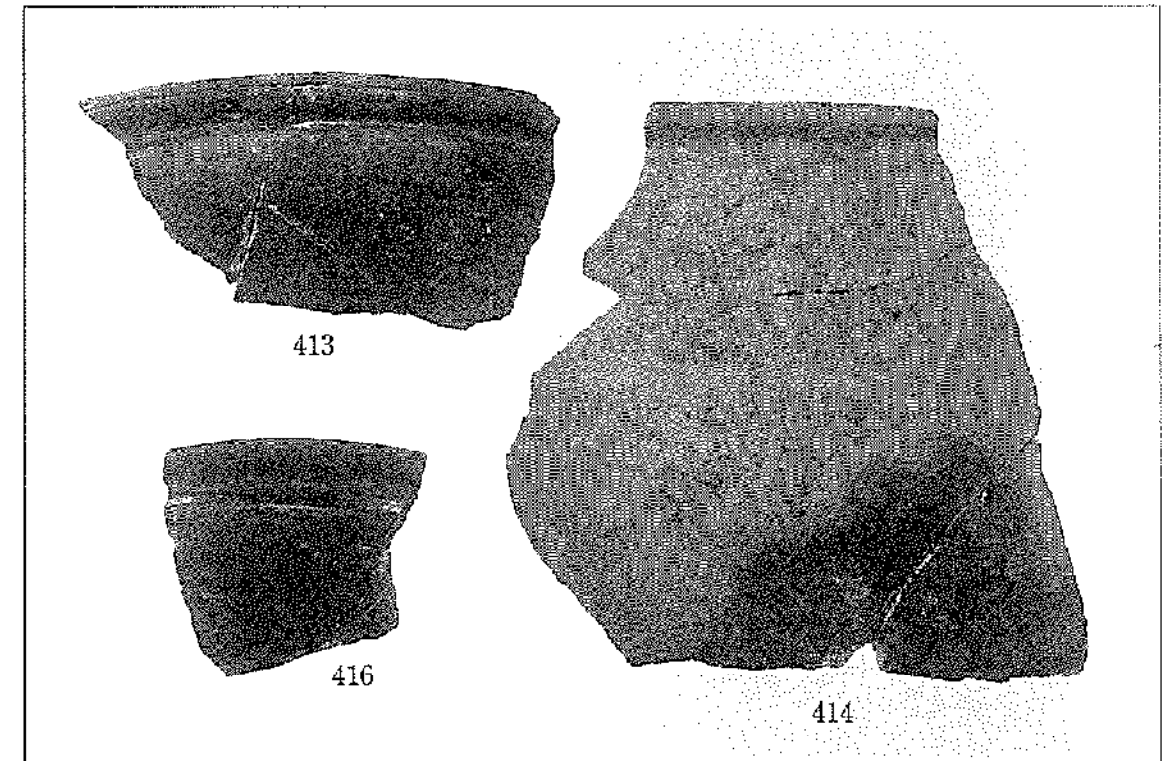
柗原貝塚出土遺物(8) 縄文時代後期後葉～後期末の土器



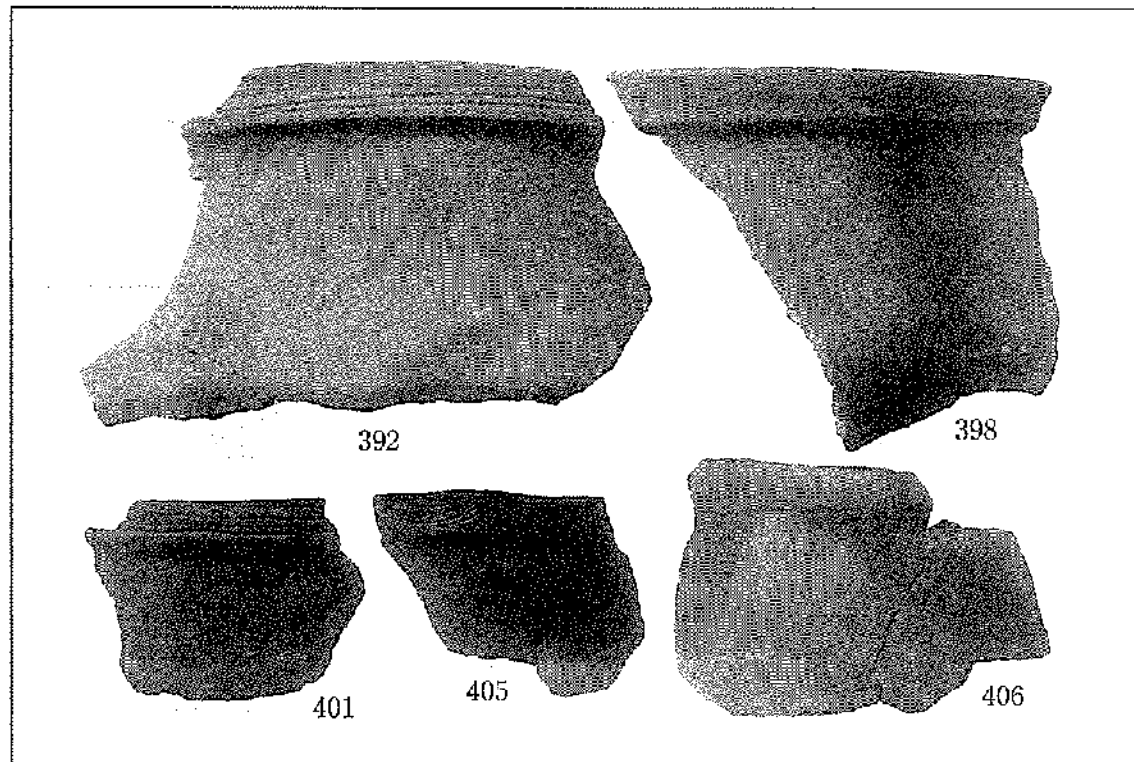
柗原貝塚出土遺物(10) 縄文時代後期末の土器



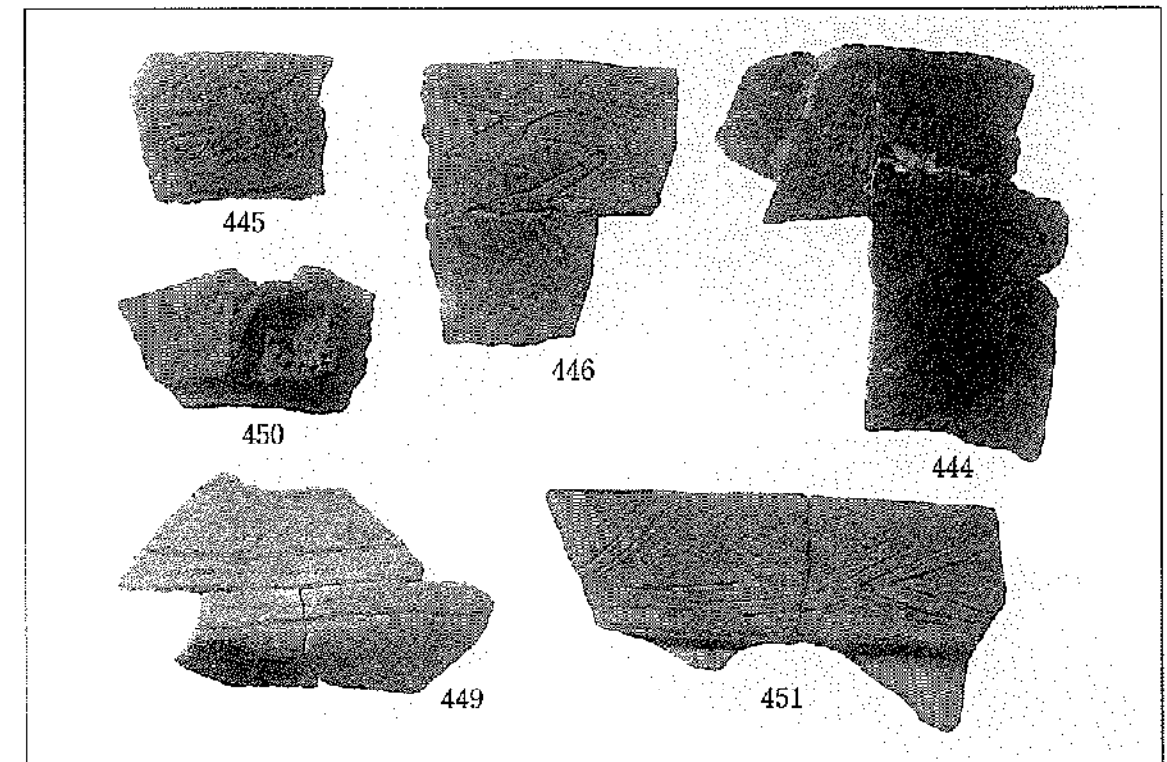
柊原貝塚出土遺物(11) 縄文時代晩期初頭の土器



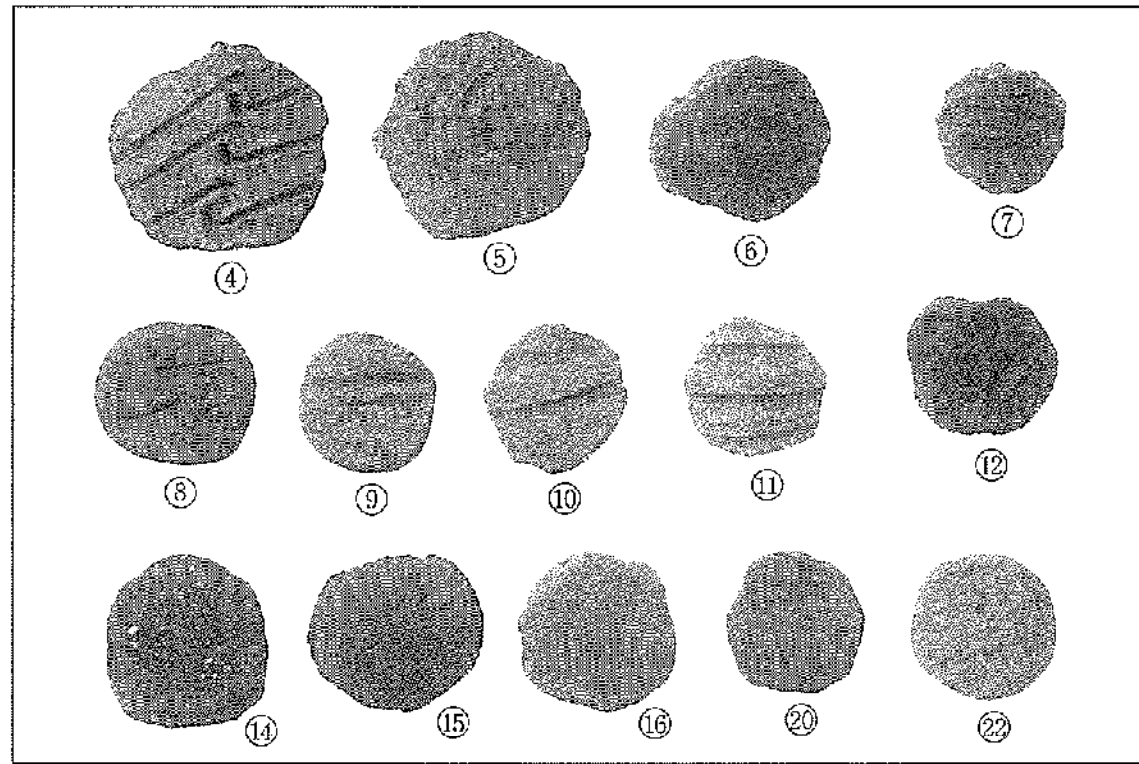
柊原貝塚出土遺物(13) 縄文時代晩期の土器



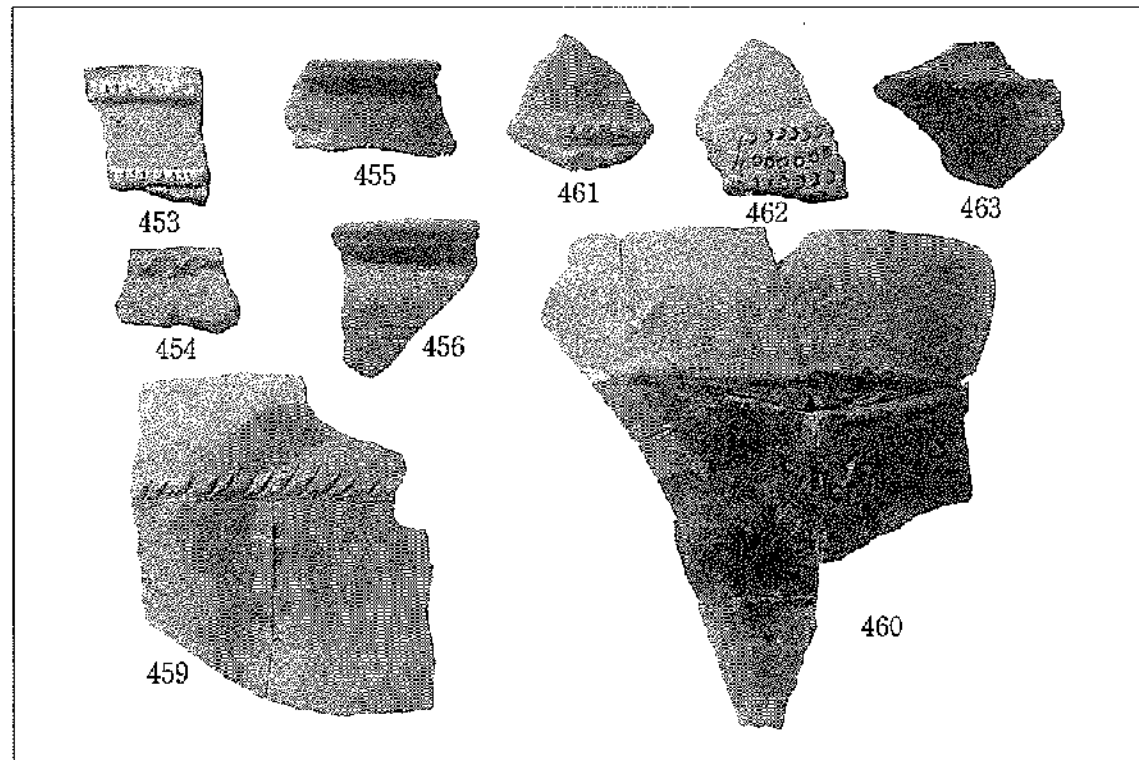
柊原貝塚出土遺物(12) 縄文時代晩期前葉の土器



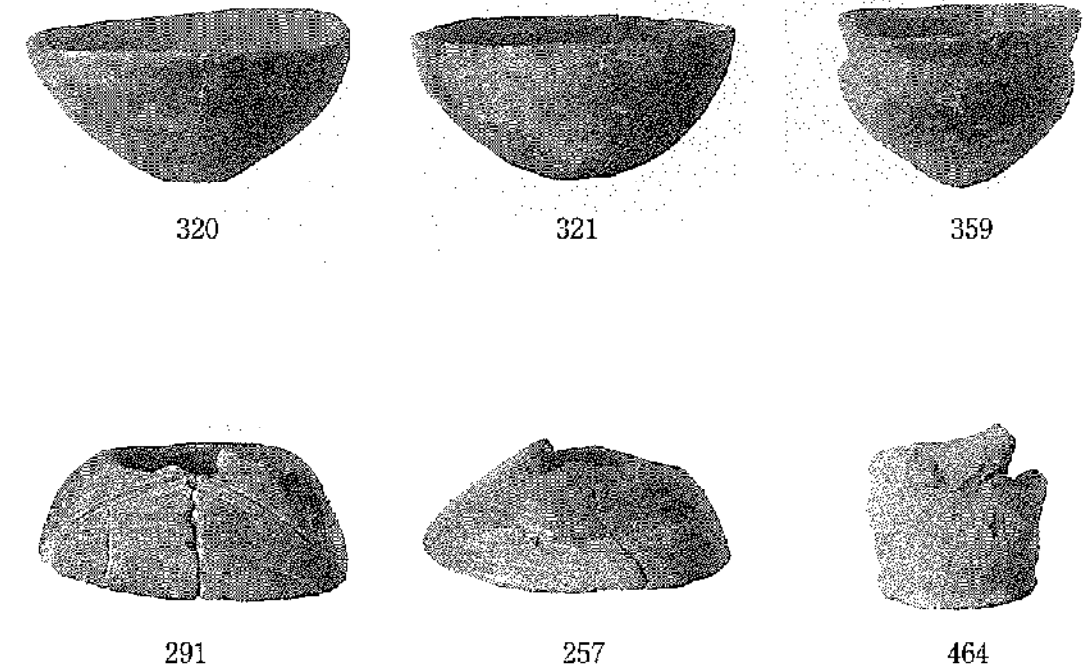
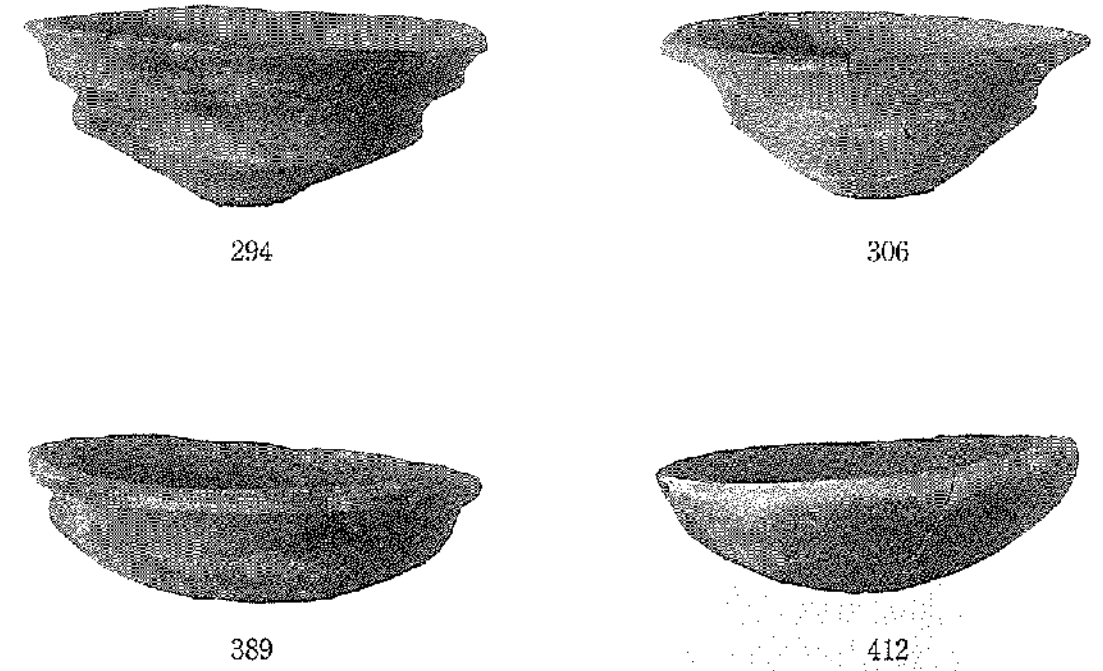
柊原貝塚出土遺物(14) その他の土器



柁原貝塚出土遺物(15) 円盤形土製加工品



柁原貝塚出土遺物(16) 縄文時代最終末期～古墳時代の土器



柁原貝塚出土遺物(17)

あとがき

本遺跡は、鹿児島県下では類例を見ない大規模で保存状態の良好な貝塚であり、当時の生活を知る上で貴重な資料が多数出土した遺跡である。現在、史跡整備へ向けて尽力している段階であるが、その膨大な遺物量は、まだまだ未整理の状態、今後の整理期間には気の遠くなるような歳月が見込まれる。与えられた使命は大きい、それ以上に意欲を掻き立てられる遺跡である。今後もより一層尽力していきたい。

発掘調査中から整理作業の間、指導に見えた諸先生方から、励ましのお言葉を何度も頂いた。それらの言葉がなかったら、とてもこの報告書は完成し得なかったであろう。特に、出土土器については鹿児島大学法文学部助教授本田道輝氏に、石器については鹿児島県立埋蔵文化財センター主任文化財主事兼第三調査係長牛ノ濱修氏に貴重な指導・助言を賜った。また、共に発掘調査及び整理作業に取り組んでいただいた鶴飼一伸氏、大迫均氏、梶原剛氏、宮迫佑治氏、整理作業補助員として尽力していただいた寒川朋枝氏、川島秀義氏、発掘調査員及び整理作業員の皆様、教育委員会関係各位の皆様方のご協力なしには、とても完成の運びとなることはなかったであろう。皆様方にはこの場を借りて感謝の気持ちを表したい。

整理期間の不足や筆者の力量不足から、報告書が十分な内容のものには至らなかったのが遺憾ではありますが、どうかこのように報告書としての体裁を保つに至ったのは、ひとえに各関係各位のご教示・ご協力によるものであります。発掘調査中より並々ならぬお力添えをいただき、お礼の言葉もございません。末筆ながら御芳名を記し、感謝の意を表します（五十音順、敬称略）

雨宮瑞生、青崎和憲、池畑耕一、井ノ上秀文、牛ノ濱修、大西智和、大木公彦、大久保浩二、岡村道雄、小片丘彦、尾脇雅弥、金原正明、金原正子、上村俊雄、河口貞徳、川島秀義、木下尚子、木村幾多郎、倉元良文、黒川忠広、黒住耐二、児玉健一郎、小林達雄、小林園子、坂下泰典、相美伊久雄、寒川朋枝、新里貴之、新東晃一、高橋豊、竹中正巳、立神次郎、鶴田静彦、樋泉岳二、堂込秀人、戸崎勝洋、富田紘一、中島信夫、中村和美、中村耕治、中村直子、成尾英仁、西中川駿、瀬宜田佳男、橋口晋作、橋本達也、蓮沼浩、東和幸、福島晶、古澤生、本田道輝、前迫亮一、松井章、松本幡郎、峰和治、山崎純男、横手浩二郎、渡辺誠、渡辺芳郎、和田るみ子

(羽生)

垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書 (9)
県営農免農道整備事業垂水南地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

終 原 貝 塚

発行 2006年3月

編集 垂水市教育委員会

鹿児島県垂水市旭町61

TEL (0994) 32-0224

印刷 西文社印刷株式会社

鹿児島県鹿屋市札元2丁目3808-6

TEL (0994) 43-3094

